

令和4年度

島根県保険者協議会医療費等分析事業報告書

島根県保険者協議会

(事務局 島根県・島根県国民健康保険団体連合会)

# 目 次

令和4年度 島根県保険者協議会医療費等分析事業 総括	1
<b>I 医療費統計</b>	<b>2</b>
◆医療費統計にあたって	2
◆本統計における疾病分類表	3
<b>1 県全体及び制度別の状況</b>	<b>5</b>
(1) 加入者数、レセプト件数、費用額	5
① 加入者数	5
② レセプト件数	7
③ 費用額	9
(2) 医療費諸率	11
① 受診率	11
② 1件当たり費用額	14
③ 1人当たり費用額	17
(3) 疾病統計	20
① 疾病別医療費（大分類）	20
② 生活習慣病	27
③ 疾病別医療費（中分類）	31
<b>2 市町村別の状況</b>	<b>33</b>
(1) 加入者数、レセプト件数、費用額	33
① 年齢階層別加入者割合	34
② 度別加入者数割合・レセプト件数割合・費用額割合	35
(2) 医療費諸率	36
① 受診率	37
② 1件当たり費用額	37
③ 1人当たり費用額	38
④ 年齢調整1人当たり費用額	39
⑤ 1件当たり費用額と受診率の関係	40
(3) 疾病統計	41
① 疾病別医療費（大分類）	41
② 生活習慣病	42
③ 疾病別医療費（中分類）	49

II	特定健康診査結果統計	55
	◆健診結果データ集計にあたって	55
1	県全体及び制度別の状況	56
	(1) 特定健診受診者数等	56
	(2) 特定保健指導該当者割合	58
	(3) メタボリックシンドローム該当者・予備群割合	59
	(4) 検査等結果	60
	① 肥満者の割合	60
	② 高血圧症有病者・予備群の割合	61
	③ 糖尿病有病者・予備群の割合	62
	④ 脂質異常症有病者・予備群の割合	63
	⑤ 習慣的喫煙者の割合	64
	⑥ 毎日飲酒する人の割合	65
	⑦ 運動習慣がない人の割合	66
	(5) 非肥満者におけるリスク保有者の割合	67
	① 対象者	67
	② リスク保有状況	68
2	市町村別の状況	72
	(1) 特定健診受診者数等	72
	(2) 特定保健指導該当者割合	73
	(3) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	74
	① メタボリックシンドローム該当者の割合	74
	② メタボリックシンドローム予備群の割合	75
	(4) 検査等結果	76
	① 肥満者の割合	76
	② 高血圧症有病者・予備群の割合	77
	③ 糖尿病有病者・予備群の割合	79
	④ 脂質異常症有病者・予備群の割合	81
	⑤ 習慣的喫煙者の割合	83
	⑥ 毎日飲酒する人の割合	84

(5) 非肥満者におけるリスク保有者の割合	85
① リスク1項目	85
② リスク2項目	88
③ リスク3項目	91

本事業は、島根県立大学の協力・助言を得つつ、分析結果を報告書として取りまとめた。関係機関におかれては、保健事業等の推進に本報告書をご活用いただきたい。

# 令和4年度 島根県保険者協議会医療費等分析事業 総括

## I 医療費統計（令和4年5月診療分）

島根県人口の約7割を対象とした医療費データから、循環器系疾患に係る医療費が最も高く、総額の約2割を占めていることが分かった。循環器系疾患に係る医療費が高いのは、1件当たり費用額としては決して高額ではない反面、受診率が高いことに起因している。循環器系疾患の中でも、特に高血圧性疾患に係る医療費が高額となっている。

その他、脳血管疾患や腎不全の医療費も高いことから、高血圧性疾患を含めた生活習慣病の罹患予防及び重症化予防対策が必要と考えられる。

また、悪性新生物や骨折（特に高齢の女性）の医療費も高いため、がんの早期発見、転倒予防等も必要である。

## II 特定健康診査結果統計（令和3年度特定健康診査結果データ）

健診受診者のうち、約4割が肥満に該当している。肥満者の割合を男女別にみると、男性は約半数が肥満に該当しており、女性の約2倍となっている。関連して、特定保健指導該当者、メタボリックシンドローム該当者の割合も男性の方が女性より大幅に高い。

また、高血圧症、糖尿病、脂質異常症のリスク保有割合（該当者、予備群の割合）についても、肥満の方が非肥満者より高い。肥満の予防、改善により、リスク保有者の減少が期待できる。

肥満対策として求められることは生活習慣の改善、特に食事や運動であるが、毎日飲酒する人は3割弱、運動習慣のない人は6割強といずれも高い。減酒や運動に関する啓発、取り組みが必要と考えられる。

## III 医療費と特定健診結果の状況からみえたこと

### 課題

- 【医療費】生活習慣病、特に高血圧性疾患、がんに係る医療費が高い。  
高齢女性の骨折に係る医療費が高い。
- 【健康状態】生活習慣病のリスク保有割合が高くなる、肥満者が多い。
- 【生活習慣】飲酒頻度の高い人、運動習慣のない人の割合が高い。  
習慣的喫煙者の地域差が大きい。



### 対策（案）

- 運動習慣に関する啓発活動を通じて、肥満の予防・改善による生活習慣病の罹患予防、筋力低下の予防による転倒・骨折予防（→介護予防）を行う。
- 特定健診受診率向上、特定保健指導実施率向上による重症化予防を行う。
- がん検診受診率向上による早期発見・早期治療を行う。

## I 医療費統計

### ◆医療費統計にあたって

#### 1 使用データについて

次の県内医療保険者における令和4年5月診療分レセプトデータを集計した。

- ・島根県内 19 市町村国民健康保険
- ・島根県医師国民健康保険組合
- ・全国健康保険協会島根支部
- ・島根県市町村職員共済組合
- ・島根県後期高齢者医療広域連合

#### 2 分類方法（単位）

次の方法により分類する。

##### 【制度（別）】

##### （1）国保

島根県内 19 市町村国民健康保険

島根県医師国民健康保険組合：「市町村別の状況」には含まない

##### （2）被用者保険

全国健康保険協会島根支部

島根県市町村職員共済組合

##### （3）後期高齢者

島根県後期高齢者医療広域連合

##### 【診療区分（別）】

##### （1）入院（食事・生活療養費を含む）

##### （2）入院外（調剤費用額を含む）

##### （3）歯科

※調剤については、費用額のみ入院外に含め、件数は含めない。

##### 【疾病分類】

レセプト1件につき1疾病（主病）を抽出し、社会保険表章用疾病分類表に従い分類（P2、3「本統計における疾病分類表」参照）する。

なお、歯科レセプト及び疾病大分類「X I 消化器系の疾患」のうち、分類コード「1101」「1102」「1103」については、『歯科』と分類した。

#### 3 生活習慣病の定義

次の分類コードを生活習慣病と定義する。

- ・悪性新生物：0201～0210
- ・糖尿病：0402
- ・脂質異常症：0403
- ・高血圧性疾患：0901
- ・虚血性心疾患：0902
- ・脳血管疾患：0904～0908

#### 4 その他

本書掲載グラフのうち、端数処理の関係上、割合の合計が100%にならない場合がある。

◆本統計における疾病分類表

大分類(21項目)	中分類(122項目)	
	コード	疾 病
I 感染症及び寄生虫症	0101	腸管感染症
	0102	結核
	0103	主として性的伝播様式をとる感染症
	0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患
	0105	ウイルス性肝炎
	0106	その他のウイルス性疾患
	0107	真菌症
	0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症
	0109	その他の感染症及び寄生虫症
II 新生物<腫瘍>	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>
	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>
	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>
	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>
	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>
	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>
	0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>
	0208	悪性リンパ腫
	0209	白血病
	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>
	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他新生物<腫瘍>
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0301	貧血
	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	0401	甲状腺障害
	0402	糖尿病
	0403	脂質異常症
	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
V 精神及び行動の障害	0501	血管性及び詳細不明の認知症
	0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害
	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
	0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
	0506	知的障害<精神遅滞>
	0507	その他の精神及び行動の障害
VI 神経系の疾患	0601	パーキンソン病
	0602	アルツハイマー病
	0603	てんかん
	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群
	0605	自律神経系の障害
	0606	その他の神経系の疾患
VII 眼及び付属器の疾患	0701	結膜炎
	0702	白内障
	0703	屈折及び調節の障害
	0704	その他の眼及び付属器の疾患
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0801	外耳炎
	0802	その他の外耳疾患
	0803	中耳炎
	0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患
	0805	メニエール病
	0806	その他の内耳疾患
	0807	その他の耳疾患
IX 循環器系の疾患	0901	高血圧性疾患
	0902	虚血性心疾患
	0903	その他の心疾患
	0904	くも膜下出血
	0905	脳内出血
	0906	脳梗塞
	0907	脳動脈硬化(症)
	0908	その他の脳血管疾患
	0909	動脈硬化(症)
	0911	低血圧(症)
	0912	その他の循環器系の疾患

大分類(21項目)	中分類(122項目)	
	コード	疾 病
X 呼吸器系の疾患	1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]
	1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎
	1003	その他の急性上気道感染症
	1004	肺炎
	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎
	1006	アレルギー性鼻炎
	1007	慢性副鼻腔炎
	1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎
	1009	慢性閉塞性肺疾患
	1010	喘息
	1011	その他の呼吸器系の疾患
X I 消化器系の疾患	1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
	1105	胃炎及び十二指腸炎
	1106	痔核
	1107	アルコール性肝疾患
	1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)
	1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)
	1110	その他の肝疾患
	1111	胆石症及び胆のう炎
	1112	膵疾患
	1113	その他の消化器系の疾患
	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	1201
1202		皮膚炎及び湿疹
1203		その他の皮膚及び皮下組織の疾患
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	1301	炎症性多発性関節障害
	1302	関節症
	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)
	1304	椎間板障害
	1305	頸腕症候群
	1306	腰痛症及び坐骨神経痛
	1307	その他の脊柱障害
	1308	肩の傷害<損傷>
	1309	骨の密度及び構造の障害
	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
	X IV 腎尿路生殖器系の疾患	1401
1402		腎不全
1403		尿路結石症
1404		その他の腎尿路系の疾患
1405		前立腺肥大(症)
1406		その他の男性生殖器の疾患
1407		月経障害及び閉経周辺期障害
1408		乳房及びその他の女性生殖器の疾患
X V 妊娠、分娩及び産じょく	1501	流産
	1502	妊娠高血圧症候群
	1503	単胎自然分娩
	1504	その他の妊娠、分娩及び産じょく
X VI 周産期に発生した病態	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害
	1602	その他の周産期に発生した病態
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	1701	心臓の先天奇形
	1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1901	骨折
	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷
	1903	熱傷及び腐食
	1904	中毒
	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響
X X II 特殊目的用コード	2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]
	2220	その他の特殊目的用コード(コロナウイルス感染症 2019)
X X 歯科	1101	う蝕
	1102	歯肉炎及び歯周疾患
	1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害



## 1 県全体及び制度別の状況

### (1) 加入者数、レセプト件数、費用額

本統計における加入者数、レセプト件数及び費用額は下表のとおり。国保及び後期高齢者は全加入者のデータを、被用者保険は一部の保険者に係る加入者のデータを収集している。

制度	性別	加入者数(人)	レセプト件数(件)	費用額(円)
国保	男性	60,709	57,685	2,661,355,616
	女性	63,538	66,972	2,277,889,123
	計	124,247	124,657	4,939,244,739
被用者保険	男性	118,881	75,170	1,999,837,564
	女性	120,476	88,675	2,018,879,700
	計	239,357	163,845	4,018,717,264
後期高齢者	男性	46,752	71,661	4,240,066,587
	女性	77,463	113,439	5,375,902,474
	計	124,215	185,100	9,615,969,061
合計	男性	226,342	204,516	8,901,259,767
	女性	261,477	269,086	9,672,671,297
	計	487,819	473,602	18,573,931,064

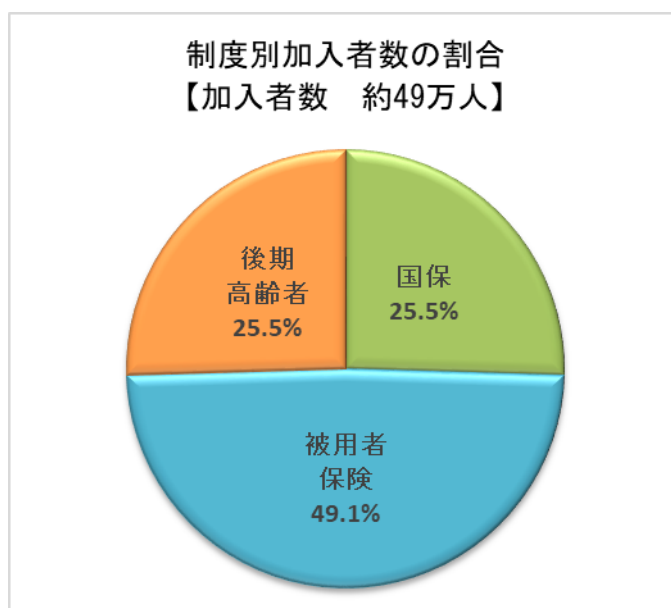
※加入者数:令和4年5月現在

※レセプト件数及び費用額:令和4年5月診療(6月審査)分

#### ① 加入者数

令和4年5月現在の加入者数は、合計で約49万人である。これは同時期の島根県人口約66万人(しまね統計情報データベース)のうちの74%に相当する。

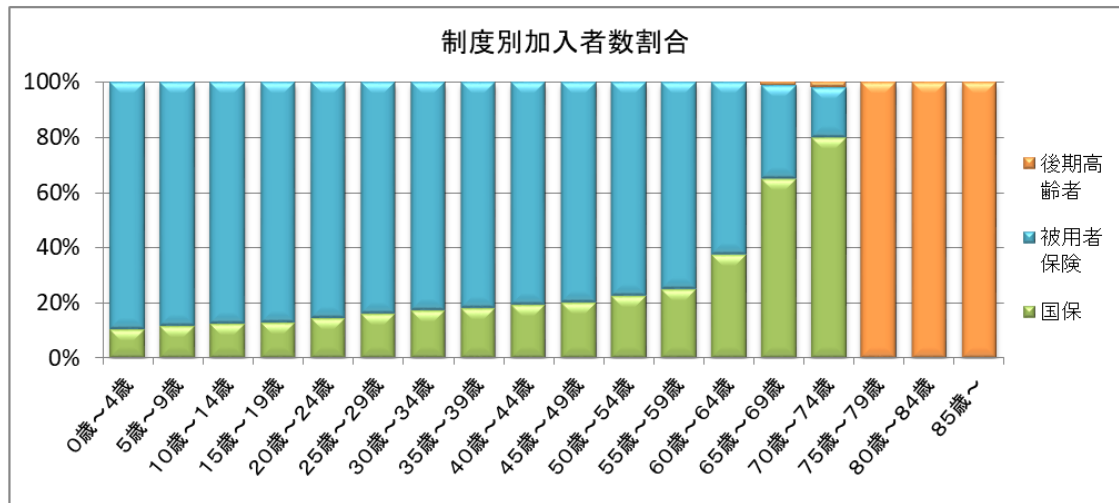
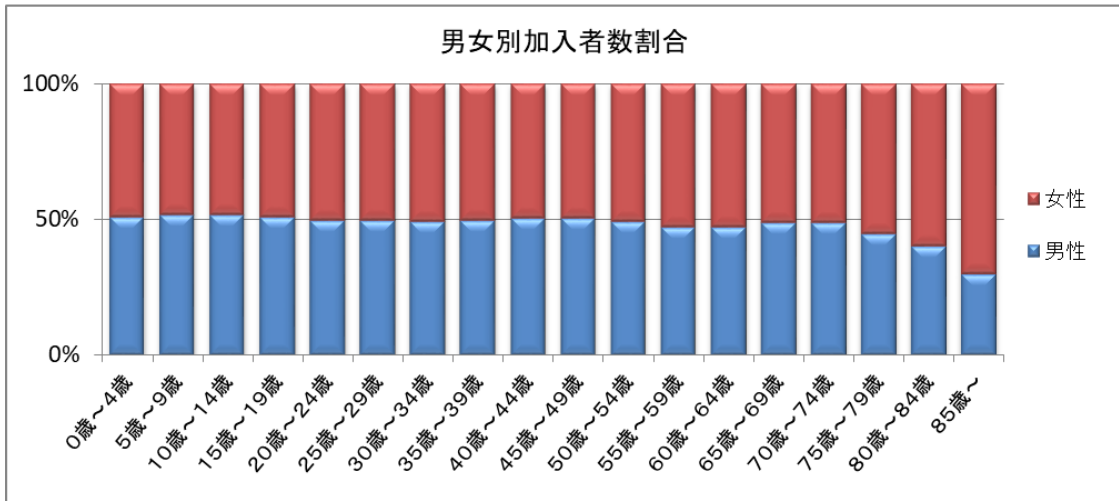
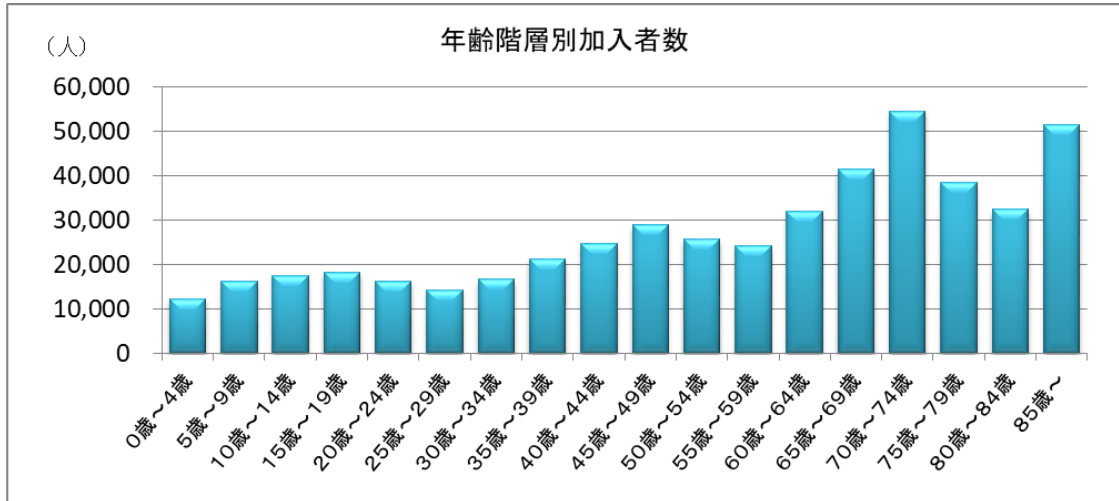
制度別加入者の割合をみると、被用者保険が最も高く49.1%を占める。国保と後期高齢者は同程度で、それぞれ25.5%を占めている。



加入者数を年齢階層別にみると、70歳～74歳が最も多い。

男女別にみると、74歳までは差がみられないが、75歳以上では女性が多く、加齢とともに差が大きくなる。

また、国保と被用者保険を比較すると、64歳以下では被用者保険が多く、65歳～74歳は国保が多い。



## ② レセプト件数

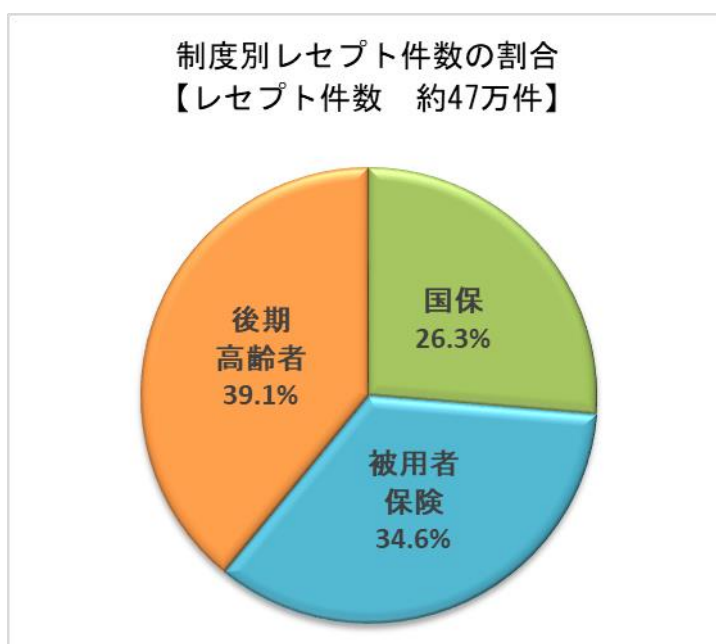
令和4年5月診療分のレセプト件数は約47万件である。

加入者数と同様に、男性より女性が多い。

診療区分別では、入院外が最も多い。

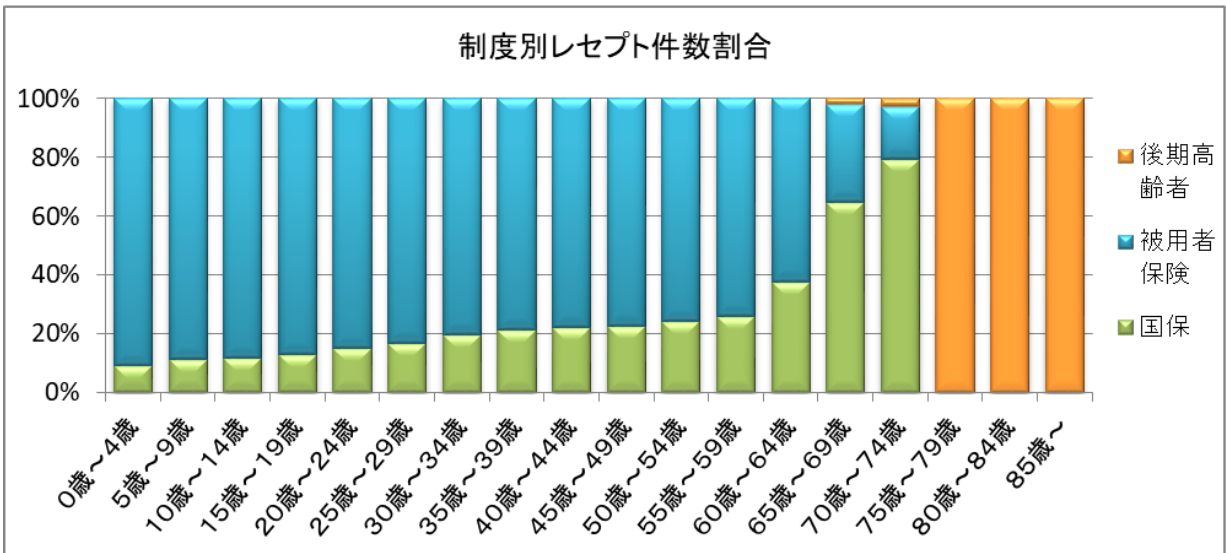
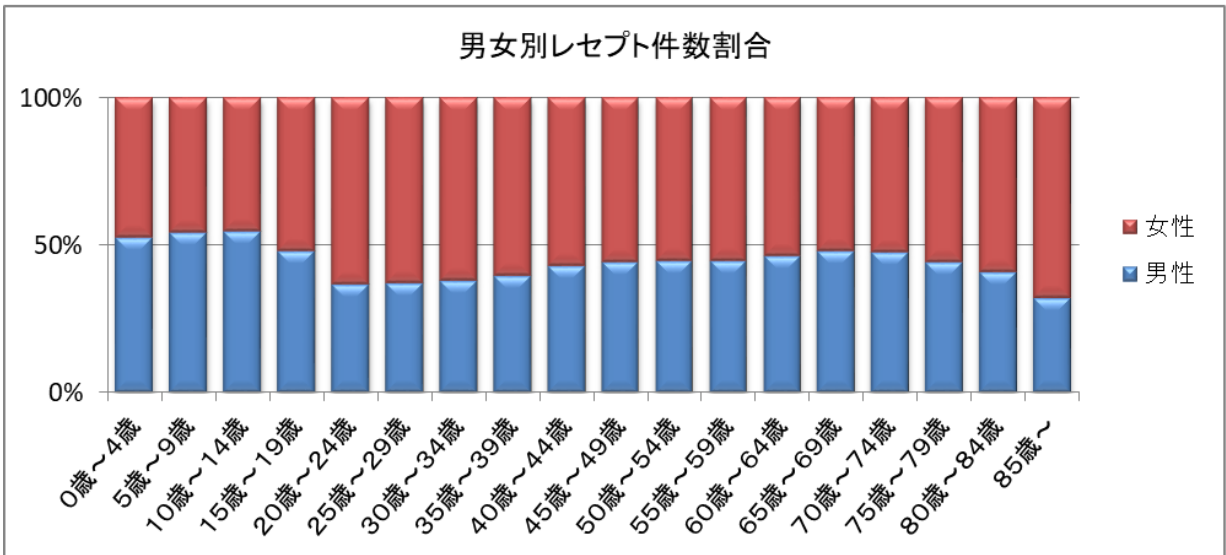
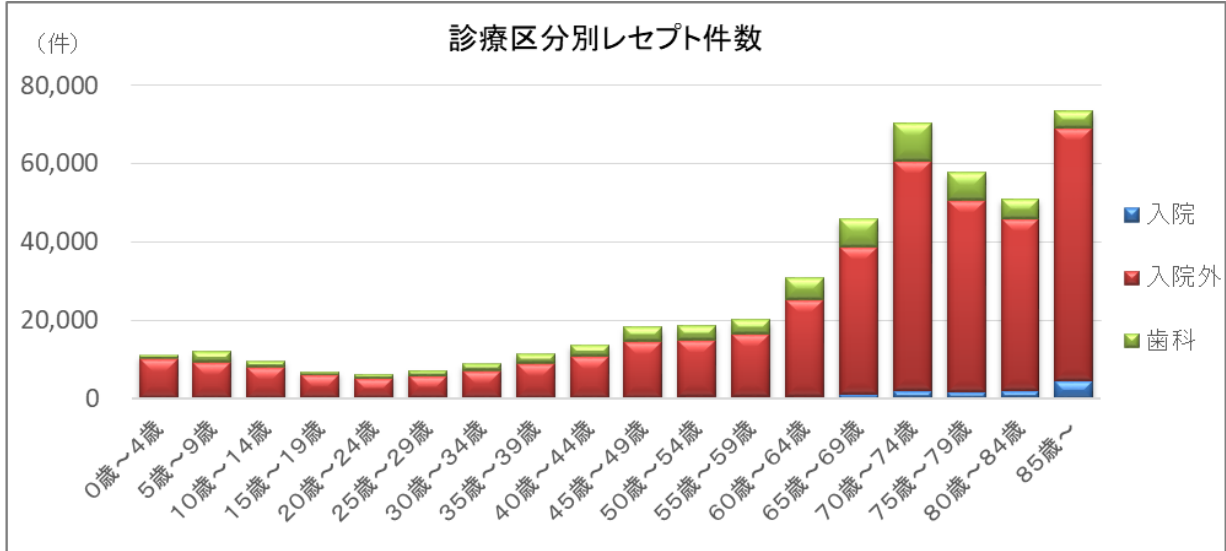
制度	性別	入院(件)	入院外(件)	歯科(件)	合計(件)
国保	男性	2,007	47,662	8,016	57,685
	女性	1,527	54,630	10,815	66,972
	計	3,534	102,292	18,831	124,657
被用者保険	男性	1,019	73,040	1,111	75,170
	女性	1,148	86,317	1,210	88,675
	計	2,167	159,357	2,321	163,845
後期高齢者	男性	3,675	60,871	7,115	71,661
	女性	4,891	98,591	9,957	113,439
	計	8,566	159,462	17,072	185,100
合計	男性	6,701	181,573	16,242	204,516
	女性	7,566	239,538	21,982	269,086
	計	14,267	421,111	38,224	473,602

後期高齢者は加入者数の割合が25.5%であるのに対し、レセプト件数は39.1%と、最も高い(P5参照)。



レセプト件数は、男女別にみると、15歳以上の全ての年齢階層で女性が多い。特に75歳以上で男女差が大きく、加入者数と同様の傾向がみられる。

なお、国保と被用者保険を比較すると、加入者数と同様に、64歳以下は被用者保険、65歳～74歳は国保が多い（P6参照）。



### ③ 費用額

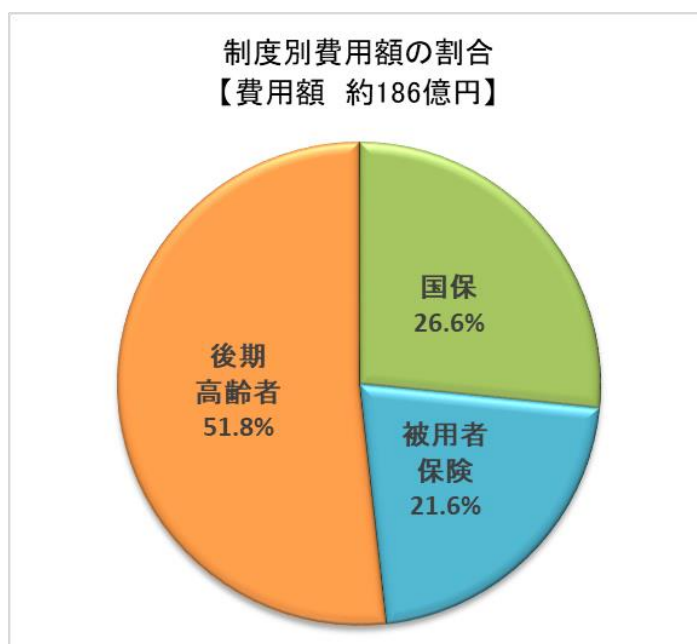
令和4年5月診療分の費用額は、約186億円である。

男女別にみると、男性より女性が高く、加入者数、レセプト件数と同様の傾向がみられる。

制度	性別	入院(円)	入院外(円)	歯科(円)	合計(円)
国保	男性	1,279,880,218	1,268,403,420	113,071,978	2,661,355,616
	女性	1,013,033,493	1,125,616,270	139,239,360	2,277,889,123
	計	2,292,913,711	2,394,019,690	252,311,338	4,939,244,739
被用者保険	男性	647,952,618	1,340,331,746	11,553,200	1,999,837,564
	女性	639,800,966	1,366,098,064	12,980,670	2,018,879,700
	計	1,287,753,584	2,706,429,810	24,533,870	4,018,717,264
後期高齢者	男性	2,360,322,661	1,771,273,060	108,470,866	4,240,066,587
	女性	3,000,250,036	2,228,397,400	147,255,038	5,375,902,474
	計	5,360,572,697	3,999,670,460	255,725,904	9,615,969,061
合計	男性	4,288,155,497	4,380,008,226	233,096,044	8,901,259,767
	女性	4,653,084,495	4,720,111,734	299,475,068	9,672,671,297
	計	8,941,239,992	9,100,119,960	532,571,112	18,573,931,064

※調剤費用額は、入院外に含む

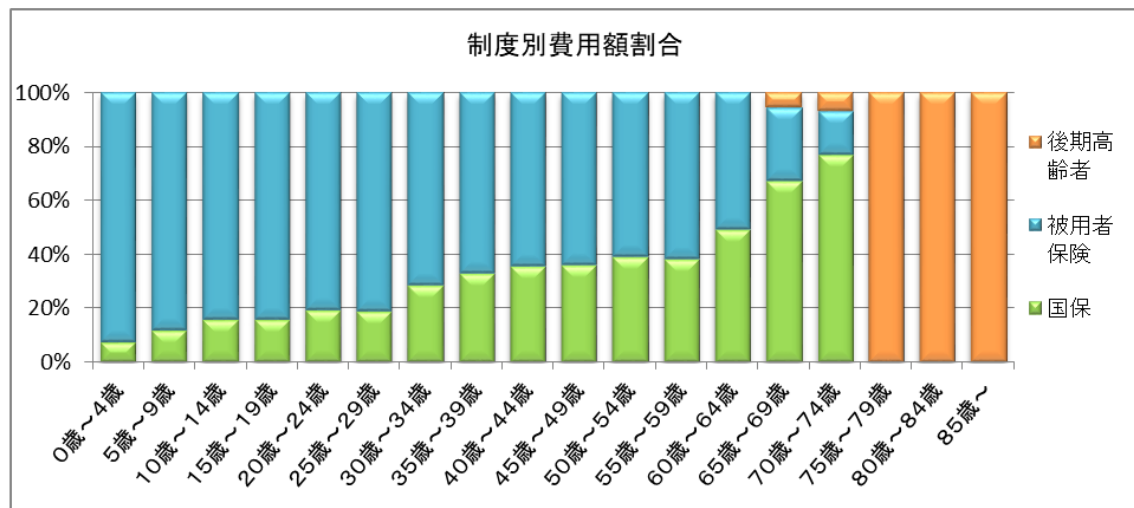
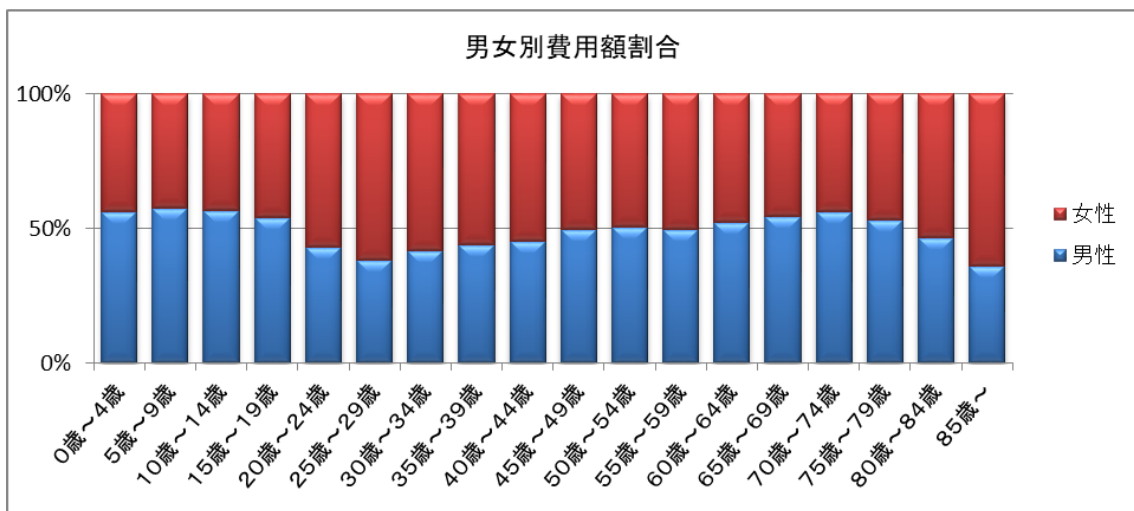
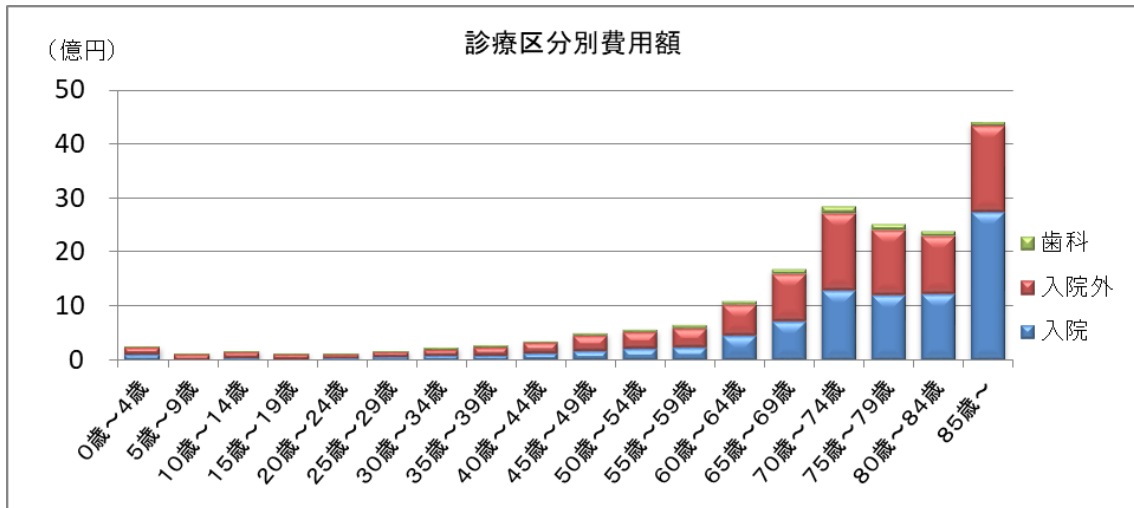
後期高齢者は加入者数の割合が25.5%であるのに対し、費用額は51.8%と、最も高い(P5参照)。



費用額は、入院、入院外とも、加齢とともに増加の傾向がみられる。

男女別にみると、0歳～19歳及び60歳～79歳では男性が高い。なお、60歳～79歳のレセプト件数は女性の方が多い（P8参照）。

また、国保と被用者保険を比較すると、64歳以下は被用者保険、65歳～74歳は国保が高い。



## (2) 医療費諸率

### ① 受診率

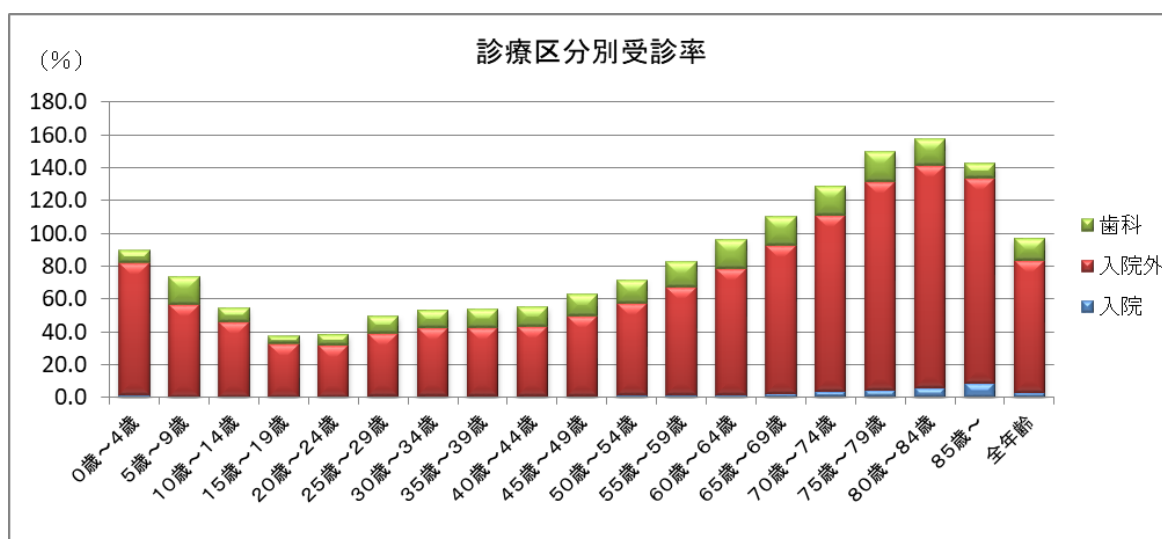
$$\text{受診率 (\%)} = \text{レセプト件数 (件)} \div \text{加入者数 (人)} \times 100$$

受診率は、合計で 97.1% である。男女別では女性が高い。

診療区分別では入院外、制度別では後期高齢者が最も高い。

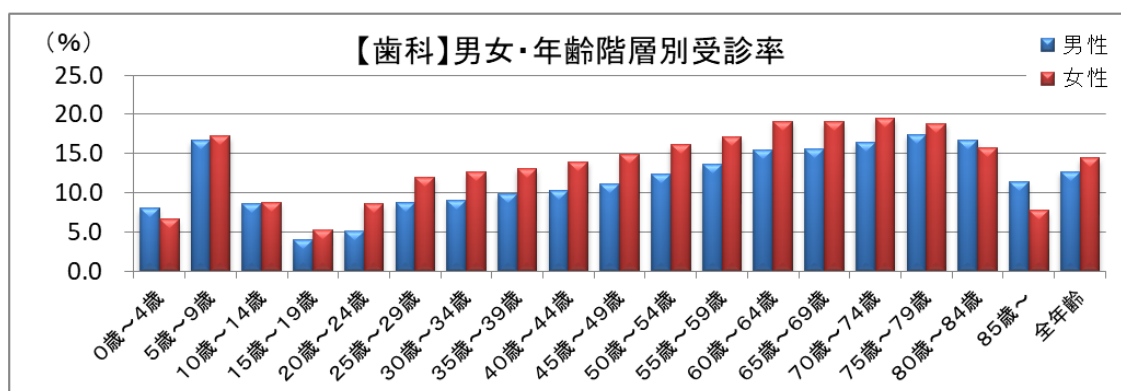
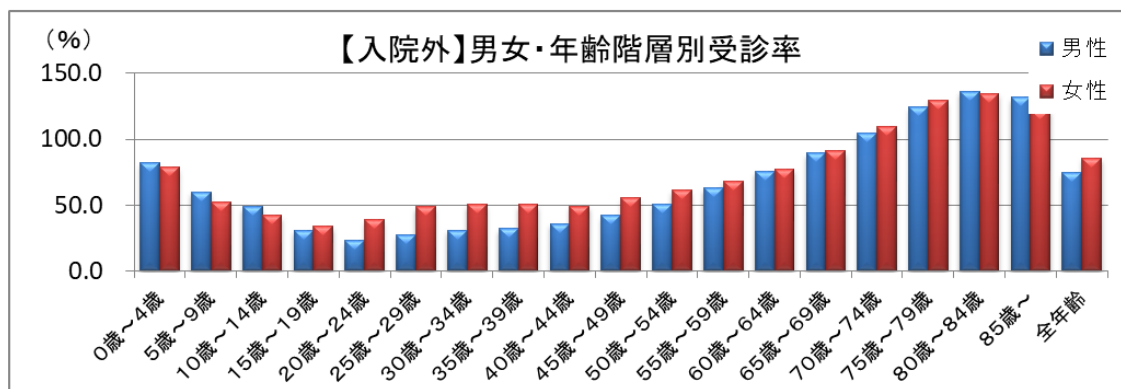
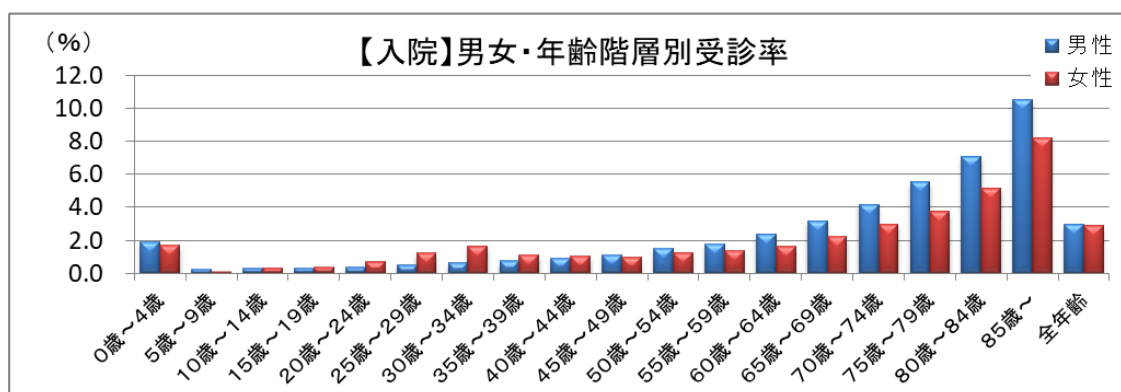
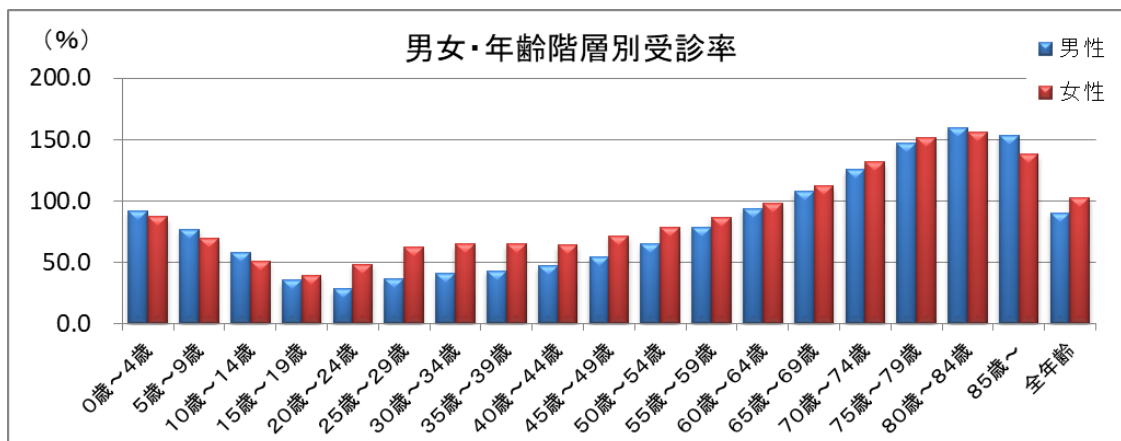
制度	性別	入院 (%)	入院外 (%)	歯科 (%)	合計 (%)
国保	男性	3.3	78.5	13.2	95.0
	女性	2.4	86.0	17.0	105.4
	計	2.8	82.3	15.2	100.3
被用者保険	男性	0.9	61.4	0.9	63.2
	女性	1.0	71.6	1.0	73.6
	計	0.9	66.6	1.0	68.5
後期高齢者	男性	7.9	130.2	15.2	153.3
	女性	6.3	127.3	12.9	146.4
	計	6.9	128.4	13.7	149.0
合計	男性	3.0	80.2	7.2	90.4
	女性	2.9	91.6	8.4	102.9
	計	2.9	86.3	7.8	97.1

年齢階層別にみると、15歳以上では加齢とともに高くなり、80歳～84歳が最も高い。診療区分別にみると、入院は85歳以上、入院外は80歳～84歳、歯科は75歳～79歳が最も高い。



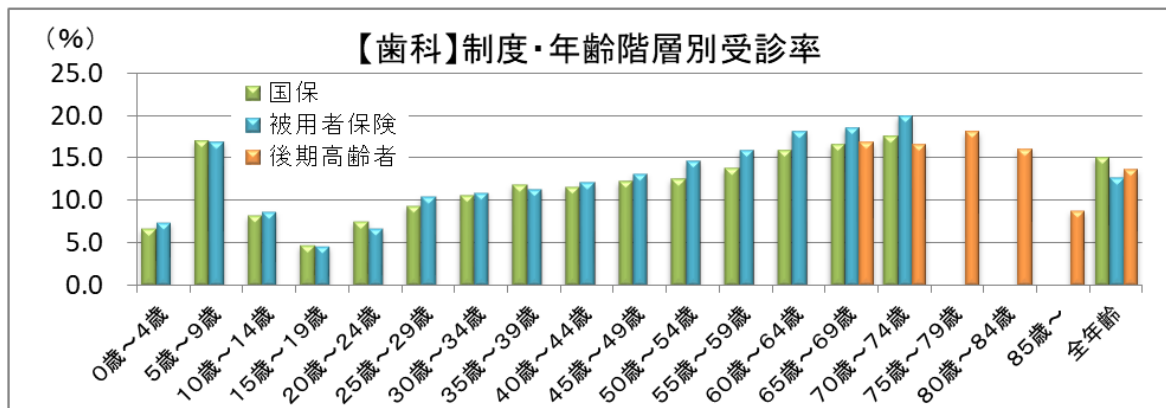
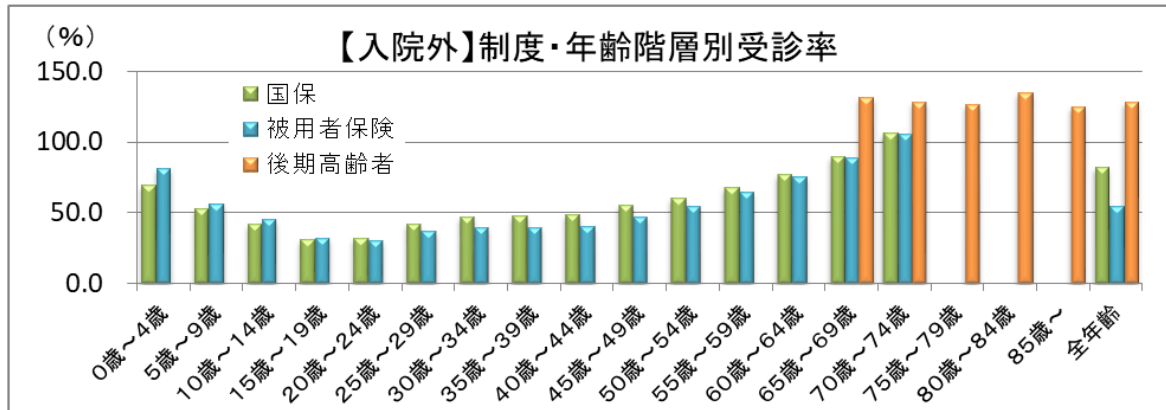
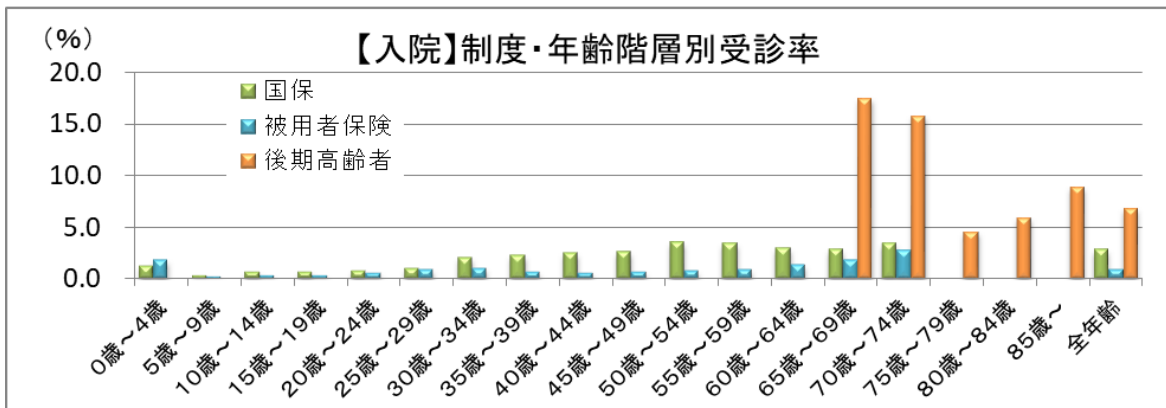
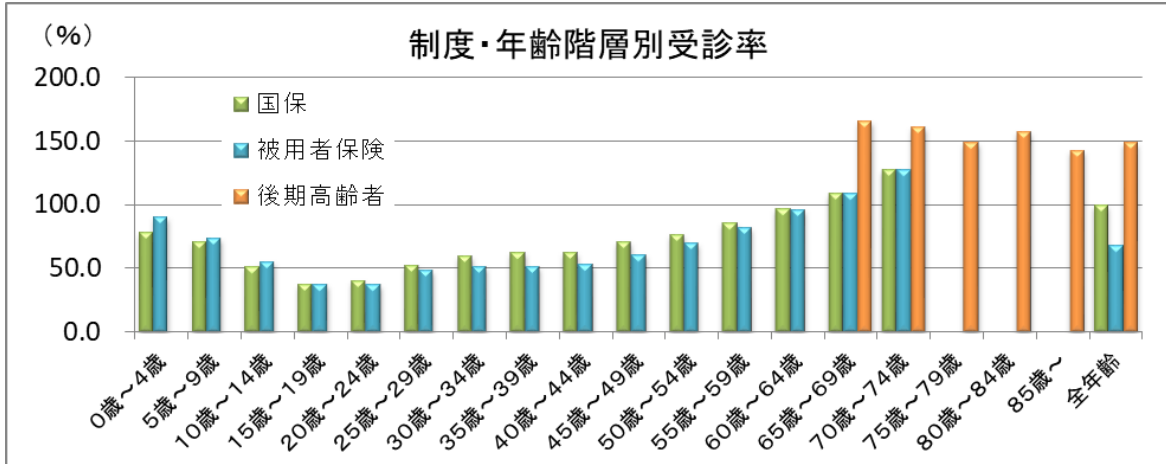
受診率を男女別にみると、15歳～79歳の幅広い年齢階層で女性が高く、20歳～49歳の青壮年期の男女差が大きい。

診療区分別では、入院は50歳以上で男性が高いが、入院外は15歳～79歳で女性が高く、80歳以上の年齢階層では男性が高い。歯科はほとんどの年齢で女性が





受診率を国保と被用者保険で比較すると、入院はほとんどの年齢階層で国保が高く、入院外も20歳以上で国保が高い傾向が見られる。歯科は、49歳までは差は小さいが、50歳以上では被用者保険が高く、差も大きい。



② 1件当たり費用額

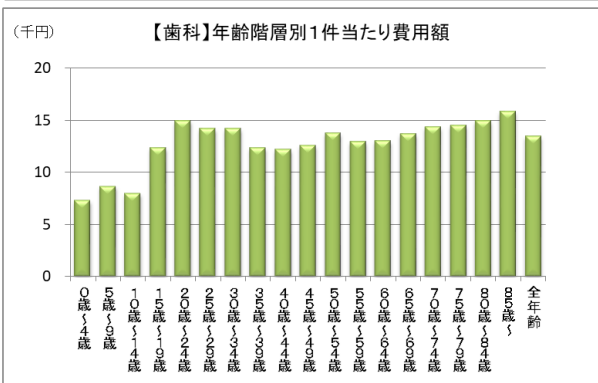
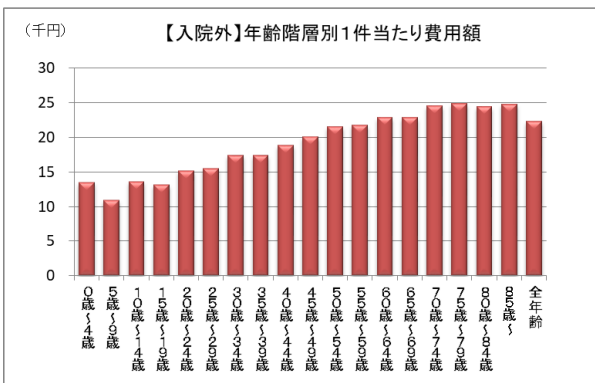
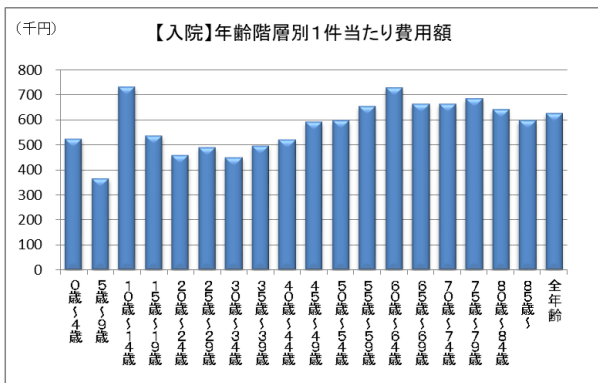
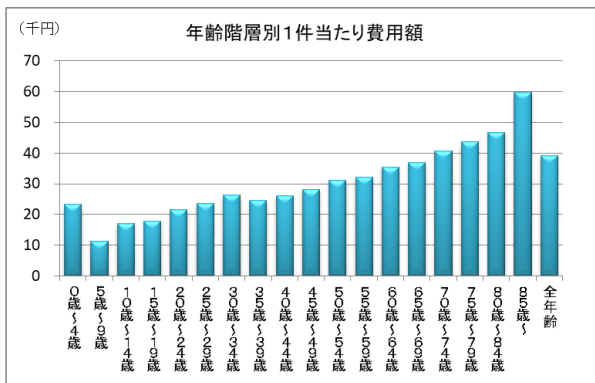
$$1 \text{ 件当たり費用額 (円)} = \text{費用額 (円)} \div \text{レセプト件数 (件)}$$

1件当たり費用額は、合計で39,218円である。男女別では男性が高く、診療区分別では入院、制度別では後期高齢者が最も高い。

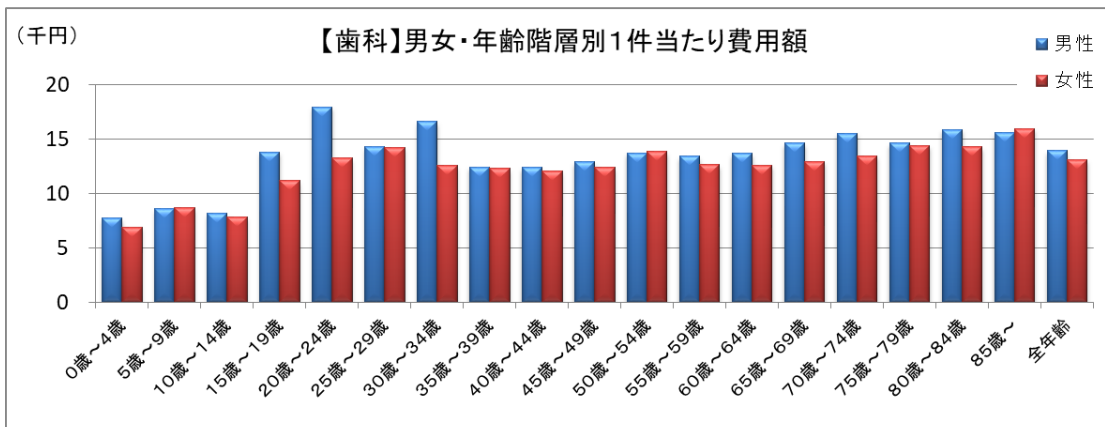
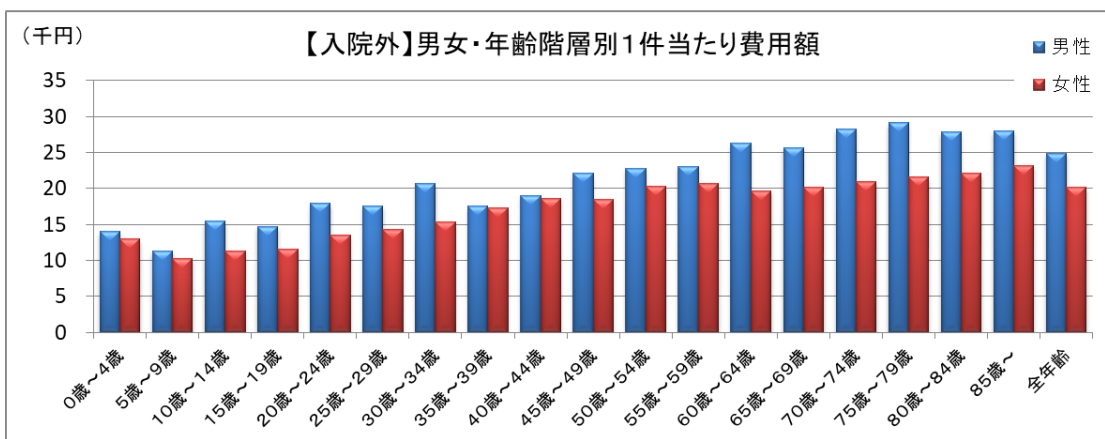
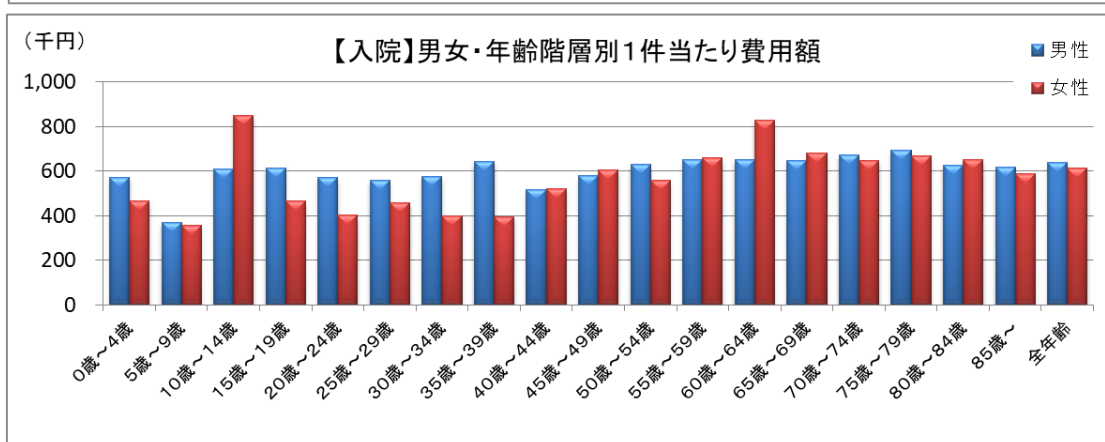
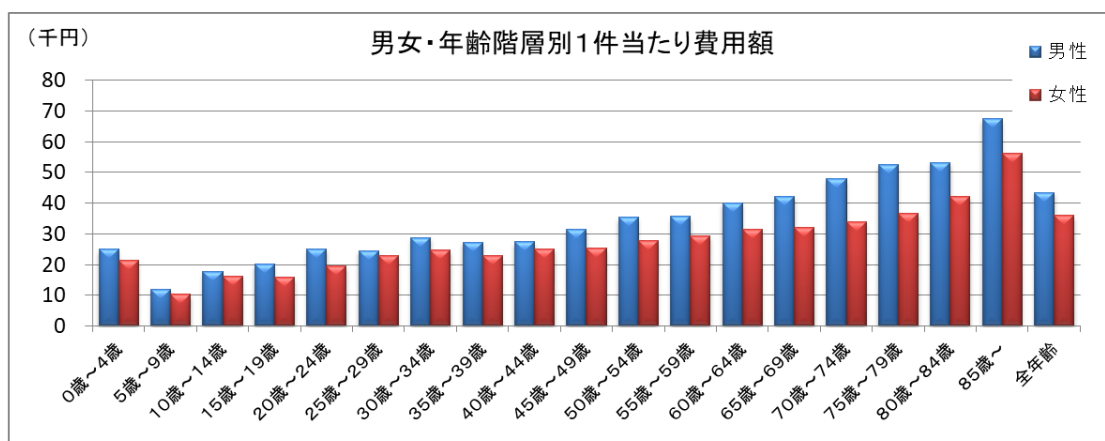
制度	性別	入院(円)	入院外(円)	歯科(円)	合計(円)
国保	男性	637,708	26,612	14,106	46,136
	女性	663,414	20,604	12,875	34,013
	計	648,815	23,404	13,399	39,623
被用者保険	男性	635,871	19,373	13,156	26,604
	女性	557,318	16,601	12,257	22,767
	計	594,256	17,882	12,656	24,528
後期高齢者	男性	642,265	29,099	15,245	59,168
	女性	613,423	22,602	14,789	47,390
	計	625,796	25,082	14,979	51,950
合計	男性	639,928	24,916	13,938	43,524
	女性	614,999	20,223	13,101	35,946
	計	626,708	22,243	13,462	39,218

※調剤費用額は入院外費用額に含む

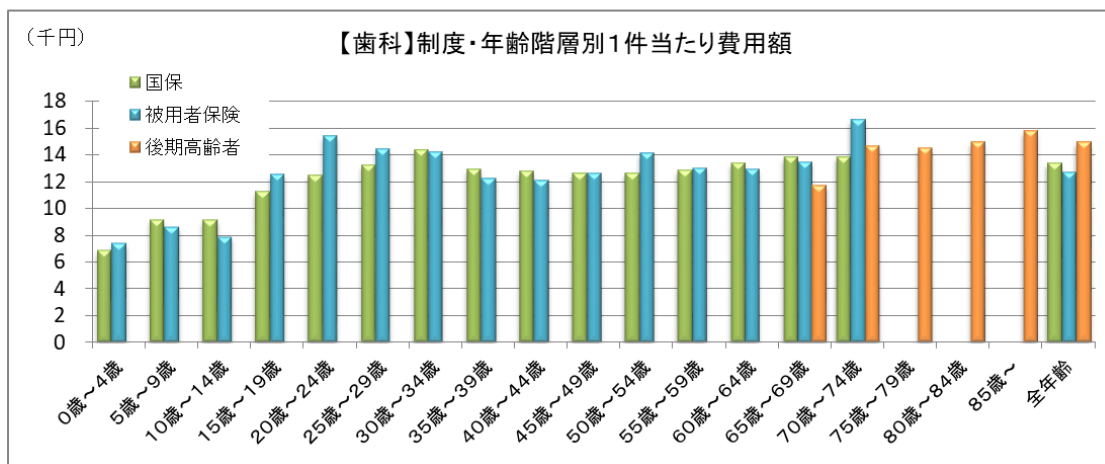
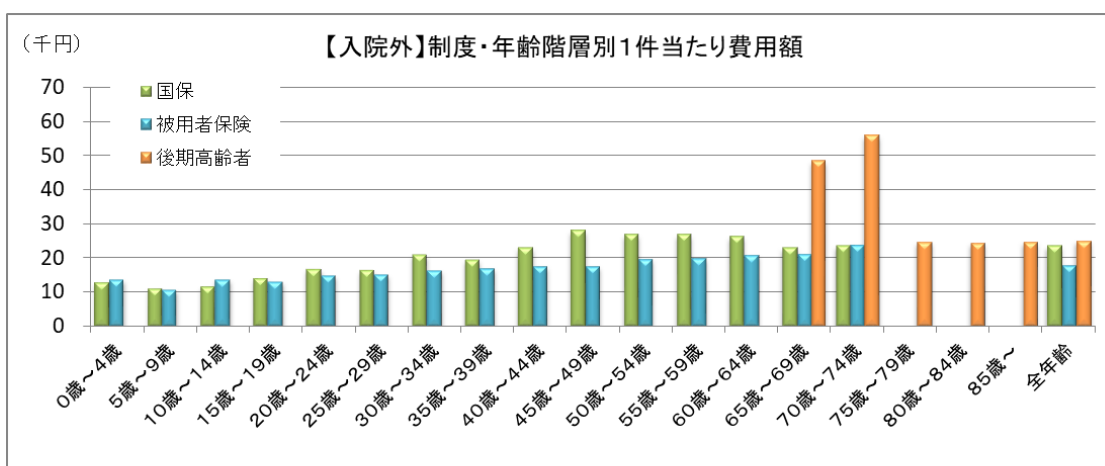
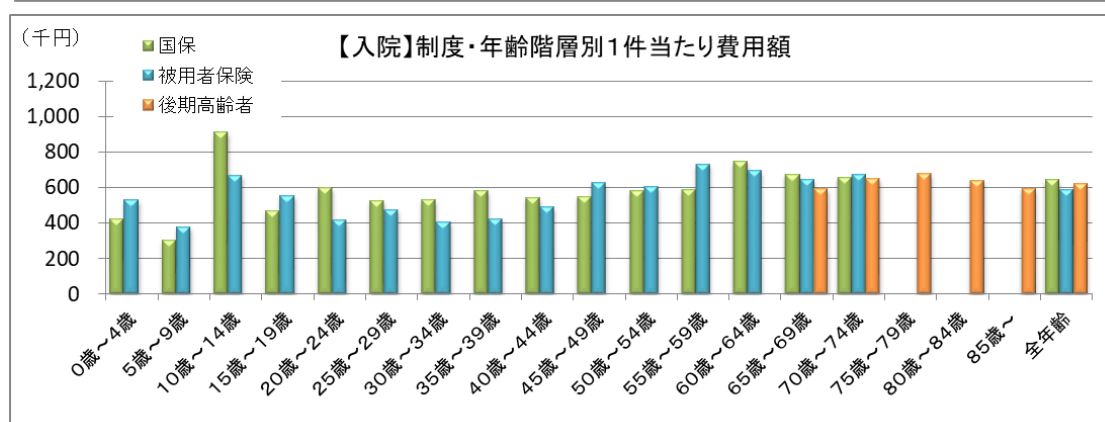
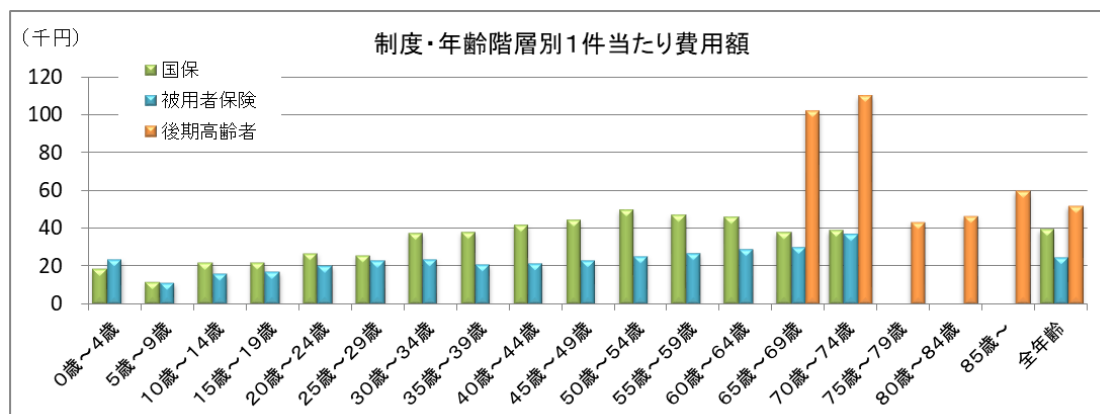
診療区分別にみると、入院及び入院外では加齢とともに増加の傾向がみられる。歯科は、20歳以上で横ばいの状況にある。



全ての診療区分において、ほとんどの年齢階層で女性よりも男性の1件当たり費用額が高い傾向にある。



1件当たり費用額を国保と被用者保険で比較すると、入院は年齢階層によりばらつきが見られる。入院外は国保で高い傾向が見られ、受診率とほぼ同様の傾向である（P13 参照）。



### ③ 1人当たり費用額

$$1人当たり費用額(円) = 費用額(円) \div 加入者数(人)$$

1人当たり費用額は、合計で38,075円である。男女別にみると男性が高い。診療区分別では入院が最も高いが、次いで高い入院外との差はわずかである。

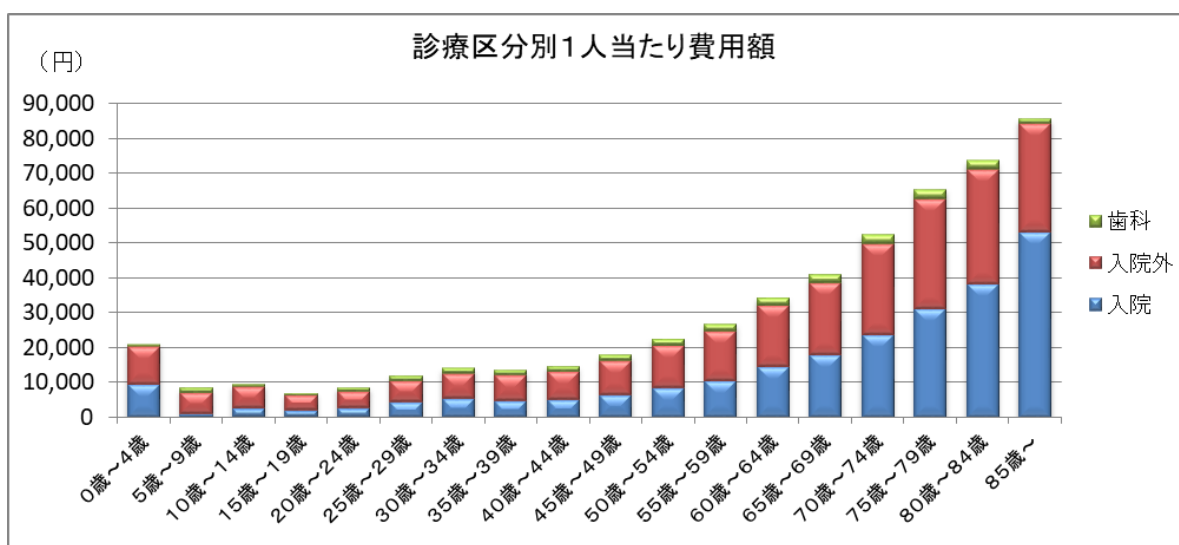
制度別では後期高齢者が最も高い。

制度	性別	入院(円)	入院外(円)	歯科(円)	合計(円)
国保	男性	21,082	20,893	1,863	43,838
	女性	15,944	17,716	2,191	35,851
	計	18,454	19,268	2,031	39,753
被用者保険	男性	5,450	9,865	1,507	16,822
	女性	5,311	9,715	1,732	16,758
	計	5,380	9,789	1,620	16,790
後期高齢者	男性	50,486	37,887	2,320	90,693
	女性	38,731	28,767	1,901	69,400
	計	43,156	32,200	2,059	77,414
合計	男性	18,945	18,611	1,770	39,327
	女性	17,795	17,303	1,894	36,992
	計	18,329	17,910	1,836	38,075

※調剤費用額は入院外に含む

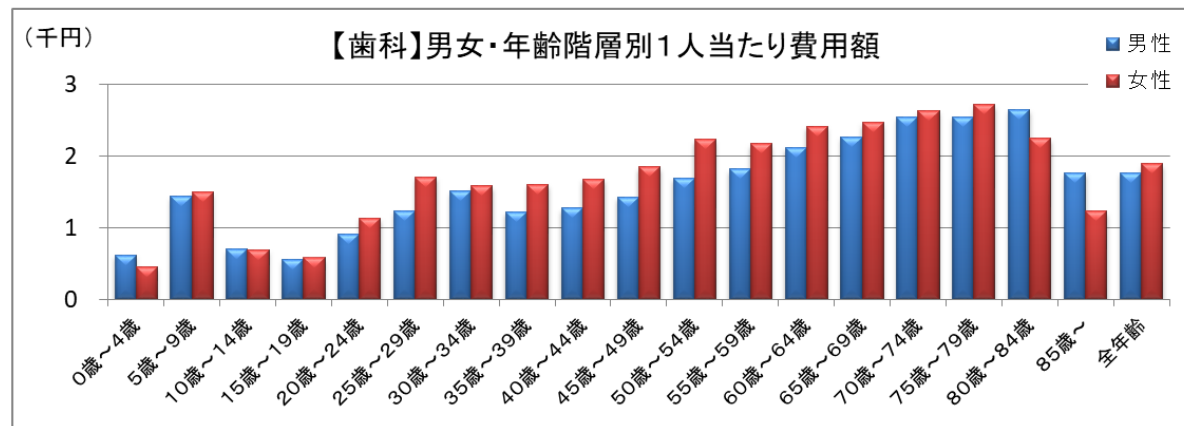
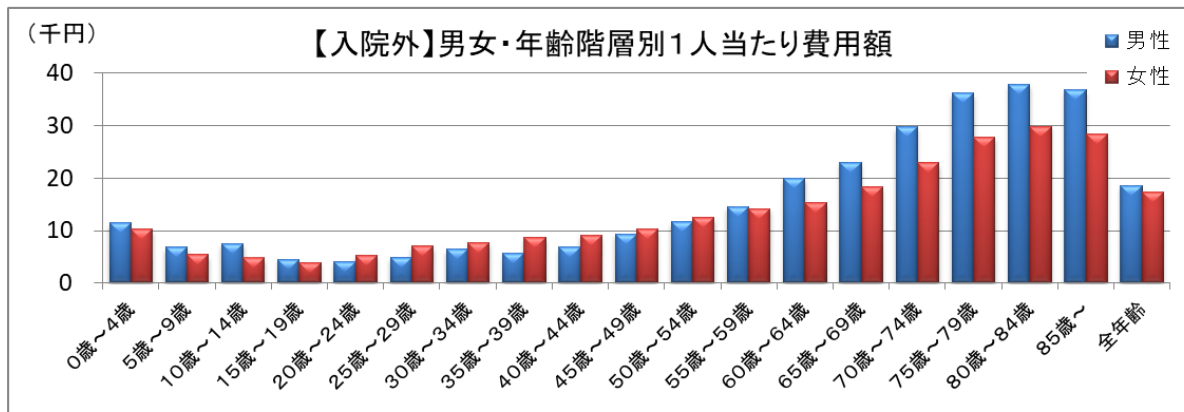
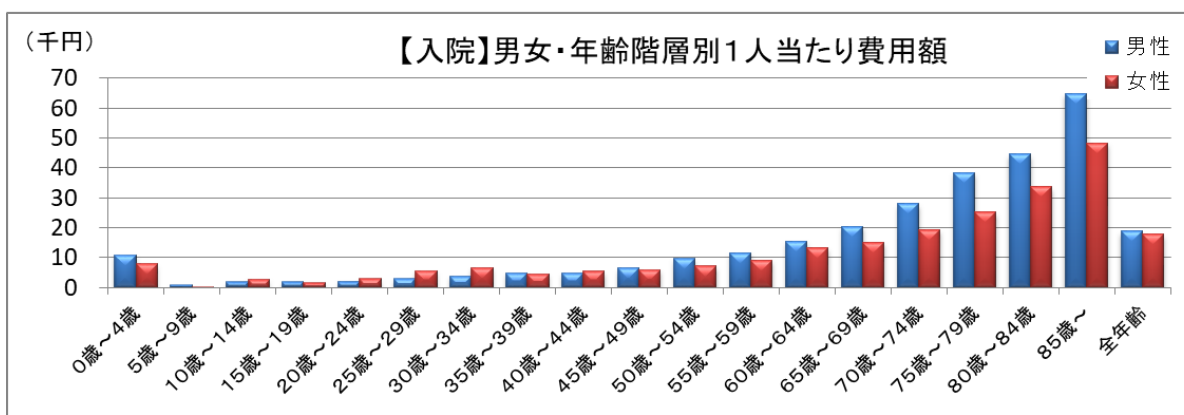
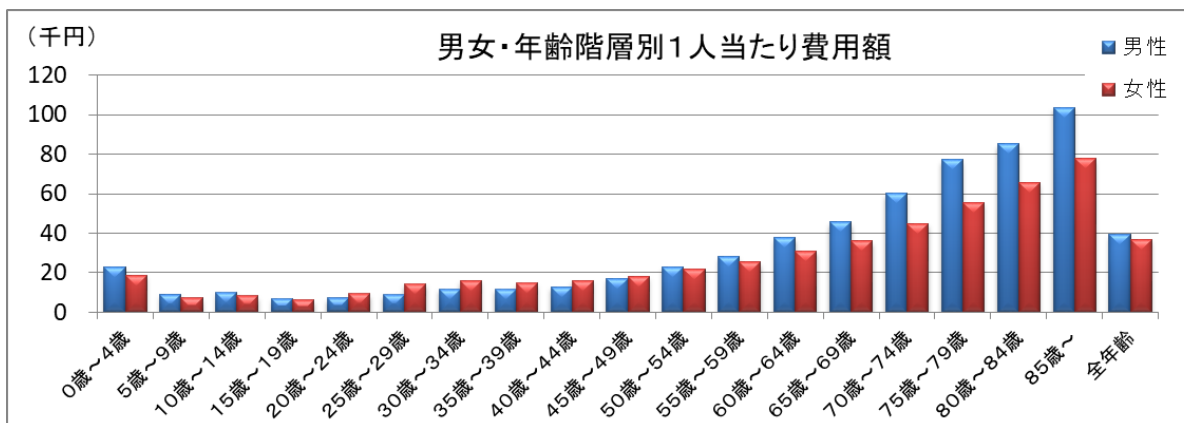
1人当たり費用額は、加齢とともに増加傾向にある。

入院は85歳以上、入院外は80歳～84歳、歯科は75歳～79歳が最も高い。

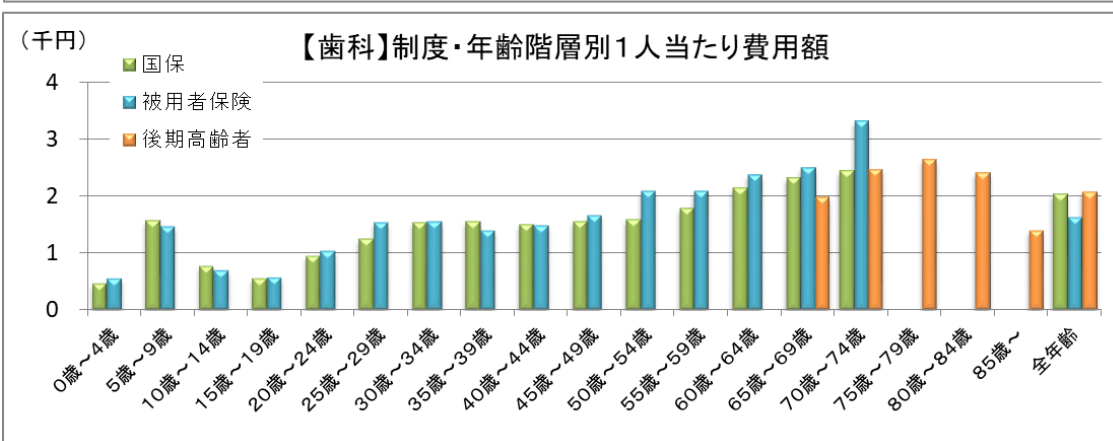
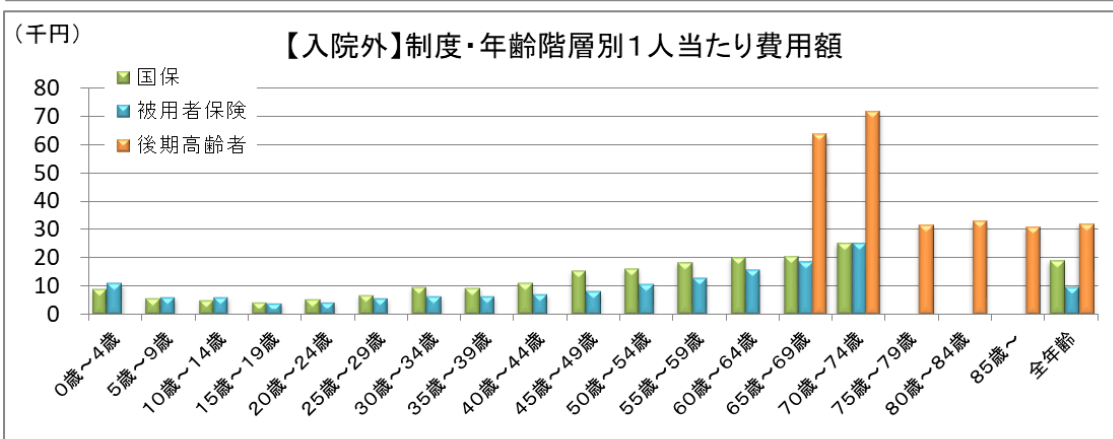
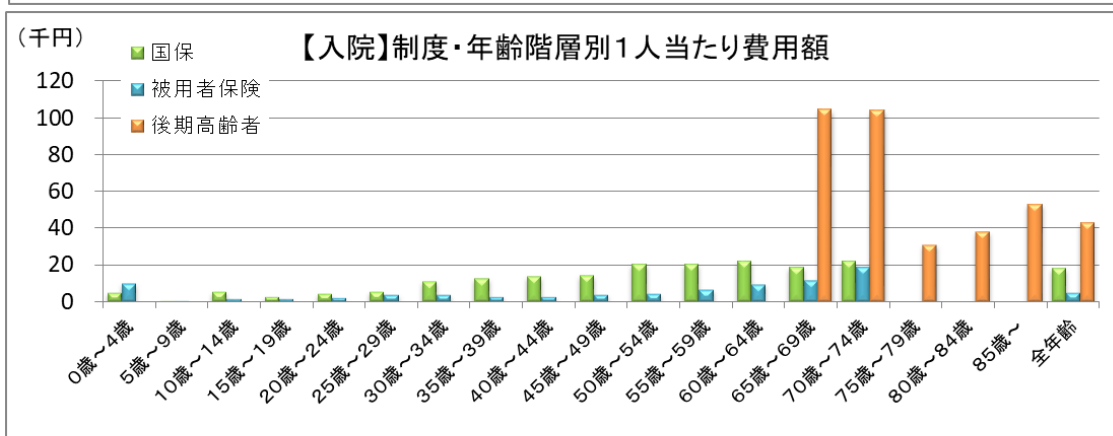
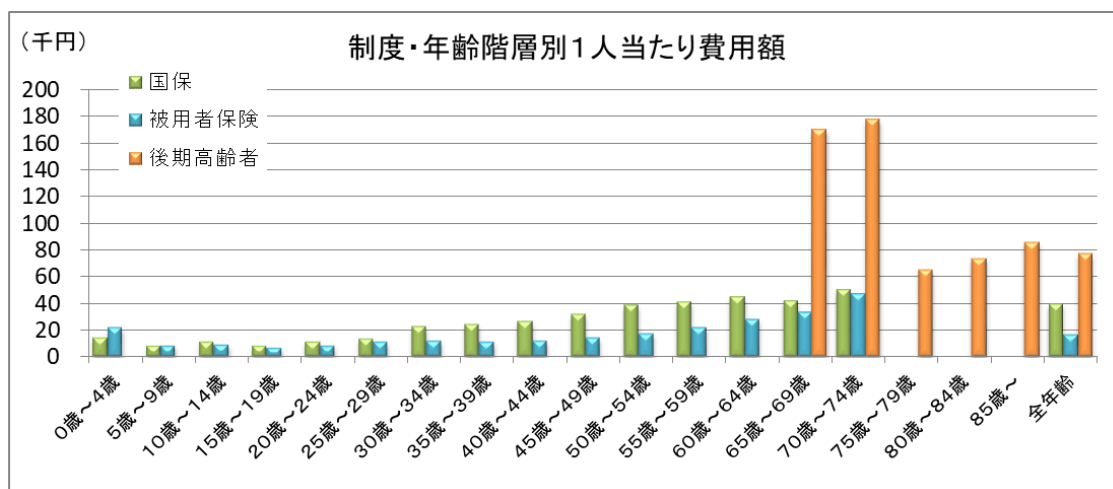


1人あたり費用額を男女別にみると、入院は45歳以上、入院外では55歳以上で男性が女性より高く、加齢とともに格差が大きくなる。

歯科は、ほとんどの年齢階層で女性の方が高い傾向にある。



1人あたり費用額を国保と被用者保険で比較すると、入院、入院外ではほとんどの年齢階層で国保が高い。



### (3) 疾病統計

#### ① 疾病別医療費（大分類）

##### ア レセプト件数及び費用額

疾病大分類別にみると、レセプト件数、費用額ともに「循環器系の疾患」が最も高い。

次いでレセプト件数では、「歯科」、「内分泌、栄養・代謝疾患」、「筋骨格系・結合組織の疾患」、「眼及び付属器の疾患」、費用額では、「新生物」、「内分泌、栄養・代謝疾患」、「筋骨格系・結合組織の疾患」、「損傷、中毒・他の外因の影響」の順に高い。

「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養・代謝疾患」及び「筋骨格系・結合組織の疾患」は、レセプト件数、費用額ともに上位5疾病に入る。

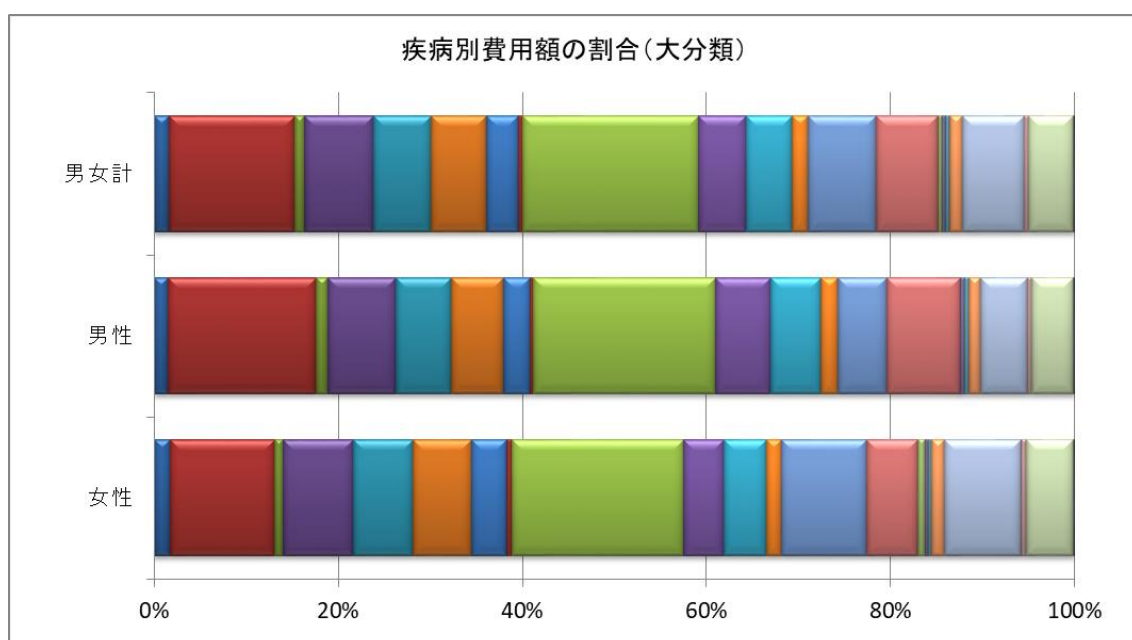
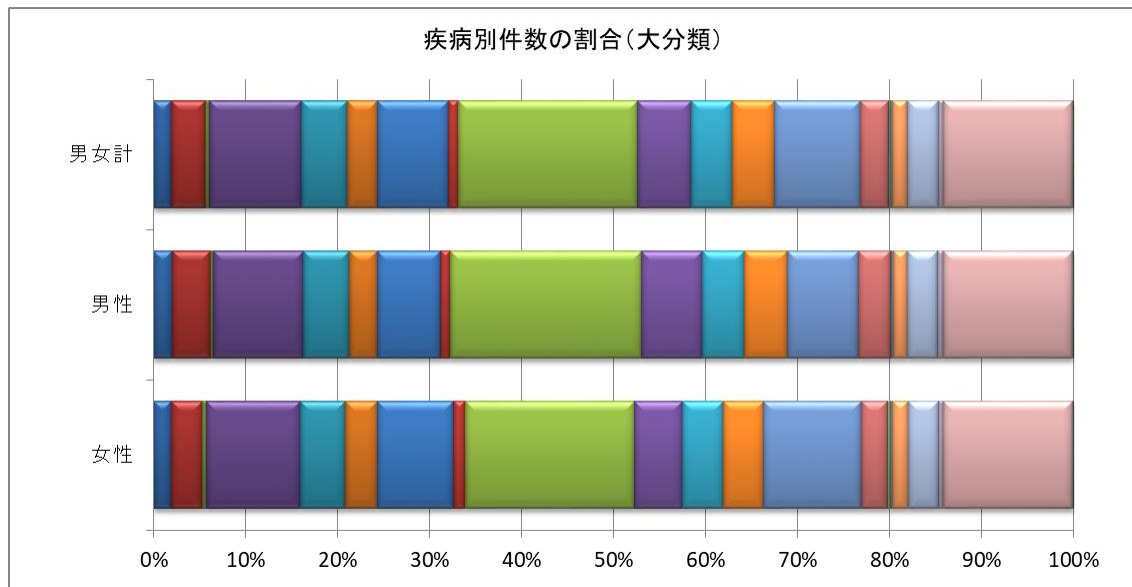
※表中の塗りつぶしは上位5疾病

疾病(大分類)	件数(件)	費用額(円)
感染症・寄生虫症	9,382	304,683,020
新生物<腫瘍>	17,441	2,529,600,048
血液・造血器疾患、免疫機構障害	1,973	206,767,944
内分泌、栄養・代謝疾患	47,480	1,390,715,871
精神・行動の障害	23,348	1,170,484,483
神経系の疾患	15,795	1,112,704,048
眼及び付属器の疾患	36,237	635,210,148
耳・乳様突起の疾患	5,332	82,097,778
循環器系の疾患	92,030	3,562,338,107
呼吸器系の疾患	27,620	956,241,773
消化器系の疾患(歯科を除く)	21,185	932,996,916
皮膚・皮下組織の疾患	21,548	323,946,066
筋骨格系・結合組織の疾患	44,306	1,372,115,952
腎尿路生殖器系の疾患	14,665	1,248,334,906
妊娠、分娩・産じょく	698	76,799,186
周産期に発生した病態	323	75,627,220
先天奇形、変形・染色体異常	947	73,449,104
他に分類されないもの	7,710	255,459,290
損傷、中毒・他の外因の影響	15,609	1,248,697,530
特殊目的用コード	2,727	103,356,426
歯科	66,543	895,830,972
分類不明	703	16,474,276
総計	473,602	18,573,931,064



疾病大分類別件数の割合は、男女ともに「循環器系の疾患」が最も高く、「歯科」が続く。次いで、男性は「内分泌、栄養・代謝疾患」、女性は「筋骨格系・結合組織の疾患」が高い。

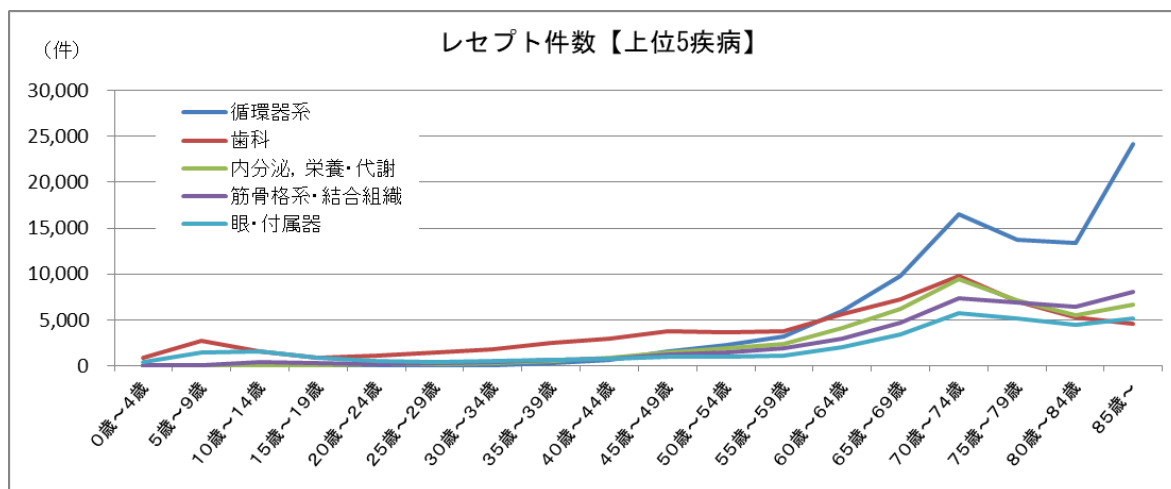
費用額の割合も男女ともに「循環器系の疾患」が最も高く、「新生物」が続く。次いで、男性は「腎尿路生殖器系の疾患」、女性は「筋骨格系・結合組織の疾患」が高い。



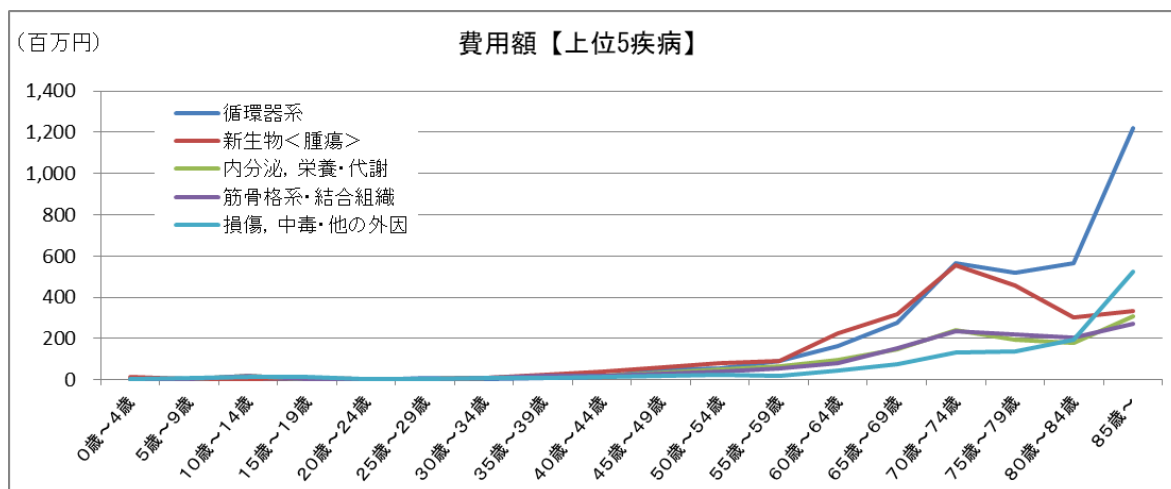
- 感染症・寄生虫症
- 新生物<腫瘍>
- 血液・造血器疾患、免疫機構障害
- 内分泌、栄養・代謝疾患
- 精神・行動の障害
- 神経系の疾患
- 眼及び付属器の疾患
- 耳・乳様突起の疾患
- 循環器系の疾患
- 呼吸器系の疾患
- 消化器系の疾患(歯科を除く)
- 皮膚・皮下組織の疾患
- 筋骨格系・結合組織の疾患
- 腎尿路生殖器系の疾患
- 妊娠、分娩・産じょく
- 周産期に発生した病態
- 先天奇形、変形・染色体異常
- 他に分類されないもの
- 損傷、中毒・他の外因の影響
- 特殊目的用コード
- 歯科
- 分類不明

## イ 上位5疾病に係る年齢階層別レセプト件数及び費用額

レセプト件数上位5疾病を年齢階層別にみると、70～74歳までは増加しているが、以降、減少に転じる傾向がみられる。



費用額上位5疾病のうち、「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養・代謝疾患」、「筋骨格系・結合組織の疾患」及び「損傷、中毒・他の外因の影響」は加齢とともに増加の傾向がみられる。「新生物」は、70歳～74歳が最も高い。



## ウ 疾病別諸率

疾病大分類別にみると、受診率、1人当たり費用額ともに「循環器系の疾患」が最も高い。

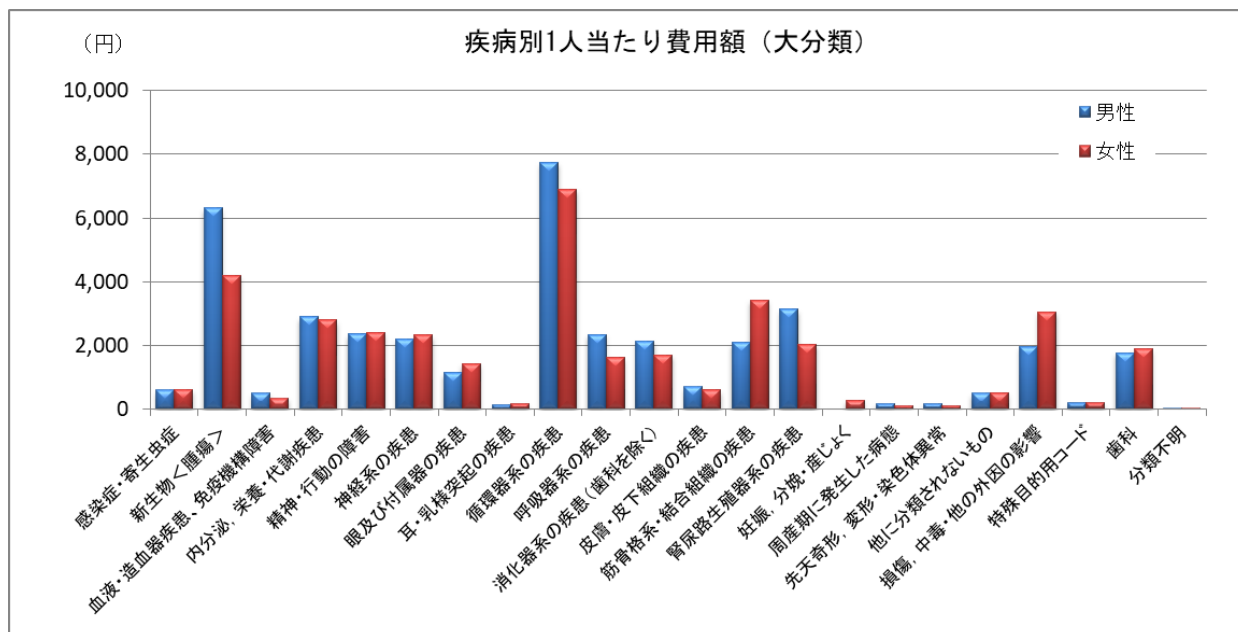
1件当たり費用額は、「周産期に発生した病態」が最も高く、次いで「新生物<腫瘍>」、「血液・造血器疾患、免疫機構障害」、「先天奇形、変形・染色体異常」、「腎尿路生殖器系の疾患」の順に高い。

「新生物<腫瘍>」は、1人当たり費用額、1件当たり費用額ともに上位5疾病に入る。

※表中の塗りつぶしは上位5疾病

疾病(大分類)	受診率 (%)	1件当たり費用額 (円)	1人当たり費用額 (円)
感染症・寄生虫症	1.9	32,475	625
新生物<腫瘍>	3.6	145,038	5,186
血液・造血器疾患、免疫機構障害	0.4	104,799	424
内分泌、栄養・代謝疾患	9.7	29,291	2,851
精神・行動の障害	4.8	50,132	2,399
神経系の疾患	3.2	70,447	2,281
眼及び付属器の疾患	7.4	17,529	1,302
耳・乳様突起の疾患	1.1	15,397	168
循環器系の疾患	18.9	38,708	7,303
呼吸器系の疾患	5.7	34,621	1,960
消化器系の疾患(歯科を除く)	4.3	44,040	1,913
皮膚・皮下組織の疾患	4.4	15,034	664
筋骨格系・結合組織の疾患	9.1	30,969	2,813
腎尿路生殖器系の疾患	3.0	85,123	2,559
妊娠、分娩・産じょく	0.1	110,027	157
周産期に発生した病態	0.1	234,140	155
先天奇形、変形・染色体異常	0.2	77,560	151
他に分類されないもの	1.6	33,134	524
損傷、中毒・他の外因の影響	3.2	79,999	2,560
特殊目的用コード	0.6	37,901	212
歯科	13.6	13,462	1,836
分類不明	0.1	23,434	34
総計	97.1	39,218	38,075

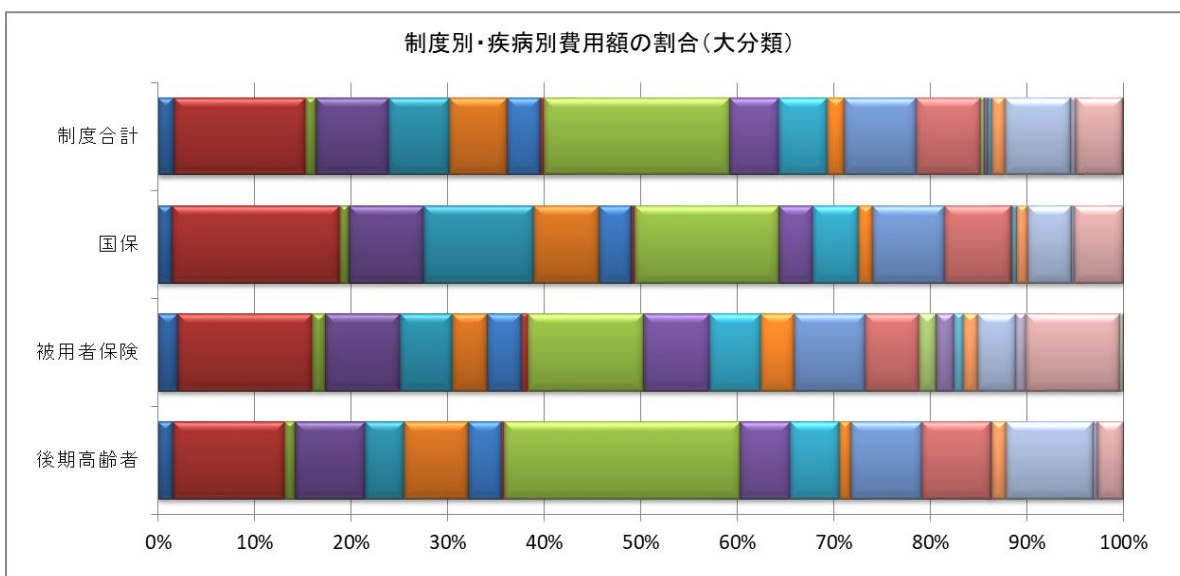
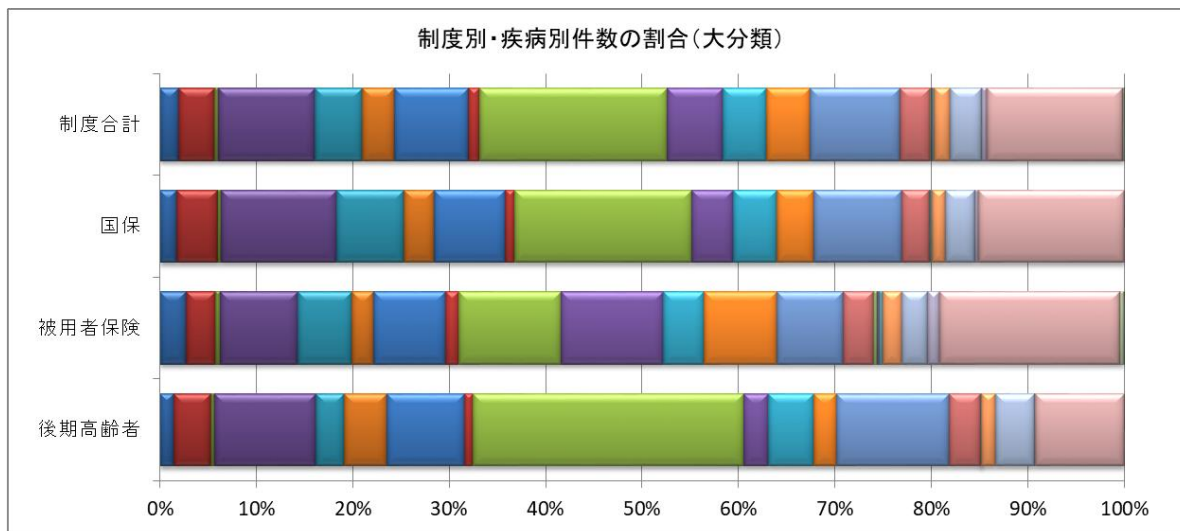
1人あたり費用額を男女別にみると、男女とも「循環器系の疾患」、「新生物」の順で高い。男性では「腎尿路生殖器系の疾患」、女性では「筋骨格系・結合組織の疾患」が続く。



## エ 制度別レセプト件数、費用額及び1人当たり費用額

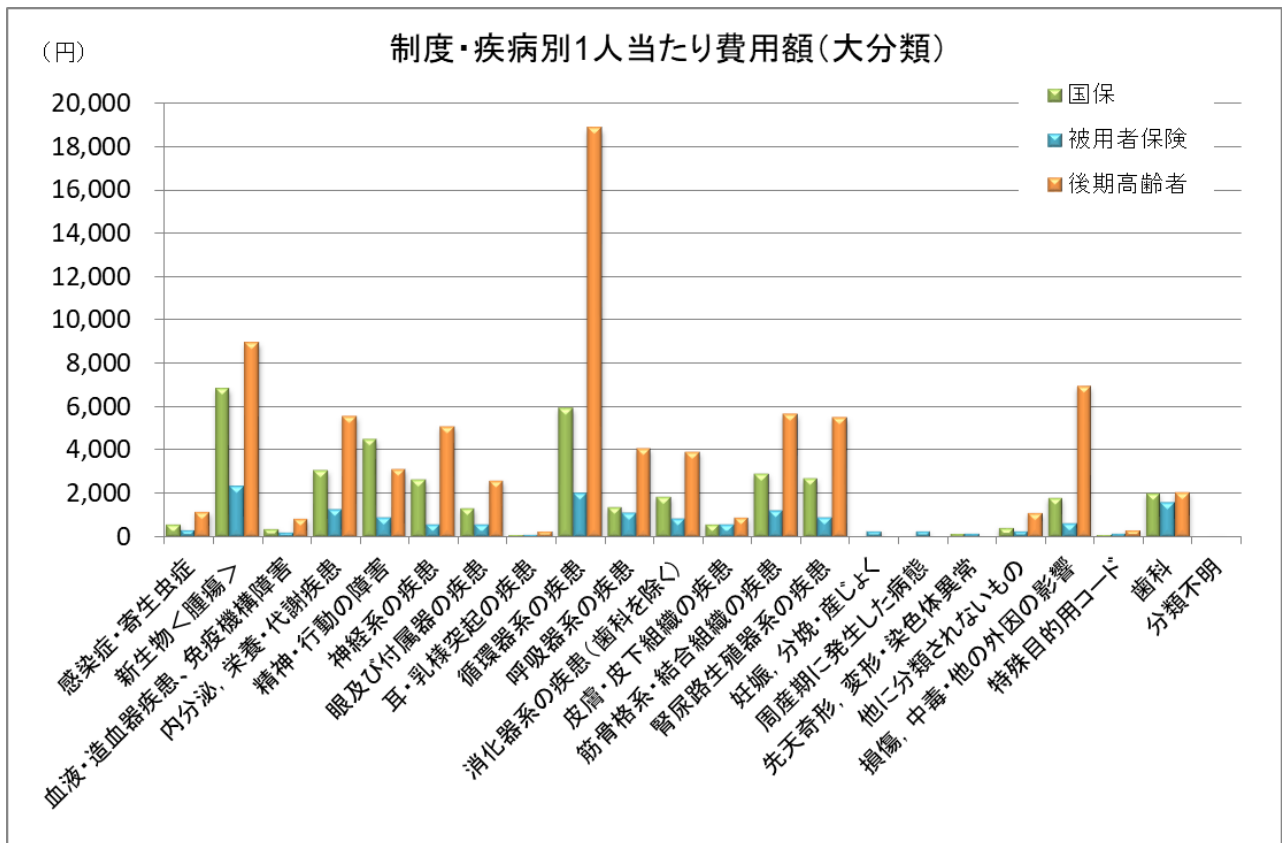
疾病大分類別に占める件数の割合は、国保及び後期高齢者は「循環器系の疾患」が最も高く、被用者保険は「歯科」が最も高い。

費用額は、国保及び被用者保険は「新生物」、後期高齢者は「循環器系の疾患」が最も高い割合を占める。



- 感染症・寄生虫症
- 内分泌、栄養・代謝疾患
- 眼及び付属器の疾患
- 呼吸器系の疾患
- 筋骨格系・結合組織の疾患
- 周産期に発生した病態
- 損傷、中毒・他の外因の影響
- 分類不明
- 新生物<腫瘍>
- 精神・行動の障害
- 耳・乳様突起の疾患
- 消化器系の疾患(歯科を除く)
- 腎尿路生殖器系の疾患
- 先天奇形、変形・染色体異常
- 特殊目的用コード
- 血液・造血器疾患、免疫機構障害
- 神経系の疾患
- 循環器系の疾患
- 皮膚・皮下組織の疾患
- 妊娠、分娩・産じょく
- 他に分類されないもの
- 歯科

1人あたり費用額をみると、「精神・行動の障害」は国保が最も高く、その他の疾病については後期高齢者が最も高い。



## ② 生活習慣病

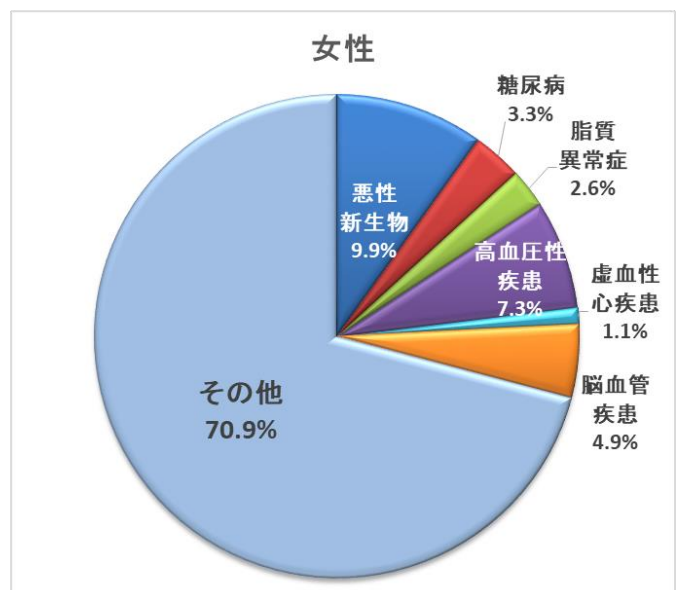
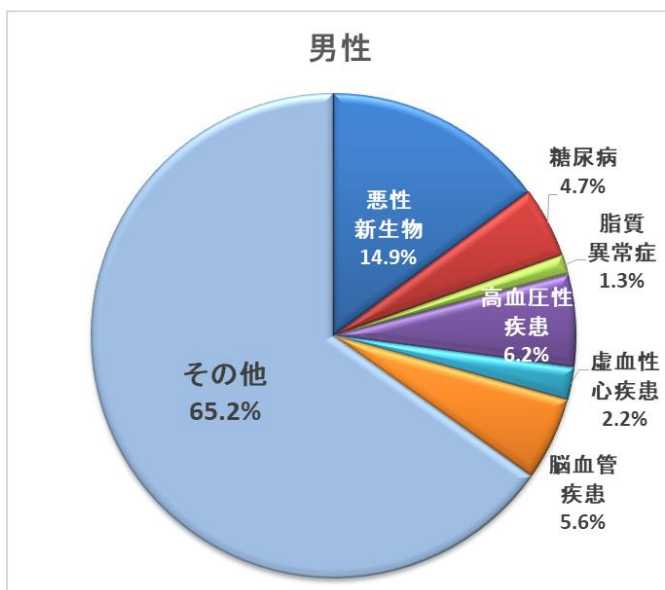
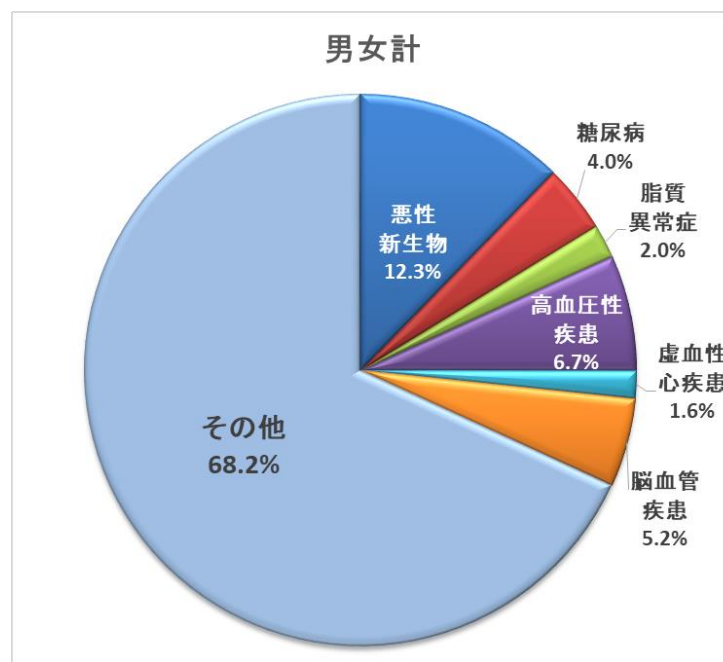
次の疾病分類コード（P3、4 参照）を生活習慣病と定義する。

- 悪性新生物：0201～0210
- 脂質異常症：0403
- 虚血性心疾患：0902
- 糖尿病：0402
- 高血圧性疾患：0901
- 脳血管疾患：0904～0908

### ア 費用額に占める生活習慣病の割合

費用額に占める生活習慣病の割合は、男女計で約 32% である。内訳は、「悪性新生物」が最も高く、「高血圧性疾患」が次いで高い。

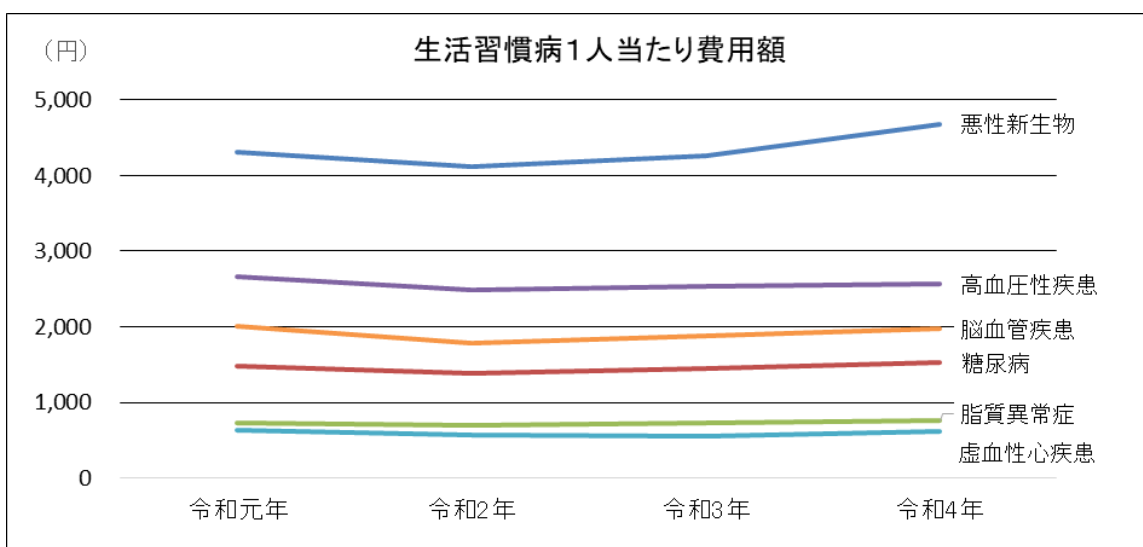
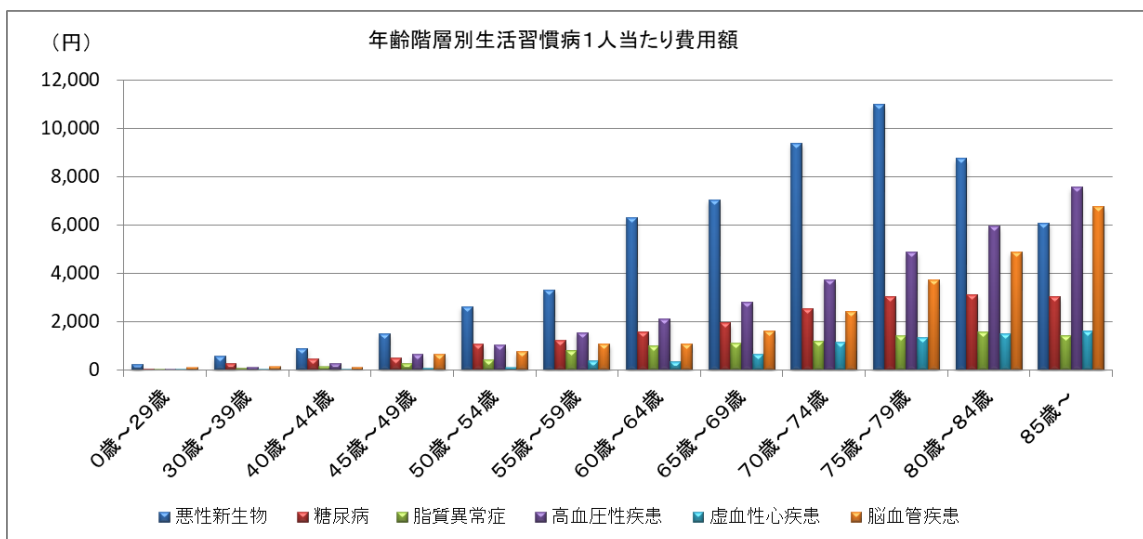
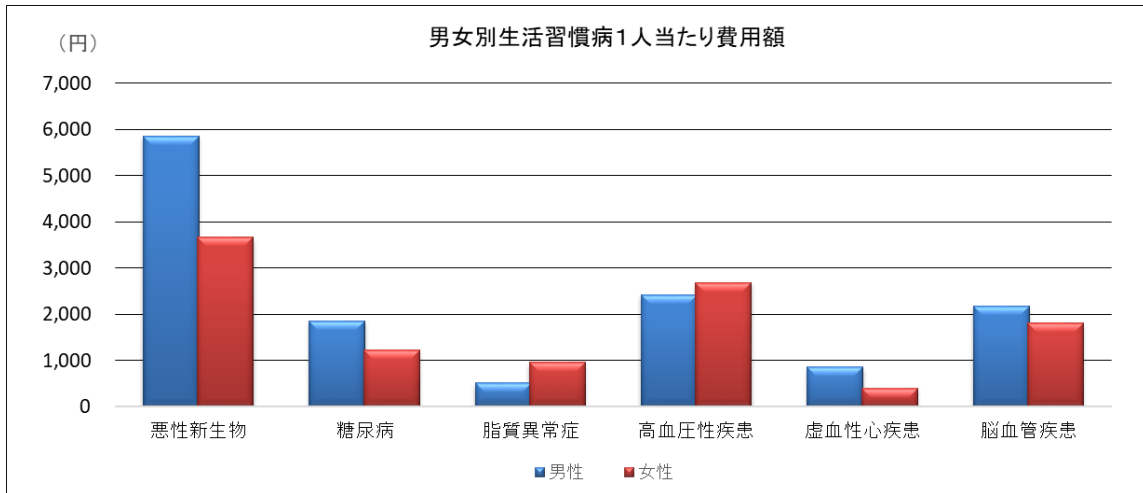
男女別では、男性は約 35%、女性は約 29% を生活習慣病が占めており、男女とも「悪性新生物」が最も高い。



## イ 生活習慣病の1人当たり費用額

1人当たり費用額を男女別に比較すると、「脂質異常症」及び「高血圧性疾患」は女性が高く、その他の疾病については男性が高い。

年齢階層別にみると、「悪性新生物」以外の疾病は加齢とともに増加の傾向がみられるが、「悪性新生物」は75歳～79歳までは増加し、以降減少に転じる。





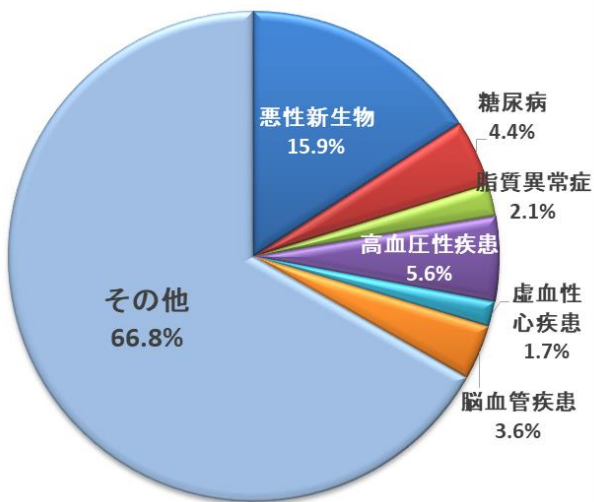
### ウ 制度別生活習慣病の状況

費用額に占める生活習慣病の割合は、国保及び後期高齢者の約 33%に対して、被用者保険は約 26%と低い。

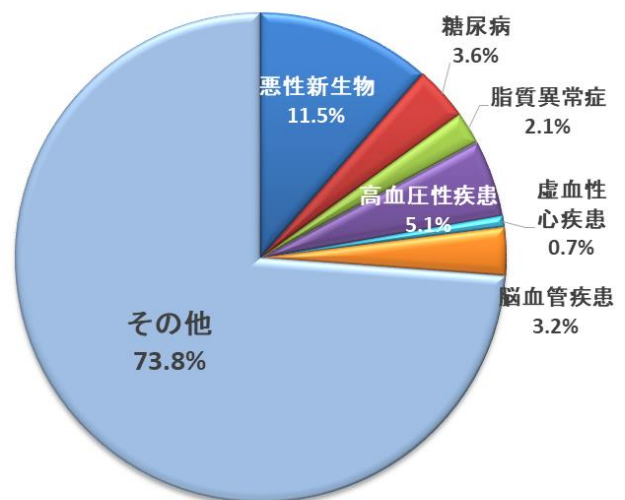
なお、全ての制度において「悪性新生物」が最も高く、次いで「高血圧性疾患」が高い。

また、3番目に高い疾病は、国保及び被用者保険が「糖尿病」、後期高齢者が「脳血管疾患」となっている。

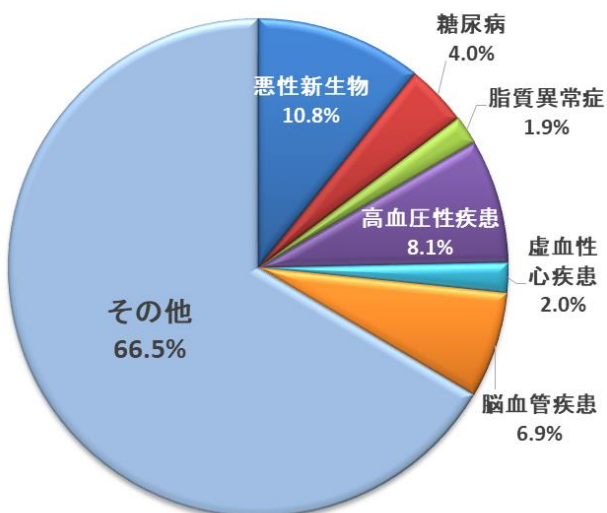
国保



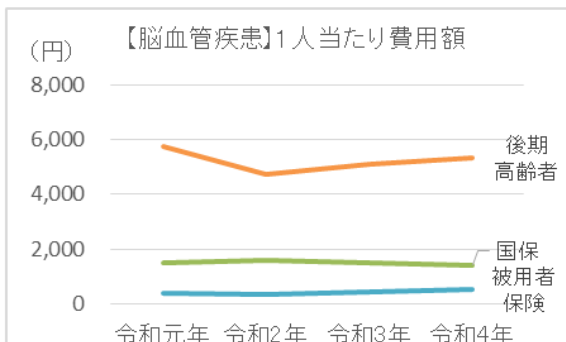
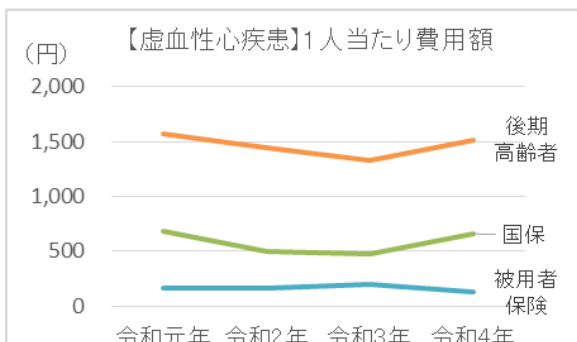
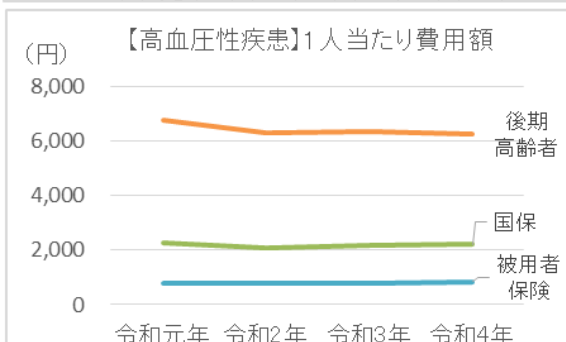
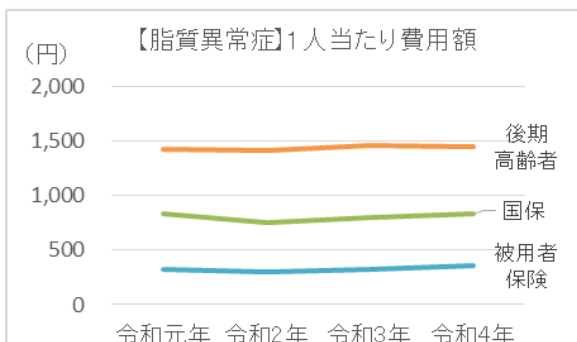
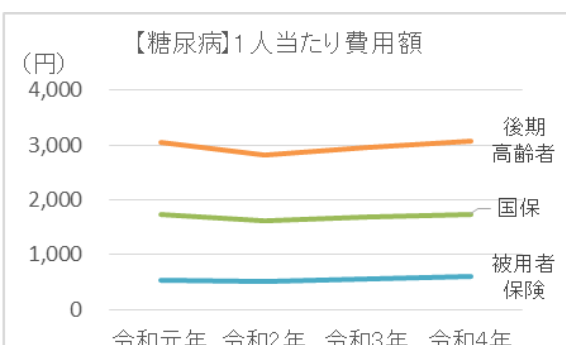
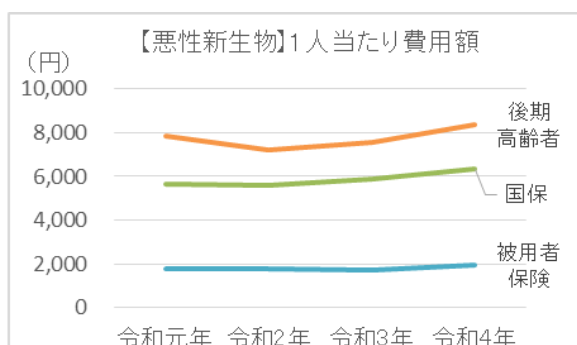
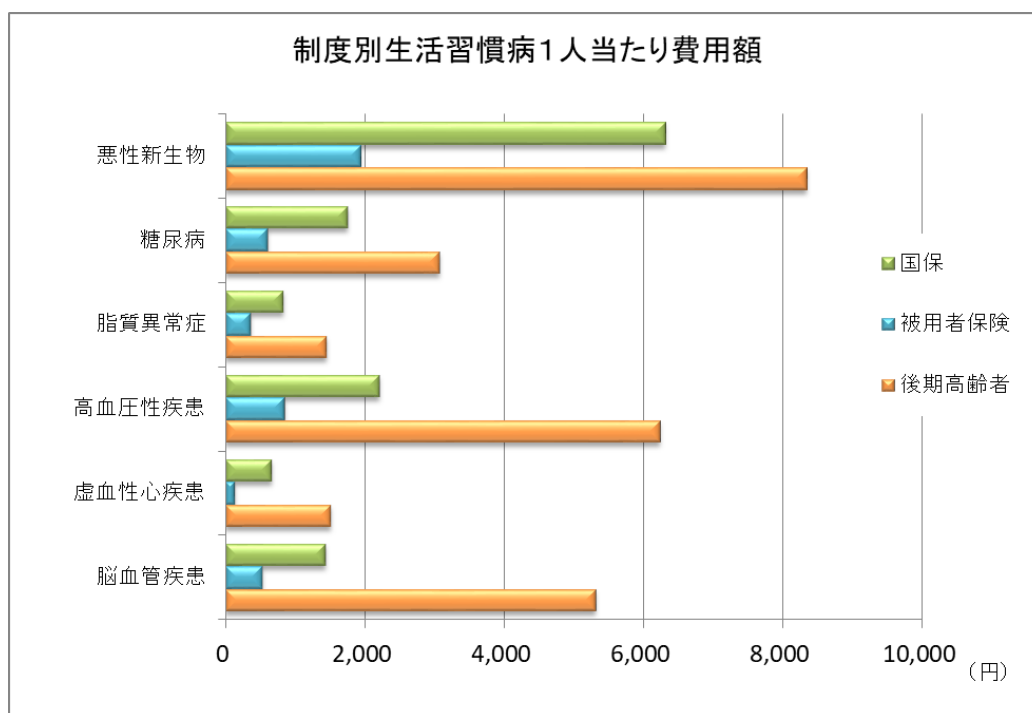
被用者保険



後期高齢者



生活習慣病 1人あたり費用額を制度別にみると、ともに「悪性新生物」が最も高く、「高血圧性疾患」が続く。



### ③ 疾病別医療費（中分類）

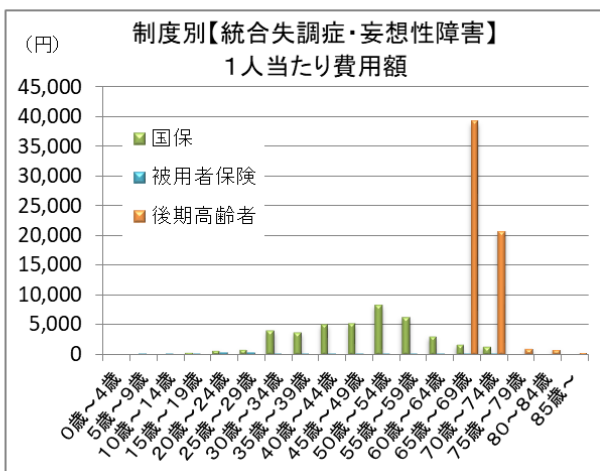
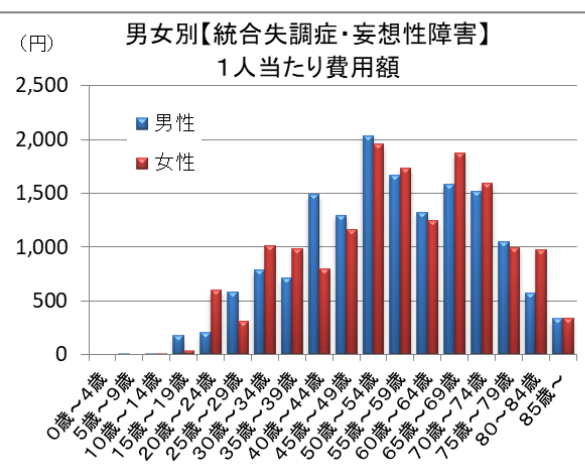
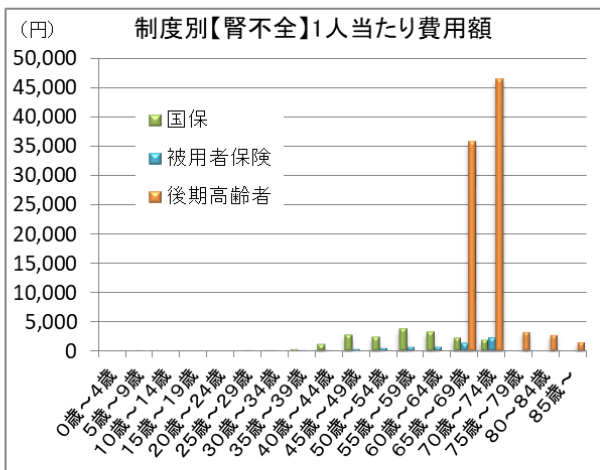
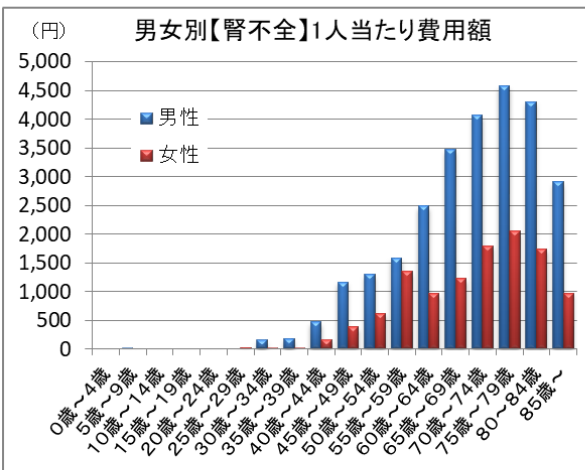
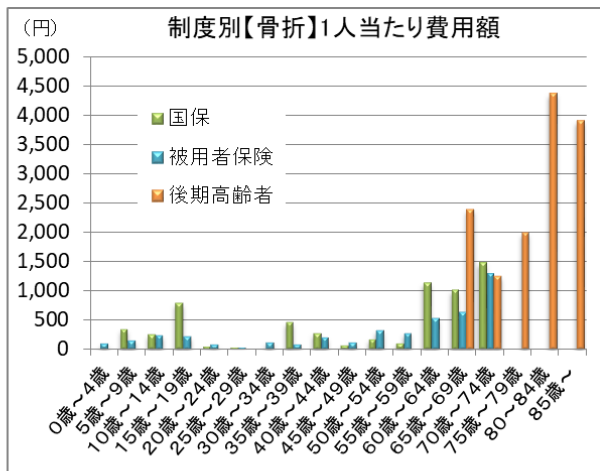
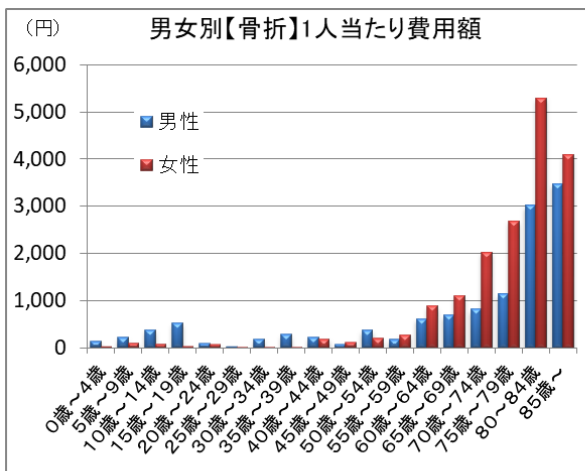
疾病中分類別に1人当たり費用額の上位10疾病をみると、男女合計（制度合計）で「高血圧性疾患」が最も高く、「他の悪性新生物＜腫瘍＞」が続く。男女別にみると、男性は「他の悪性新生物＜腫瘍＞」、女性は「高血圧性疾患」が最も高い。

制度別にみると、国保は「統合失調症、妄想性障害」、被用者保険は「歯科」、後期高齢者は「高血圧性疾患」が最も高い。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
男女合計 (制度合計)	高血圧性疾患	他の悪性新生物 ＜腫瘍＞	歯科	骨折	他の心疾患	糖尿病	腎不全	脳梗塞	他の消化器系	統合失調症, 妄想性障害
男性	他の悪性新生物 ＜腫瘍＞	高血圧性疾患	腎不全	糖尿病	歯科	他の心疾患	脳梗塞	他の消化器系	統合失調症, 妄想性障害	骨折
女性	高血圧性疾患	骨折	歯科	他の心疾患	糖尿病	他の悪性新生物 ＜腫瘍＞	脳梗塞	統合失調症, 妄想性障害	腎不全	他の消化器系
国保	統合失調症, 妄想性障害	他の悪性新生物 ＜腫瘍＞	高血圧性疾患	歯科	腎不全	糖尿病	他の神経系	他の心疾患	他の消化器系	骨折
被用者保険	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物 ＜腫瘍＞	糖尿病	他の消化器系	良性新生物・他の新生物 ＜腫瘍＞	他の神経系	腎不全	他の心疾患	脂質異常症
後期高齢者	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	脳梗塞	他の悪性新生物 ＜腫瘍＞	腎不全	糖尿病	他の消化器系	アルツハイマー病	他の呼吸器系

男女合計（制度合計）の上位10疾病のうち、「骨折」、「腎不全」、「統合失調症・妄想性障害」の状況をみると、「骨折」は55歳以上で女性が高く「腎不全」はほとんどの年齢階層で男性が高い。「統合失調症・妄想性障害」は、男女とも50～54歳で最も高くなっている。

制度別にみると、「腎不全」及び「統合失調症・妄想性障害」は、国保が被用者保険より高い。



## 2 市町村別の状況

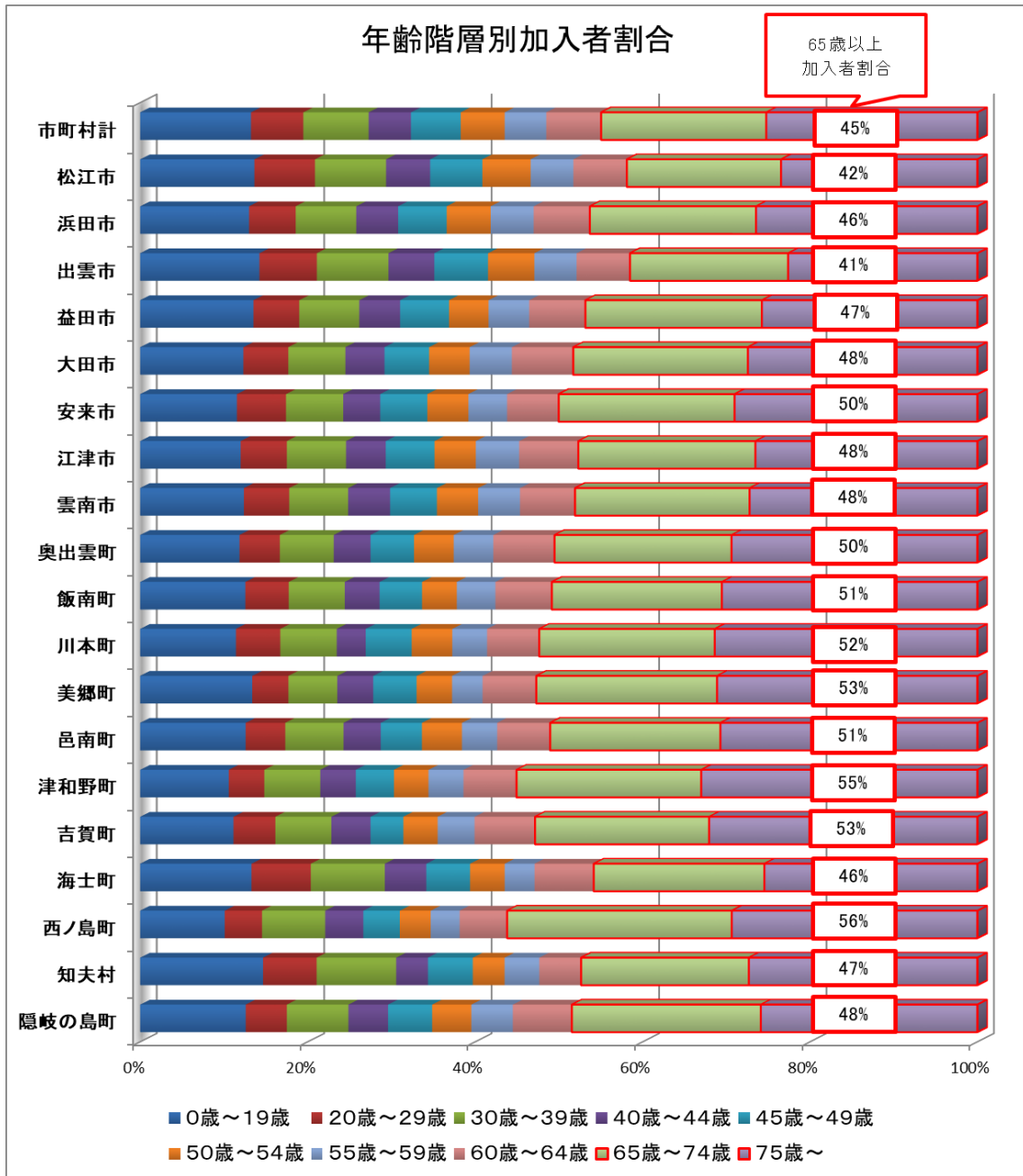
※市町村別の状況には、島根県医師国民健康保険組合のデータを含まないため、市町村計と前章の制度別の合計とは一致しない。

### (1) 加入者数、レセプト件数、費用額

	加入者数(人)	件数(件)	費用額(円)
松江市	133,952	134,057	4,881,443,740
浜田市	39,716	39,718	1,561,861,841
出雲市	120,725	116,097	4,569,138,044
益田市	35,679	35,537	1,371,536,844
大田市	26,777	26,632	1,099,914,680
安来市	26,034	25,189	1,063,917,630
江津市	17,885	16,586	714,742,648
雲南市	29,018	28,188	1,109,092,023
奥出雲町	10,152	9,331	367,531,791
飯南町	4,014	3,858	167,505,698
川本町	2,624	2,277	142,431,163
美郷町	3,780	3,894	155,485,414
邑南町	8,611	7,998	304,974,981
津和野町	6,147	6,289	276,378,705
吉賀町	4,827	4,737	212,495,540
海士町	1,934	1,495	72,706,197
西ノ島町	2,199	1,706	91,440,437
知夫村	579	436	16,358,440
隠岐の島町	11,260	8,357	364,029,948
市町村計	485,913	472,382	18,542,985,764

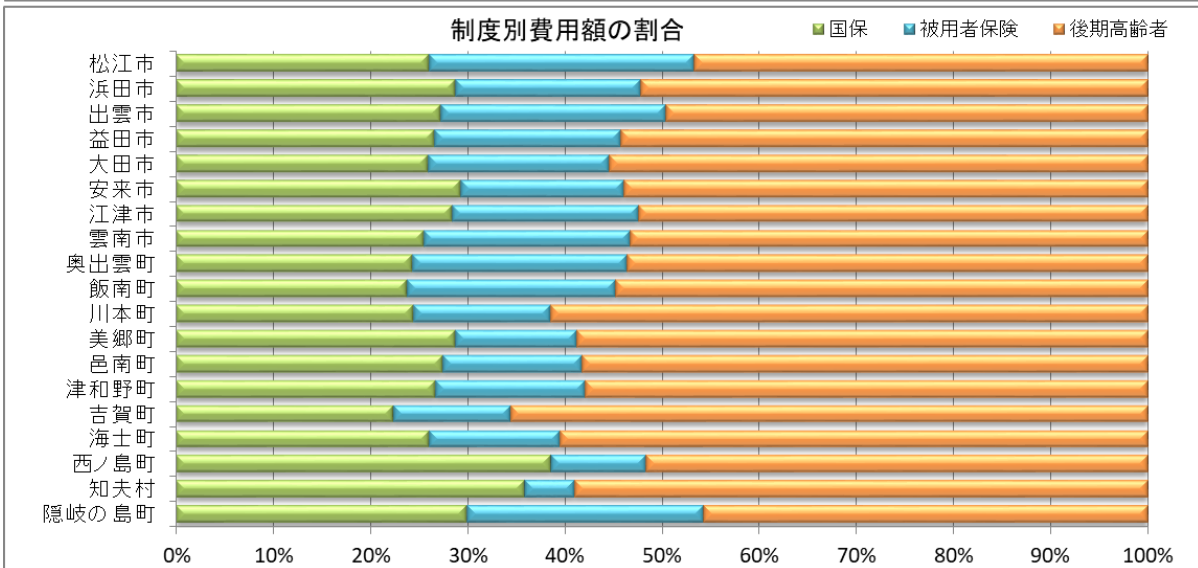
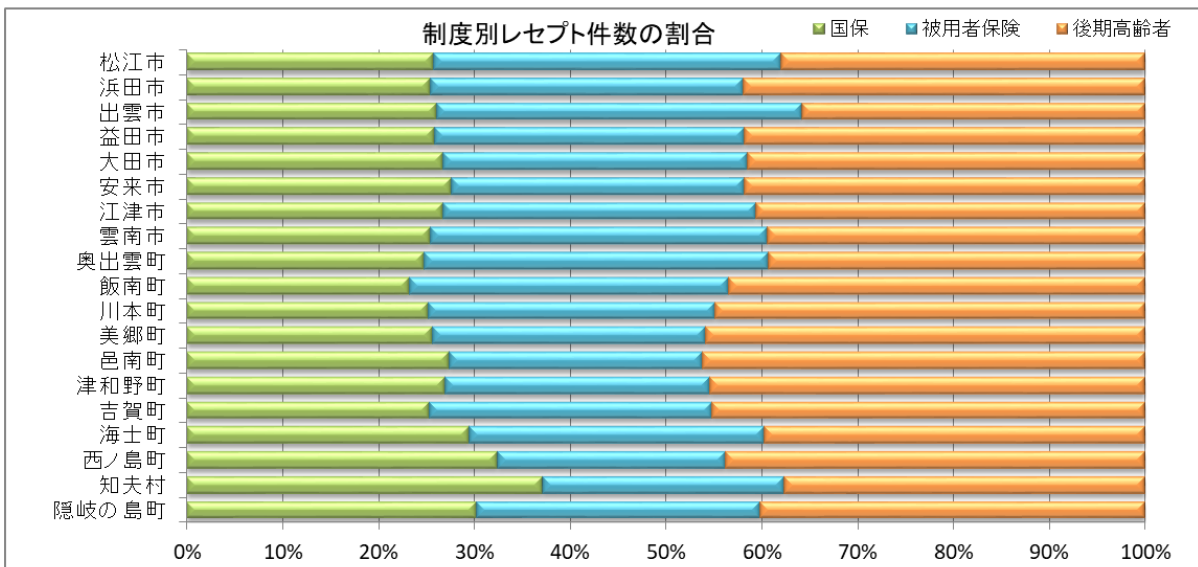
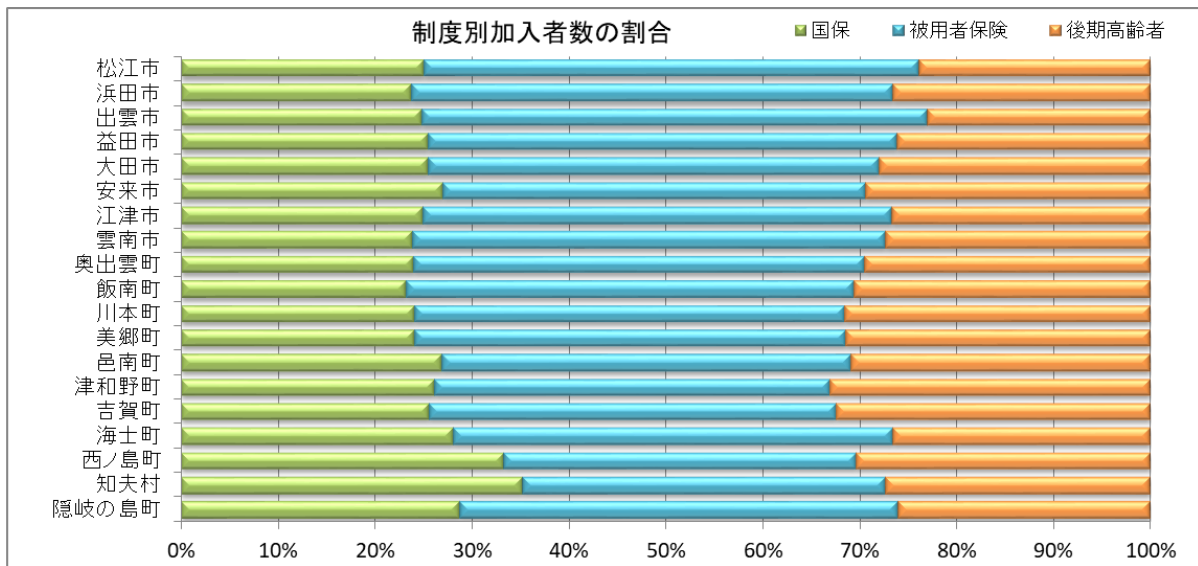
### ①年齢階層別加入者割合

65歳以上の加入者割合は、市町村計で45%を占める。市町村別にみると西ノ島町が最も高く56%。安来市、奥出雲町、飯南町、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町及び西ノ島町の9市町村が、50%を超えている。



## ②制度別加入者数の割合・レセプト件数の割合・費用額の割合

被用者保険は、加入者数の割合は高いが費用額の割合は低い。  
 後期高齢者は加入者数の割合と比較し、費用額の割合は高い。



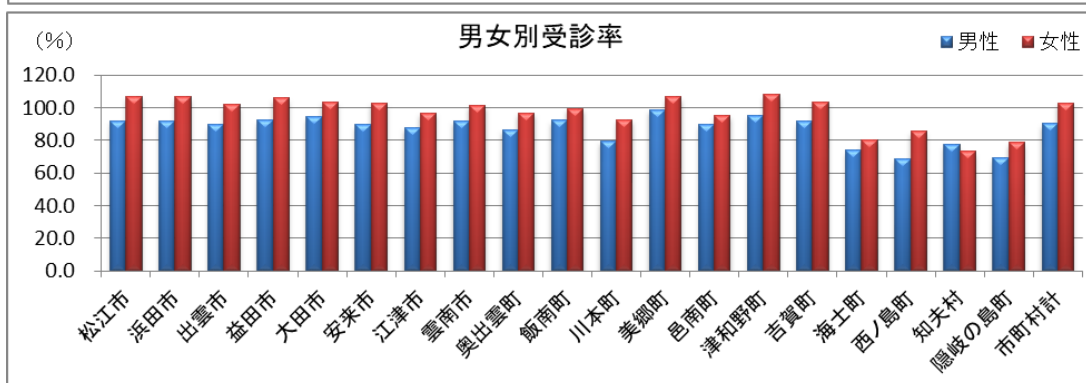
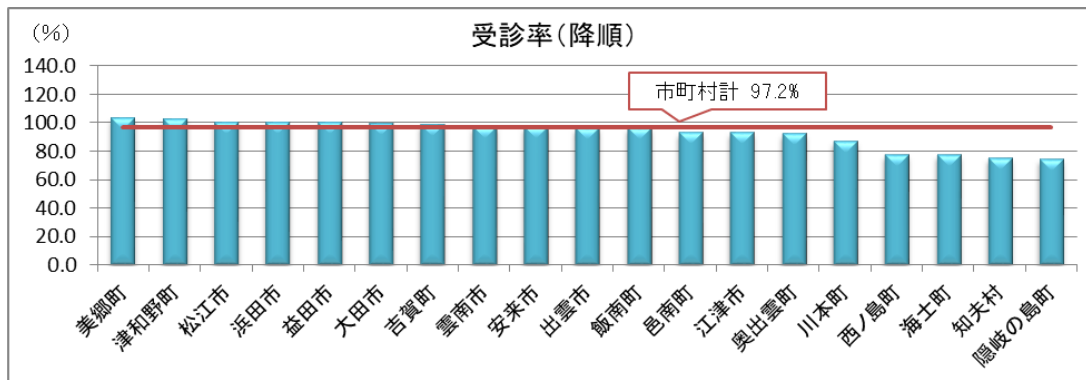
(2) 医療費諸率

	受診率 (%)	1件当たり 費用額(円)	1人当たり費用額(円)			
			入院	入院外	歯科	
松江市	100.1	36,413	36,442	17,114	17,178	2,150
浜田市	100.0	39,324	39,326	18,031	19,405	1,891
出雲市	96.2	39,356	37,847	18,114	18,003	1,730
益田市	99.6	38,595	38,441	19,196	17,259	1,986
大田市	99.5	41,300	41,077	18,917	20,531	1,629
安来市	96.8	42,237	40,866	21,357	17,836	1,674
江津市	92.7	43,093	39,963	19,195	19,390	1,378
雲南市	97.1	39,346	38,221	19,210	17,246	1,765
奥出雲町	91.9	39,388	36,203	15,623	19,217	1,363
飯南町	96.1	43,418	41,730	19,965	19,391	2,375
川本町	86.8	62,552	54,280	31,045	21,772	1,463
美郷町	103.0	39,929	41,134	19,976	19,556	1,602
邑南町	92.9	38,131	35,417	18,345	15,629	1,443
津和野町	102.3	43,946	44,962	23,475	19,647	1,840
吉賀町	98.1	44,859	44,022	25,174	17,147	1,701
海士町	77.3	48,633	37,594	19,414	16,362	1,817
西ノ島町	77.6	53,599	41,583	24,316	15,669	1,597
知夫村	75.3	37,519	28,253	14,412	12,160	1,681
隠岐の島町	74.2	43,560	32,329	15,015	16,136	1,178
市町村計	97.2	39,254	38,161	18,381	17,944	1,837



### ① 受診率

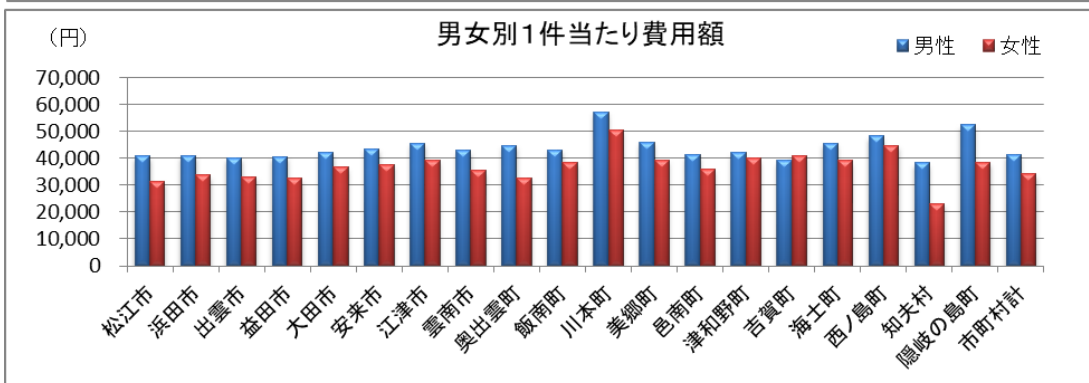
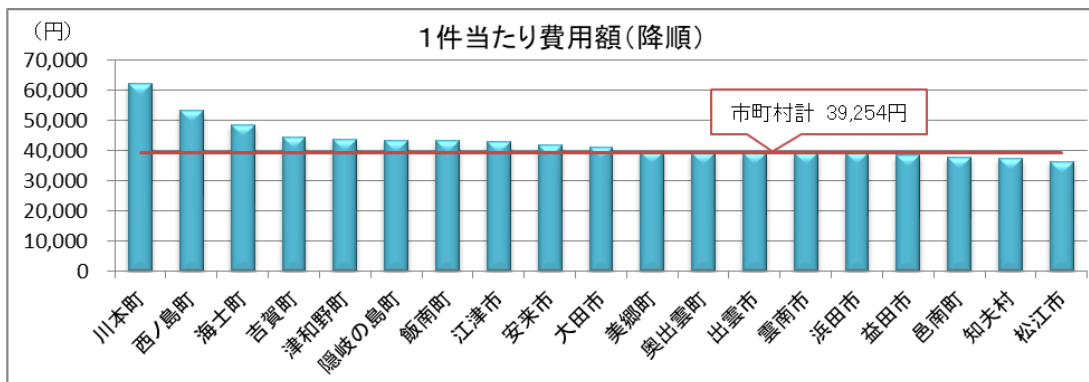
受診率は、市町村計で97.2%である。市町村別では、美郷町が最も高い。男女別にみると、全ての市町村で女性が高い。



### ② 1件当たり費用額

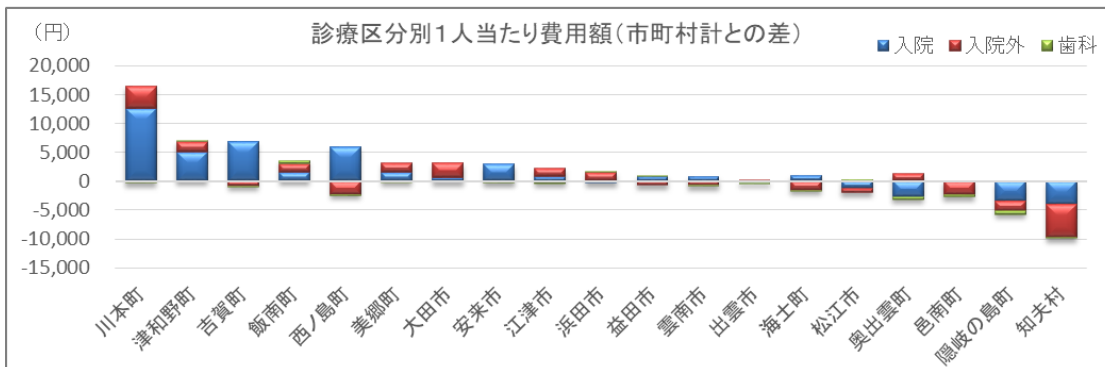
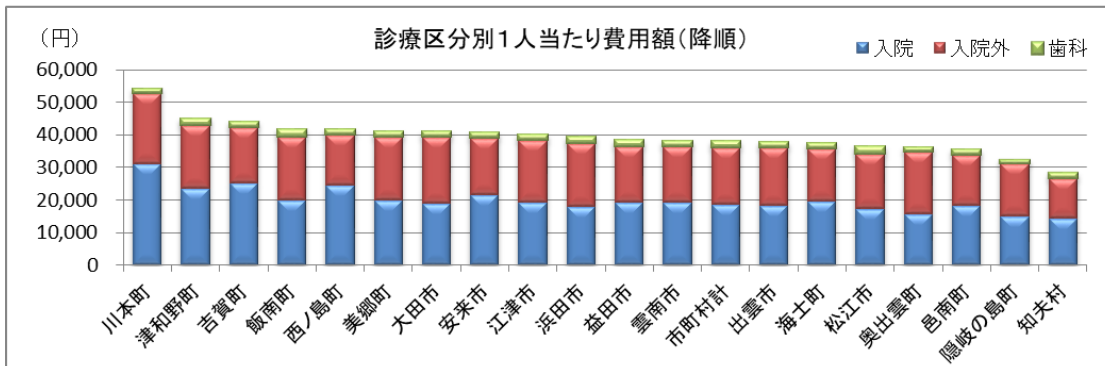
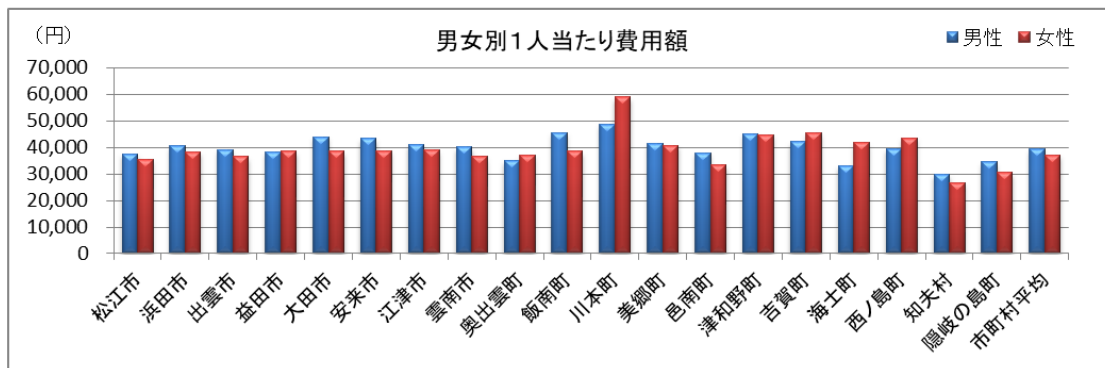
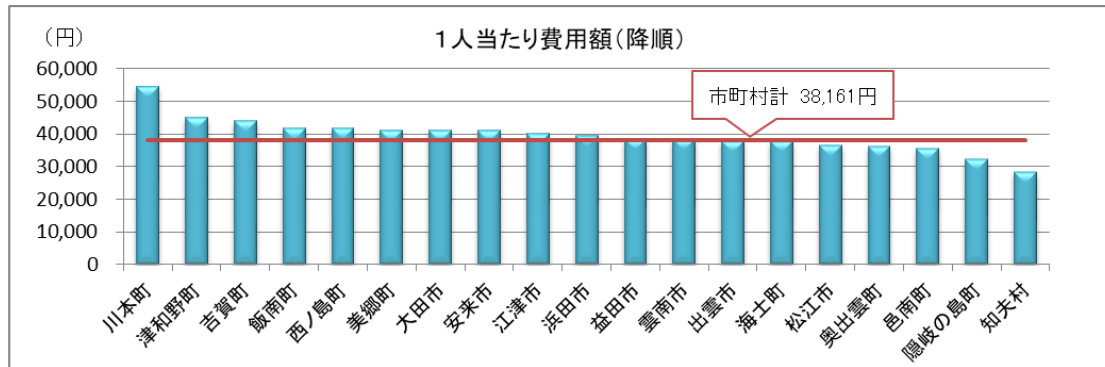
1件当たり費用額は、市町村計で39,254円である。市町村別では、川本町が最も高い。

男女別にみると、吉賀町を除く全ての市町村で男性が高い。



### ③ 1人当たり費用額

1人当たり費用額は、市町村計で38,161円である。市町村別にみると、川本町が最も高い。

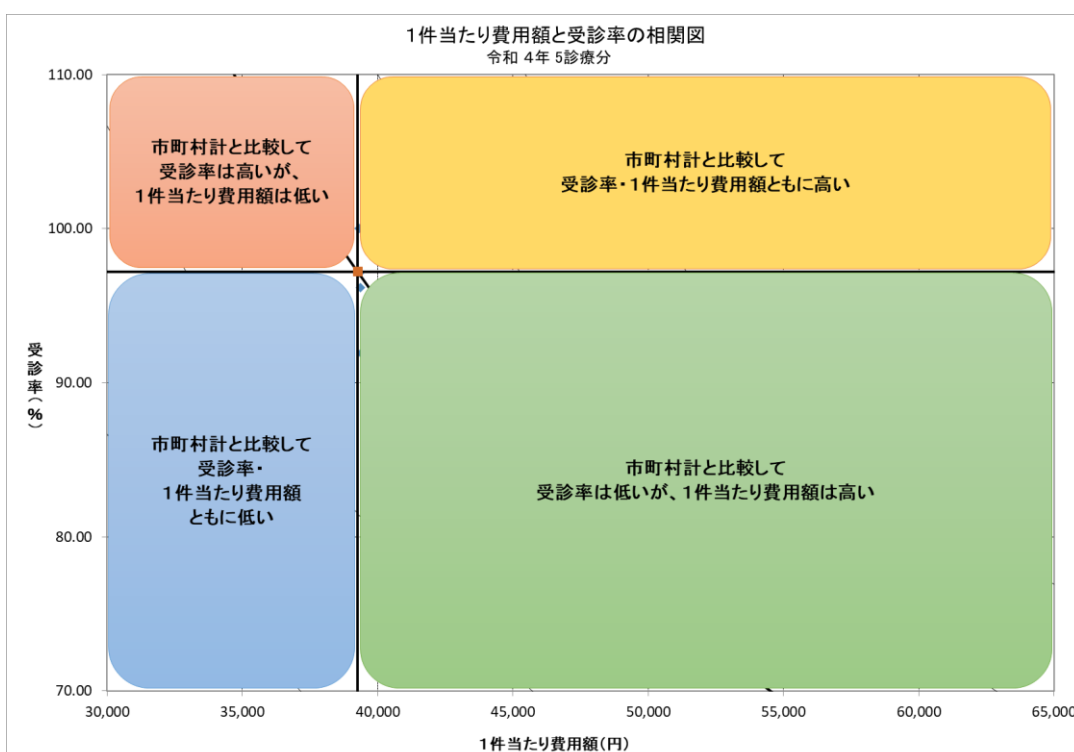
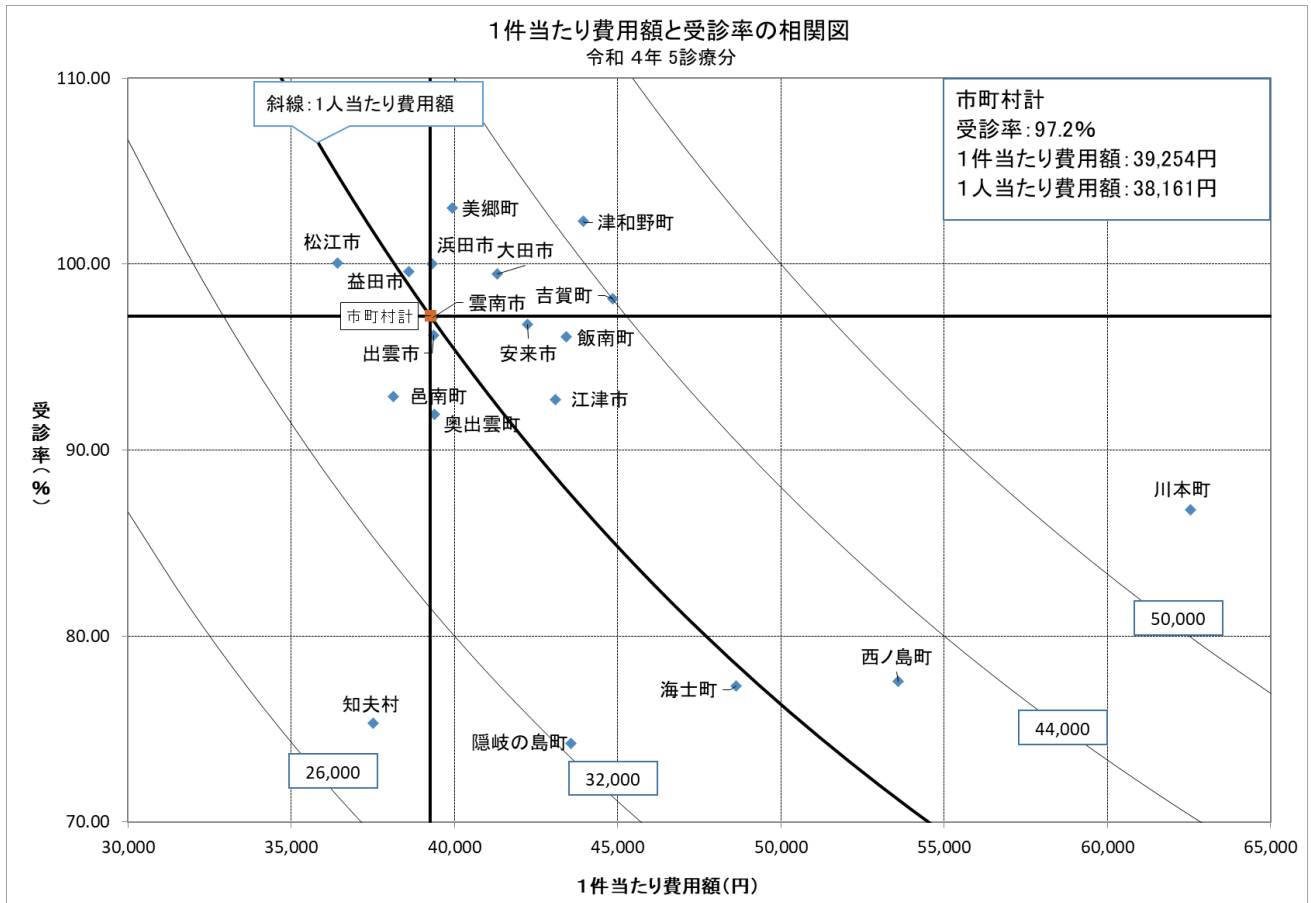


#### ④ 1件当たり費用額と受診率の関係

受診率を縦軸に、1件当たり費用額を横軸にして相関をみた。

川本町は、受診率は市町村計より低いものの1件当たり費用額が高いため、1人当たり費用額が最も高くなっている。

一方で、1人当たり費用額が最も低い知夫村は、受診率及び1件当たり費用額ともに市町村計より低い。



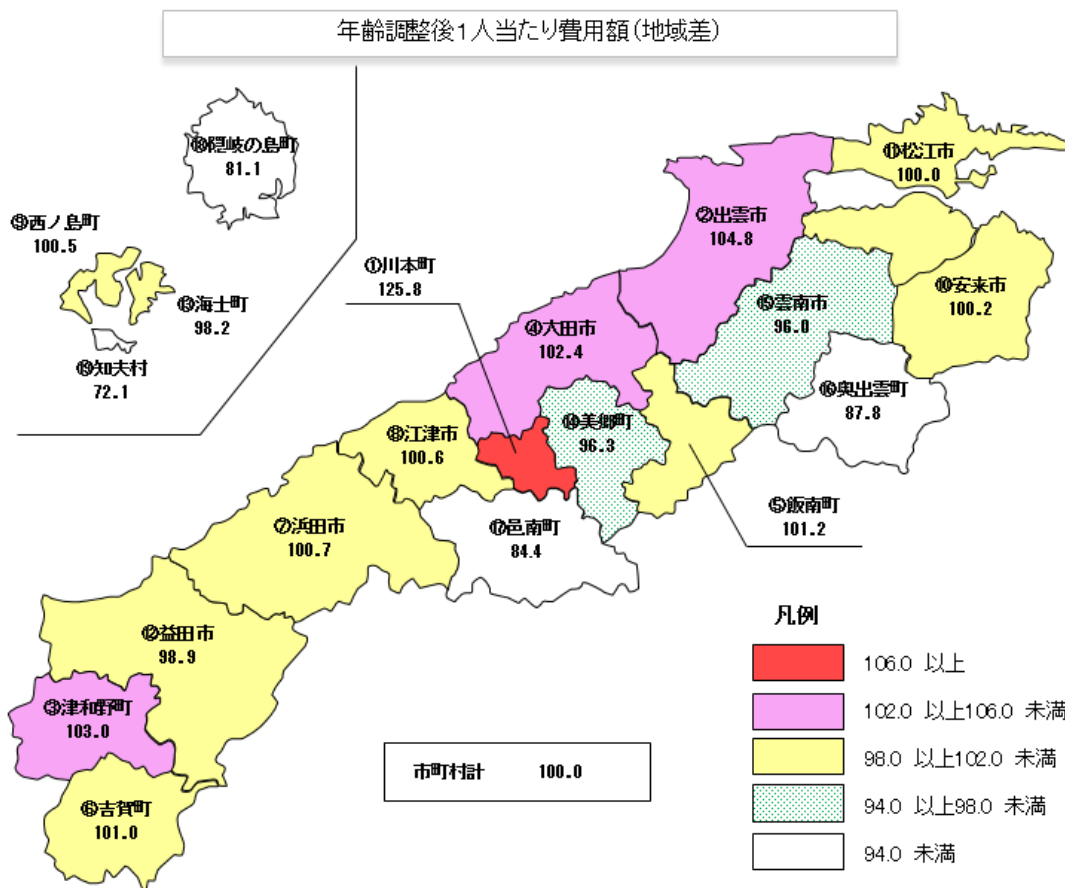
### ⑤ 年齢調整1人当たり費用額

1人当たり費用額は、加入者の年齢構成が影響すると考えられることから、直接法による年齢調整を行ったうえで、市町村計を100として比較を行った。

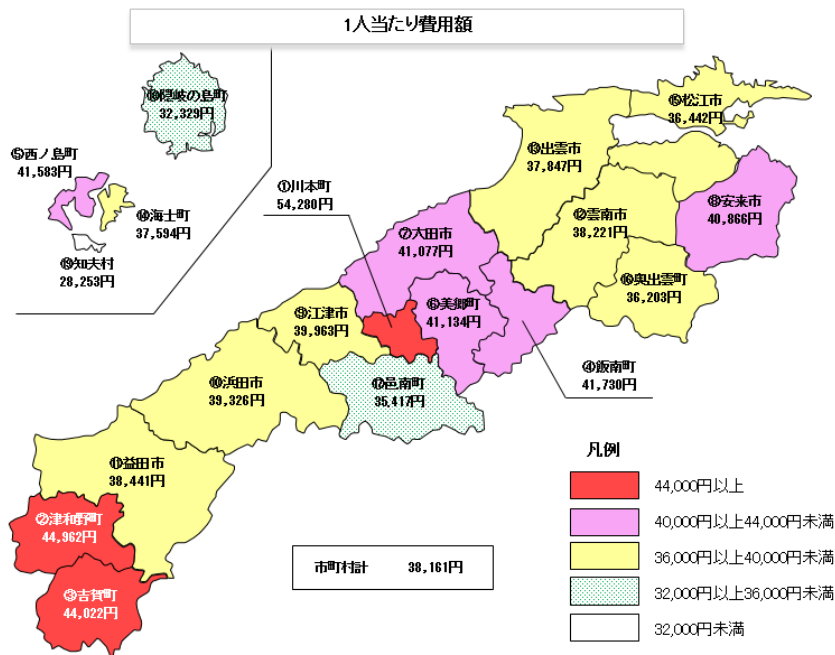
#### 直接法による年齢調整1人当たり費用額

…各市町村の加入者の年齢構成を、県平均の年齢構成に置き換えて算出

$$= \Sigma(\text{市町村別年齢階層別1人当たり費用額} \times \text{年齢階層別基準人口}) / \text{市町村計加入者}$$



#### <参考>

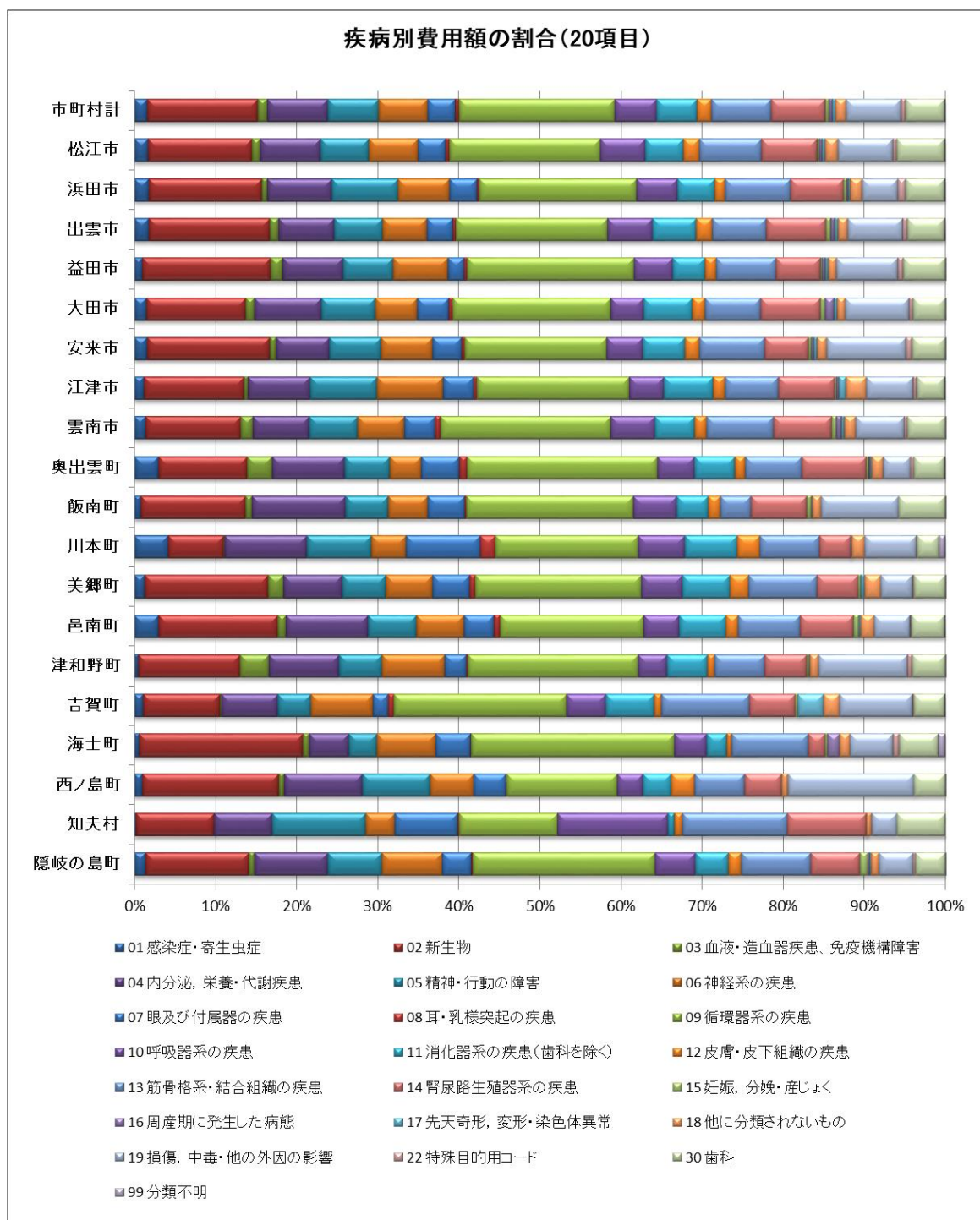


市町村名	1人当たり費用額(円)	調整後1人当たり費用額(円)
松江市	36,442	38,160
浜田市	39,326	38,417
出雲市	37,847	39,979
益田市	38,441	37,732
大田市	41,077	39,086
安来市	40,866	38,229
江津市	39,963	38,388
雲南市	38,221	36,648
奥出雲町	36,203	33,491
飯南町	41,730	38,621
川本町	54,280	48,025
美郷町	41,134	36,759
邑南町	35,417	32,213
津和野町	44,962	39,290
吉賀町	44,022	38,543
海士町	37,594	37,463
西ノ島町	41,583	38,338
知夫村	28,253	27,515
隠岐の島町	32,329	30,951
市町村計	38,161	38,161

### (3) 疾病統計

#### ① 疾病別医療費（大分類）

疾病大分類別費用額の割合をみると、西ノ島町及び知夫村を除く市町村で「循環器系の疾患」が最も高い。



## ② 生活習慣病

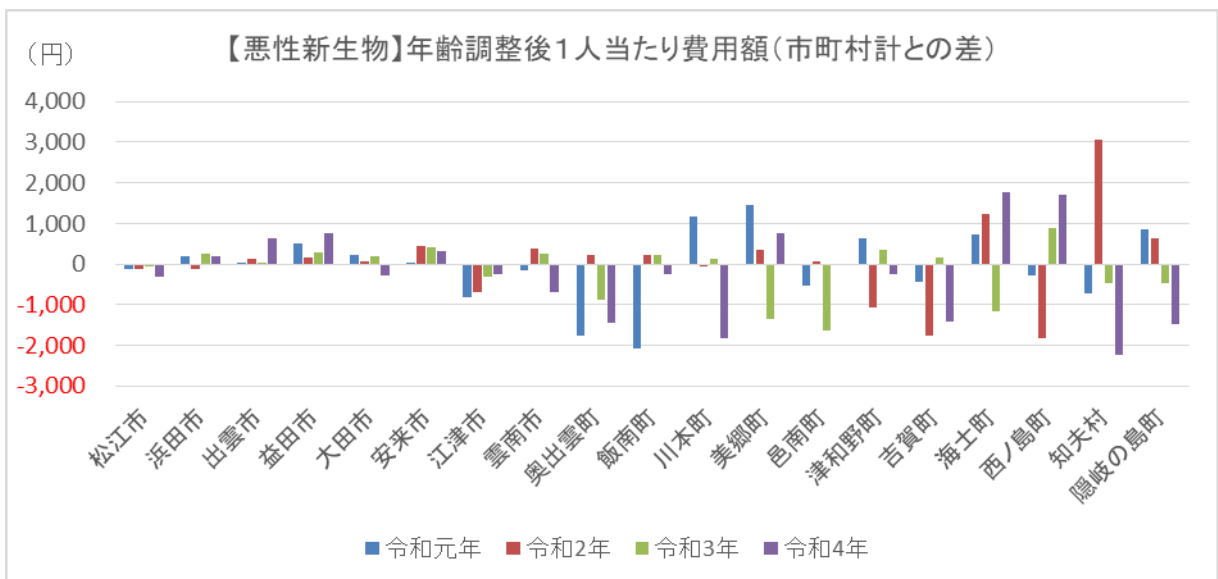
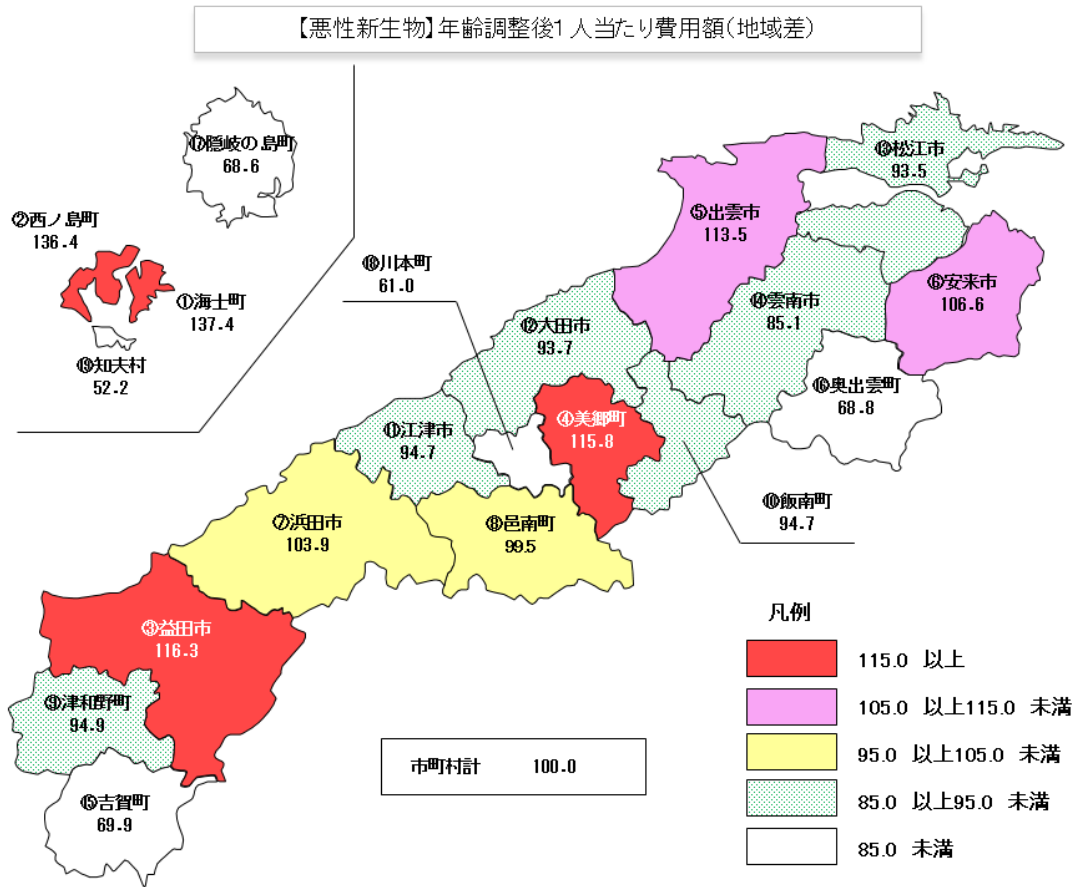
生活習慣病に係る1人当たり費用額を年齢調整し、市町村別に比較した。

※表中の塗りつぶしは上位5市町村

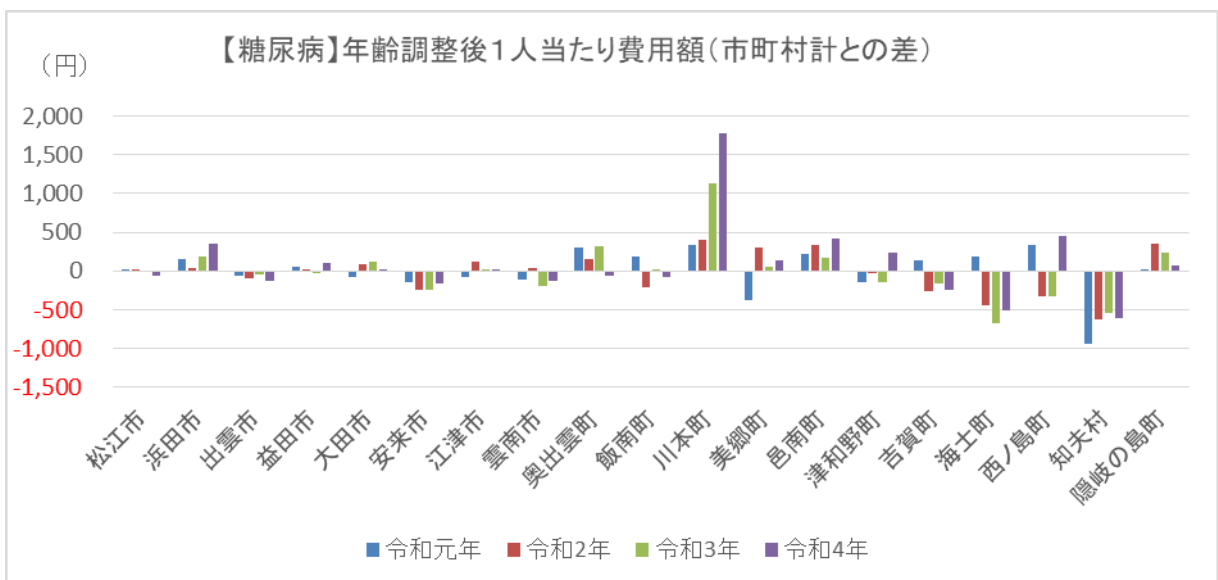
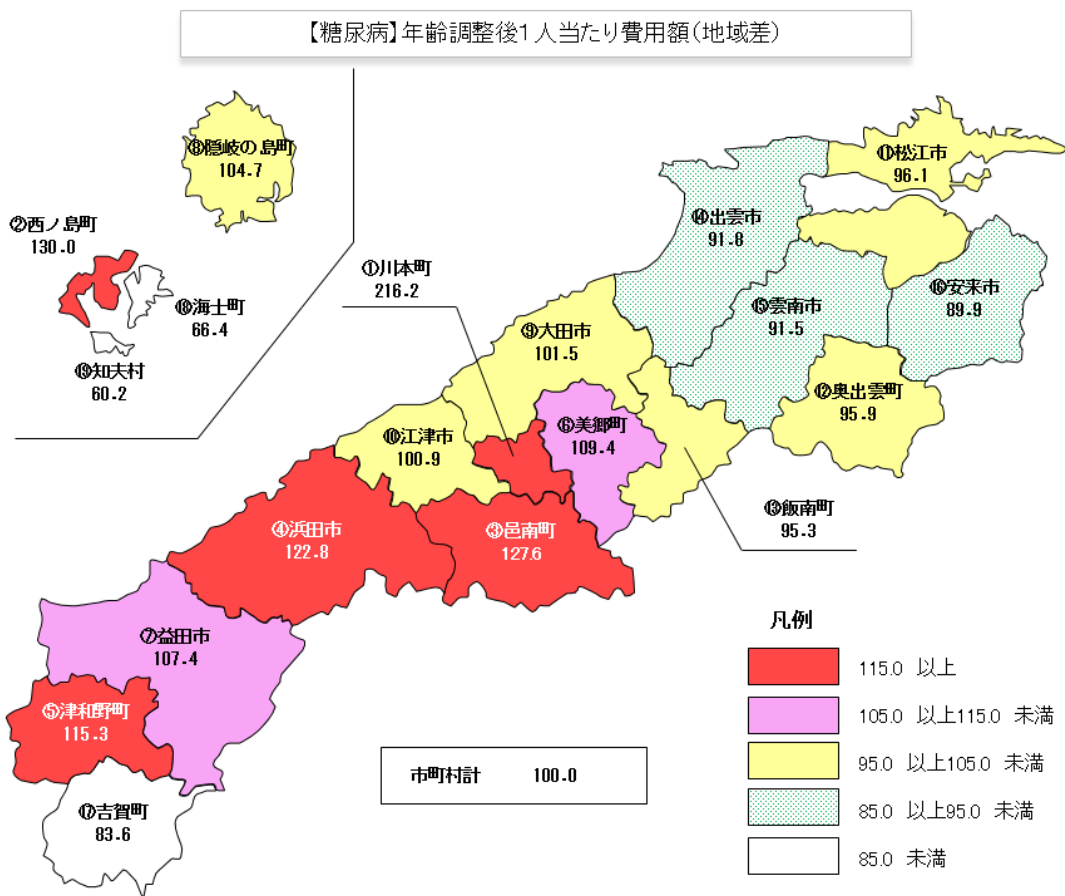
(円)

市町村	悪性 新生物	糖尿病	脂質 異常症	高血圧性 疾患	虚血性 心疾患	脳血管 疾患
松江市	4,386	1,466	703	2,404	677	1,724
浜田市	4,875	1,874	715	3,437	315	1,737
出雲市	5,326	1,401	761	2,443	570	2,508
益田市	5,458	1,638	711	2,275	755	2,899
大田市	4,396	1,548	1,063	2,958	866	1,604
安来市	5,001	1,372	543	2,091	589	1,895
江津市	4,442	1,539	766	2,989	569	1,590
雲南市	3,991	1,396	683	2,634	518	1,764
奥出雲町	3,228	1,463	1,146	4,005	384	1,382
飯南町	4,443	1,453	1,303	2,921	240	2,665
川本町	2,863	3,298	703	1,524	1,146	4,143
美郷町	5,436	1,669	711	2,451	896	732
邑南町	4,670	1,946	762	1,728	864	1,245
津和野町	4,454	1,759	1,202	3,283	703	1,967
吉賀町	3,281	1,275	617	2,354	486	2,302
海士町	6,446	1,013	614	3,518	194	935
西ノ島町	6,399	1,983	1,325	2,559	532	1,430
知夫村	2,448	919	847	2,203	289	57
隠岐の島町	3,221	1,597	604	2,311	818	1,578
市町村計	4,692	1,526	755	2,576	618	1,989

## ア 悪性新生物

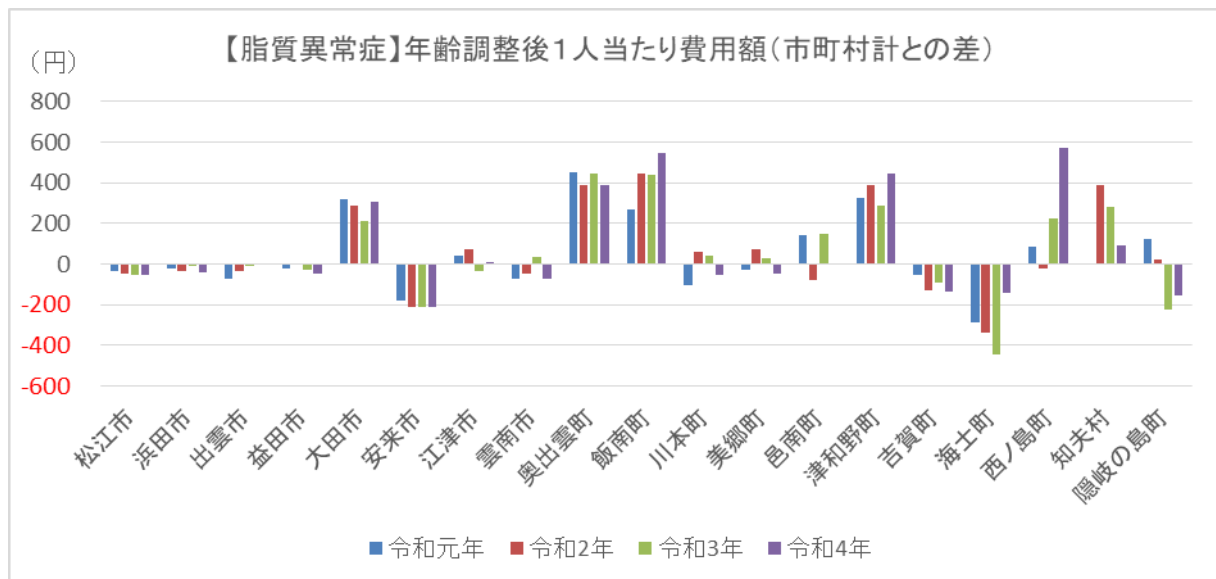
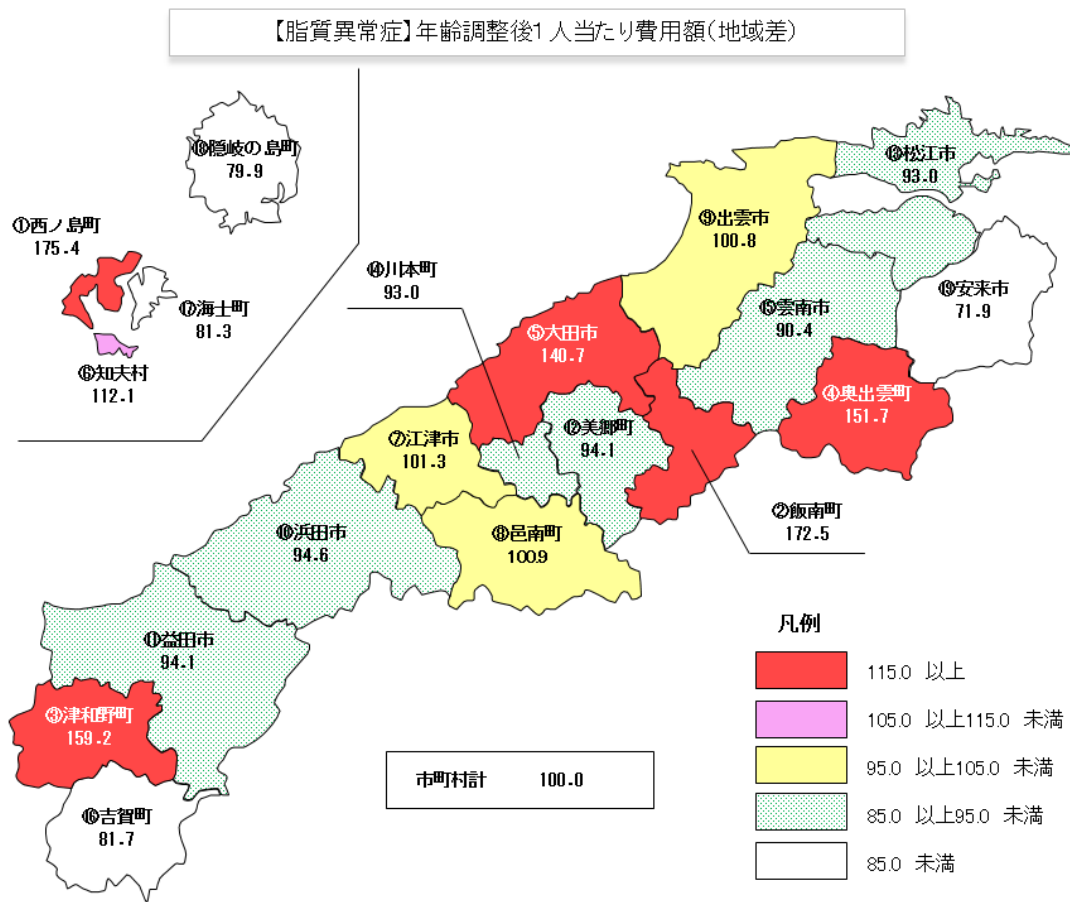


## イ 糖尿病

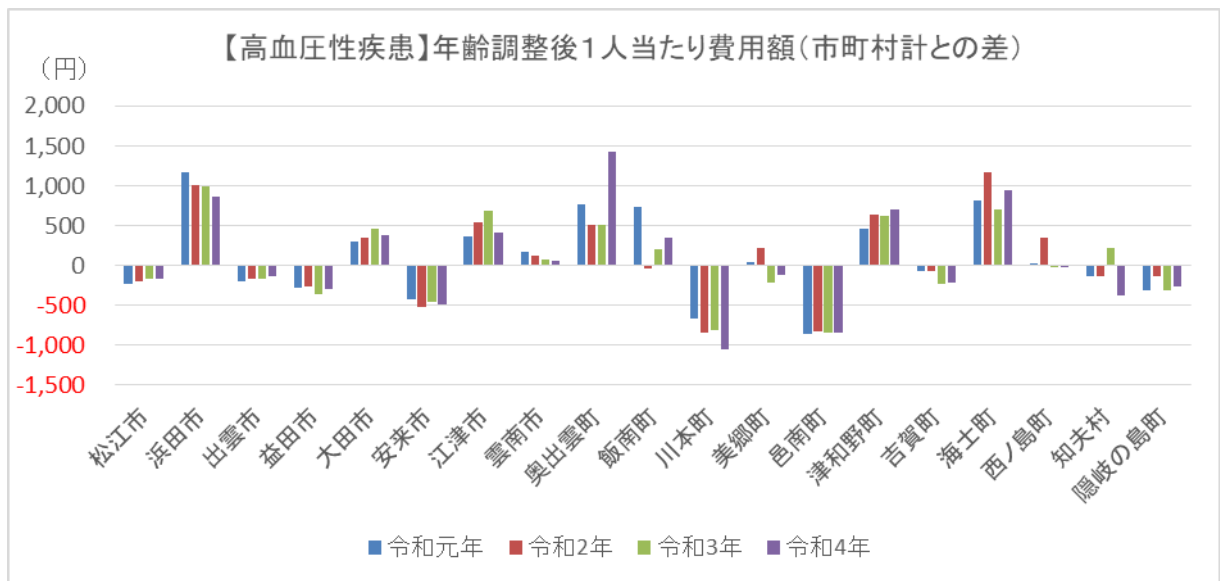
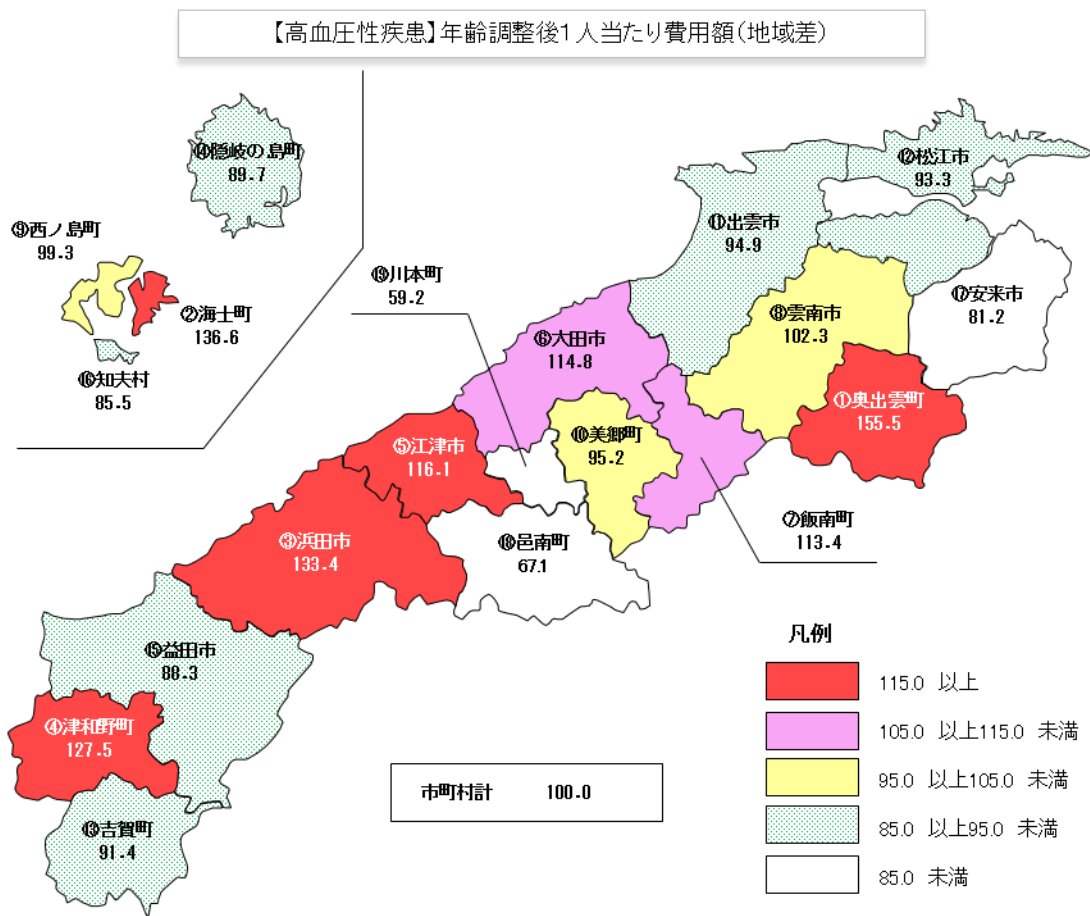




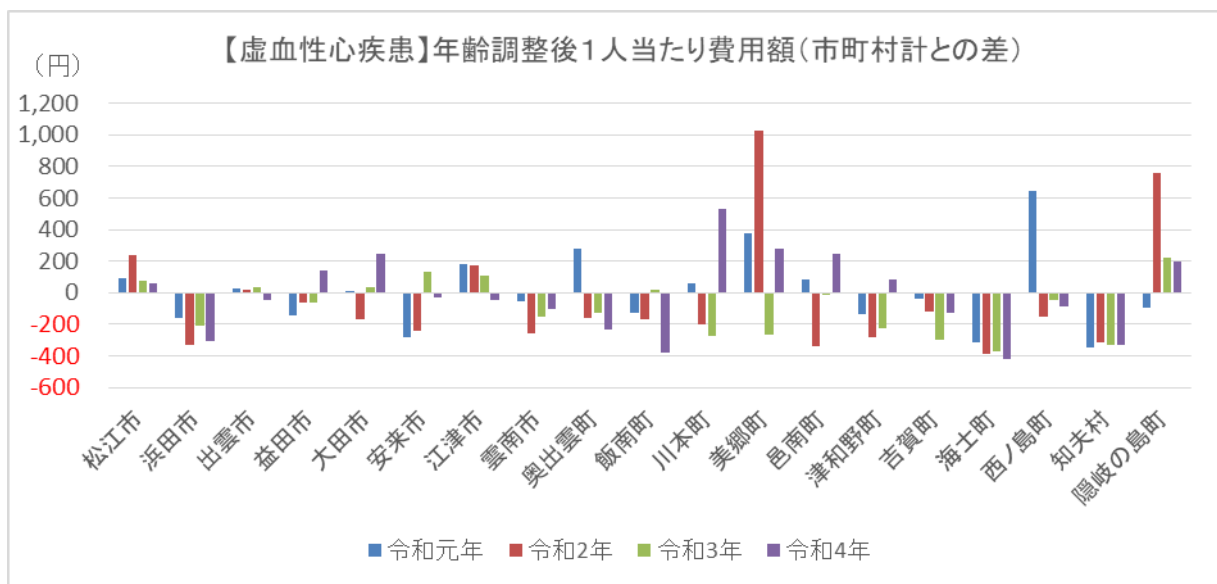
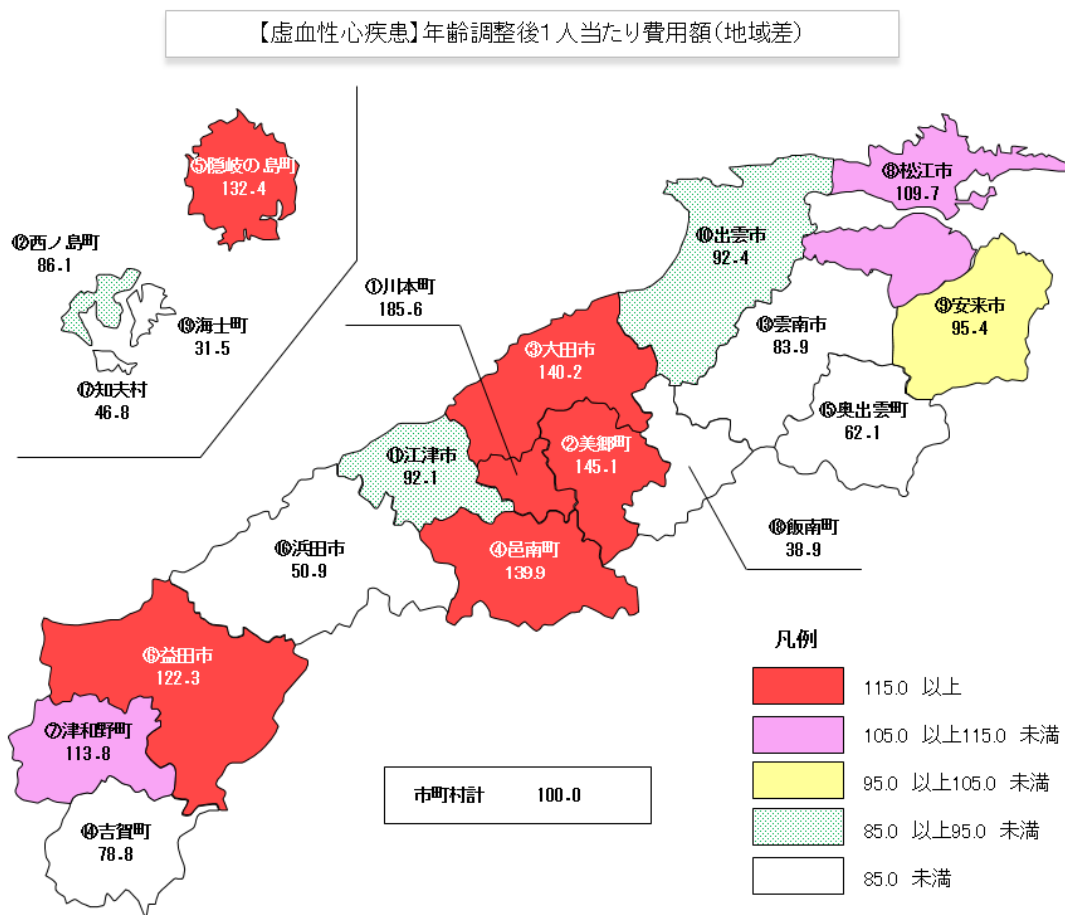
## ウ 脂質異常症



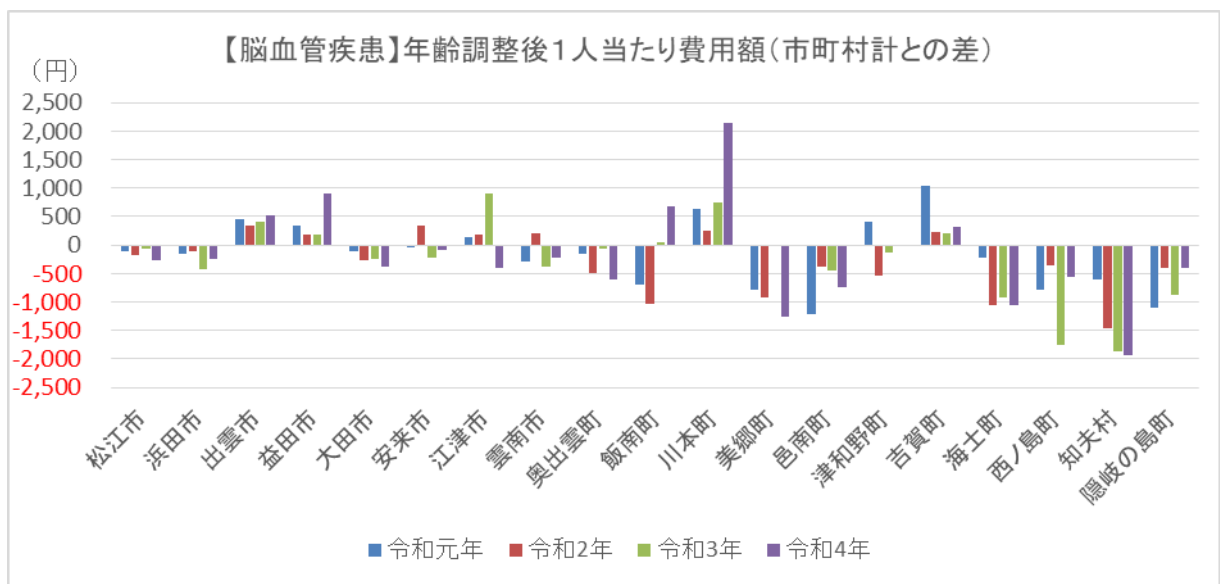
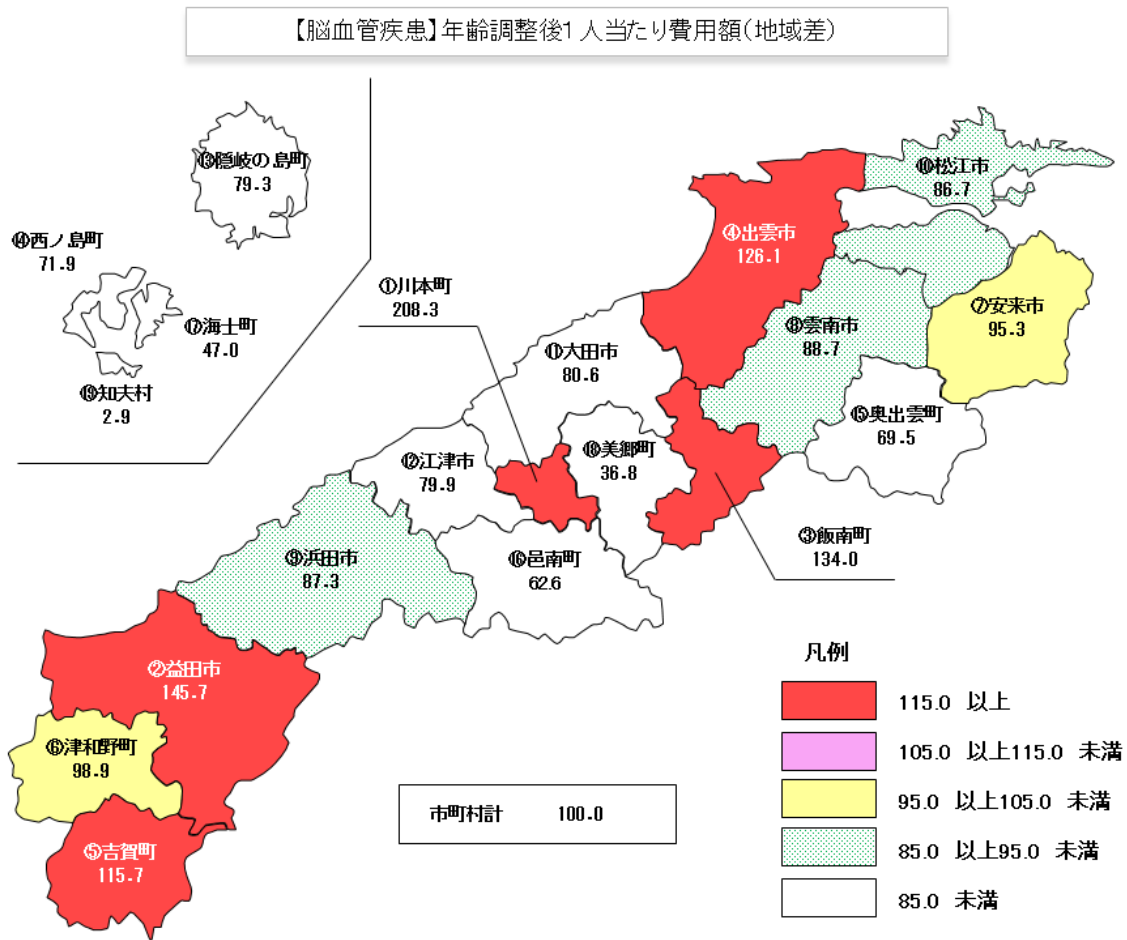
## エ 高血圧性疾患



## オ 虚血性心疾患



## カ 脳血管疾患



### ③ 疾病別医療費（中分類）

疾病中分類別1人当たり費用額上位10疾病を、市町村別に比較した。

#### ア 制度合計

半数以上の市町村で「高血圧性疾患」が1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	高血圧性疾患	歯科	他の心疾患	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	糖尿病	脳梗塞	他の消化器系	統合失調症・妄想性障害
浜田市	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	歯科	他の心疾患	腎不全	統合失調症・妄想性障害	脳梗塞	他の呼吸器系	骨折
出雲市	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	骨折	腎不全	他の心疾患	糖尿病	脳梗塞	他の消化器系	他の神経系
益田市	高血圧性疾患	骨折	歯科	脳梗塞	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	他の心疾患	腎不全	統合失調症・妄想性障害	アルツハイマー病
大田市	高血圧性疾患	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	歯科	統合失調症・妄想性障害	他の心疾患	腎不全	他の消化器系	脳梗塞
安来市	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	歯科	他の心疾患	糖尿病	腎不全	脳梗塞	他の消化器系	統合失調症・妄想性障害
江津市	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	骨折	糖尿病	他の心疾患	統合失調症・妄想性障害	歯科	他の消化器系	脳梗塞
雲南市	高血圧性疾患	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	腎不全	糖尿病	骨折	他の消化器系	脳梗塞	他の呼吸器系
奥出雲町	高血圧性疾患	腎不全	糖尿病	他の心疾患	歯科	脂質異常症	他の悪性新生物<腫瘍>	他の眼・付属器	脳梗塞	統合失調症・妄想性障害
飯南町	高血圧性疾患	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	骨折	脳梗塞	腎不全	糖尿病	他の心疾患	脂質異常症	他の損傷・外因
川本町	糖尿病	他の眼・付属器	その他の脳血管疾患	骨折	高血圧性疾患	脳梗塞	統合失調症・妄想性障害	歯科	虚血性心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>
美郷町	他の心疾患	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	歯科	関節症	腎不全	他の消化器系	統合失調症・妄想性障害	虚血性心疾患
邑南町	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	高血圧性疾患	他の消化器系	歯科	他の心疾患	腎不全	骨折	虚血性心疾患	関節症
津和野町	骨折	高血圧性疾患	他の心疾患	糖尿病	歯科	他の神経系	他の悪性新生物<腫瘍>	脂質異常症	腎不全	他の血液・造血器
吉賀町	高血圧性疾患	他の心疾患	骨折	脳梗塞	腎不全	歯科	糖尿病	他の先天奇形・変形・染色体異常	他の神経系	脊椎障害(脊椎症を含む)
海士町	他の心疾患	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	結腸の悪性新生物<腫瘍>	他の神経系	歯科	骨折	関節症	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	他の眼・付属器
西ノ島町	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の損傷・外因	糖尿病	歯科	脂質異常症	他の神経系	腎不全	白血病
知夫村	尿路結石症	肺炎	高血圧性疾患	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	他の眼・付属器	歯科	他の筋骨格系・結合組織	気管・肺の悪性新生物<腫瘍>	神経症性障害・ストレス関連障害	関節症
隠岐の島町	高血圧性疾患	糖尿病	他の心疾患	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	他の神経系	脊椎障害(脊椎症を含む)	歯科	脳梗塞	虚血性心疾患
市町村計	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	骨折	他の心疾患	糖尿病	腎不全	脳梗塞	他の消化器系	統合失調症・妄想性障害

※歯科は疾病コードが1101～1103 及び 歯科レセプトの合計(以下同)

## イ 市町村国保

市町村国保では、「統合失調症・妄想性障害」が1位となっている市町村が多い。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	歯科	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	腎不全	糖尿病	他の心疾患	他の神経系	他の消化器系	骨折
浜田市	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	歯科	腎不全	他の神経系	他の心疾患	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	脂質異常症
出雲市	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	腎不全	高血圧性疾患	歯科	糖尿病	悪性リンパ腫	他の神経系	他の消化器系	他の心疾患
益田市	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	白血病	高血圧性疾患	糖尿病	虚血性心疾患	腎不全	関節症	脂質異常症
大田市	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	腎不全	糖尿病	他の消化器系	骨折	屈折及び調節の障害	虚血性心疾患
安来市	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	歯科	腎不全	糖尿病	関節症	他の神経系	胃の悪性新生物<腫瘍>	骨折
江津市	他の悪性新生物<腫瘍>	脳性麻痺・他の麻痺	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	腎不全	糖尿病	歯科	他の神経系	結腸の悪性新生物<腫瘍>	屈折及び調節の障害
雲南市	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	腎不全	他の心疾患	歯科	糖尿病	他の呼吸器系	他の循環器系	他の神経系
奥出雲町	高血圧性疾患	統合失調症・妄想性障害	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	他の循環器系	糖尿病	他の筋骨格系・結合組織	歯科	他の血液・造血管
飯南町	統合失調症・妄想性障害	他の神経系	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	腎不全	胃の悪性新生物<腫瘍>	気管・肺の悪性新生物<腫瘍>	脂質異常症
川本町	統合失調症・妄想性障害	虚血性心疾患	他の眼・付属器	骨折	脳内出血	腎不全	糖尿病	その他の脊柱障害	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	脳性麻痺・他の麻痺
美郷町	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	高血圧性疾患	他の血液・造血管	腎不全	糖尿病	関節症	脳性麻痺・他の麻痺	歯科
邑南町	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	てんかん	腎不全	歯科	高血圧性疾患	糖尿病	骨折	気管・肺の悪性新生物<腫瘍>	脂質異常症
津和野町	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	糖尿病	腎不全	高血圧性疾患	骨折	歯科	他の神経系	結腸の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患
吉賀町	高血圧性疾患	悪性リンパ腫	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	歯科	その他の肝疾患	その他の神経系の疾患	他の消化器系	糖尿病	脳梗塞
海士町	結腸の悪性新生物<腫瘍>	他の筋骨格系・結合組織	高血圧性疾患	統合失調症・妄想性障害	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	他の呼吸器系	肺炎	糖尿病	胃の悪性新生物<腫瘍>
西ノ島町	統合失調症・妄想性障害	関節症	他の神経系	糖尿病	他の損傷・外因	骨折	乳房の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	歯科
知夫村	尿路結石症	気管・肺の悪性新生物<腫瘍>	神経症性障害・ストレス関連障害	関節症	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	高血圧性疾患	他の呼吸器系	歯科	糖尿病	脂質異常症
隠岐の島町	他の神経系	脊髄障害(脊髄症を含む)	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	統合失調症・妄想性障害	糖尿病	腎不全	他の心疾患	乳房の悪性新生物<腫瘍>	歯科
市町村計	統合失調症・妄想性障害	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	歯科	腎不全	糖尿病	他の神経系	他の心疾患	他の消化器系の疾患	骨折

## ウ 被用者保険

被用者保険では、多くの市町村で「歯科」が1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	歯科	高血圧性疾患	他の消化器系	糖尿病	他の悪性新生物<腫瘍>	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	腎不全	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	皮膚炎及び湿疹	喘息
浜田市	歯科	高血圧性疾患	他の血液・造血器	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	他の消化器系	喘息	腎不全	屈折及び調節の障害	良性新生物・他の新生物<腫瘍>
出雲市	歯科	高血圧性疾患	他の消化器系	他の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	他の神経系	糖尿病	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	腎不全	脂質異常症
益田市	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	白血病	他の消化器系	てんかん	他の筋骨格系・結合組織	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	良性新生物・他の新生物<腫瘍>
大田市	歯科	高血圧性疾患	他の消化器系	糖尿病	他の血液・造血器	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	虚血性心疾患	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	屈折及び調節の障害
安来市	歯科	他の悪性新生物<腫瘍>	他の損傷・外因	高血圧性疾患	糖尿病	他の先天奇形・変形・染色体異常	乳房の悪性新生物<腫瘍>	他の消化器系	腎不全	他の心疾患
江津市	歯科	高血圧性疾患	心臓の先天奇形	他の悪性新生物<腫瘍>	他の消化器系	他の循環器系	糖尿病	分類不明	脳内出血	腎不全
雲南市	歯科	他の血液・造血器	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	他の消化器系	骨折	脊椎障害(脊椎症を含む)	糖尿病	腎不全	悪性リンパ腫
奥出雲町	他の心疾患	歯科	腎不全	高血圧性疾患	他の損傷・外因	くも膜下出血	糖尿病	気管・肺の悪性新生物<腫瘍>	脂質異常症	他の筋骨格系・結合組織
飯南町	歯科	関節症	他の呼吸器系	悪性リンパ腫	脳梗塞	他の消化器系	他の悪性新生物<腫瘍>	結腸の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	糖尿病
川本町	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	他の損傷・外因	直腸・結腸の悪性新生物<腫瘍>	他の消化器系	糖尿病	高血圧性疾患	統合失調症・妄想性障害	他の血液・造血器	骨折
美郷町	歯科	他の妊娠・分娩及び産じよく	他の消化器系	関節症	骨折	高血圧性疾患	他の内分泌・栄養及び代謝疾患	他の神経系	糖尿病	皮膚及び皮下組織の感染症
邑南町	歯科	糖尿病	他の神経系	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の呼吸器系	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	腎不全	脂質異常症	他の筋骨格系・結合組織
津和野町	歯科	高血圧性疾患	他の血液・造血器	糖尿病	骨折	他の神経系	他の内分泌・栄養及び代謝疾患	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	脂質異常症	他の消化器系
吉賀町	他の損傷・外因	歯科	高血圧性疾患	悪性リンパ腫	糖尿病	骨折	他の神経系	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	他に分類されないもの	脂質異常症
海士町	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	分類不明	他の消化器系	歯科	高血圧性疾患	他の筋骨格系・結合組織	糸球体疾患・腎尿細管間質性疾患	糖尿病	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	他の妊娠・分娩及び産じよく
西ノ島町	歯科	糖尿病	高血圧性疾患	骨折	他の筋骨格系・結合組織	胆石症及び胆のう炎	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	他に分類されないもの	皮膚炎及び湿疹	他の悪性新生物<腫瘍>
知夫村	他の急性上気道感染症	歯科	高血圧性疾患	虚血性心疾患	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	隣疾患	脂質異常症	他の消化器系	アレルギー性鼻炎	他の精神及び行動の障害
隠岐の島町	歯科	腎不全	高血圧性疾患	他の消化器系	糖尿病	他の妊娠・分娩及び産じよく	妊娠及び胎児発育に関連する障害	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	他の神経系
市町村計	歯科	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の消化器系	糖尿病	腎不全	良性新生物・他の新生物<腫瘍>	他の心疾患	他の神経系	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)

## エ 後期高齢者

後期高齢者は、半数以上の市町村で「高血圧性疾患」が1位となっている。

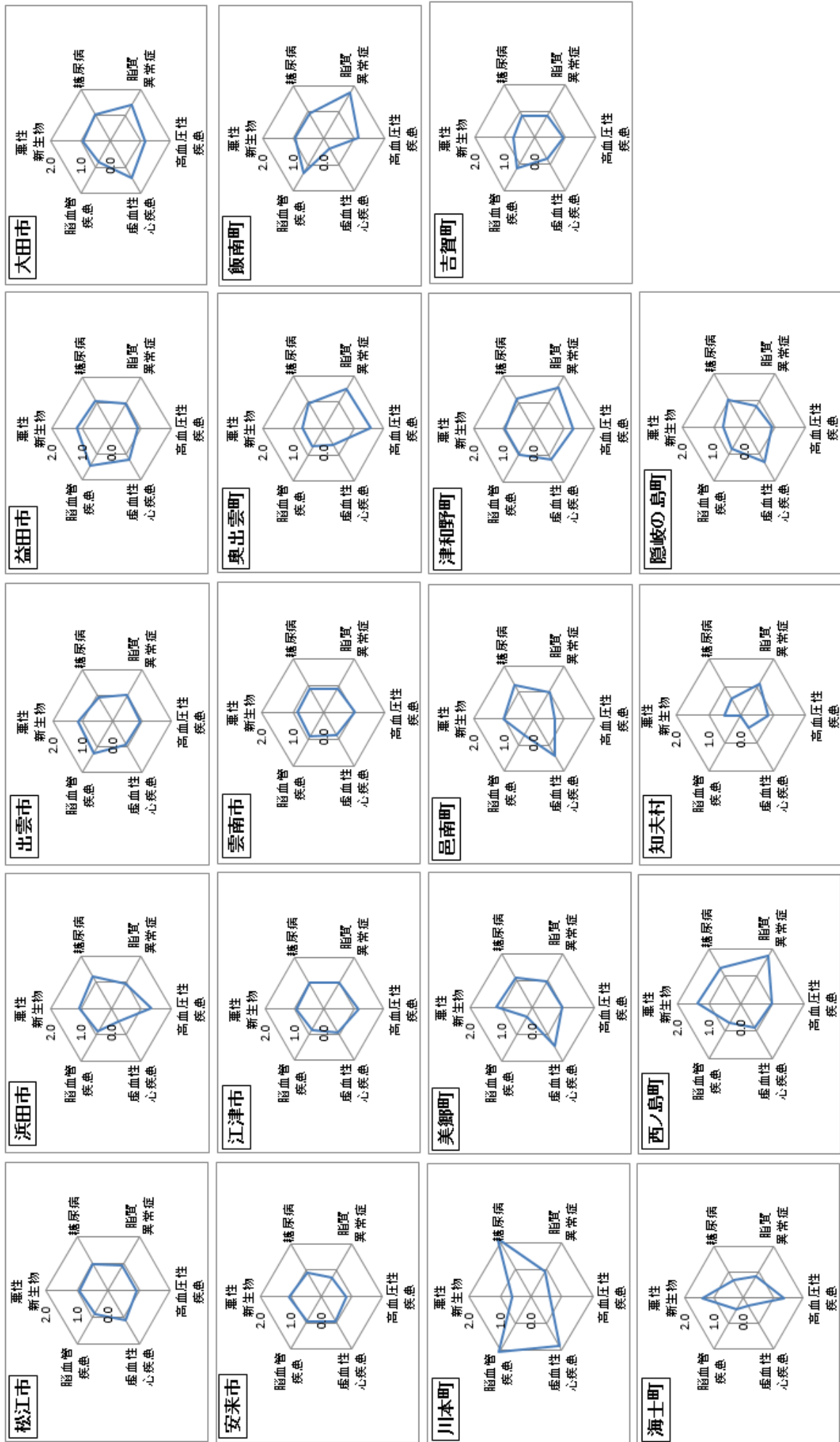
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
松江市	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	腎不全	脳梗塞	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	歯科	他の呼吸器系	他の消化器系
浜田市	高血圧性疾患	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	脳梗塞	アルツハイマー病	腎不全	他の呼吸器系	骨折	関節症
出雲市	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	腎不全	他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	糖尿病	他の消化器系	他の呼吸器系	歯科
益田市	骨折	脳梗塞	高血圧性疾患	アルツハイマー病	糖尿病	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	歯科	腎不全	他の呼吸器系
大田市	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	脳梗塞	糖尿病	腎不全	統合失調症・妄想性障害	他の消化器系	他の悪性新生物<腫瘍>	脂質異常症
安来市	骨折	高血圧性疾患	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	腎不全	アルツハイマー病	糖尿病	他の消化器系	歯科
江津市	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	糖尿病	脳梗塞	アルツハイマー病	他の消化器系	腎不全	他の呼吸器系
雲南市	高血圧性疾患	他の心疾患	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	脳梗塞	糖尿病	腎不全	他の消化器系	他の呼吸器系	他の眼・付属器
奥出雲町	高血圧性疾患	糖尿病	腎不全	脳梗塞	脂質異常症	他の眼・付属器	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	アルツハイマー病	貧血
飯南町	高血圧性疾患	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	他の心疾患	その他の損傷及びその他の外因の影響	腎不全	脳梗塞	歯科	脂質異常症	糖尿病
川本町	糖尿病	他の眼・付属器	他の脳血管疾患	脳梗塞	関節症	骨折	他の呼吸器系	高血圧性疾患	胆石症及び胆のう炎	真菌症
美郷町	高血圧性疾患	他の心疾患	糖尿病	他の消化器系	関節症	骨折	他の呼吸器系	他の悪性新生物<腫瘍>	他の神経系	他に分類されないもの
邑南町	糖尿病	高血圧性疾患	他の心疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	他の消化器系	虚血性心疾患	骨折	脳梗塞	関節症	歯科
津和野町	骨折	高血圧性疾患	他の心疾患	脳梗塞	脂質異常症	他の消化器系	糖尿病	脊椎障害(脊椎症を含む)	他の神経系	虚血性心疾患
吉賀町	他の心疾患	骨折	高血圧性疾患	脳梗塞	脊椎障害(脊椎症を含む)	腎不全	関節症	糖尿病	アルツハイマー病	他の神経系
海士町	他の心疾患	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	関節症	骨折	他の神経系	結腸の悪性新生物<腫瘍>	他の眼・付属器	歯科	他の脳血管疾患
西ノ島町	骨折	他の悪性新生物<腫瘍>	高血圧性疾患	糖尿病	腎不全	脂質異常症	他の眼・付属器	アルツハイマー病	脳梗塞	歯科
知夫村	肺炎	他の眼・付属器	高血圧性疾患	他の悪性新生物<腫瘍>	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	アルツハイマー病	腰痛症及び坐骨神経痛	骨折	他の循環器系	歯科
隠岐の島町	高血圧性疾患	他の心疾患	腎不全	糖尿病	骨折	脳梗塞	虚血性心疾患	他の呼吸器系	他の循環器系	アルツハイマー病
市町村計	高血圧性疾患	骨折	他の心疾患	脳梗塞	他の悪性新生物<腫瘍>	腎不全	糖尿病	他の消化器系	アルツハイマー病	他の呼吸器系



【参考】市町村別状況一覧（国保・被用者保険・後期高齢者）

	人口 (人)	加入者数	カバー率 (%) 加入者 /人口	受診率	1件当たり 費用額	1人当たり費 用額 (年齢調整)	費用額上位3疾病(大分類)			費用額上位3疾病(中分類)			総費用額に占 める生活習慣 病の割合(%)
							1位	2位	3位	1位	2位	3位	
松江市	201,246	133,952	66.6	100.1	<b>36,413</b>	38,160	循環器系	新生物	筋骨格系・ 結合組織	高血圧性疾患	歯科	他の心疾患	29.5
浜田市	52,936	39,716	75.0	100.0	39,324	38,417	循環器系	新生物	精神・行動 の障害	高血圧性疾患	他の悪性新生物 <腫瘍>	糖尿病	34.0
出雲市	172,418	120,725	70.0	96.2	39,356	39,979	循環器系	新生物	腎尿路 生殖器系	高血圧性疾患	他の悪性新生物 <腫瘍>	歯科	32.2
益田市	43,885	35,679	81.3	99.6	38,595	37,732	循環器系	新生物	他の外因 の影響	高血圧性疾患	骨折	歯科	36.6
大田市	31,938	26,777	83.8	99.5	41,300	39,086	循環器系	新生物	内分泌、 栄養・代謝	高血圧性疾患	骨折	他の悪性新生物 <腫瘍>	32.3
安来市	35,969	26,034	72.4	96.8	42,237	38,229	循環器系	新生物	他の外因 の影響	骨折	他の悪性新生物 <腫瘍>	高血圧性疾患	30.7
江津市	22,148	17,885	80.8	92.7	43,093	38,388	循環器系	新生物	精神・行動 の障害	高血圧性疾患	他の悪性新生物 <腫瘍>	腎不全	31.4
雲南市	34,850	29,018	83.3	97.1	39,346	36,648	循環器系	新生物	筋骨格系・ 結合組織	高血圧性疾患	他の心疾患	他の悪性新生物 <腫瘍>	30.2
奥出雲町	11,387	10,152	89.2	91.9	39,388	33,491	循環器系	新生物	内分泌、 栄養・代謝	高血圧性疾患	腎不全	糖尿病	35.4
飯南町	4,451	4,014	90.2	96.1	43,418	38,621	循環器系	新生物	内分泌、 栄養・代謝	高血圧性疾患	歯科	他の悪性新生物 <腫瘍>	34.6
川本町	3,134	2,624	83.7	86.8	<b>62,552</b>	<b>48,025</b>	循環器系	内分泌、 栄養・代謝	眼・付属器	糖尿病	他の眼及び付属 器の疾患	他の脳血管 疾患	29.4
美郷町	4,140	3,780	91.3	<b>103.0</b>	39,929	36,759	循環器系	新生物	筋骨格系・ 結合組織	他の心疾患	高血圧性疾患	他の悪性新生物 <腫瘍>	32.3
邑南町	9,862	8,611	87.3	92.9	38,131	32,213	循環器系	新生物	内分泌、 栄養・代謝	他の悪性新生物 <腫瘍>	糖尿病	高血圧性疾患	35.0
津和野町	6,659	6,147	92.3	102.3	43,946	39,290	循環器系	新生物	他の外因 の影響	骨折	高血圧性疾患	他の心疾患	34.9
吉賀町	5,795	4,827	83.3	98.1	44,859	38,543	循環器系	筋骨格系・ 結合組織	新生物	高血圧性疾患	他の心疾患	骨折	27.1
海士町	2,310	1,934	83.7	77.3	48,633	37,463	循環器系	新生物	筋骨格系・ 結合組織	他の心疾患	高血圧性疾患	他の悪性新生物 <腫瘍>	33.2
西ノ島町	2,681	2,199	82.0	77.6	53,599	38,338	新生物	他の外因 の影響	循環器系	骨折	他の悪性新生物 <腫瘍>	高血圧性疾患	<b>38.3</b>
知夫村	612	579	94.6	75.3	37,519	<b>27,515</b>	呼吸器系	筋骨格系・ 結合組織	循環器系	尿路結石症	肺炎	高血圧性疾患	<b>24.9</b>
隠岐の島町	13,208	11,260	85.3	<b>74.2</b>	43,560	30,951	循環器系	新生物	内分泌、 栄養・代謝	高血圧性疾患	糖尿病	他の心疾患	33.2
市町村計	659,629	486,532	73.8	97.1	39,254	38,161	循環器系	新生物	内分泌、 栄養・代謝	高血圧性疾患	他の悪性新生物 <腫瘍>	歯科	31.9

●生活習慣病疾病別1人当たり費用額(市町村計を1とする)



## Ⅱ 特定健康診査結果統計

### ◆健診結果データ集計にあたって

#### 1 使用データについて

次の県内医療保険者における、令和3年度特定健康診査結果データを集計した。

- ・島根県内 19 市町村国民健康保険
- ・島根県医師国民健康保険組合
- ・全国健康保険協会島根支部
- ・島根県市町村職員共済組合

#### 2 分類方法（単位）

次の方法により分類する。

##### 【制度（別）】

##### （1）国保

島根県内 19 市町村国民健康保険  
島根県医師国民健康保険組合

##### （2）被用者保険

全国健康保険協会島根支部  
島根県市町村職員共済組合

#### 3 集計方法等

より多くのデータを対象とした傾向を掴むため、次の方法により集計した。

- （1）各医療保険者から提供された全ての特定健康診査結果データを使用する  
（実施年度中における加入及び脱退等の異動を除外しない）。

※各医療保険者の法定報告値とは一致しない。

- （2）健診（検査・質問）項目の一部が実施されていない（欠損値がある）場合も分析対象とする。

## 1 県全体及び制度別の状況

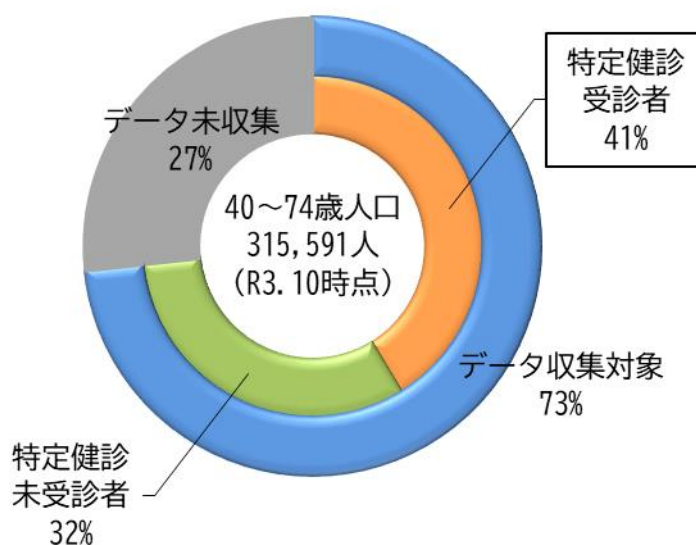
### (1) 特定健診受診者数等

本統計における特定健診対象者数、受診者数及び受診率は下表のとおり。医療費統計と同様に、国保分は全保険者の健診結果データを、被用者保険分は一部の保険者のデータを収集している。

制度	性別	特定健診対象者数(人)	特定健診受診者数(人)	受診率(%)
国保	男性	51,161	19,942	39.0
	女性	54,223	25,375	46.8
	計	105,384	45,317	43.0
被用者保険	男性	61,806	45,101	73.0
	女性	64,098	40,186	62.7
	計	125,904	85,287	67.7
合計	男性	112,967	65,043	57.6
	女性	118,321	65,561	55.4
	計	231,288	130,604	56.5

なお、本統計で取り扱う健診結果データは、令和3年10月時点における島根県の40～74歳人口31万人強のうちの約4割に相当する。

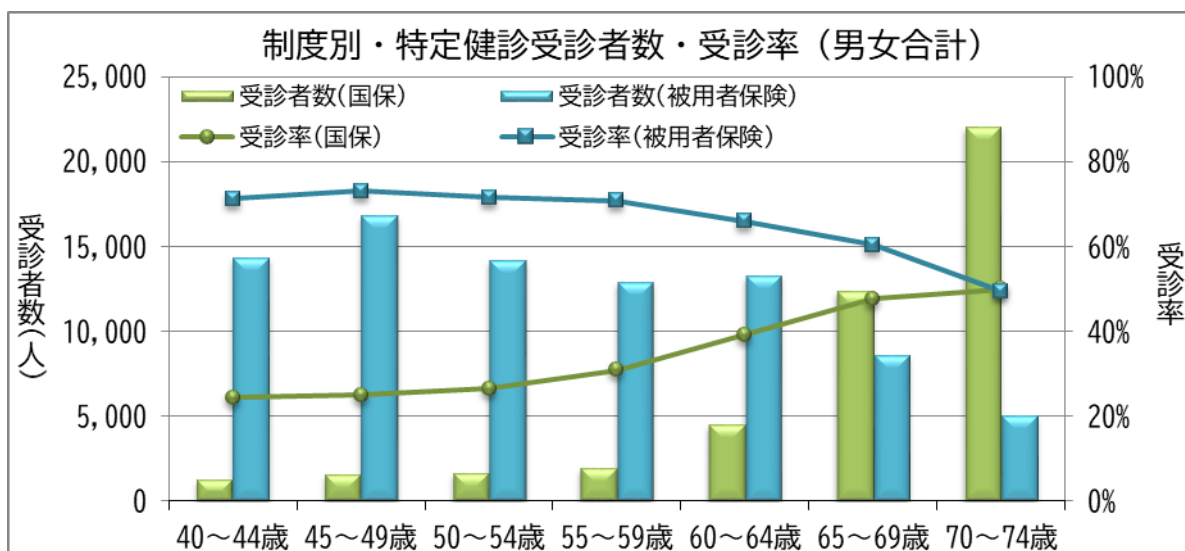
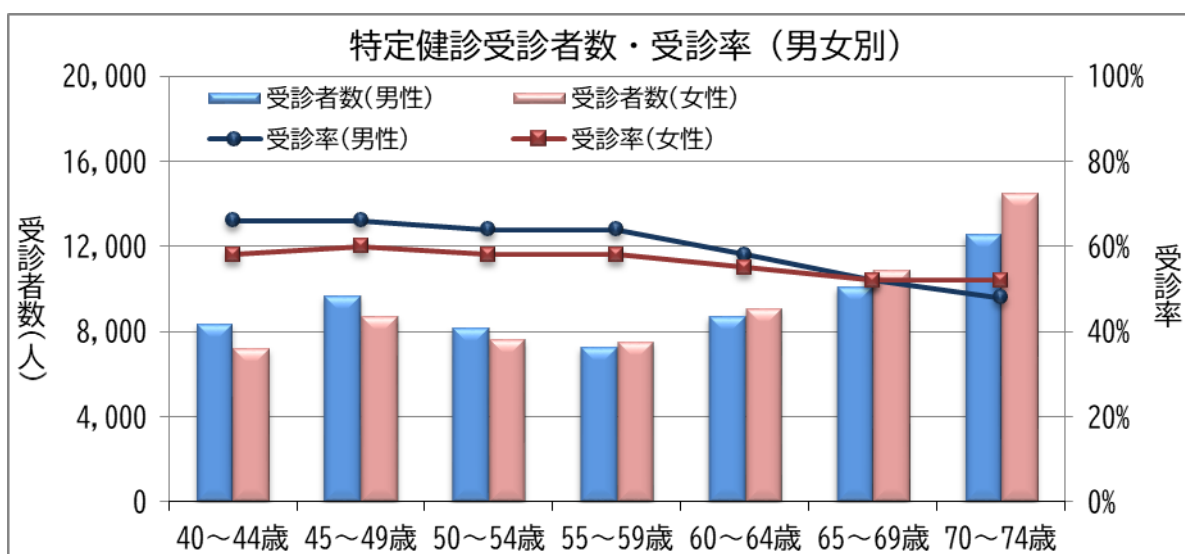
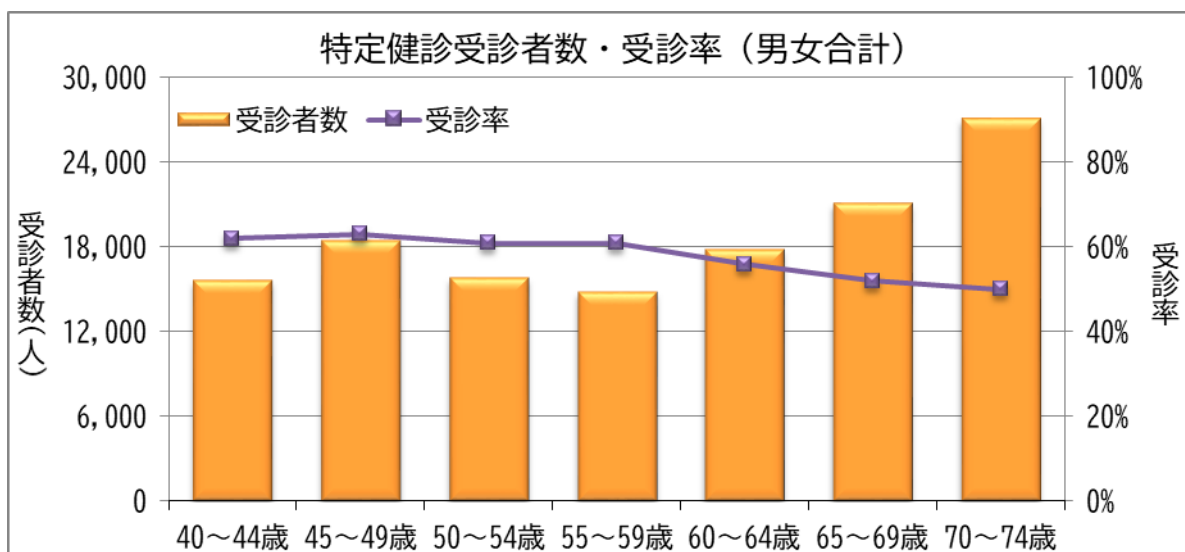
令和3年人口に占めるデータ収集状況



※人口：しまね統計情報データベースから

受診者数は70～74歳が最も多いが、受診率としては高齢者層の方がやや低い。

受診率を男女別にみると、40～64歳までは男性の方が高く、70～74歳では女性の方が高い。なお、69歳以下においては、受診者数、受診率ともに制度間で大きな差異がある。



## (2) 特定保健指導該当者割合

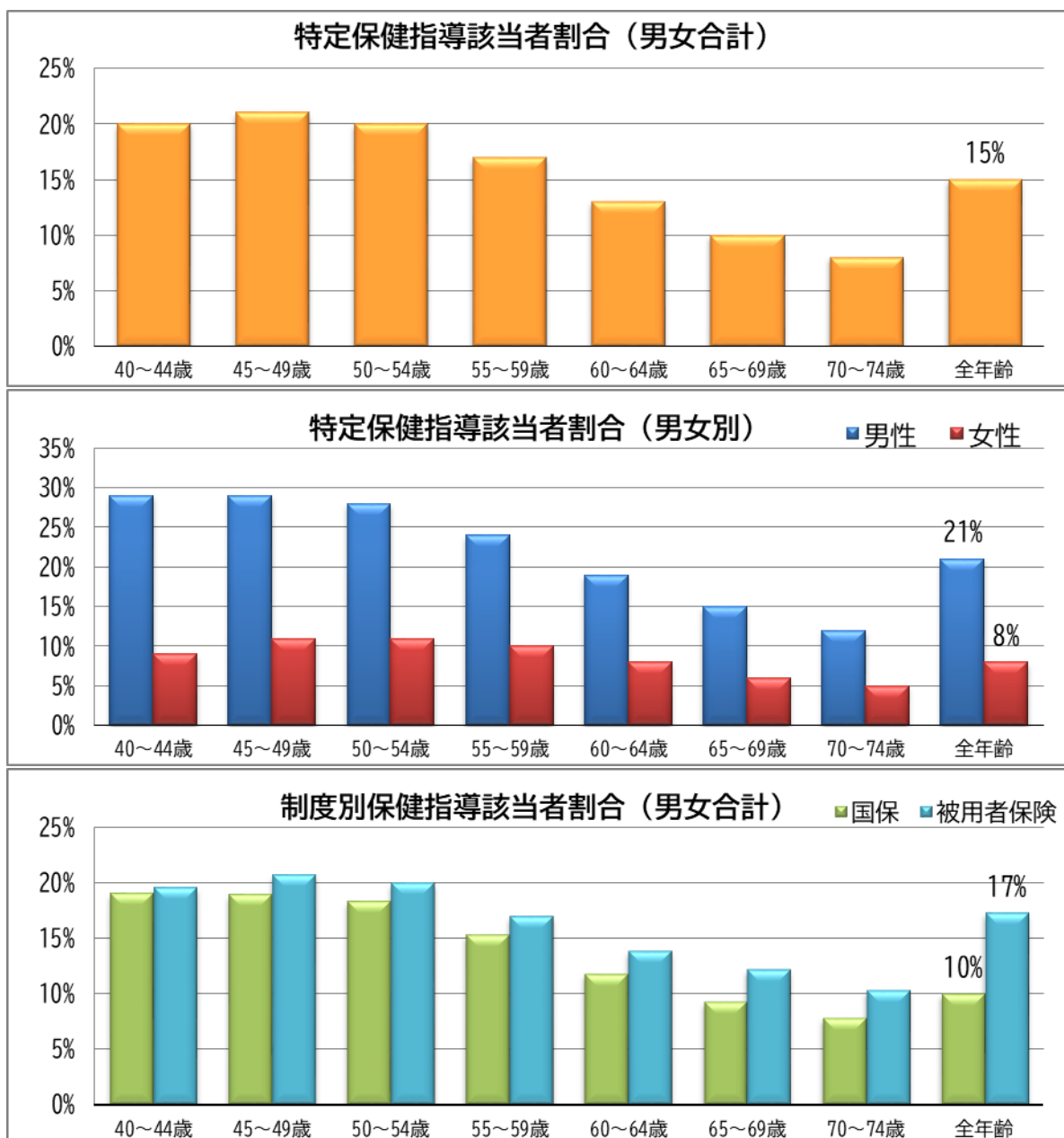
特定保健指導該当の基準は、次のとおりとした。

腹囲	追加リスク			④喫煙歴	対象 <sup>*1</sup>	
	①血糖	②脂質	③血圧		40-64歳	65-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当			あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当					
上記以外で BMI≥25 kg/m <sup>2</sup>	3つ該当			あり なし	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当					
	1つ該当					

※1 対象の年齢は、  
実施年度中に達  
する年齢  
※2 血圧降下剤等を  
服薬中の者は保  
健指導の対象外

リスク ①血糖 空腹時血糖 100mg/dl 以上 又は HbA1c 5.6%以上  
②脂質 中性脂肪 150mg/dl 以上 又は HDL コレステロール 40mg/dl 未満  
③血圧 収縮期 130mmHg 以上 又は 拡張期 85mmHg 以上

特定保健指導該当者割合は、45～49歳で最も高く、50歳以上は高齢になるほど割合が低くなっている。男女別にみると、全ての年齢階層において男性が高い。

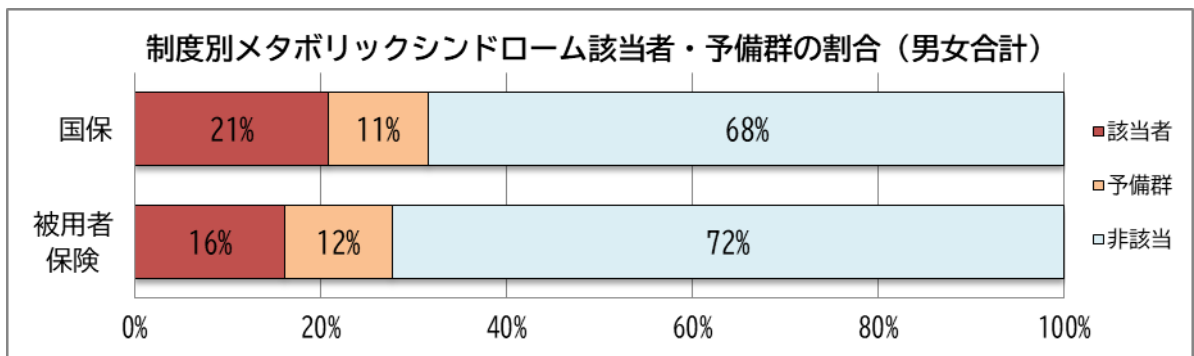
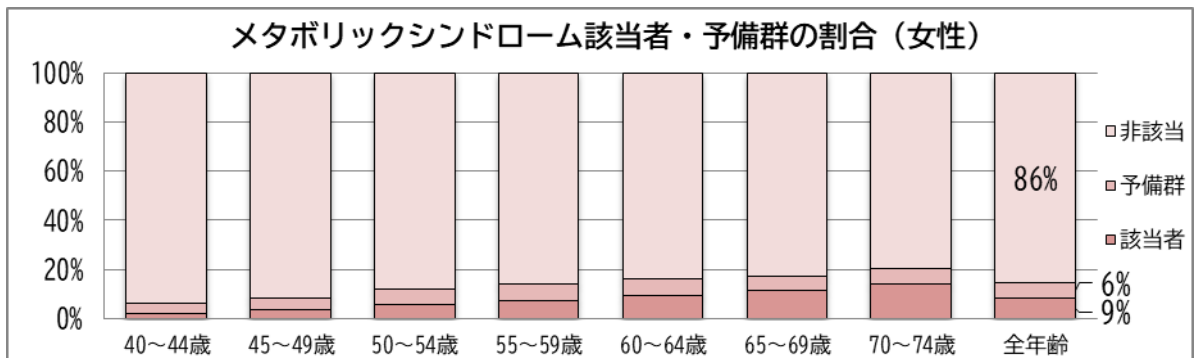
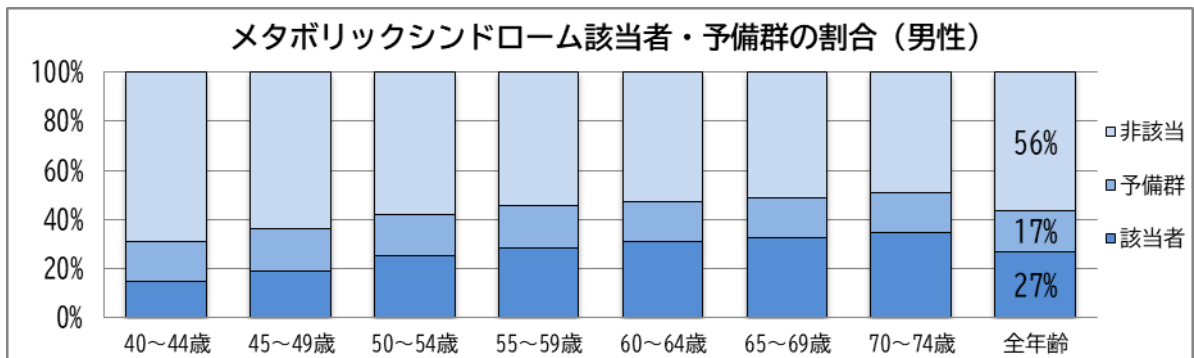
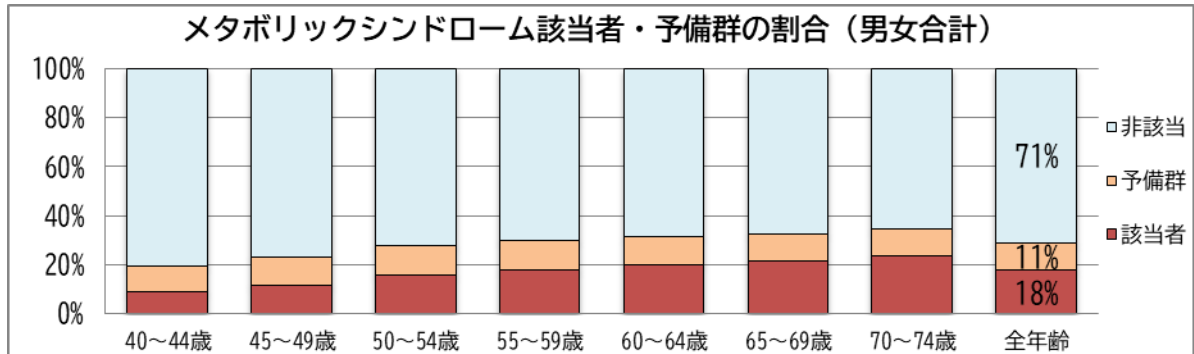


### (3) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

メタボリックシンドローム該当者及び予備群の診断基準は、次のとおりとした。

腹囲	男性 85 cm以上、女性 90 cm以上（内臓脂肪面積男女とも 100 cm <sup>2</sup> 以上）
※腹囲の他、以下基準を2項目以上該当：該当者、1項目該当：予備群該当	
血糖	空腹時血糖 110mg/dl 以上 かつ/又は HbA1c 6.0%以上
脂質	中性脂肪 150mg/dl 以上 かつ/又は HDL コレステロール 40mg/dl 未満
血圧	収縮期 130mmHg 以上 かつ/又は 拡張期 85mmHg 以上

予備群の割合は全ての年齢階層でほぼ同じ水準だが、該当者の割合は高齢になるほど高くなっている。男女別にみると、男性が女性を大きく上回っている。



#### (4) 検査等結果

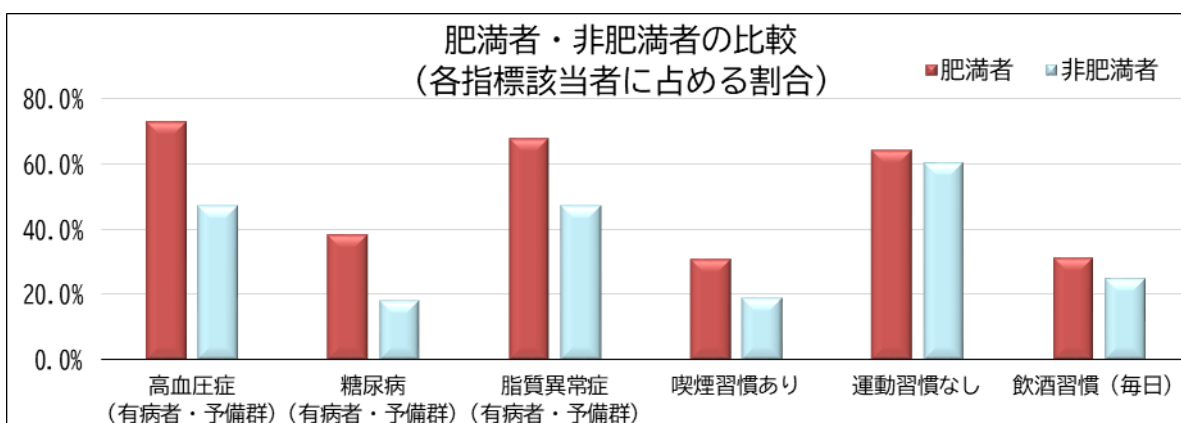
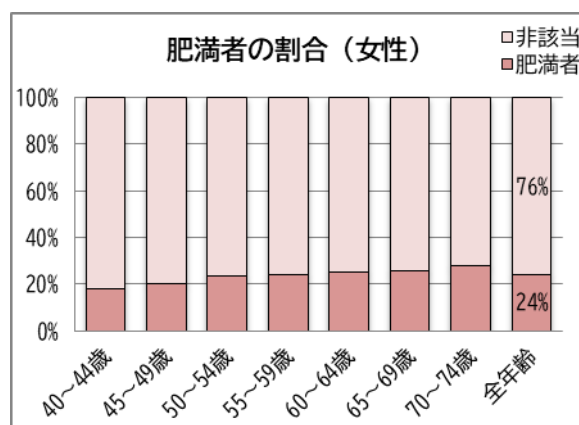
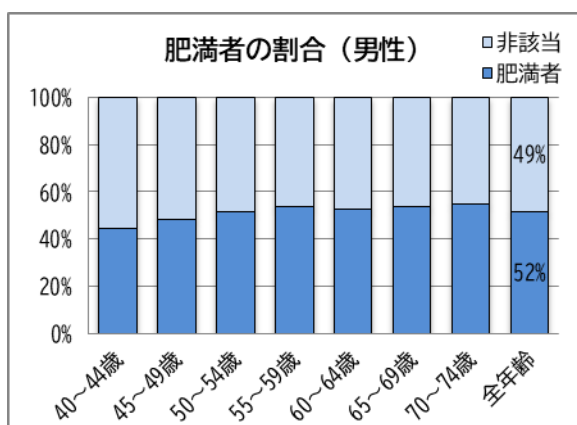
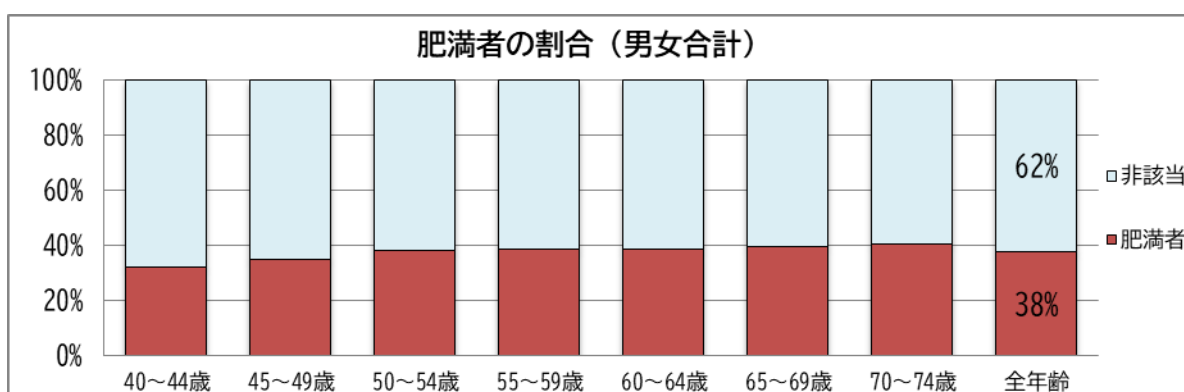
##### ① 肥満者の割合

肥満者及び非肥満者の定義は、次のとおりとした。

肥満者	腹囲 男性 85 cm以上、女性 90 cm以上 又は BMI 25 以上 又は 内臓脂肪面積 100 cm <sup>2</sup> 以上
非肥満者	上記以外

肥満者の割合は、年齢階層では大きな差はみられないものの、高齢者の方がやや高い傾向にある。男女別では、各年齢階層とも男性は女性の約2倍の割合となっている。

また、肥満者は非肥満者に比べ、高血圧症、糖尿病、脂質異常症のいずれにおいてもリスク保有割合が高い。





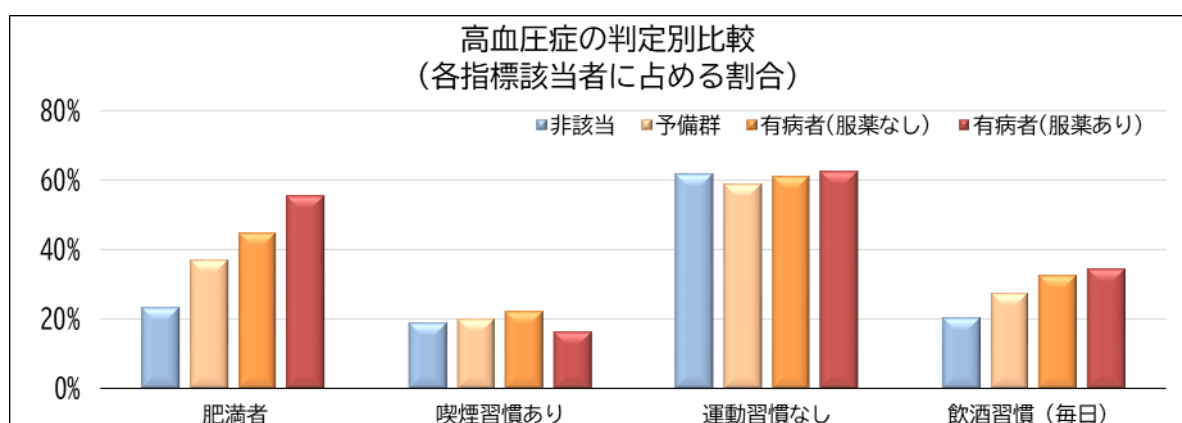
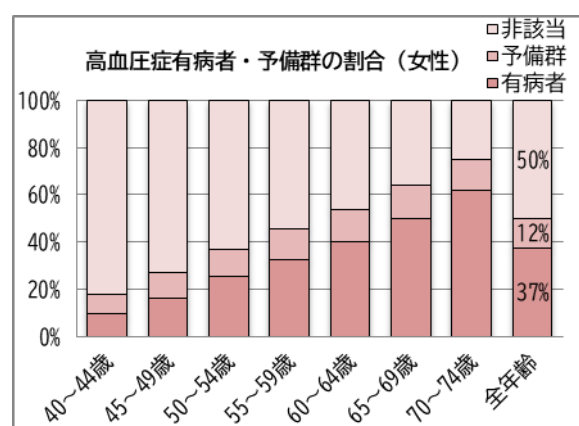
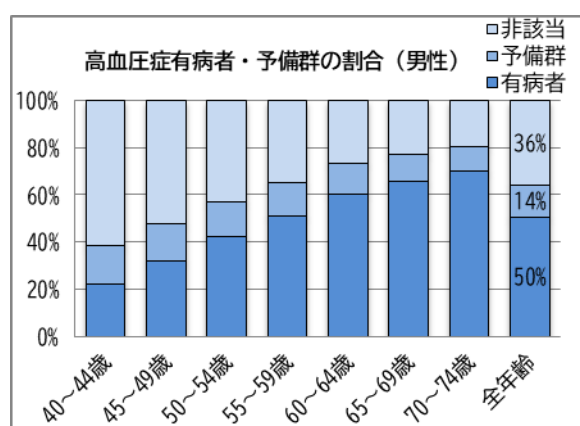
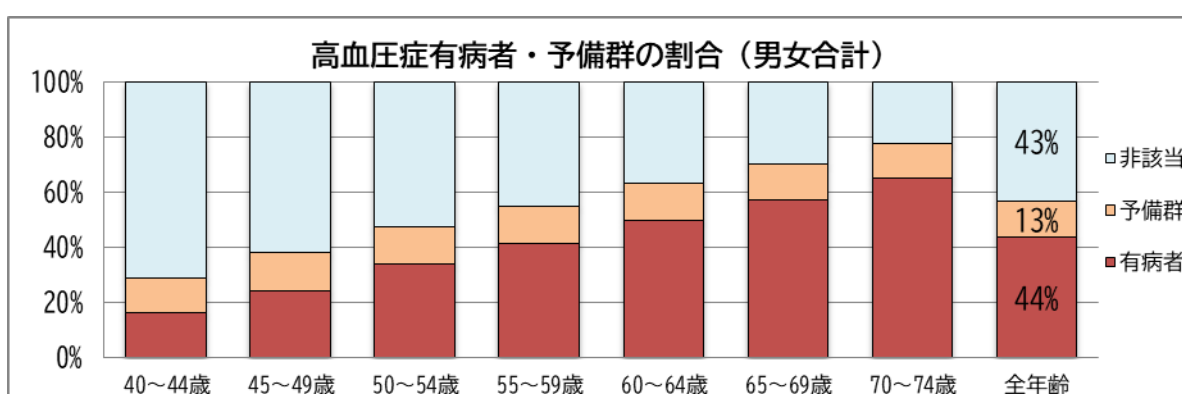
## ② 高血圧症有病者・予備群の割合

高血圧症有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有病者	服薬者
	服薬なし→収縮期血圧 140mmHg 以上、又は 拡張期血圧 90 以上（受診勧奨値）
予備群	収縮期血圧 130mmHg 以上 140mmHg 未満、又は 拡張期血圧 85mmHg 以上 90mmHg 未満（メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非該当	上記以外

年齢が高いほど有病者の割合は高い。年齢階層別に男女を比較すると、男性は若い世代から高い傾向がみられる。

高血圧症の判定別に各指標を比較すると、有病者、予備群は肥満者、飲酒習慣のある人の割合が高い。



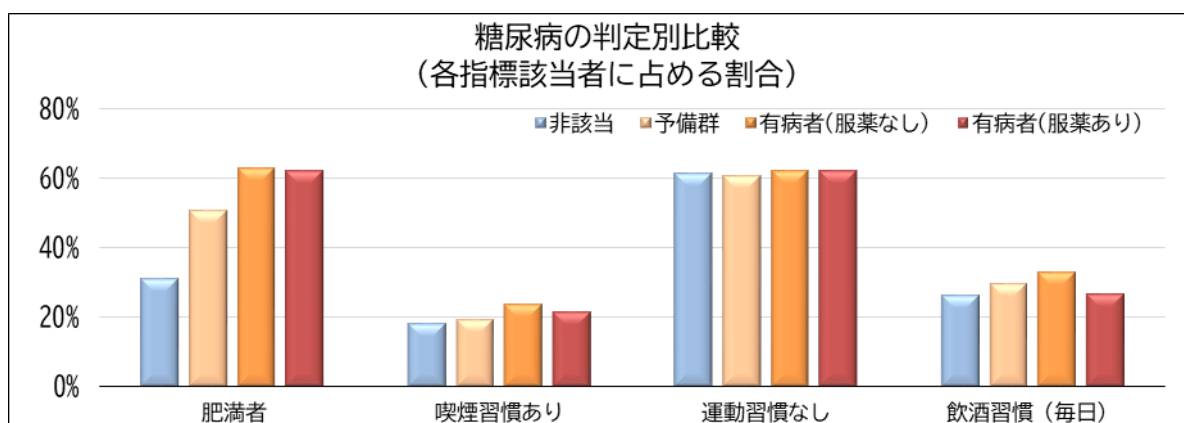
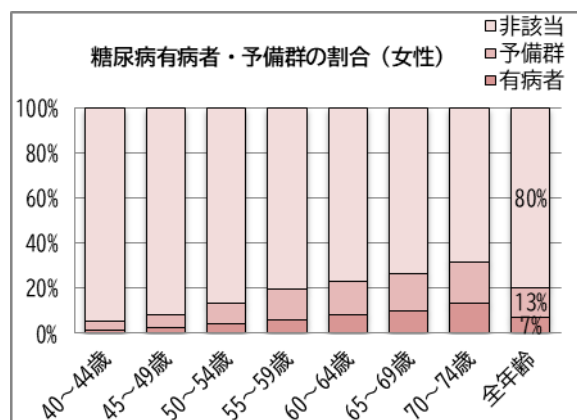
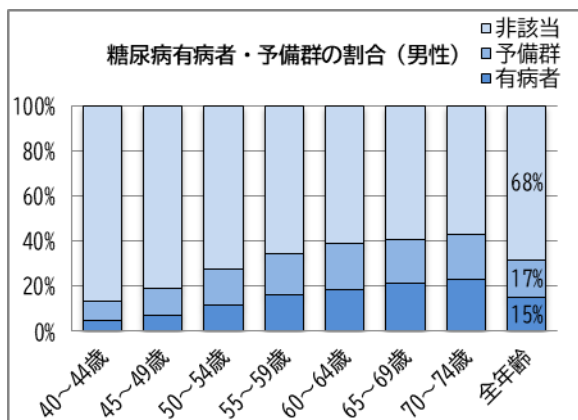
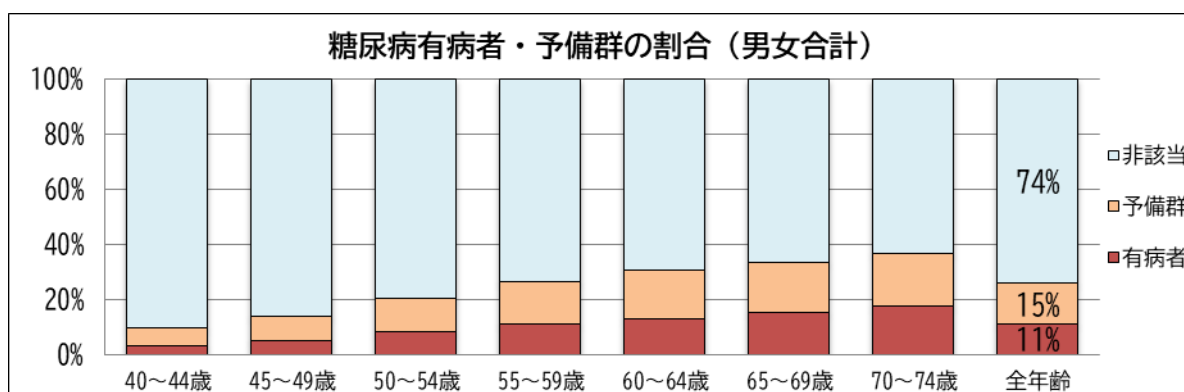
### ③ 糖尿病有病者・予備群の割合

糖尿病有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有病者	服薬者
	服薬なし→空腹時血糖 126mg/dl 以上、又は HbA1c 6.5%以上（受診勧奨値）
予備群	空腹時血糖 110mg/dl 以上 126mg/dl 未満、又は HbA1c 6.0%以上 6.5%未満（メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非該当	上記以外

年齢が高いほど有病者の割合は高い。男女別に有病者の割合をみると、男性は女性の約2倍となっている。

糖尿病の判定別に各指標を比較すると、有病者、予備群においては肥満者の割合が高いことが分かる。



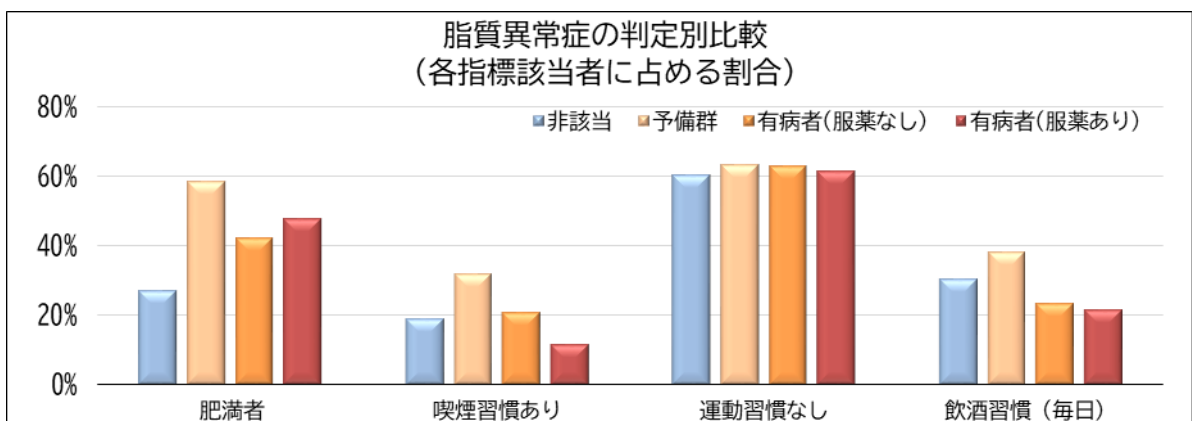
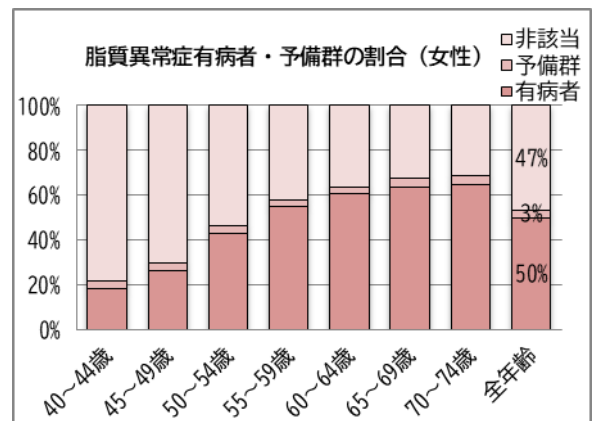
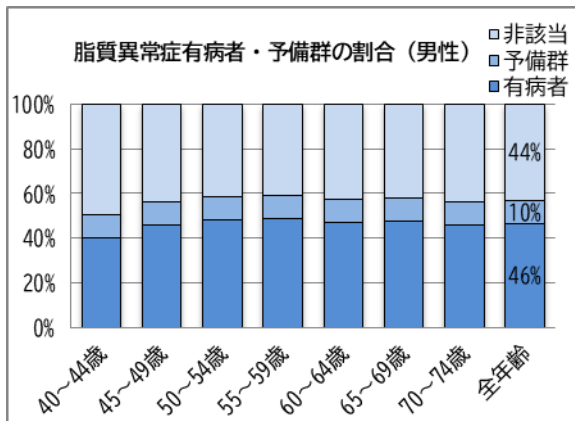
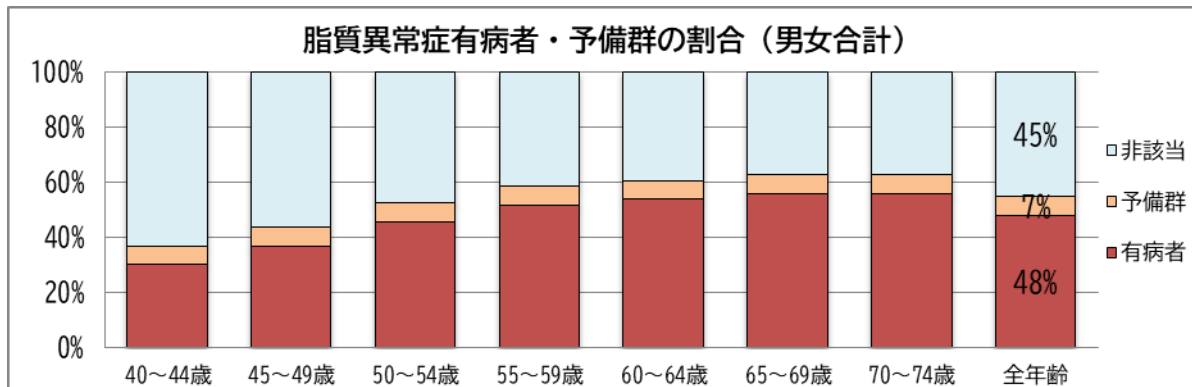
#### ④ 脂質異常症有病者・予備群の割合

脂質異常症有病者、予備群及び非該当の定義は、次のとおりとした。

有病者	服薬者
	服薬なし→中性脂肪 300mg/dl 以上、又は HDL コレステロール 34mg/dl 未満、 又は LDL コレステロール 140mg/dl 以上（受診勧奨値）
予備群	中性脂肪 150mg/dl 以上 300mg/dl 未満、又は HDL コレステロール 40mg/dl 未満 （メタボリックシンドローム診断基準値）※有病者を除く
非該当	上記以外

年齢が高いほど有病者の割合は高い。男女別にみると、男性は年齢階層で大きな差はみられないが、女性は40～59歳にかけて有病者の増加が顕著である。

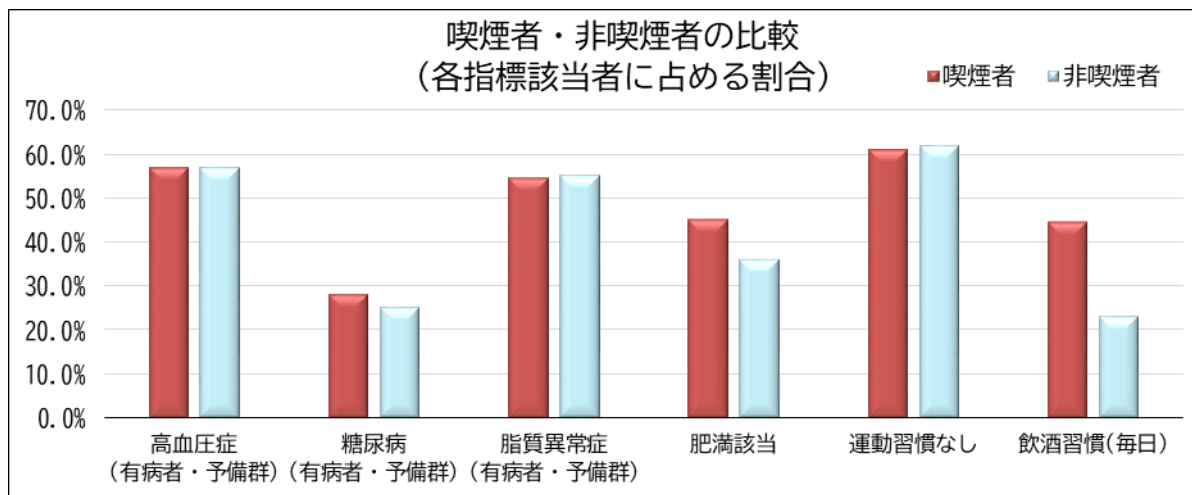
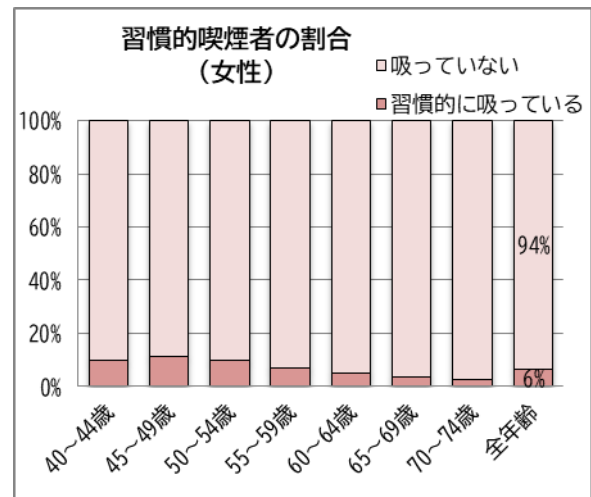
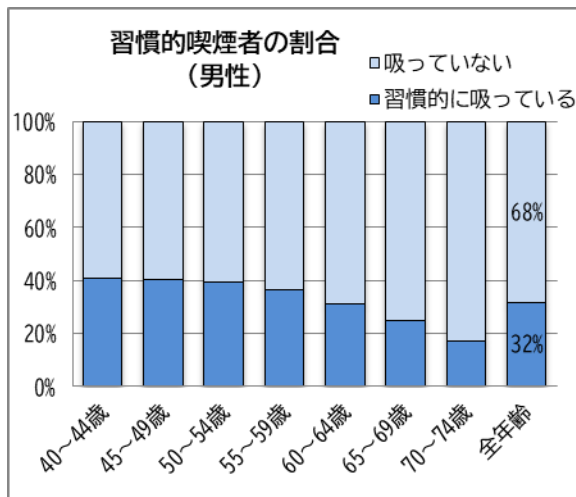
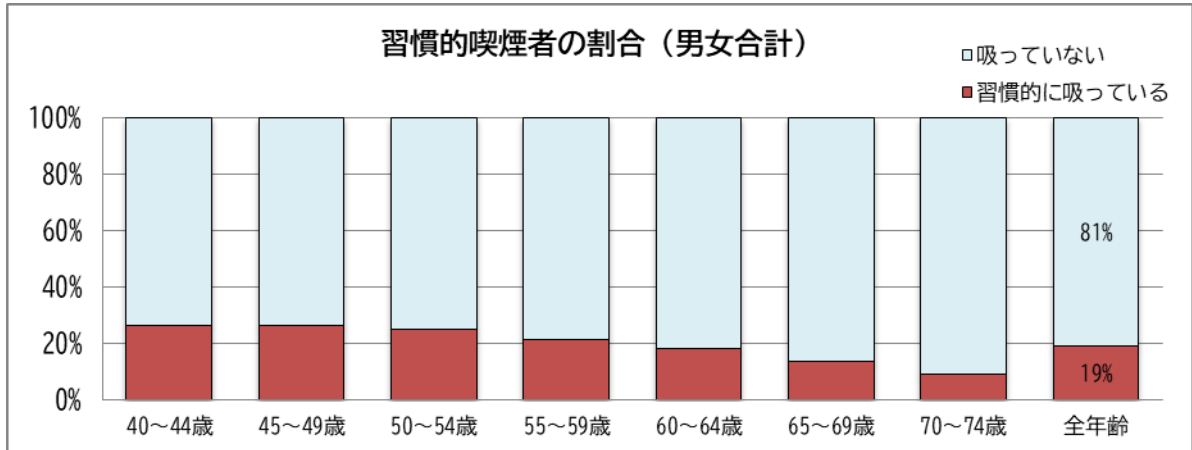
脂質異常症の判定別比較では、高血圧症、糖尿病と同様に、有病者、予備群で肥満者の割合が高い。



### ⑤ 習慣的喫煙者の割合

年齢が高いほど習慣的喫煙者の割合は低くなっている。男女ともに同じ傾向であるが、各年齢階層の割合は、男性が女性を大きく上回っている。

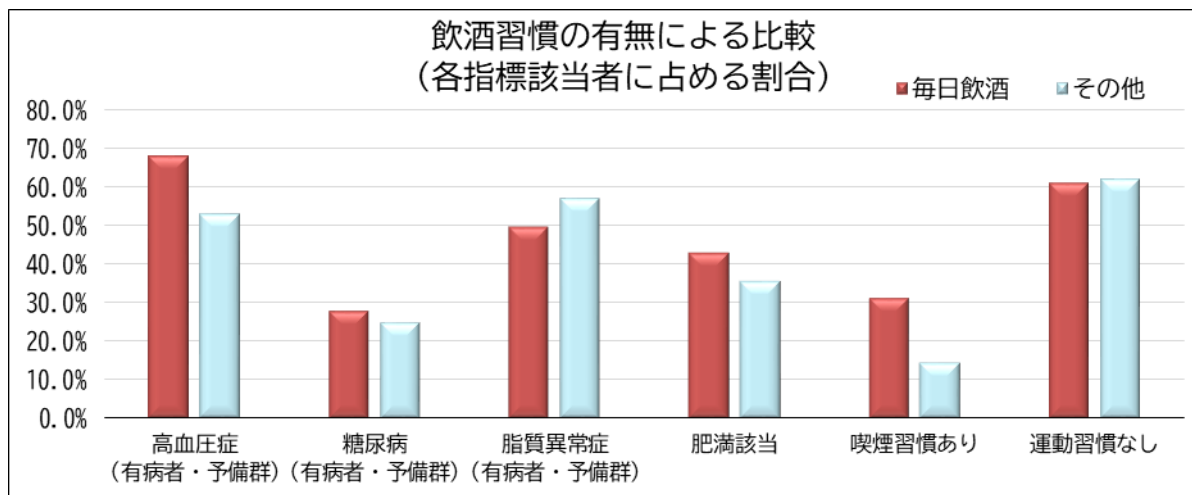
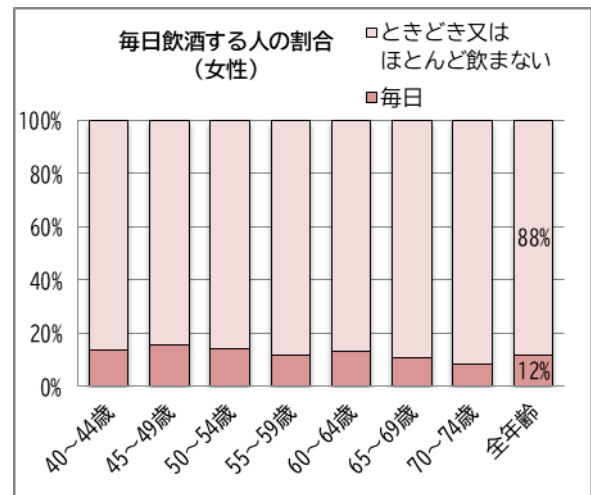
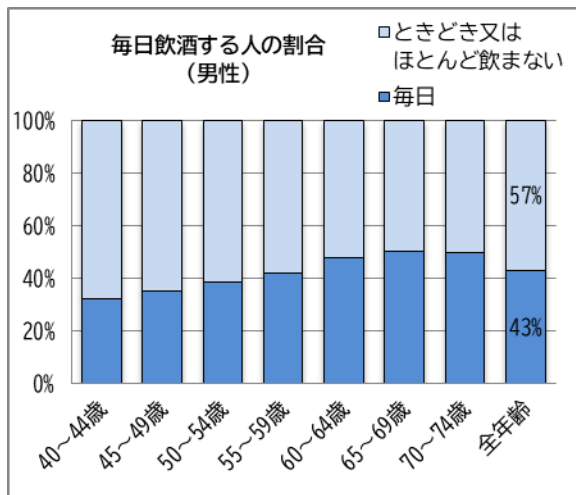
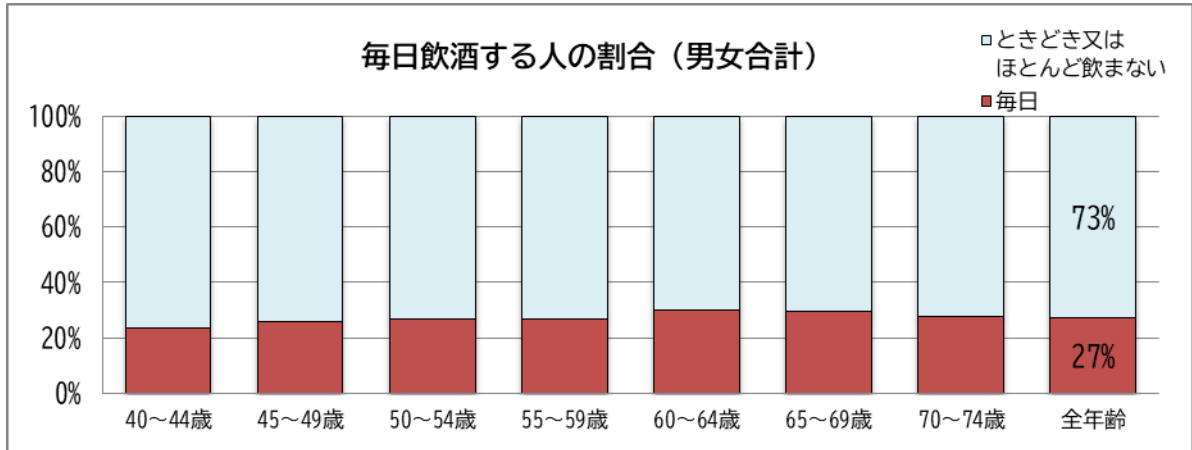
また、習慣的喫煙者の方が、肥満該当者、飲酒習慣のある人の割合が高い。



## ⑥ 毎日飲酒する人の割合

年齢が高いほど、毎日飲酒している人の割合が高く、50歳以上では50%を超えている。男女別にみると、男性が女性を大きく上回っている。

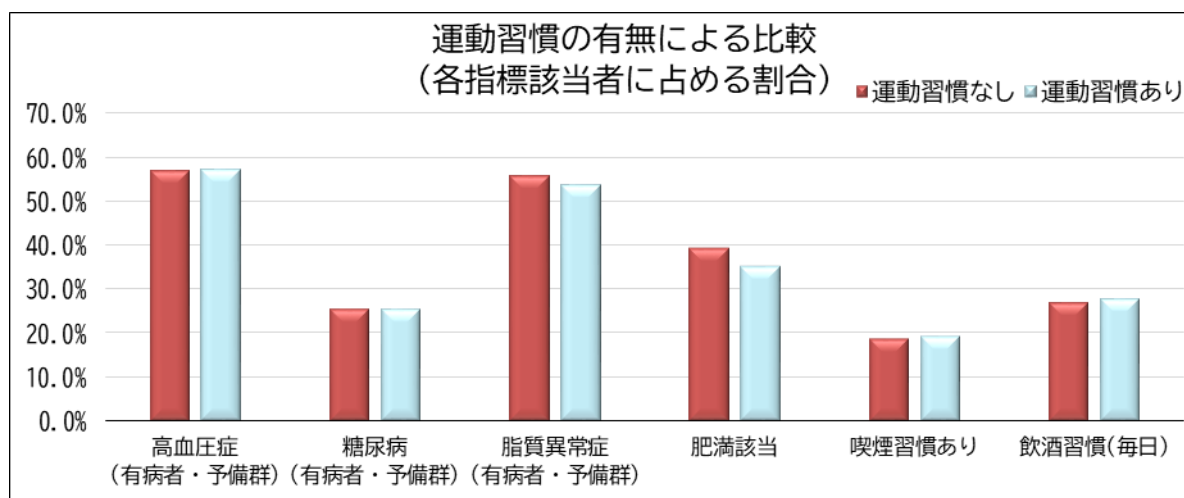
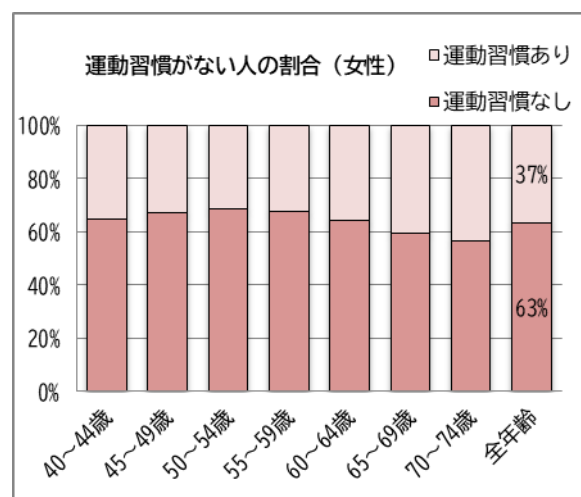
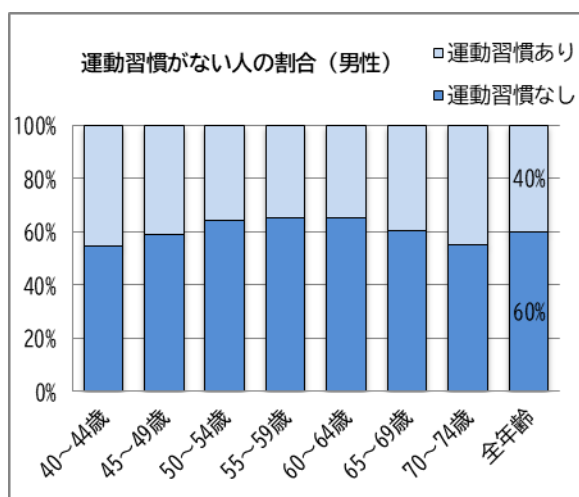
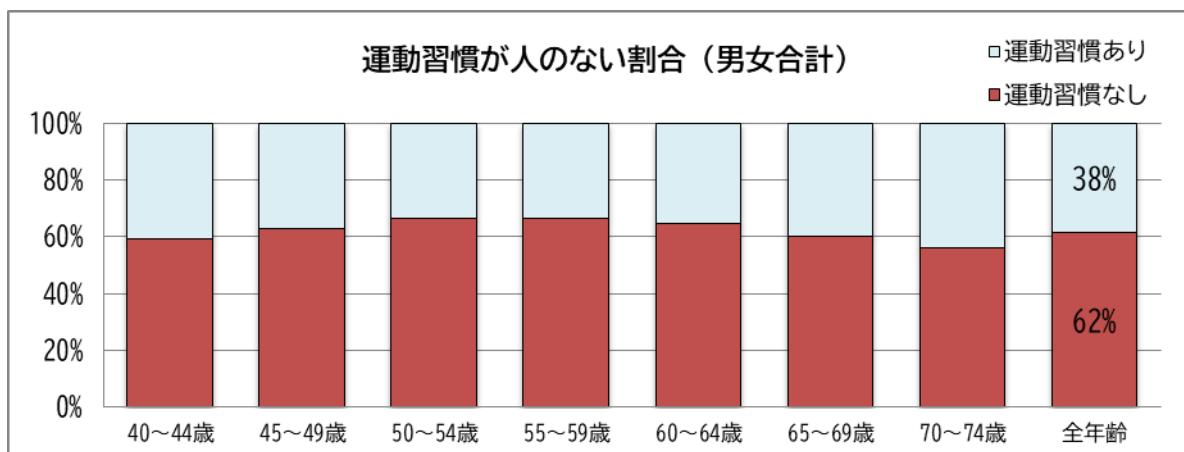
なお、毎日飲酒する人においては、高血圧症、習慣的喫煙者の割合が高い。



## ⑦ 運動習慣がない人の割合

運動習慣がない人は6割強と高い。特に50歳代で高い傾向にある。

運動習慣の有無によるリスク保有状況には目立った差異はないが、運動習慣のない人における肥満者の割合はやや高い。



※問診項目「日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している」に該当する人を「運動習慣がある人」として集計

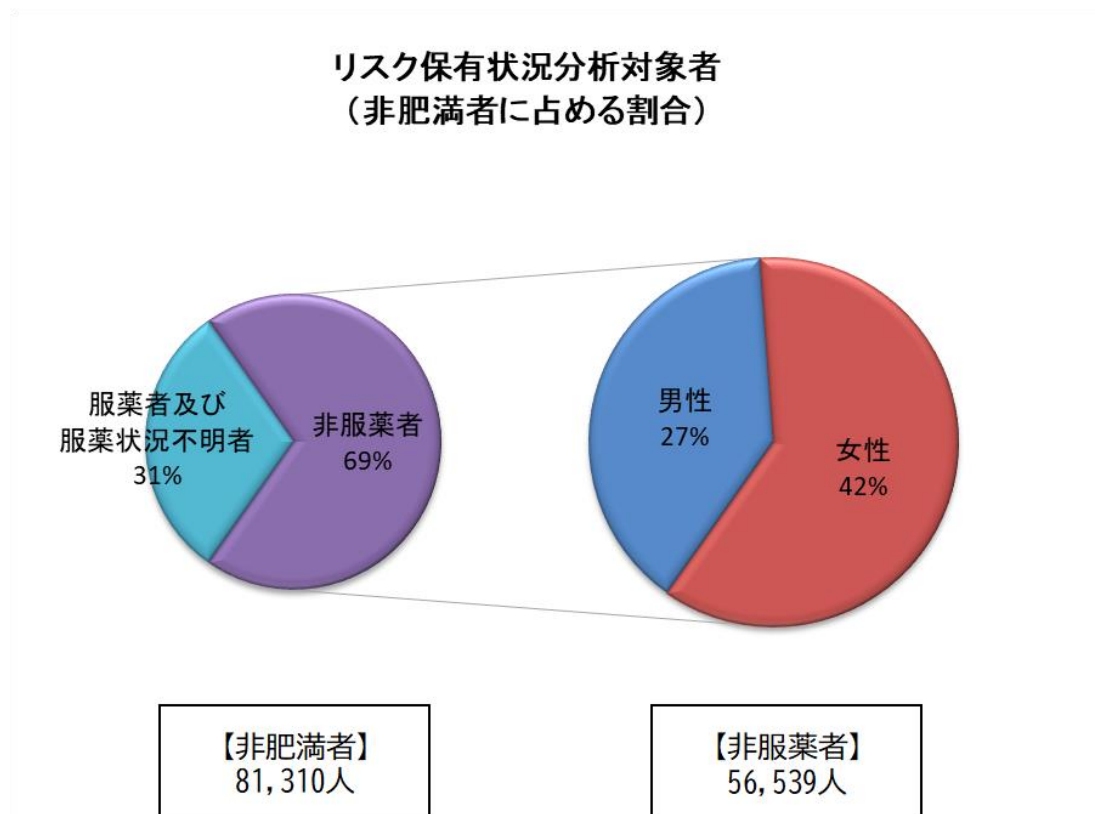
### (5) 非肥満者におけるリスク保有者の割合

非肥満者における高血圧、高血糖及び脂質異常のリスク保有状況について集計した。

#### ①対象者

非肥満者（81,310人）のうち、服薬のない者（56,539人）を分析の対象とした。

対象者は、男性が22,083人、女性が34,456人であり、制度別では、国保14,432人、被用者保険42,107人である。



	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
男性(人)	4,426	4,478	3,298	2,472	2,497	2,393	2,519	22,083
女性(人)	5,760	6,566	5,020	4,272	4,393	4,225	4,220	34,456
男女合計(人)	10,186	11,044	8,318	6,744	6,890	6,618	6,739	56,539
構成割合(%)	18	20	15	12	12	12	12	100

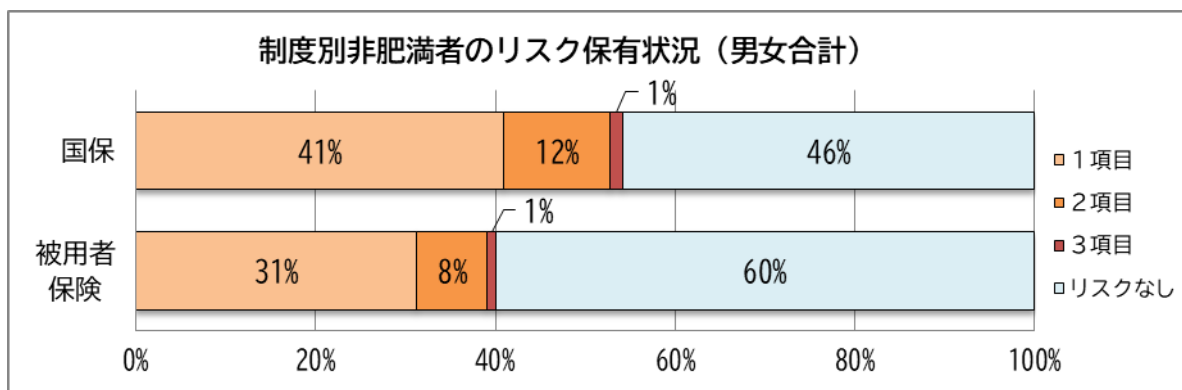
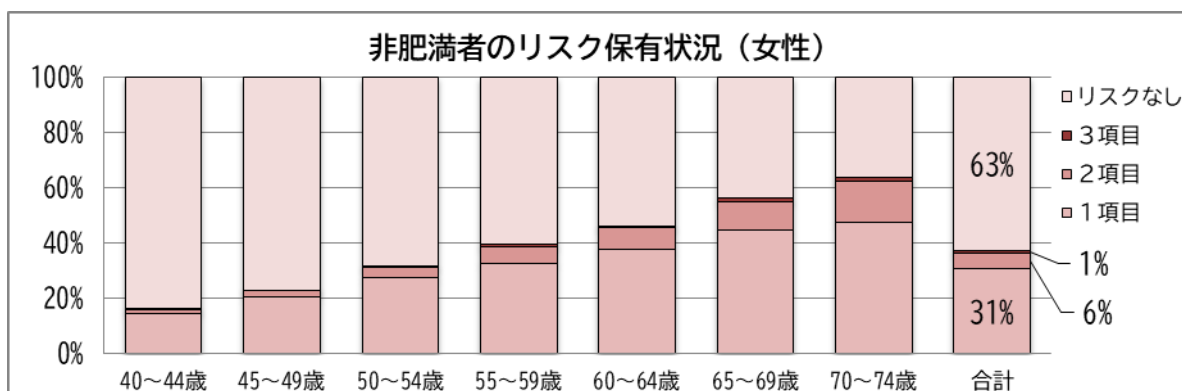
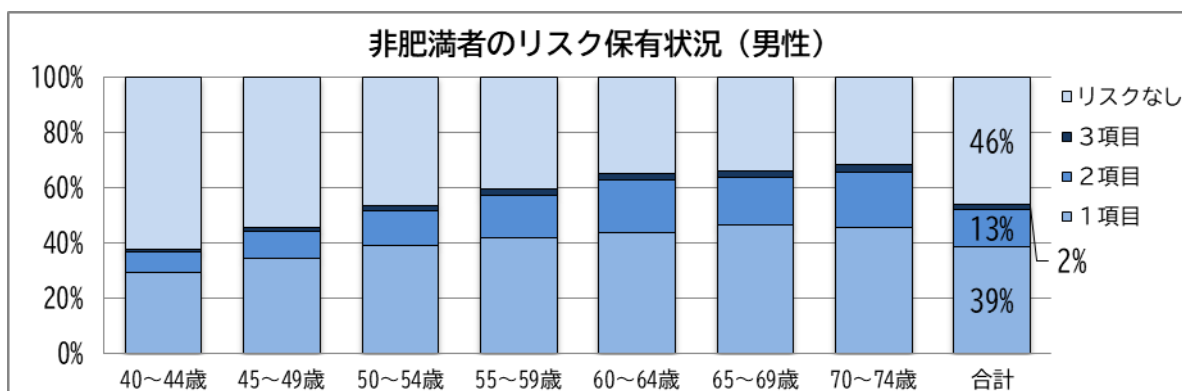
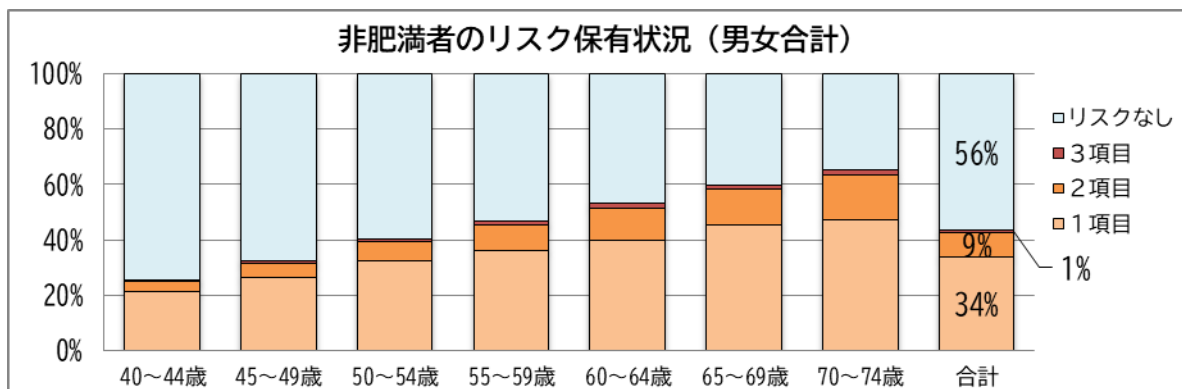
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	合計
国保(人)	781	878	846	850	1,703	3,896	5,478	14,432
被用者保険(人)	9,405	10,166	7,472	5,894	5,187	2,722	1,261	42,107

## ②リスク保有状況

リスクの定義は次のとおり（メタボリックシンドローム診断基準値以上）とした。

血糖	服薬なし→空腹時血糖 110mg/dl 以上 又は HbA1c 6.0%以上
脂質	服薬なし→中性脂肪 150mg/dl 以上 又は HDL コレステロール 40mg/dl 未満
血圧	服薬なし→収縮期 130mmHg 以上 又は 拡張期 85mmHg 以上

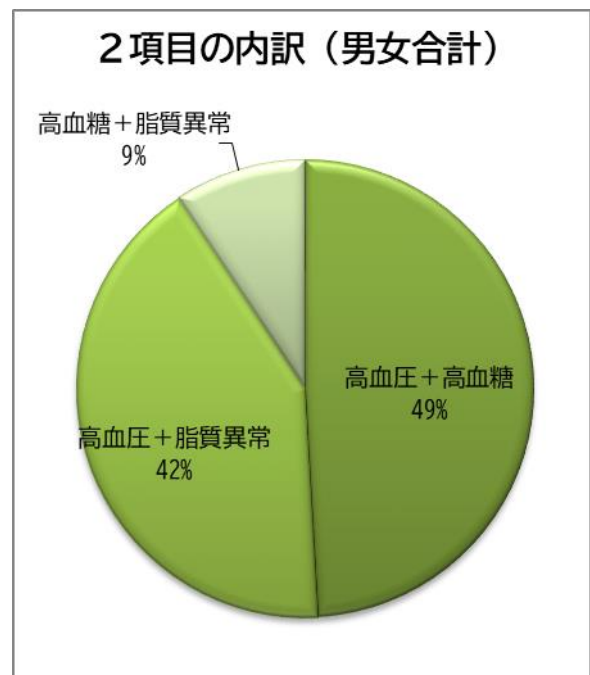
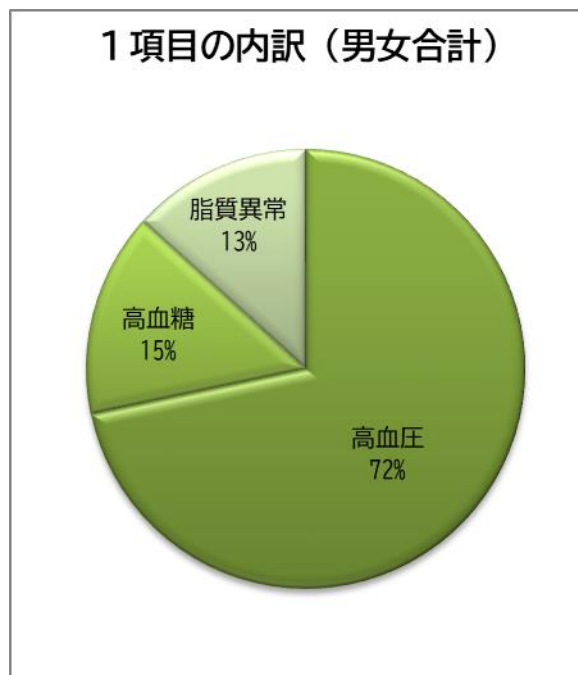
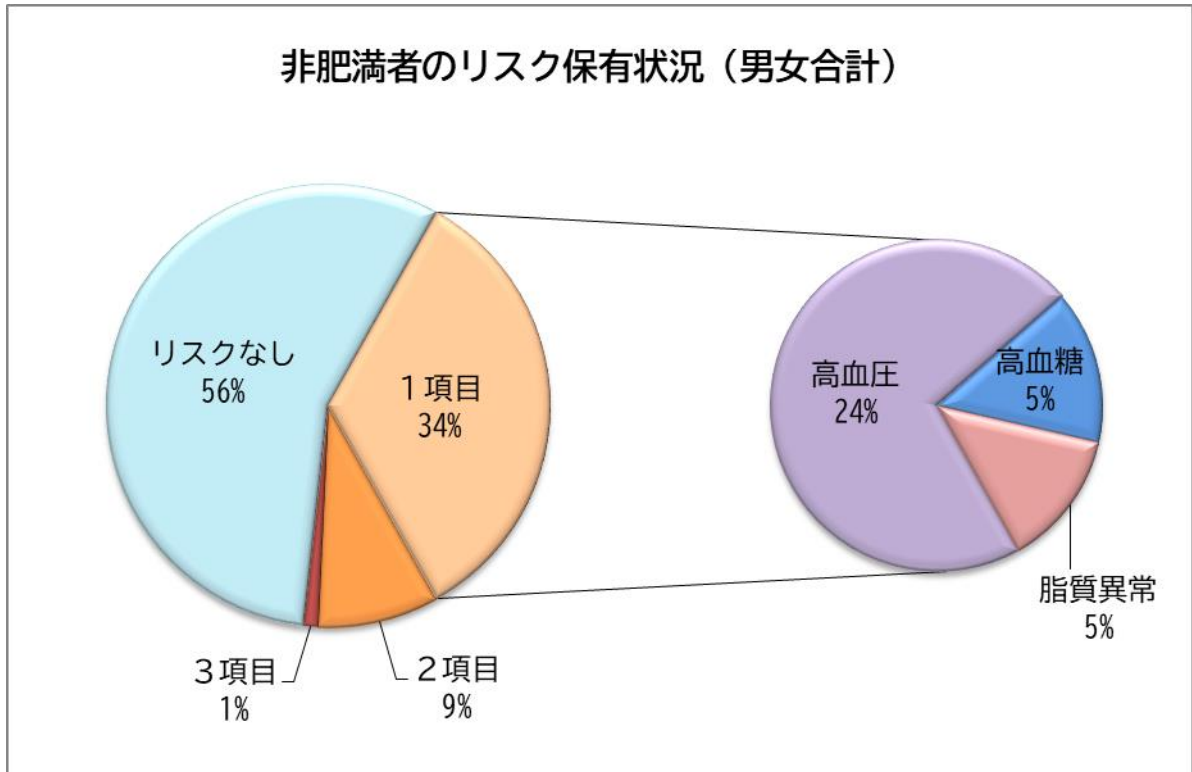
非肥満者のうち、リスクを保有する者の割合は、男女とも高齢になるにつれ高くなる。男女を比較すると、男性は若年層から高い傾向がみられる。



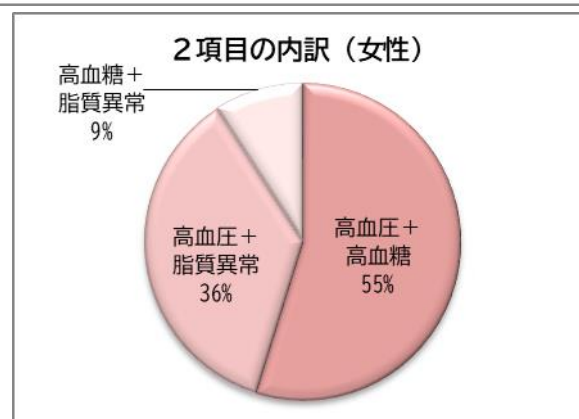
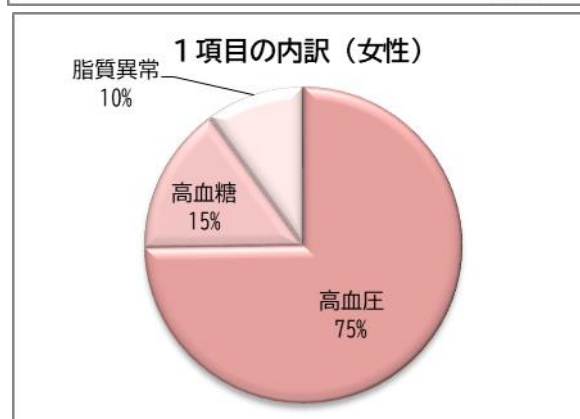
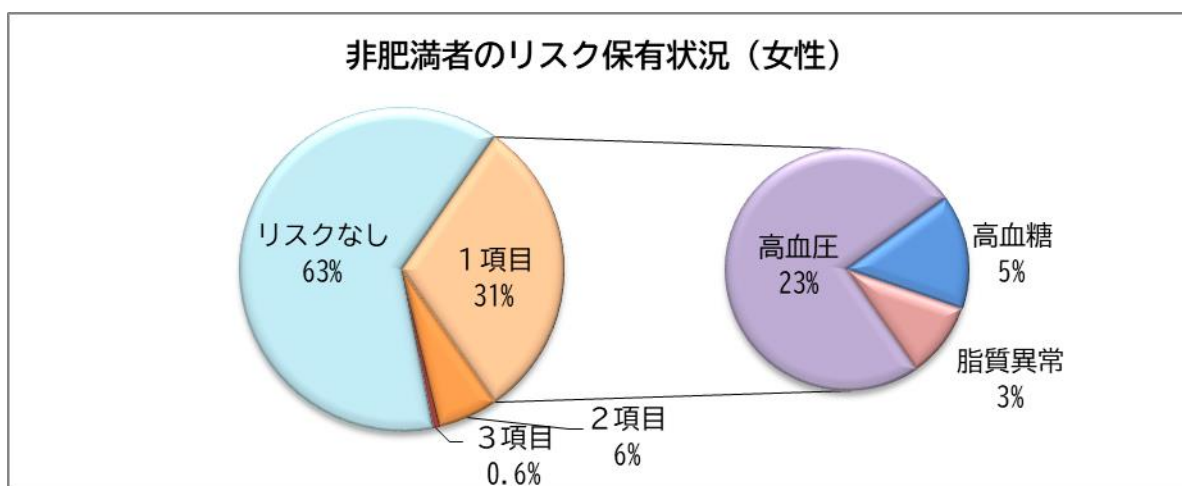
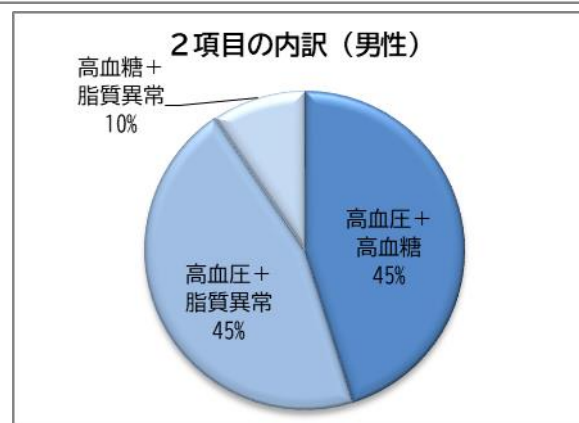
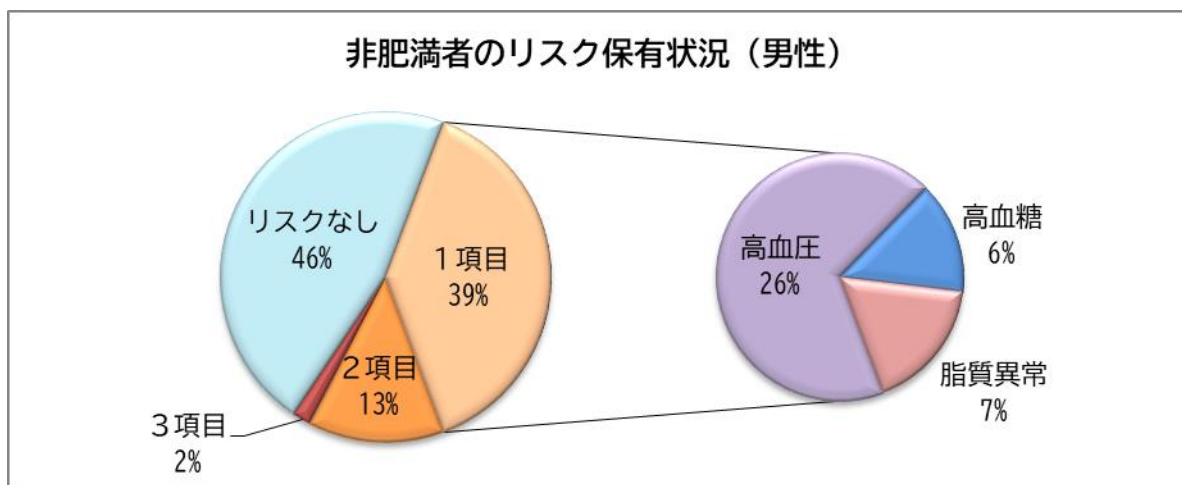


リスクを1項目以上保有する者の割合は44%である。

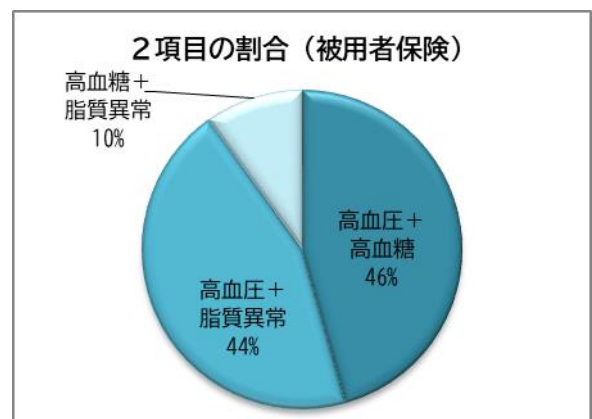
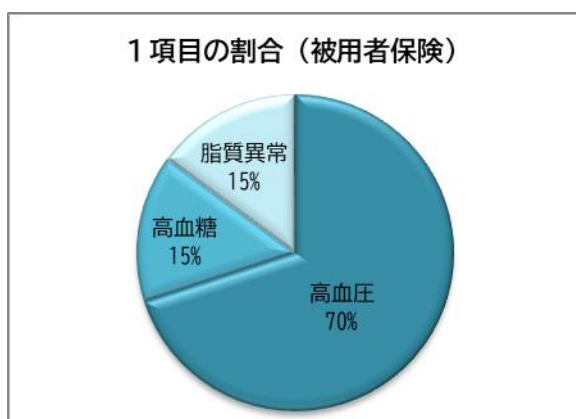
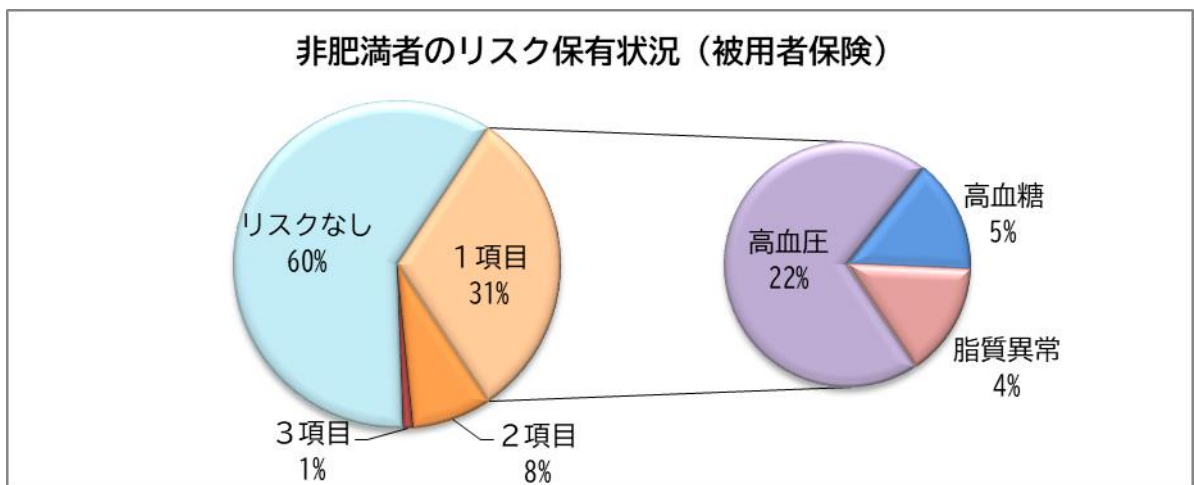
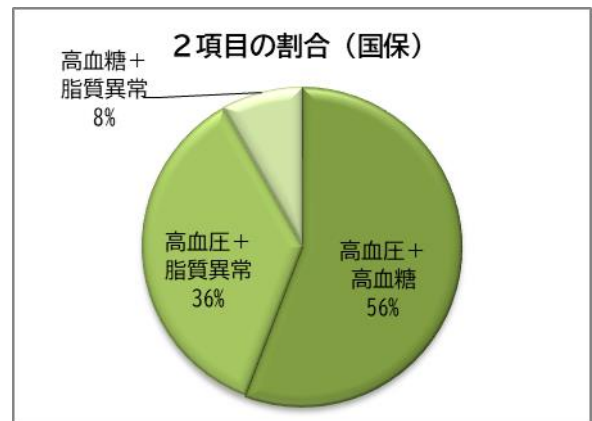
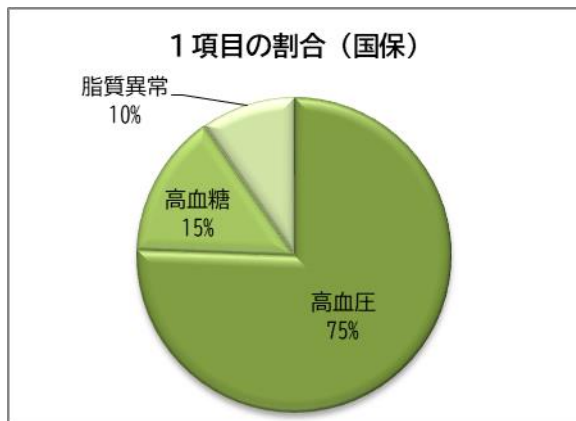
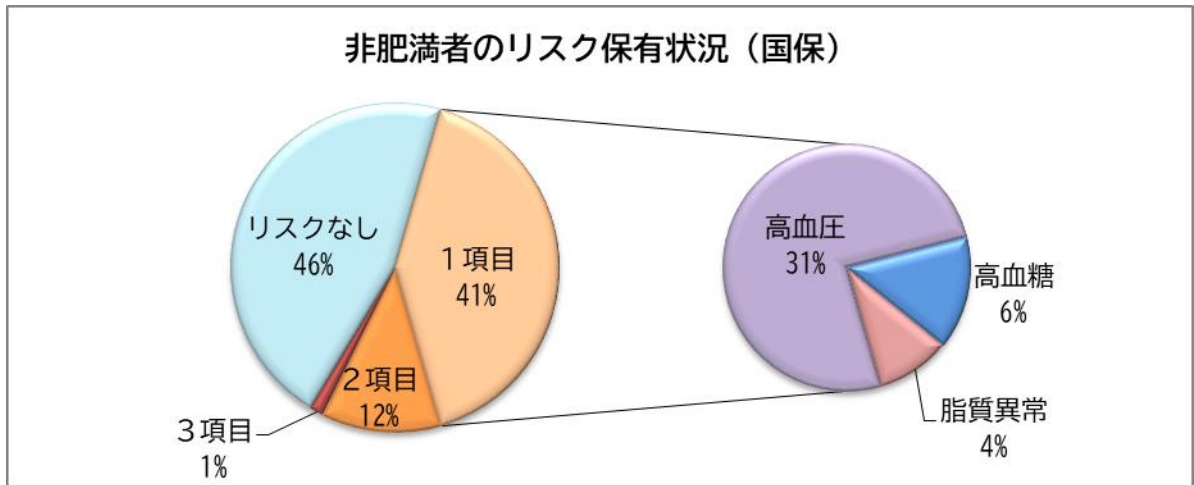
リスクを1項目保有する者の内訳では、高血圧が最も高く72%を占める。2項目保有する者の内訳でも、高血圧+高血糖が49%、次いで高血圧+脂質異常が42%と、高血圧のリスクを保有する者の割合が高い。



男女別にみると、リスクを1項目以上保有する者の割合は男性が54%と、女性(37%)より高い。リスクを1項目保有する者の内訳では、男女とも高血圧の占める割合が最も高い。



制度別にみると、高齢者を多く抱える国保の方がリスク保有者の割合が54%と高い状況である。一方で、被用者保険では、脂質異常のリスクを保有する者の割合が国保よりも高くなっている。

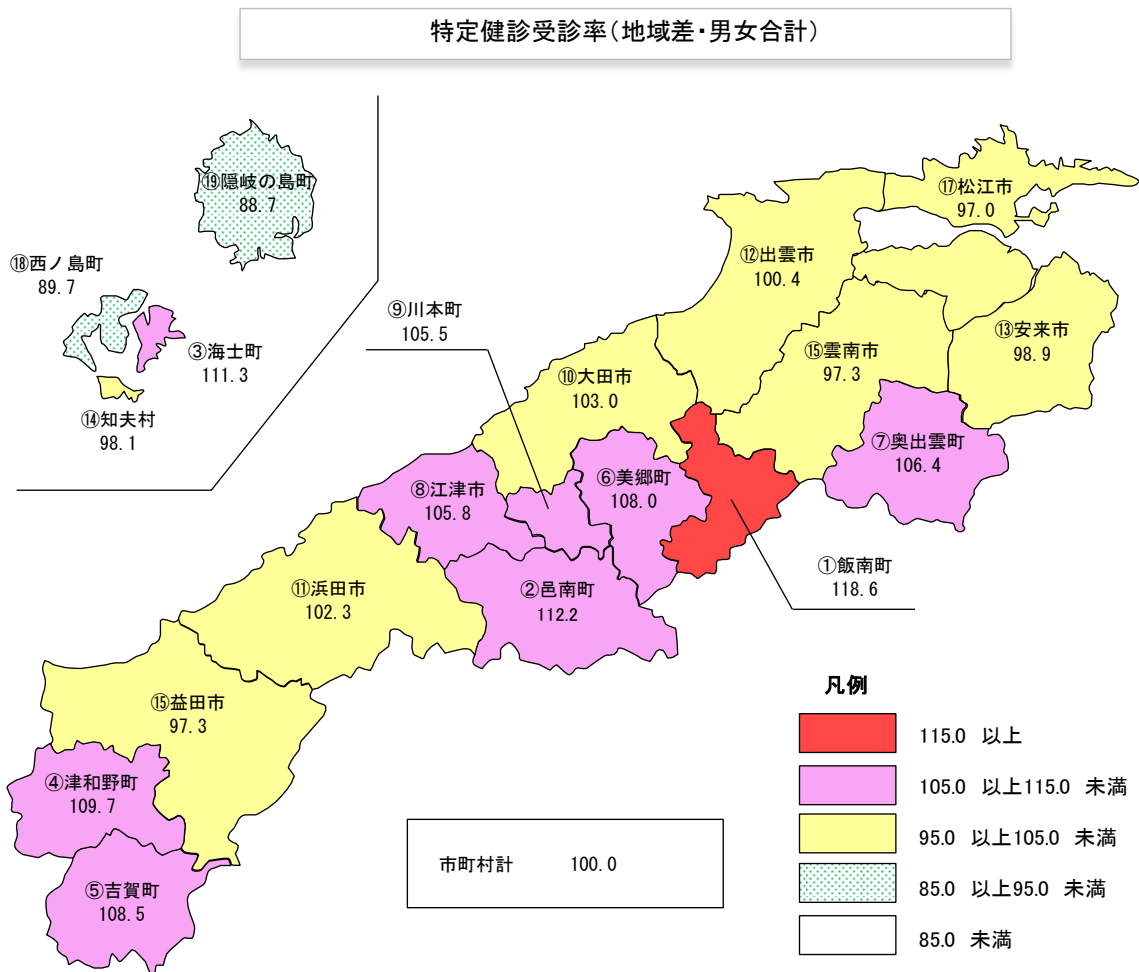


## 2 市町村別の状況

### (1) 特定健診受診者等

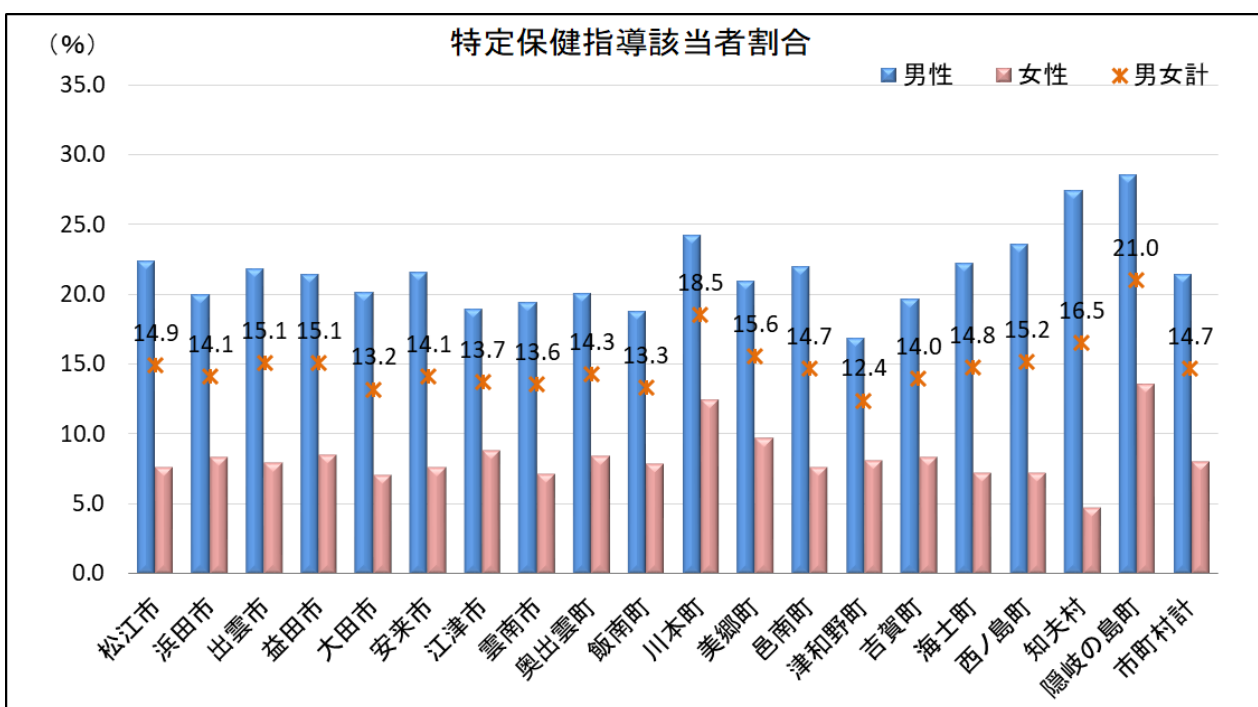
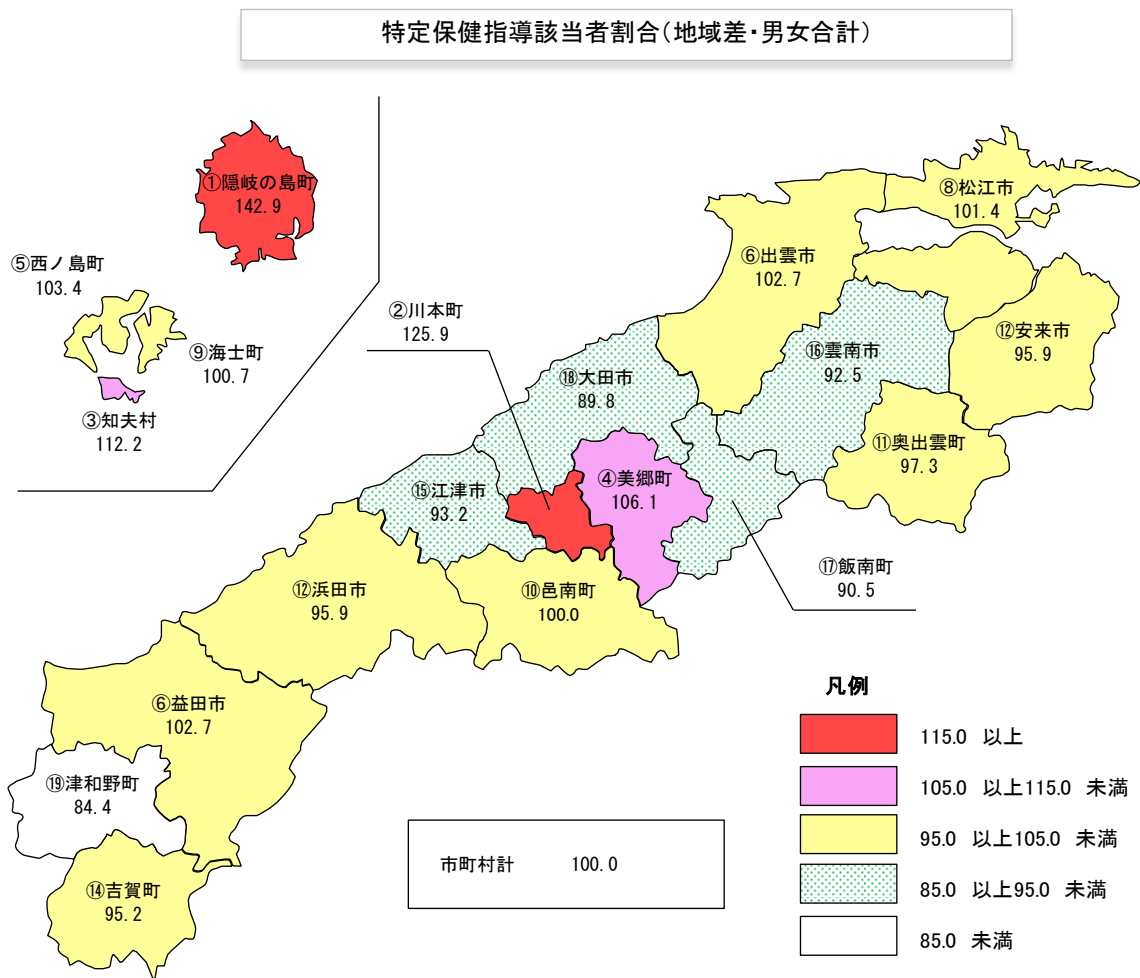
本統計における市町村別の特定健診対象者数、受診者数及び受診率は次表のとおり。  
受診率が最も高いのは飯南町で67.0%、次いで邑南町が63.4%と続く。

保険者	特定健診対象者数(人)			特定健診受診者数(人)			特定健診受診率(%)		
	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計	男性	女性	男女合計
松江市	30,586	33,139	63,725	17,207	17,709	34,916	56.3%	53.4%	54.8%
浜田市	9,451	9,853	19,304	5,514	5,652	11,166	58.3%	57.4%	57.8%
出雲市	28,231	29,173	57,404	16,657	15,915	32,572	59.0%	54.6%	56.7%
益田市	8,363	8,805	17,168	4,812	4,634	9,446	57.5%	52.6%	55.0%
大田市	6,260	6,606	12,866	3,514	3,977	7,491	56.1%	60.2%	58.2%
安来市	5,797	6,421	12,218	3,183	3,650	6,833	54.9%	56.8%	55.9%
江津市	4,244	4,480	8,724	2,483	2,734	5,217	58.5%	61.0%	59.8%
雲南市	6,975	6,882	13,857	4,012	3,615	7,627	57.5%	52.5%	55.0%
奥出雲町	2,461	2,366	4,827	1,459	1,441	2,900	59.3%	60.9%	60.1%
飯南町	912	890	1,802	605	602	1,207	66.3%	67.6%	67.0%
川本町	606	592	1,198	366	348	714	60.4%	58.8%	59.6%
美郷町	855	841	1,696	538	497	1,035	62.9%	59.1%	61.0%
邑南町	1,870	1,942	3,812	1,200	1,218	2,418	64.2%	62.7%	63.4%
津和野町	1,389	1,414	2,803	845	894	1,739	60.8%	63.2%	62.0%
吉賀町	1,089	1,078	2,167	664	664	1,328	61.0%	61.6%	61.3%
海士町	436	413	849	269	265	534	61.7%	64.2%	62.9%
西ノ島町	534	532	1,066	263	277	540	49.3%	52.1%	50.7%
知夫村	131	109	240	69	64	133	52.7%	58.7%	55.4%
隠岐の島町	2,775	2,785	5,560	1,383	1,405	2,788	49.8%	50.4%	50.1%
市町村計	112,965	118,321	231,286	65,043	65,561	130,604	57.6%	55.4%	56.5%



## (2) 特定保健指導該当者割合

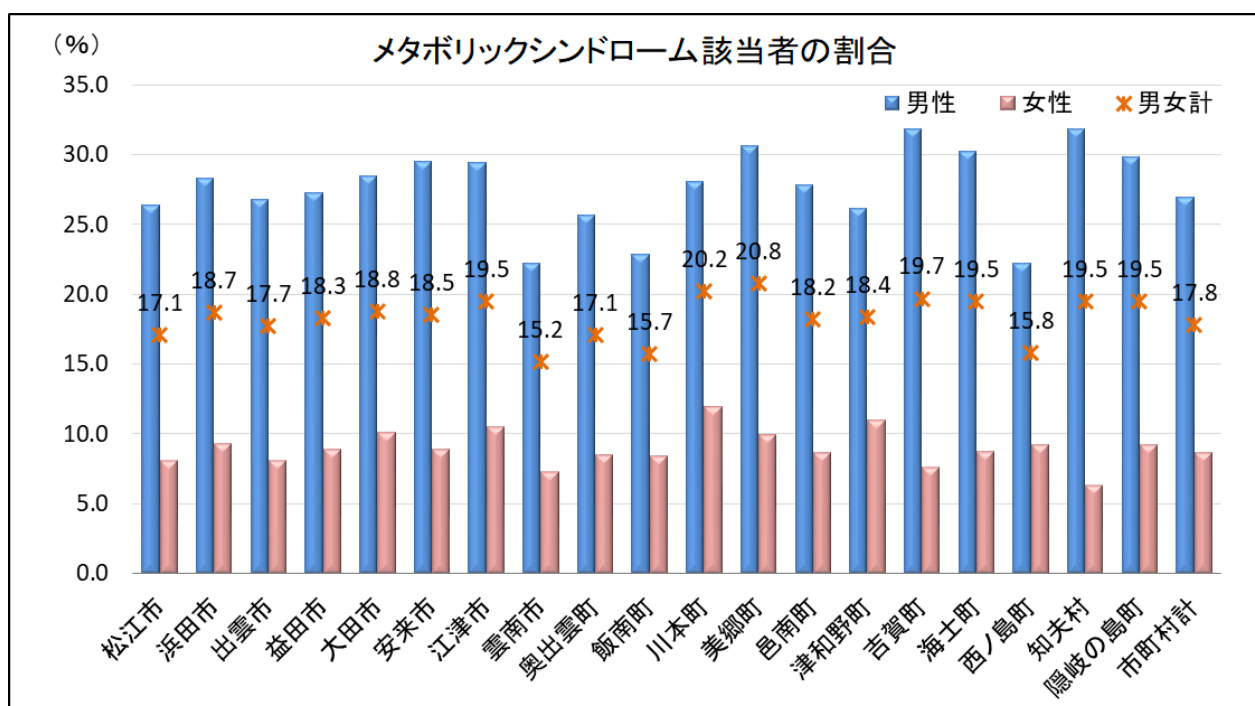
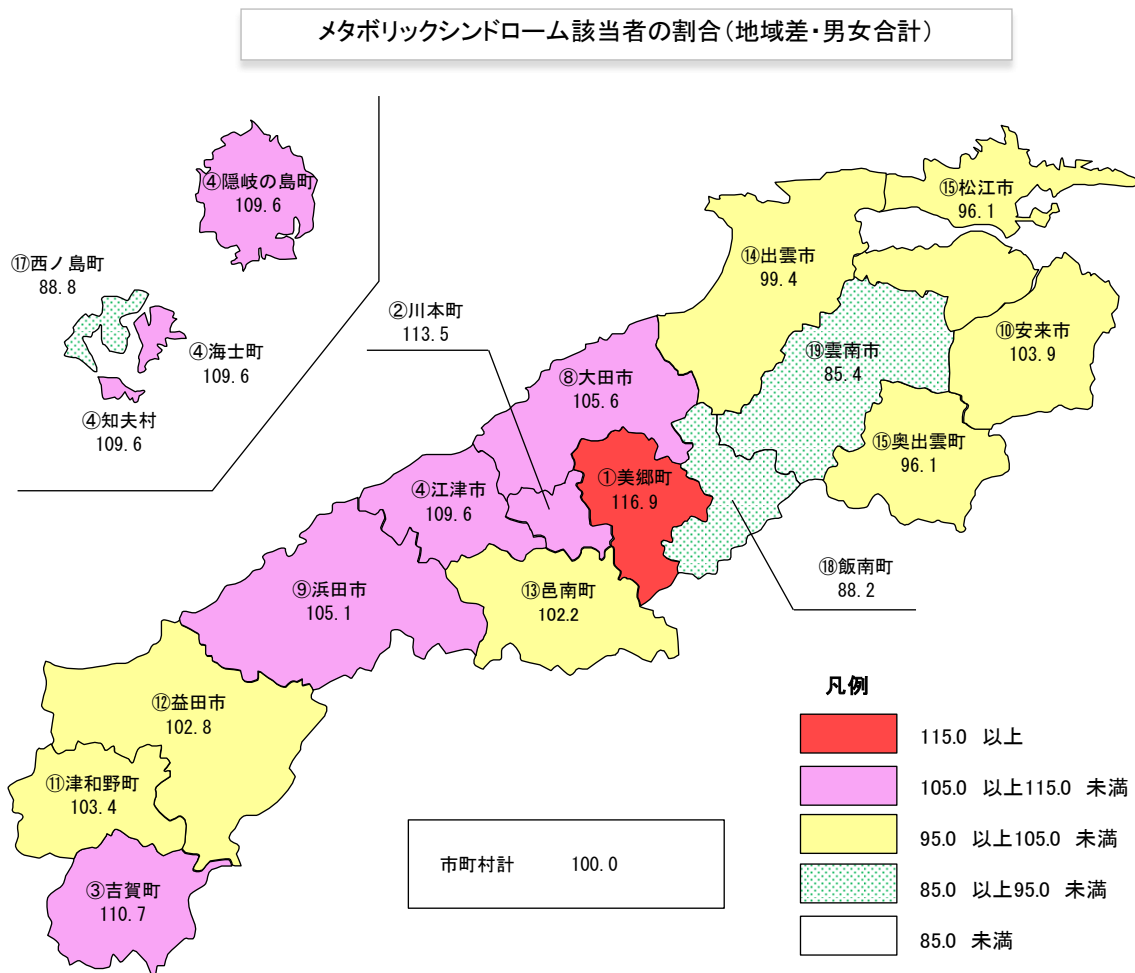
特定保健指導該当者の割合が最も高いのは隠岐の島町（21.0%）、最も低いのは津和野町（12.4%）である。男女別にみると、男女とも隠岐の島町が最も高かった。



### (3) メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

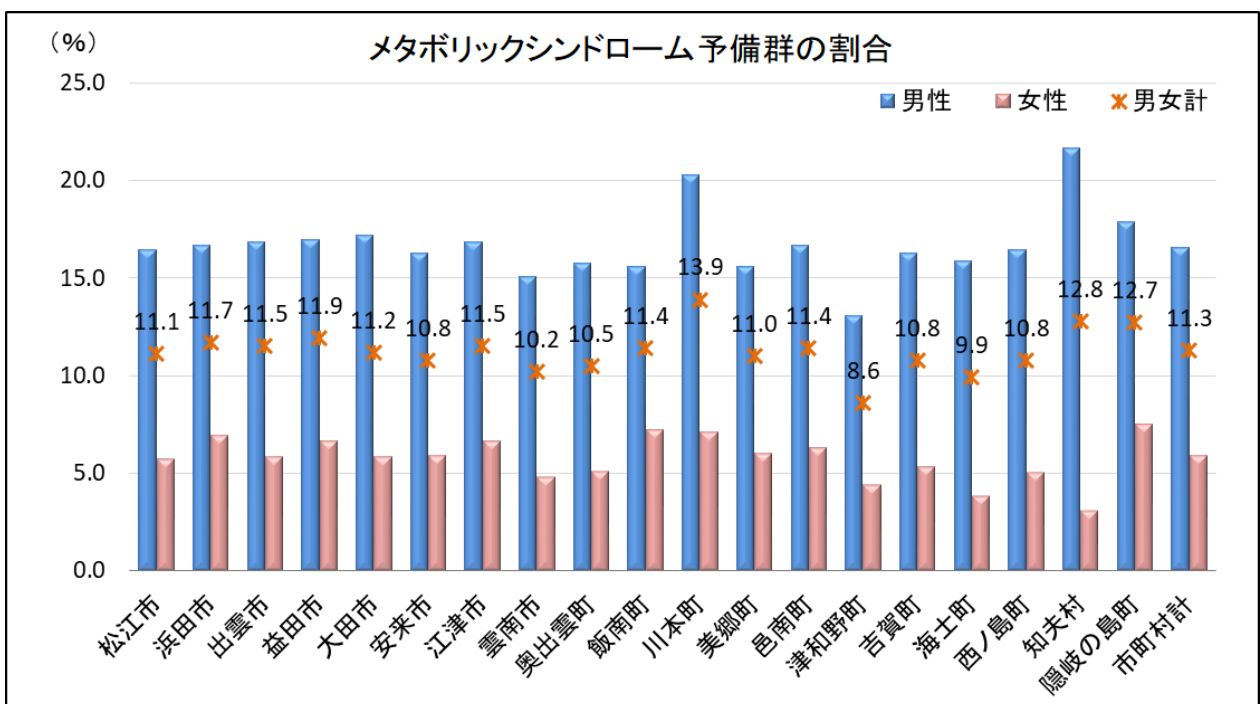
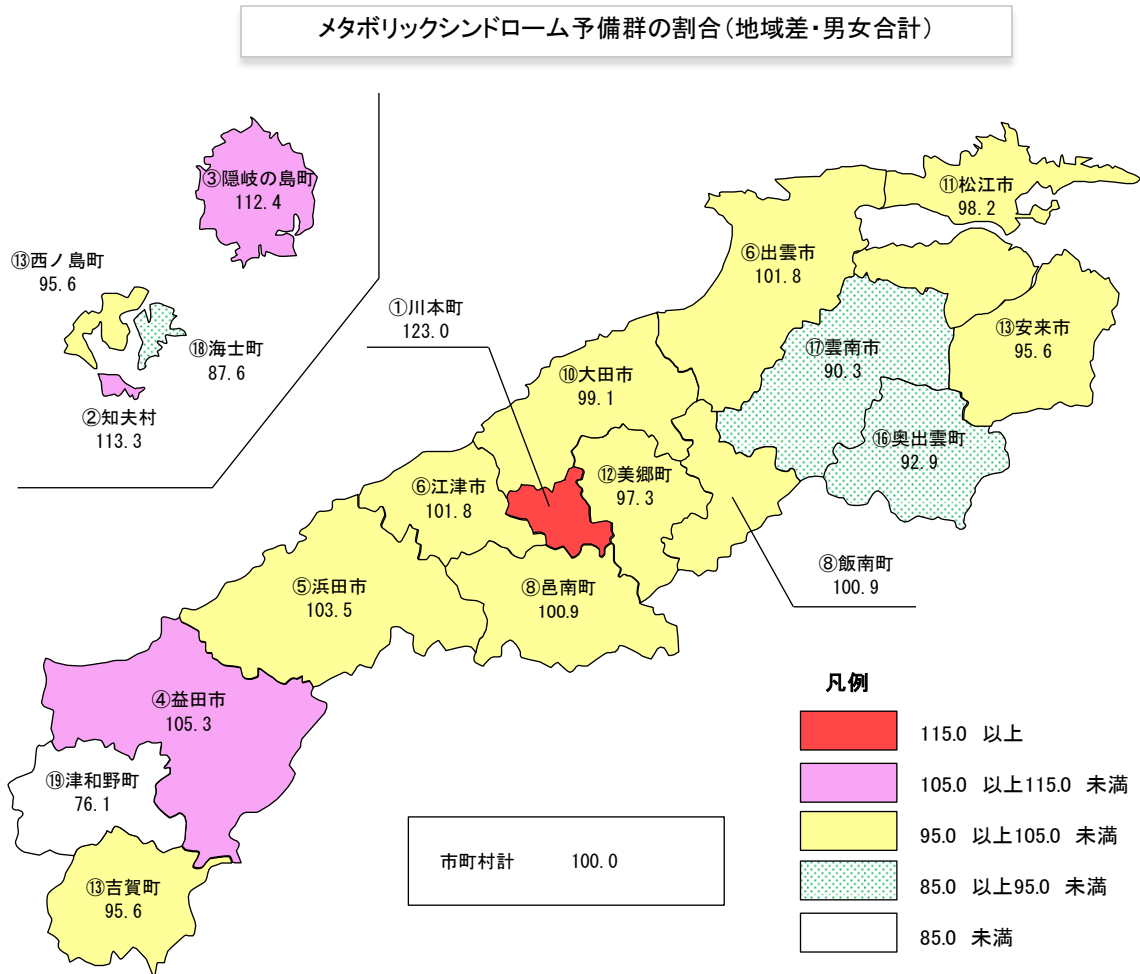
#### ① メタボリックシンドローム該当者の割合

メタボリックシンドローム該当者の割合が最も高いのは美郷町 (20.8%)、最も低いのは雲南市 (15.2%) である。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



## ② メタボリックシンドローム予備群の割合

メタボリックシンドローム予備群の割合が最も高いのは川本町（13.9%）、最も低いのは津和野町（8.6%）である。

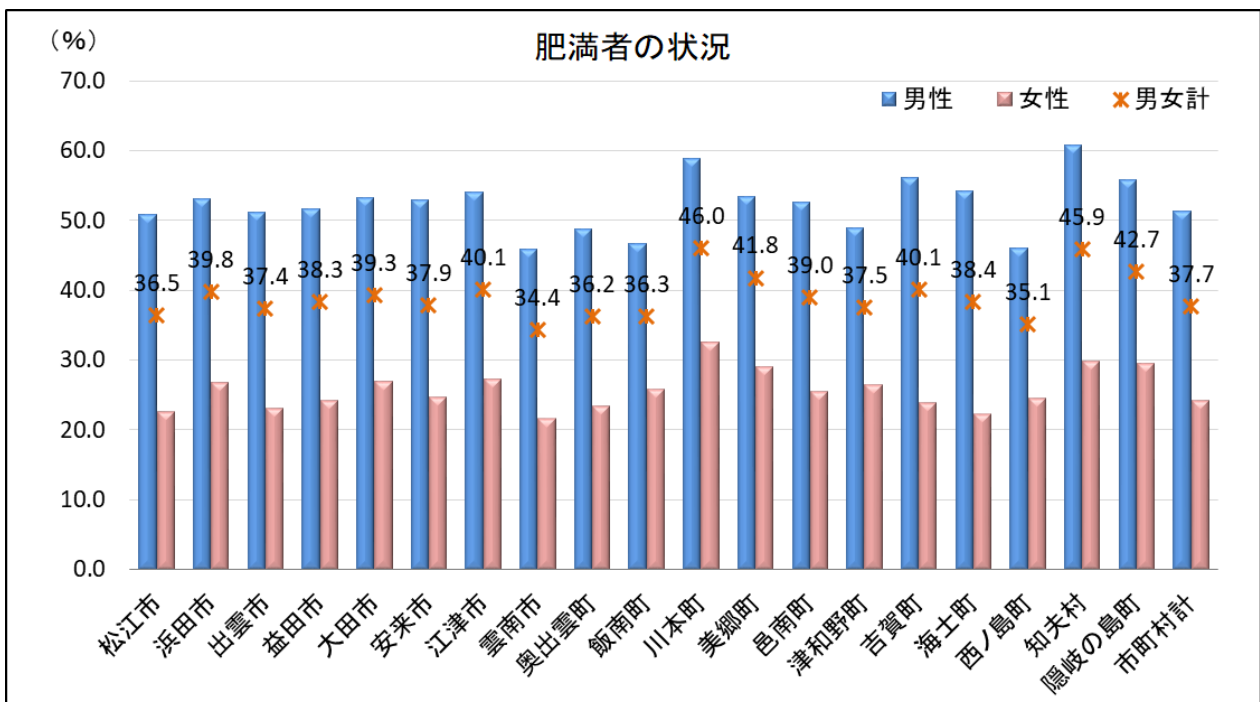
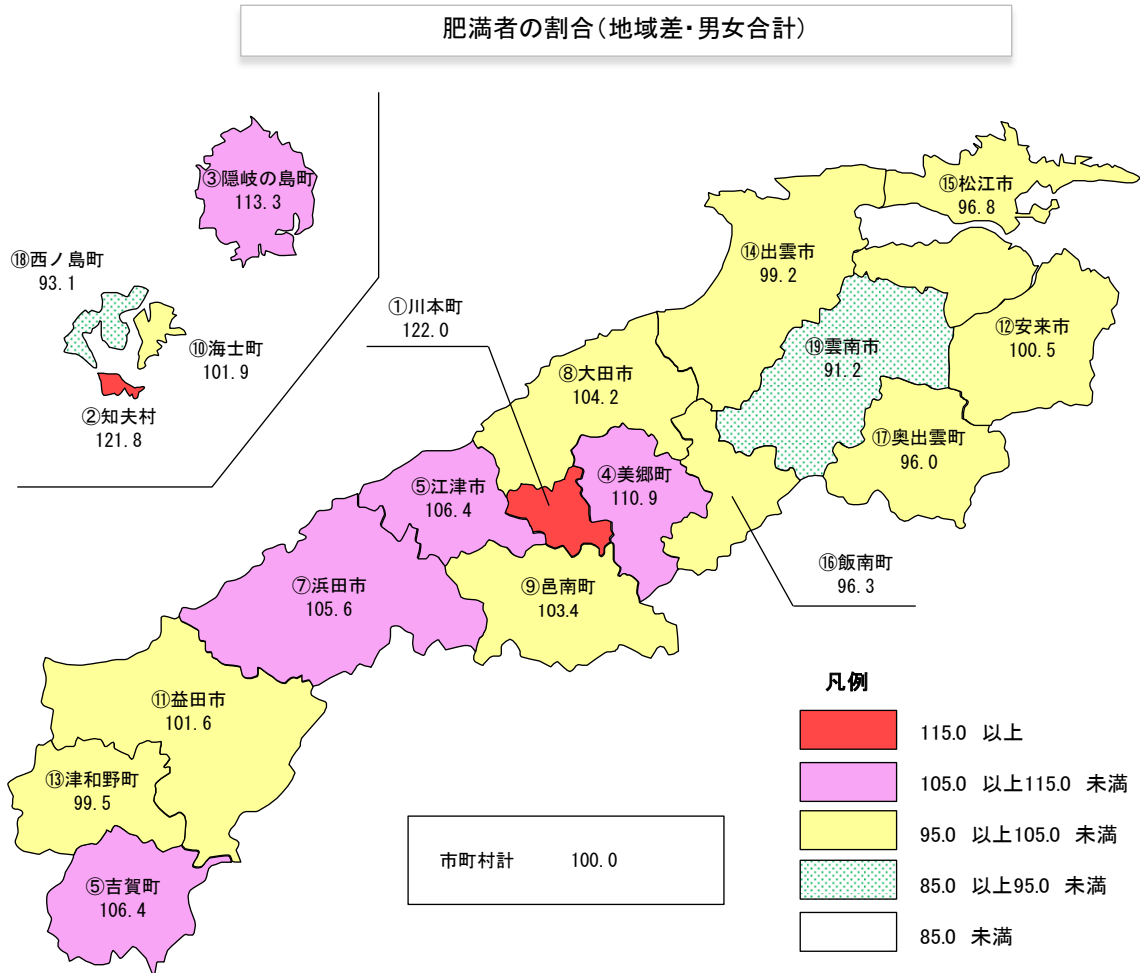


#### (4) 検査等結果

市町村別及び男女別に、特定健康診査における各検査等の結果を比較する。

##### ① 肥満者の割合

肥満者の割合が最も高いのは川本町（46.0%）、最も低いのは雲南市（34.4%）である。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。

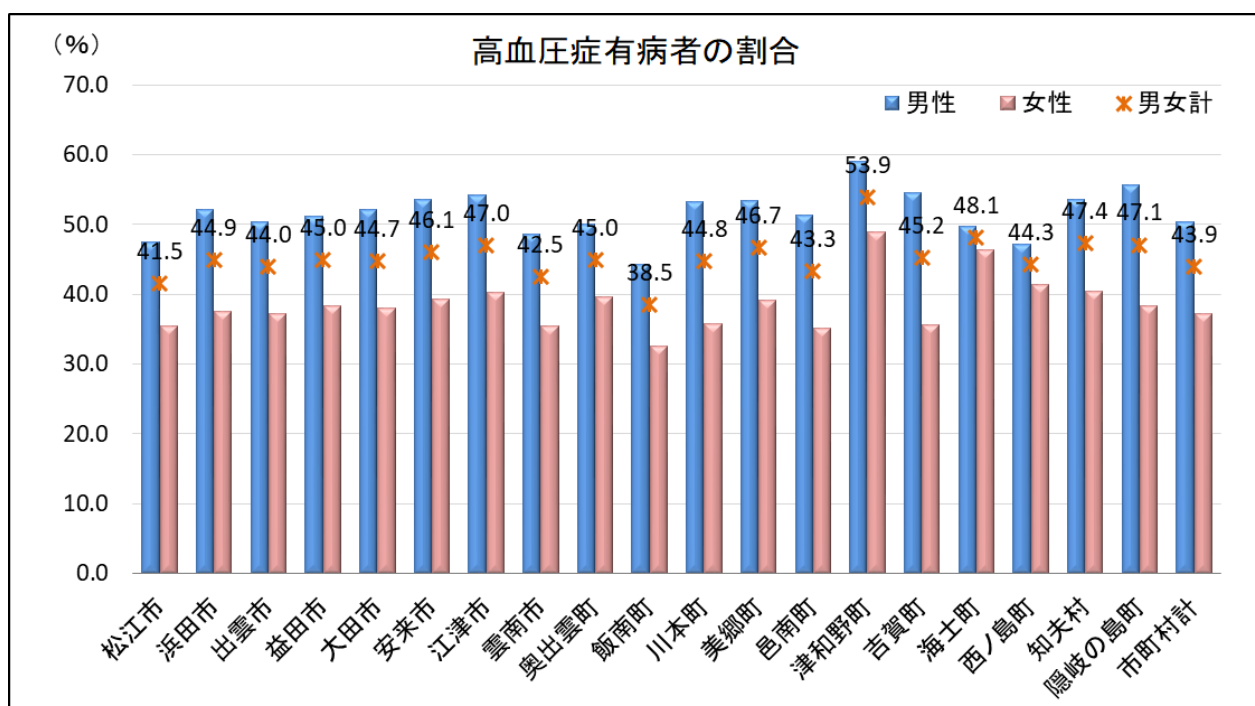
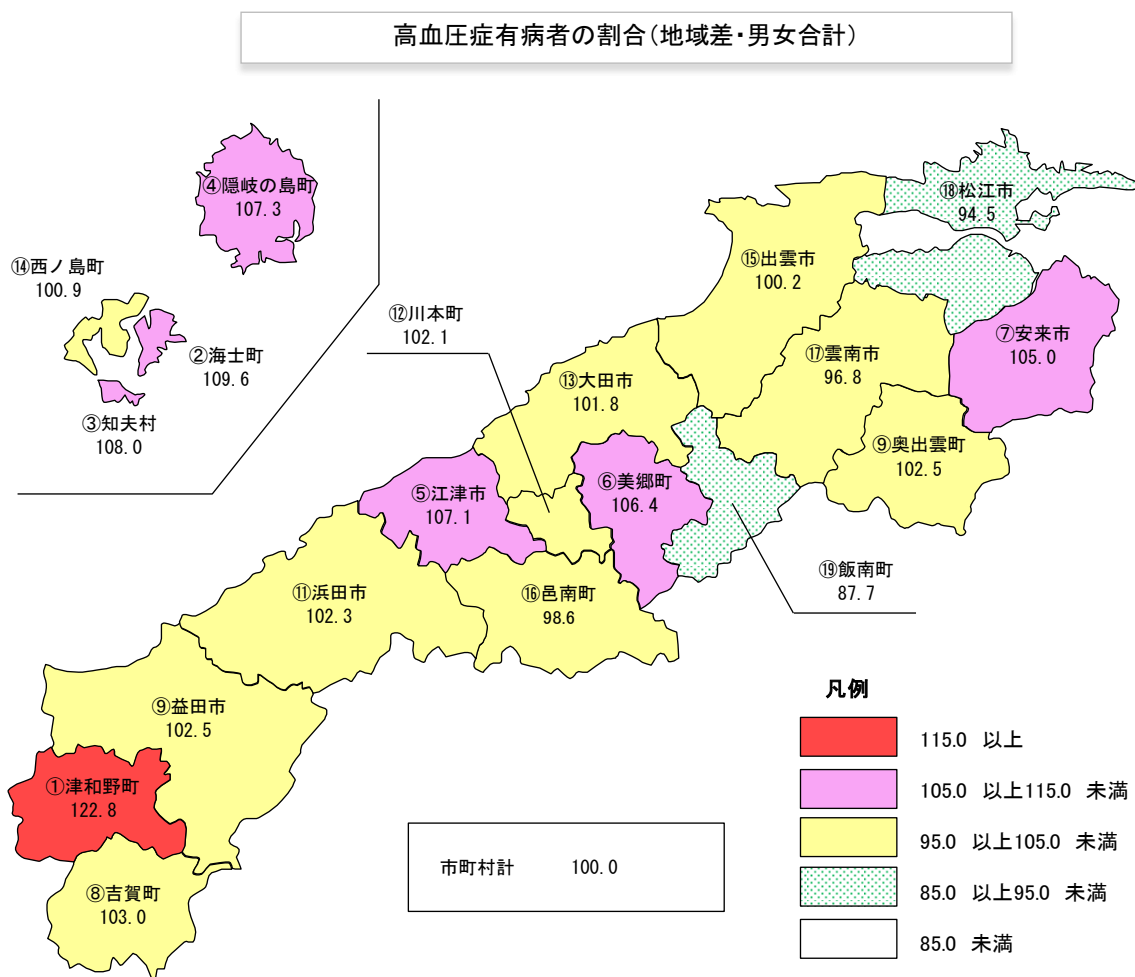




## ② 高血圧症有病者・予備群の割合

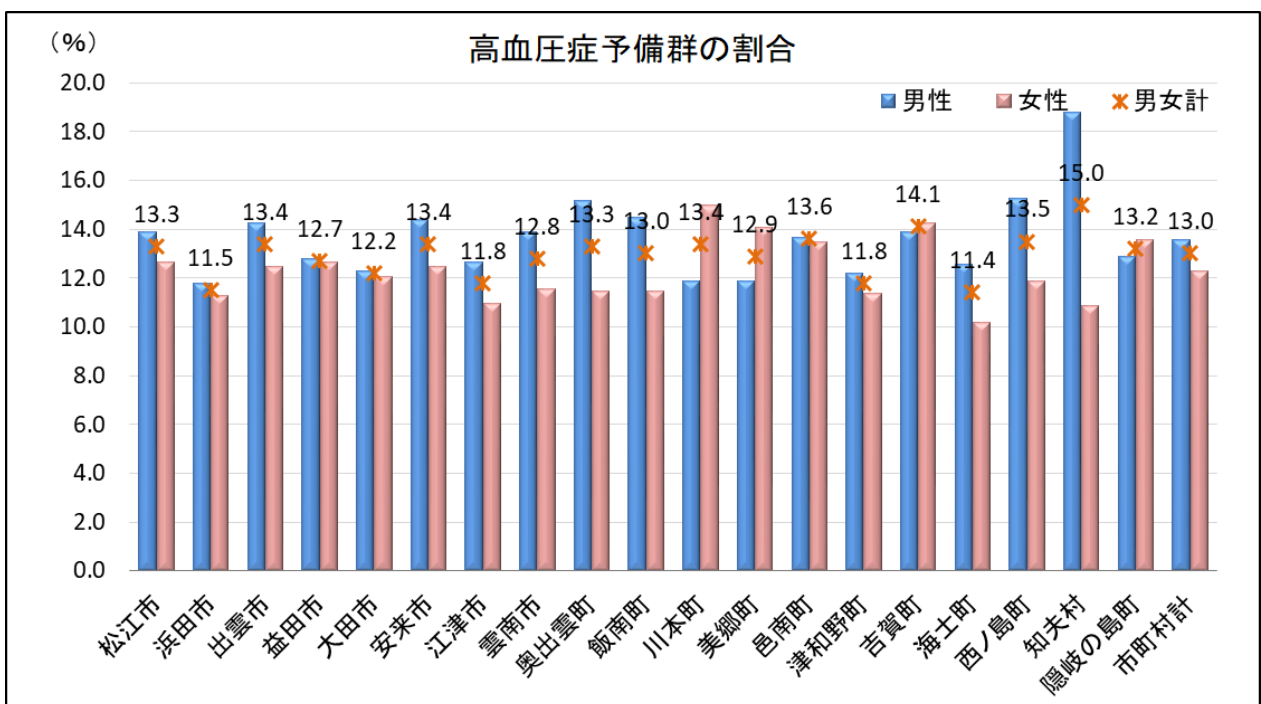
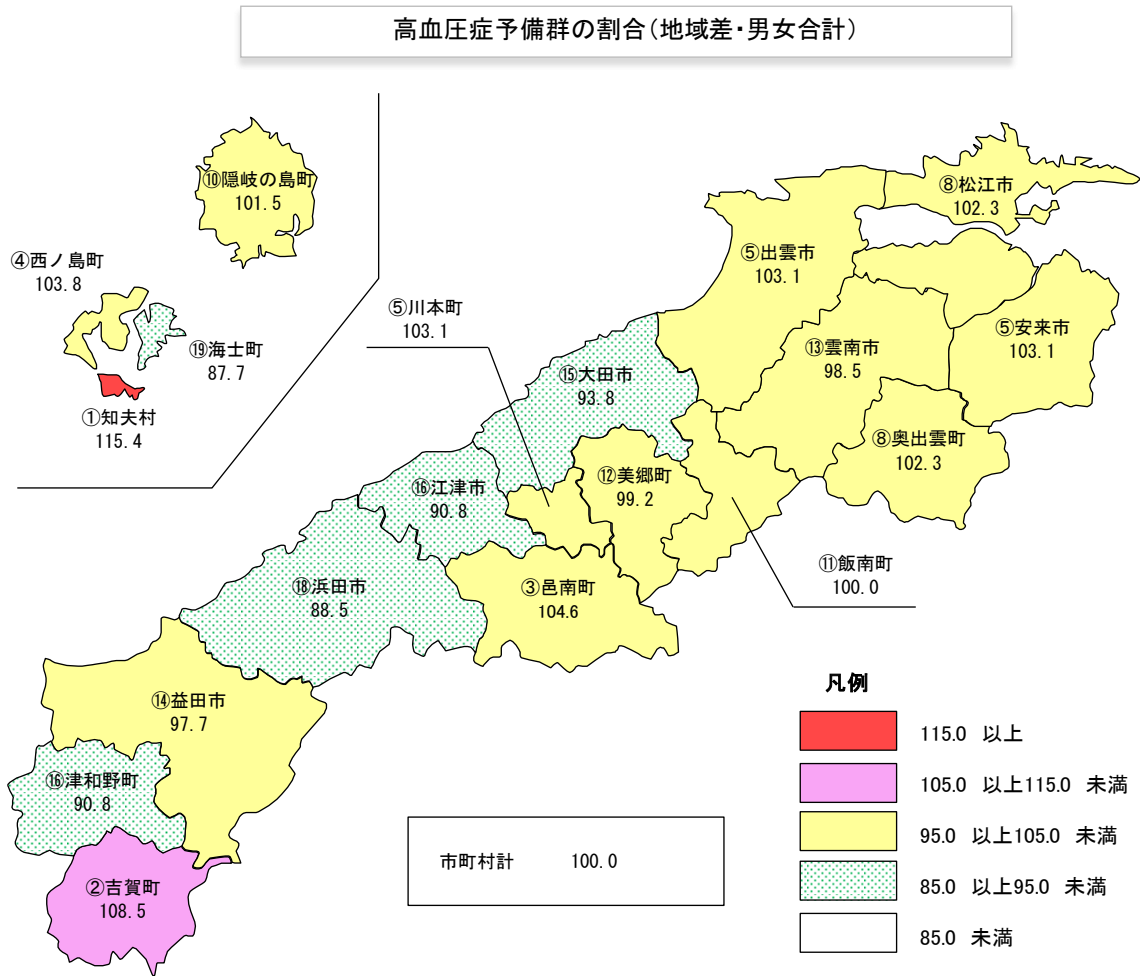
### ア 高血圧症有病者

高血圧症有病者の割合が最も高いのは津和野町（53.9%）、最も低いのは飯南町（38.5%）である。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



## イ 高血圧症予備群

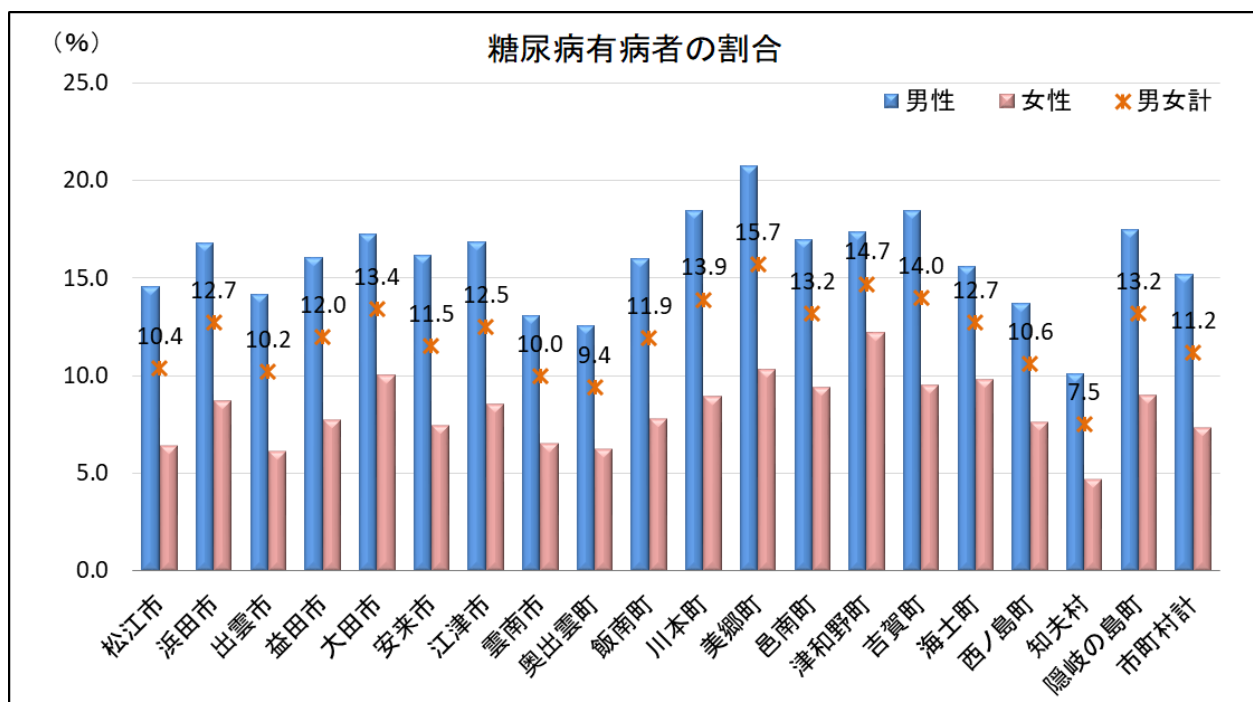
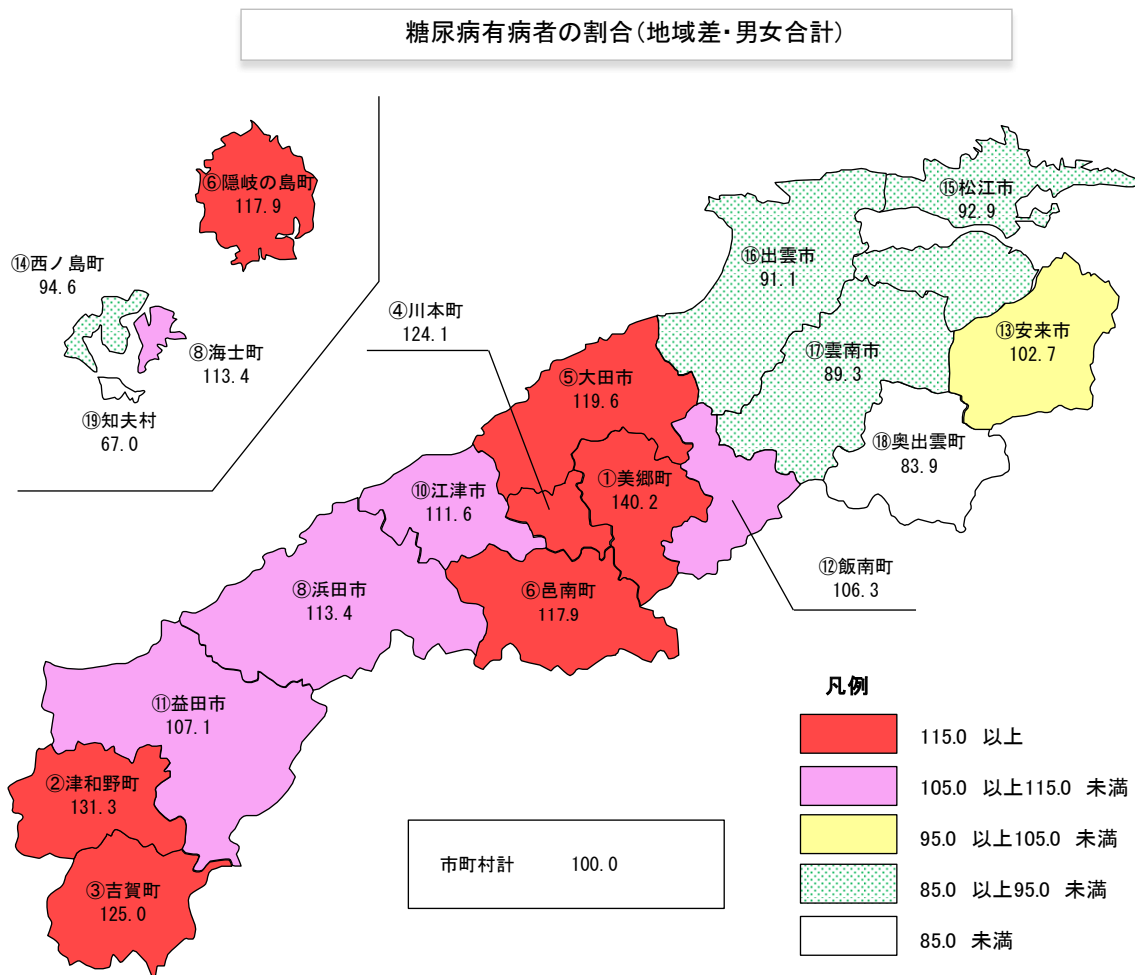
高血圧症予備群の割合が最も高いのは知夫村（15.0%）、最も低いのは海士町（11.4%）である。



### ③ 糖尿病有病者・予備群の割合

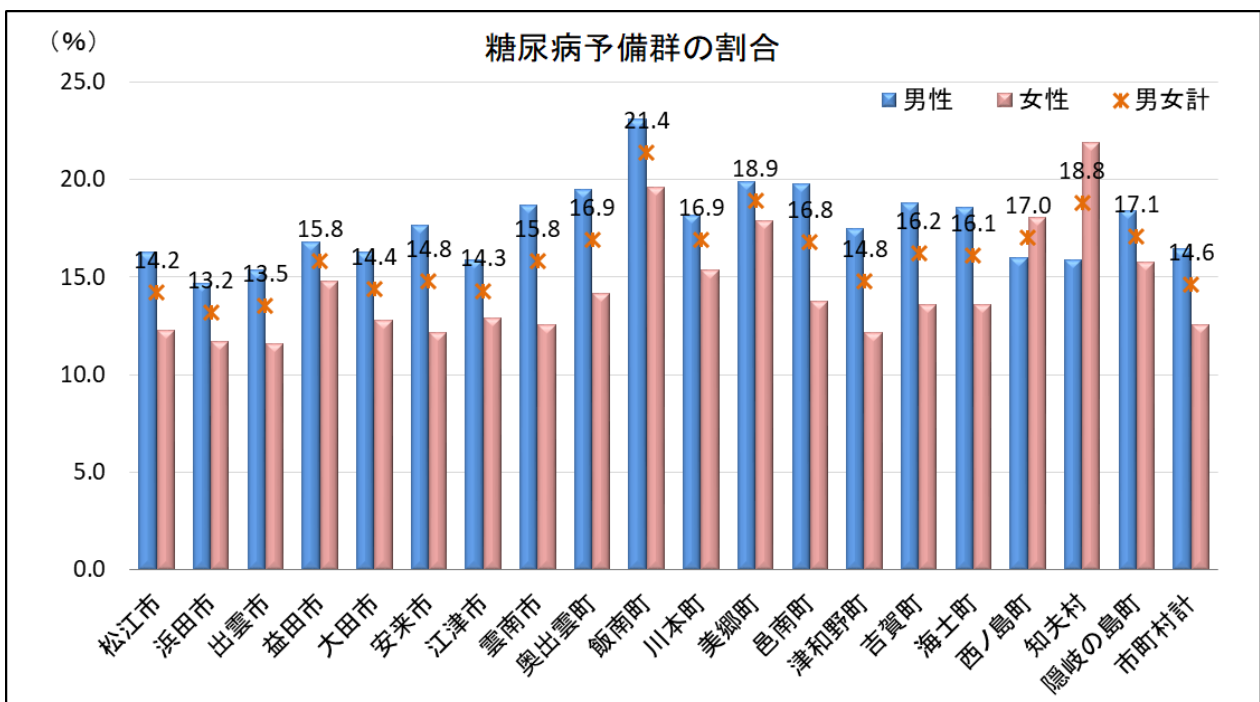
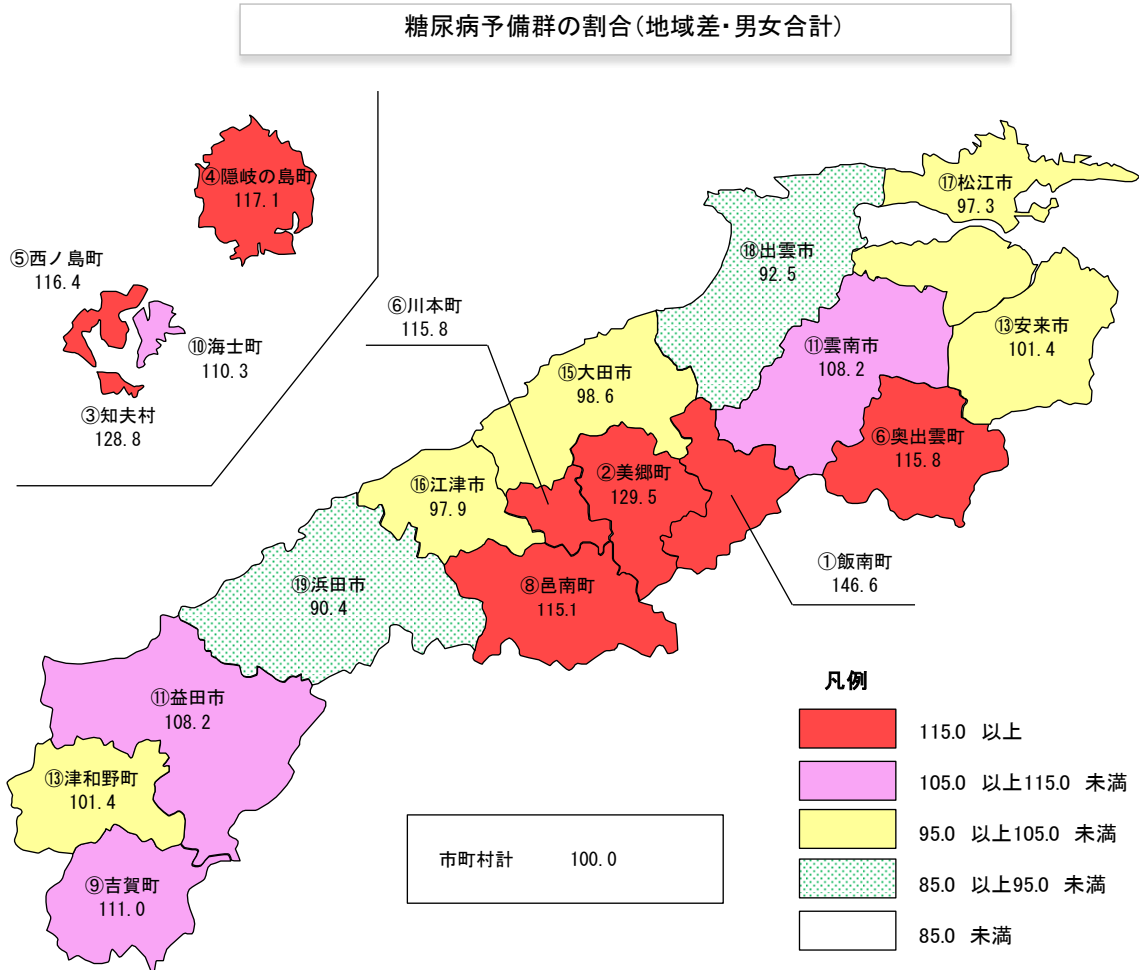
#### ア 糖尿病有病者

糖尿病有病者の割合が最も高い美郷町（15.7%）をはじめ、県中央部及び西部で高い傾向がみられる。最も低いのは知夫村（7.5%）である。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。



## イ 糖尿病予備群

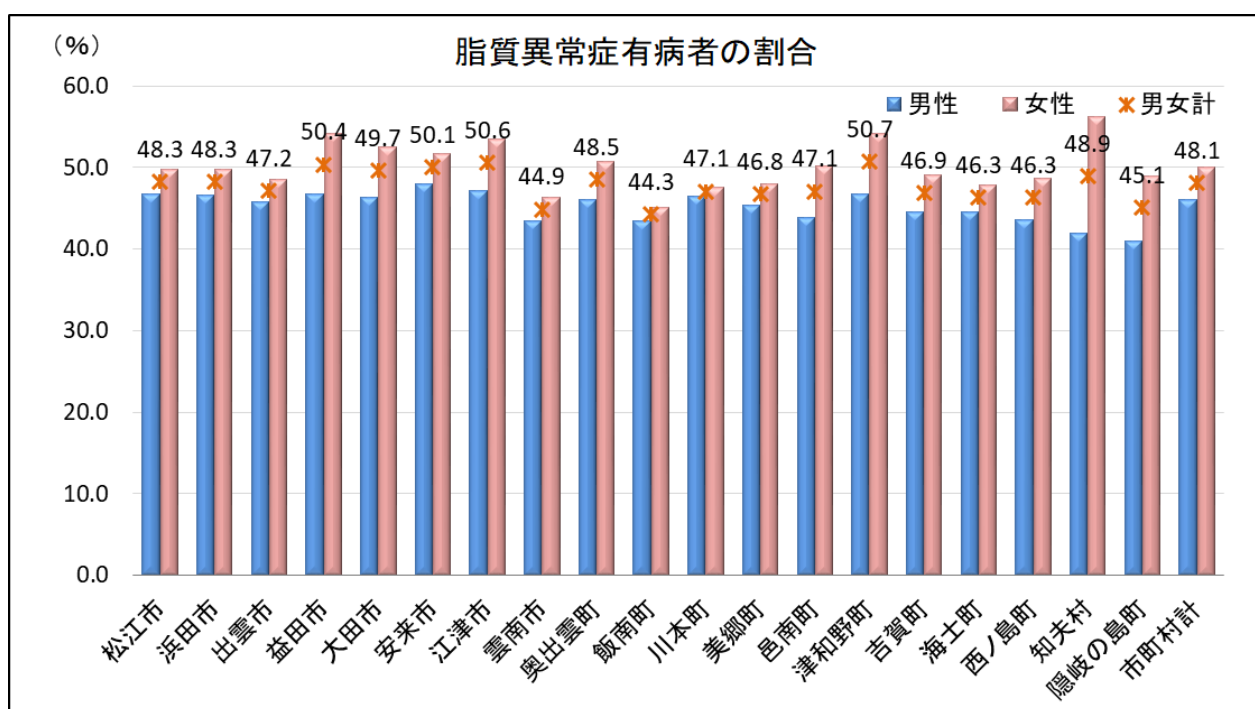
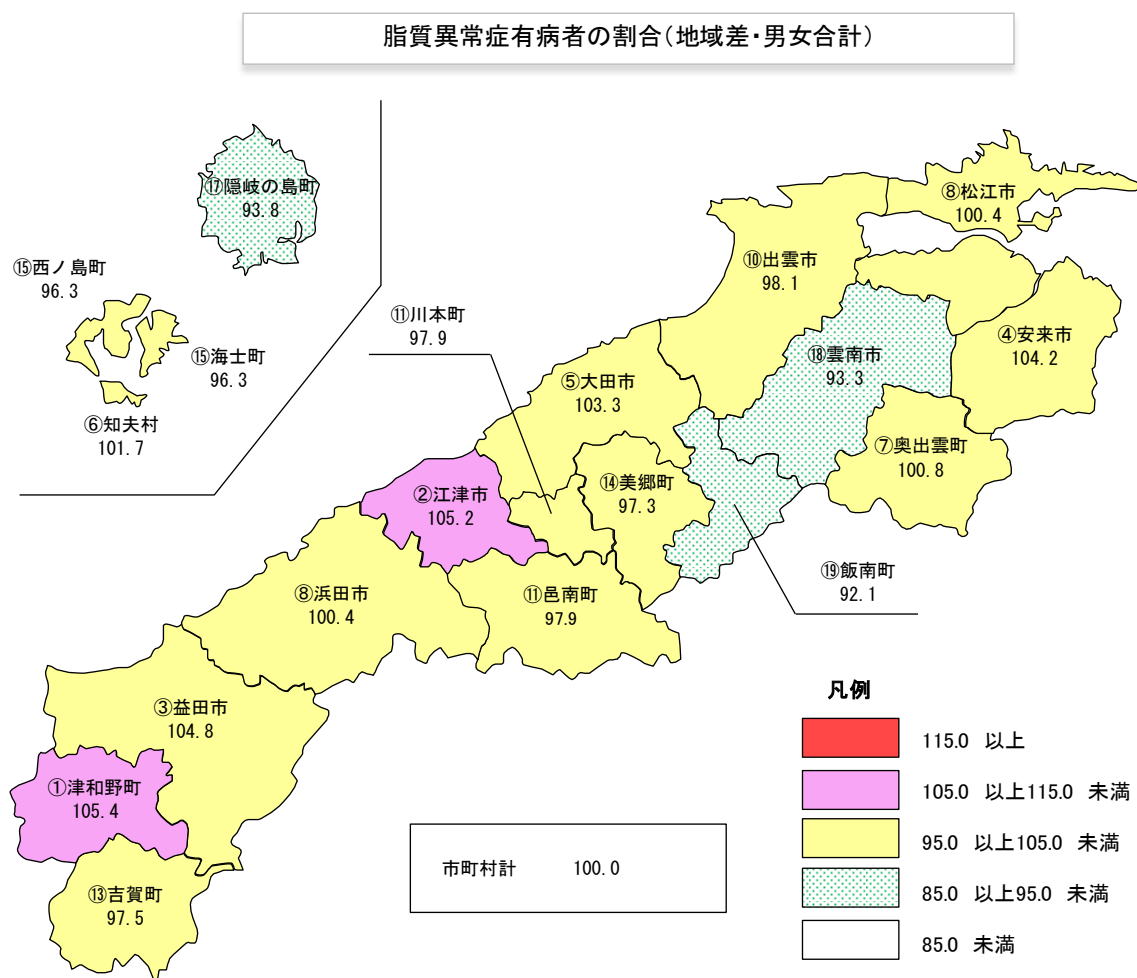
糖尿病予備群の割合が最も高いのは飯南町（21.4%）、最も低いのは浜田市（13.2%）である。中山間地、隠岐圏域で高い傾向がみられる。



#### ④ 脂質異常症有病者・予備群の割合

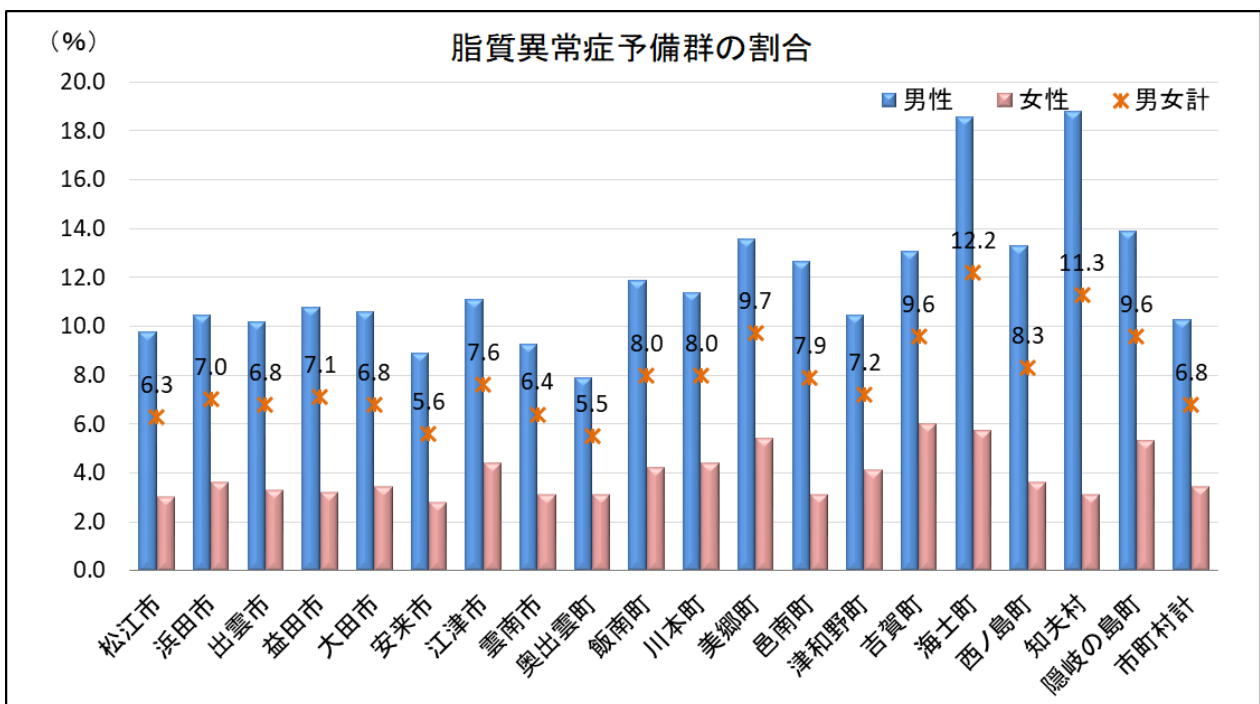
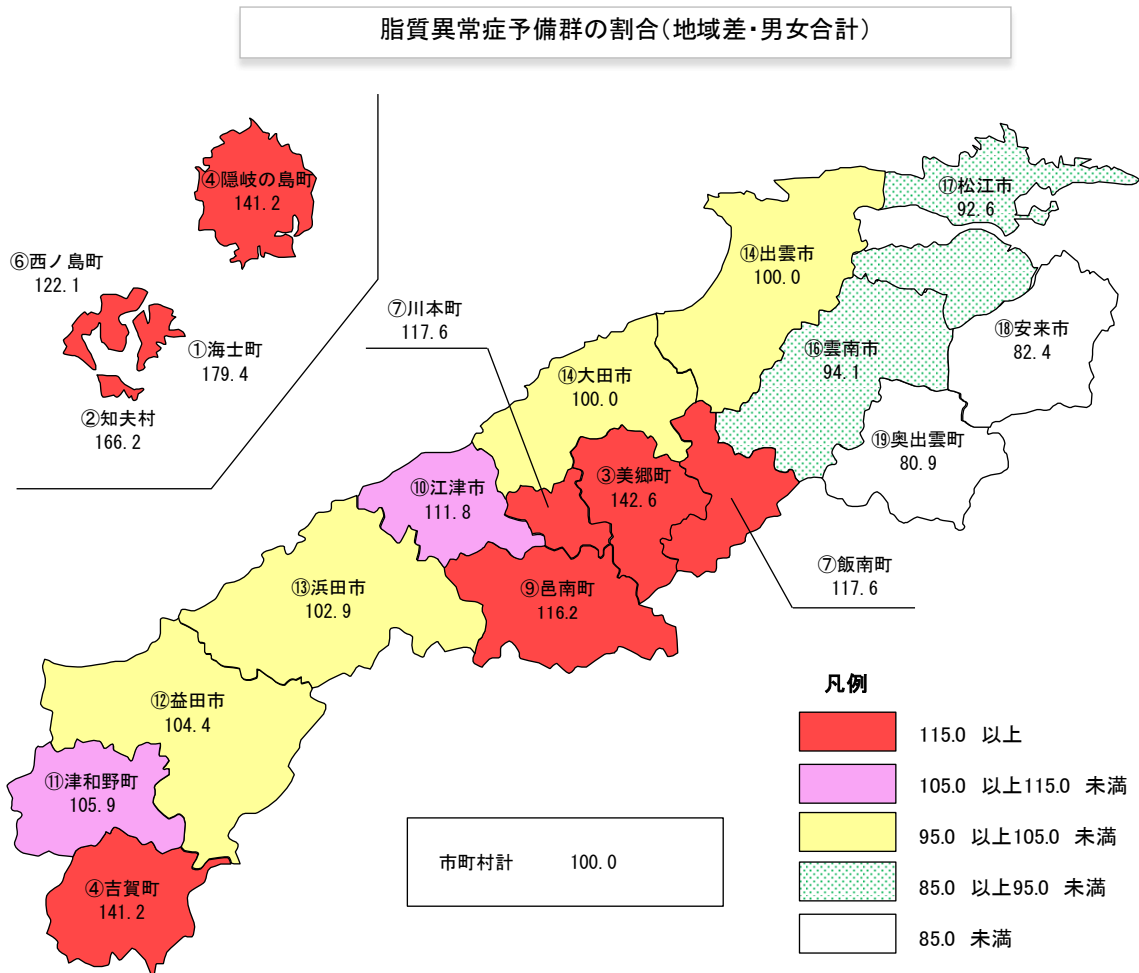
##### ア 脂質異常症有病者

各市町村における脂質異常症有病者の割合は、市町村計に対して大きな差異は見られない。男女別にみると、全ての市町村で女性の割合が高い。



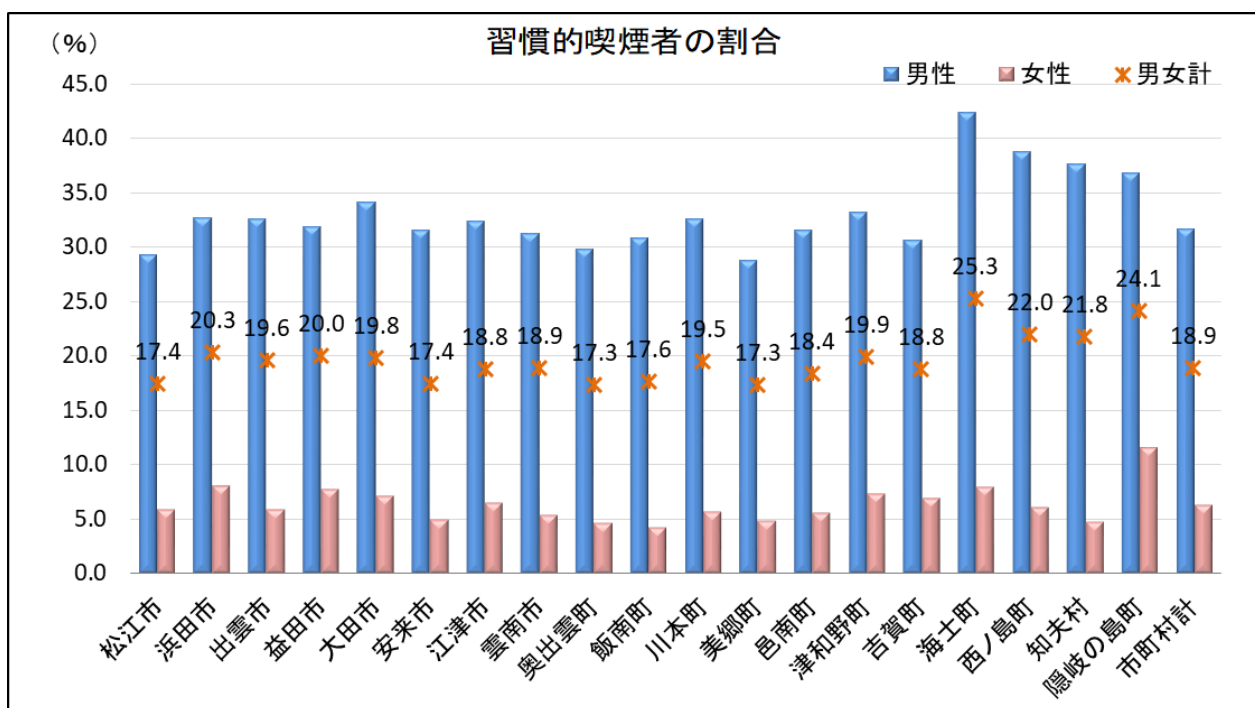
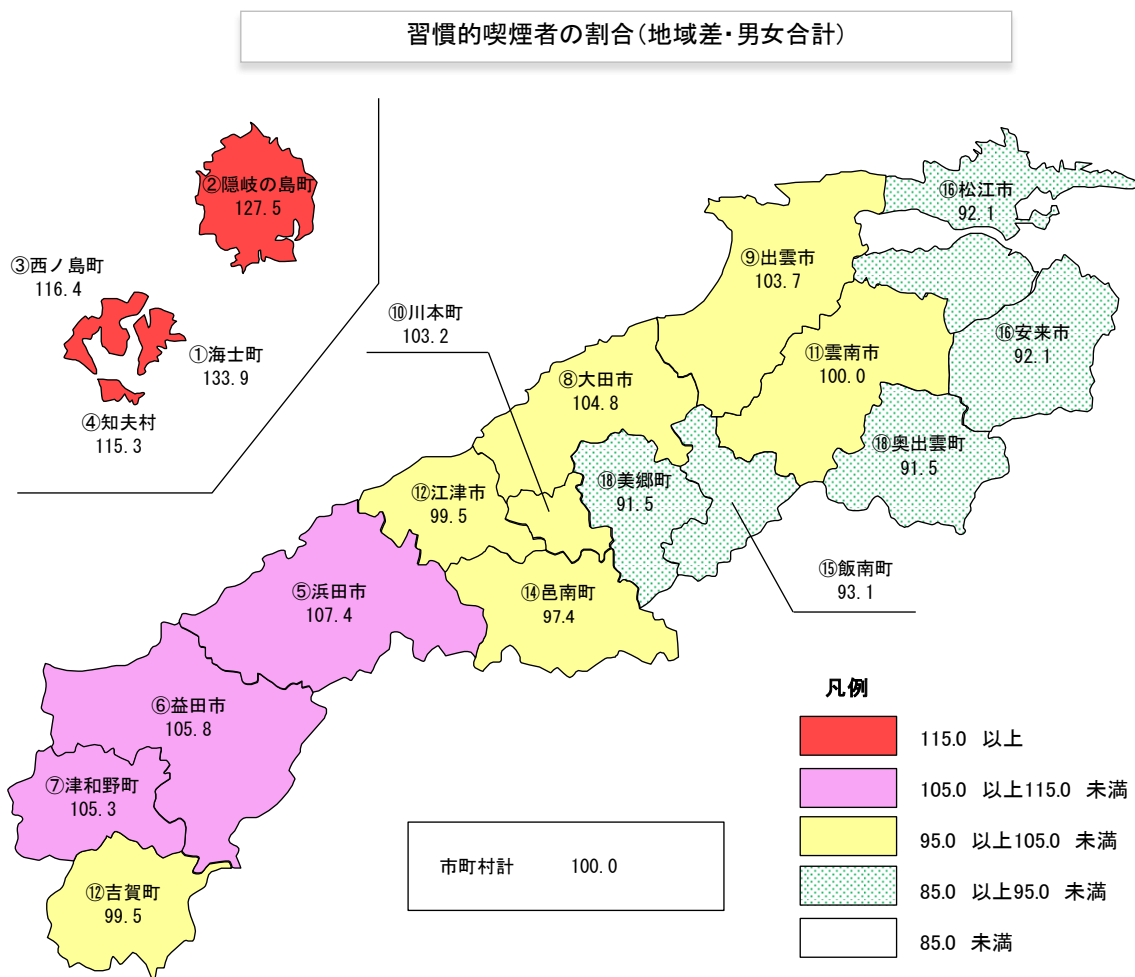
## イ 脂質異常症予備群

脂質異常症予備群の割合が最も高いのは海士町（12.2%）、最も低いのは奥出雲町（5.5%）である。男女別にみると、有病者は女性の方が高かった反面、予備群は男性の方が全ての市町村において高い。



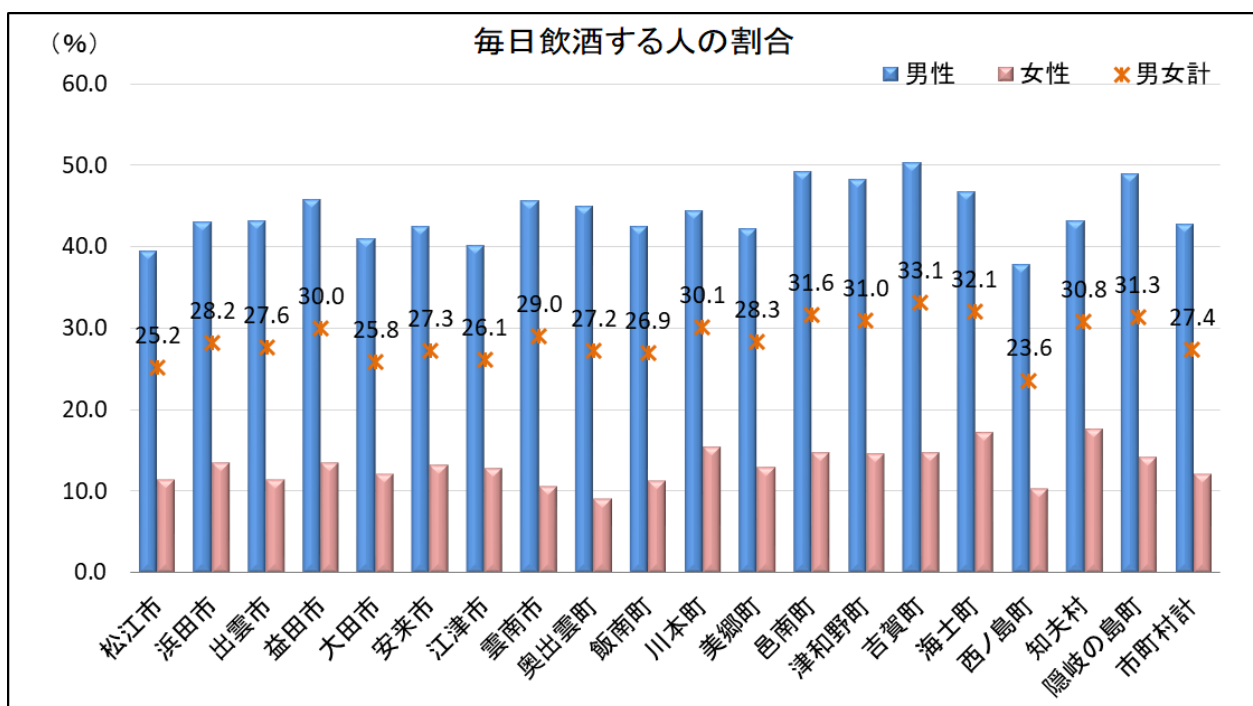
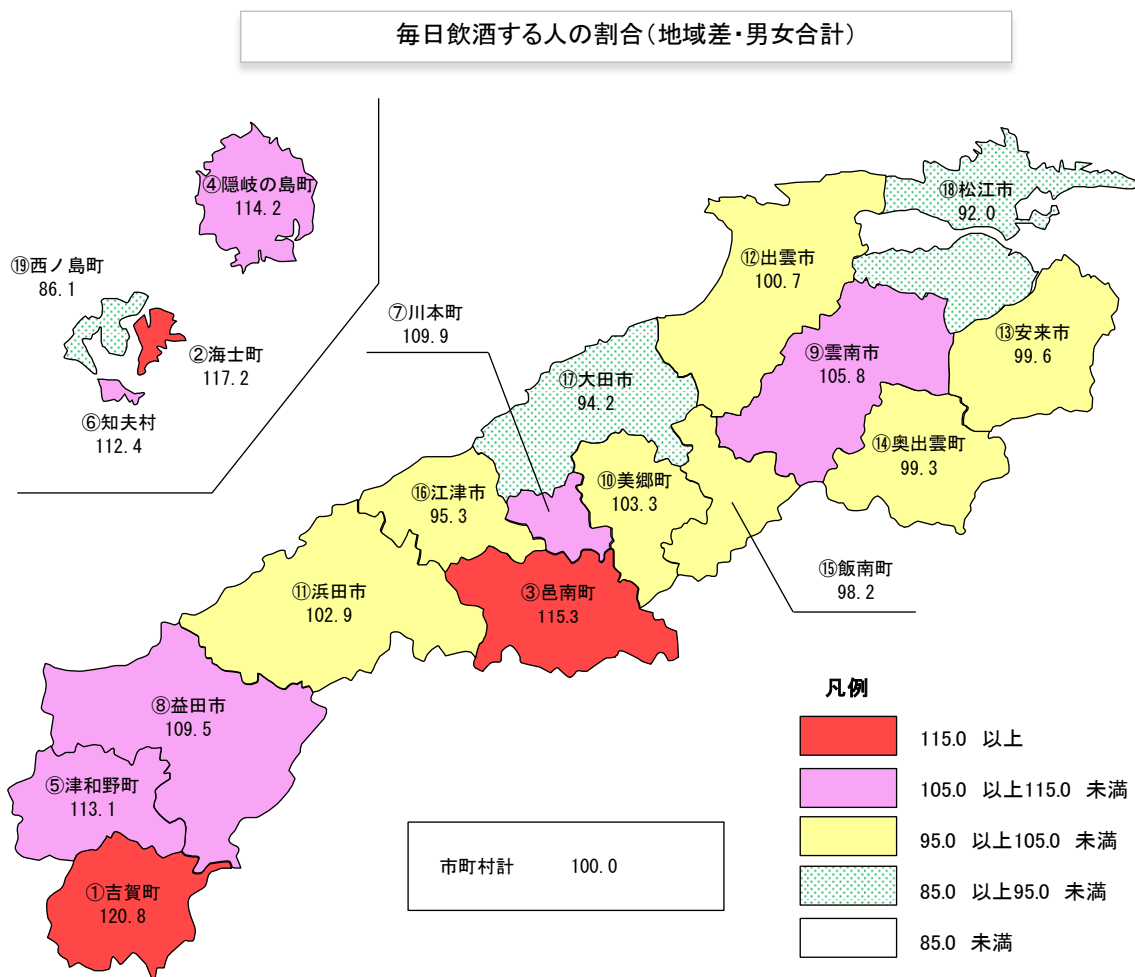
### ⑤ 習慣的喫煙者の割合

習慣的喫煙者の割合が最も高いのは海士町 (25.3%)、最も低いのは奥出雲町と美郷町 (17.3%) である。隠岐圏域で高い傾向がみられる。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高く、差も大きい。



## ⑥ 毎日飲酒する人の割合

毎日飲酒する人の割合が最も高いのは吉賀町（33.1%）、最も低いのは西ノ島町（23.6%）である。男女別にみると、全ての市町村で男性の割合が高い。





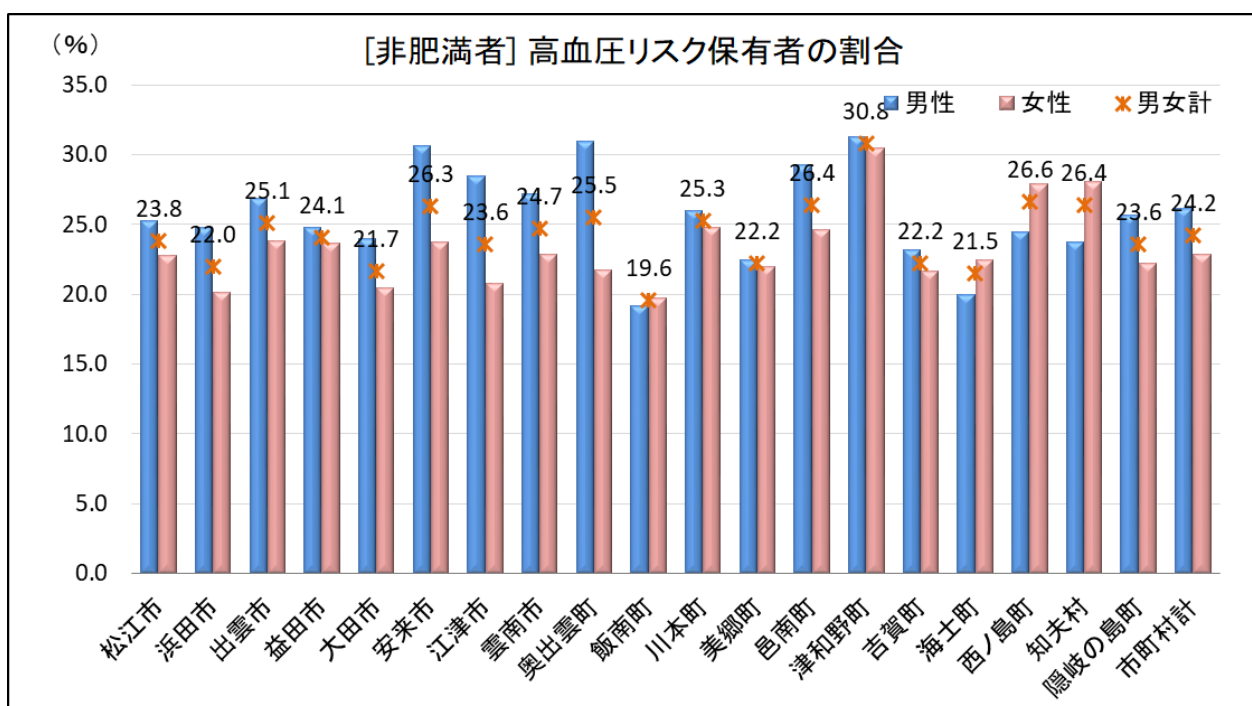
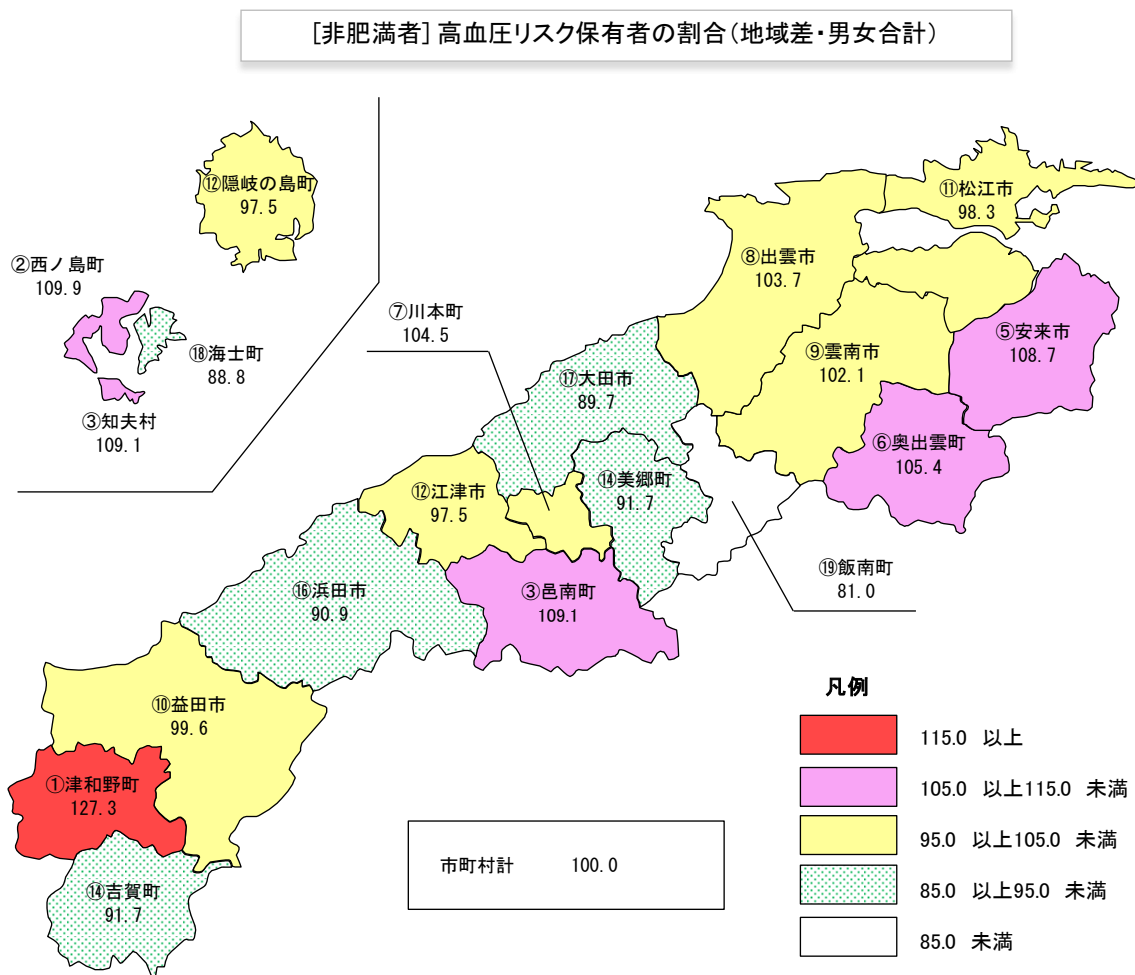
### (5) 非肥満者におけるリスク保有者の割合

市町村及び男女別に、非肥満者のリスク保有者の割合を比較する。

#### ① リスク1項目

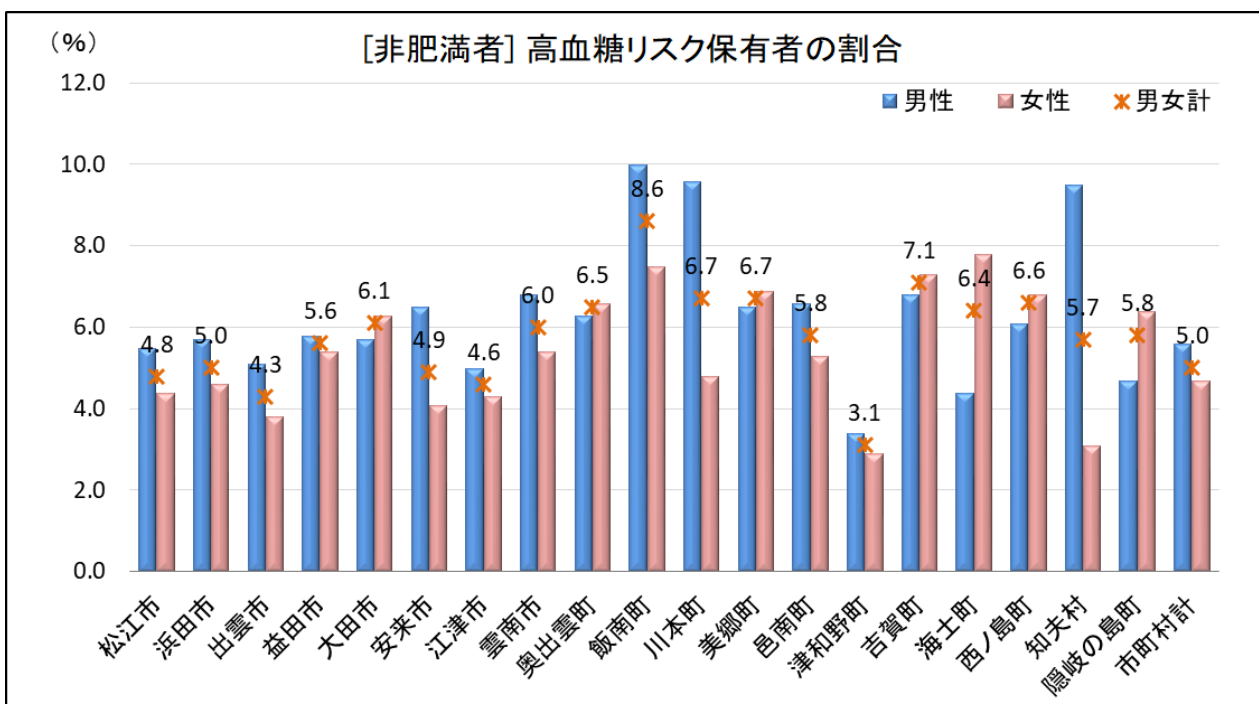
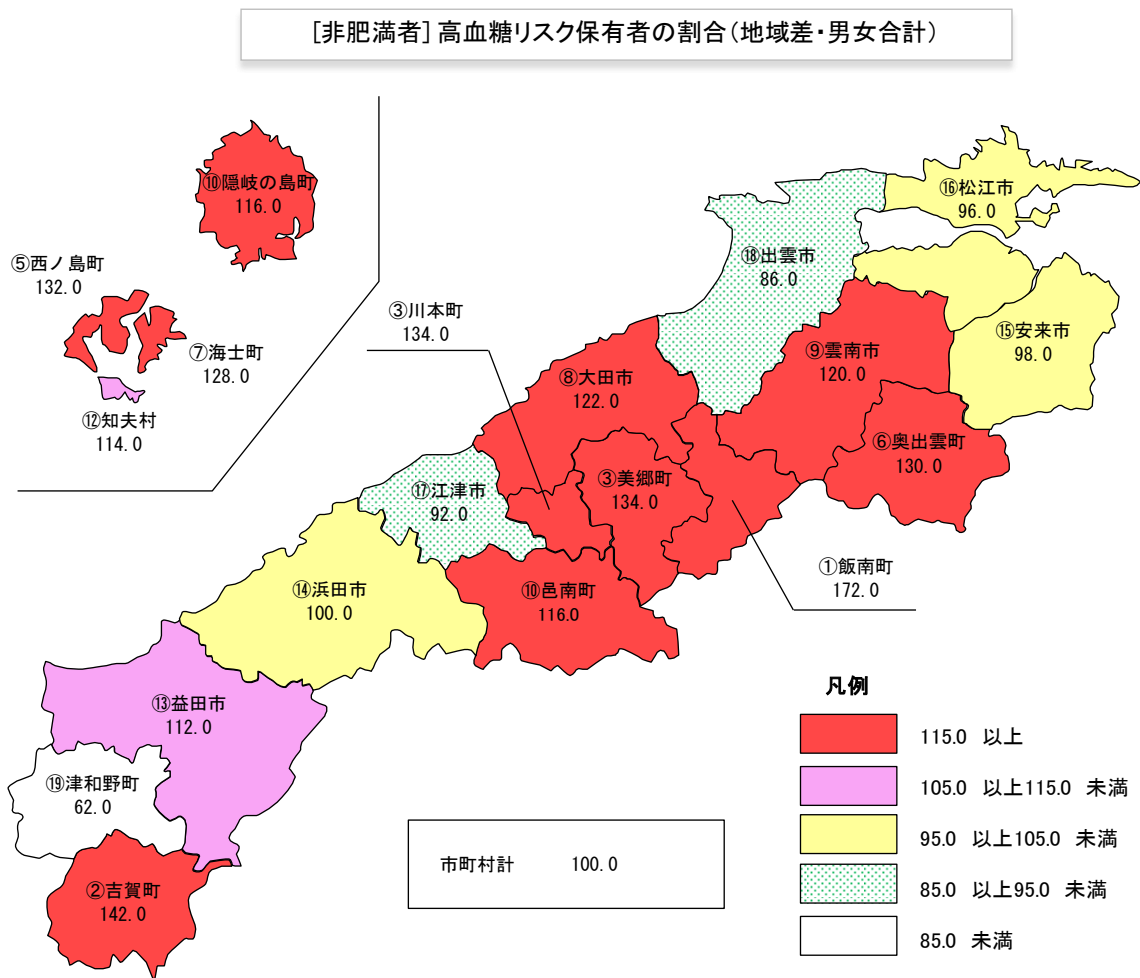
##### ア 高血圧リスク保有者

非肥満者における高血圧リスク保有者の割合は、津和野町が30.8%で最も高い。



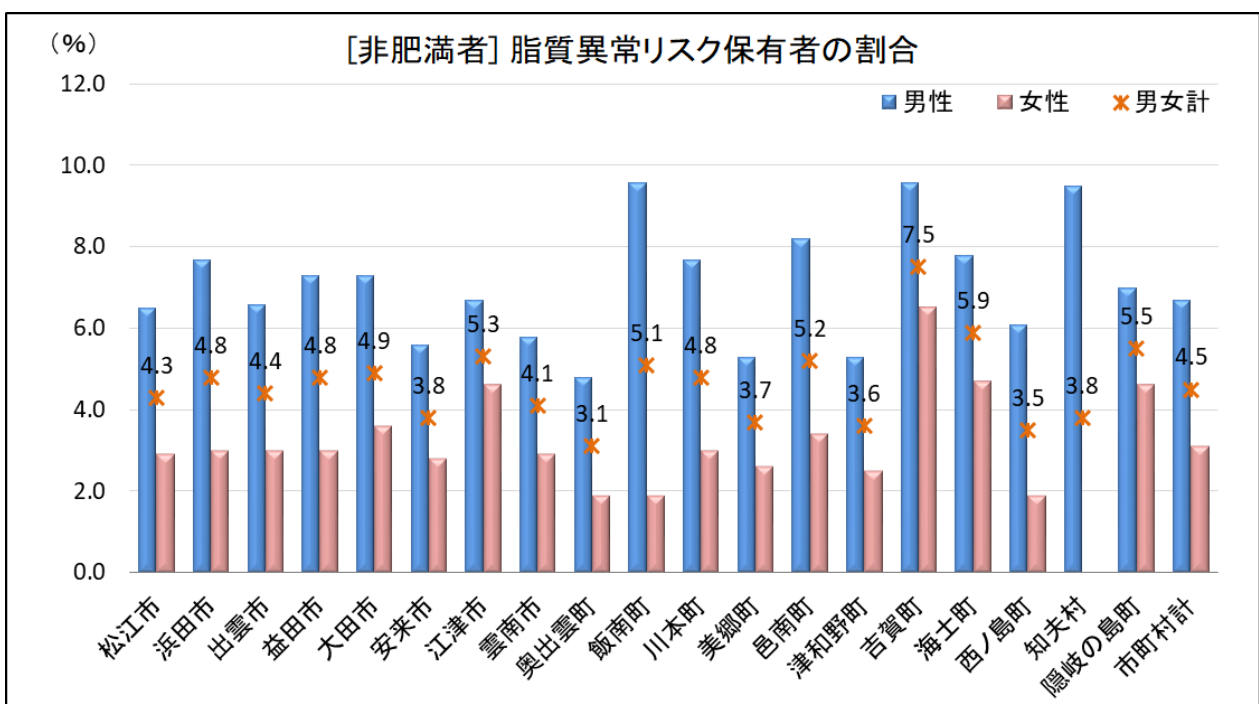
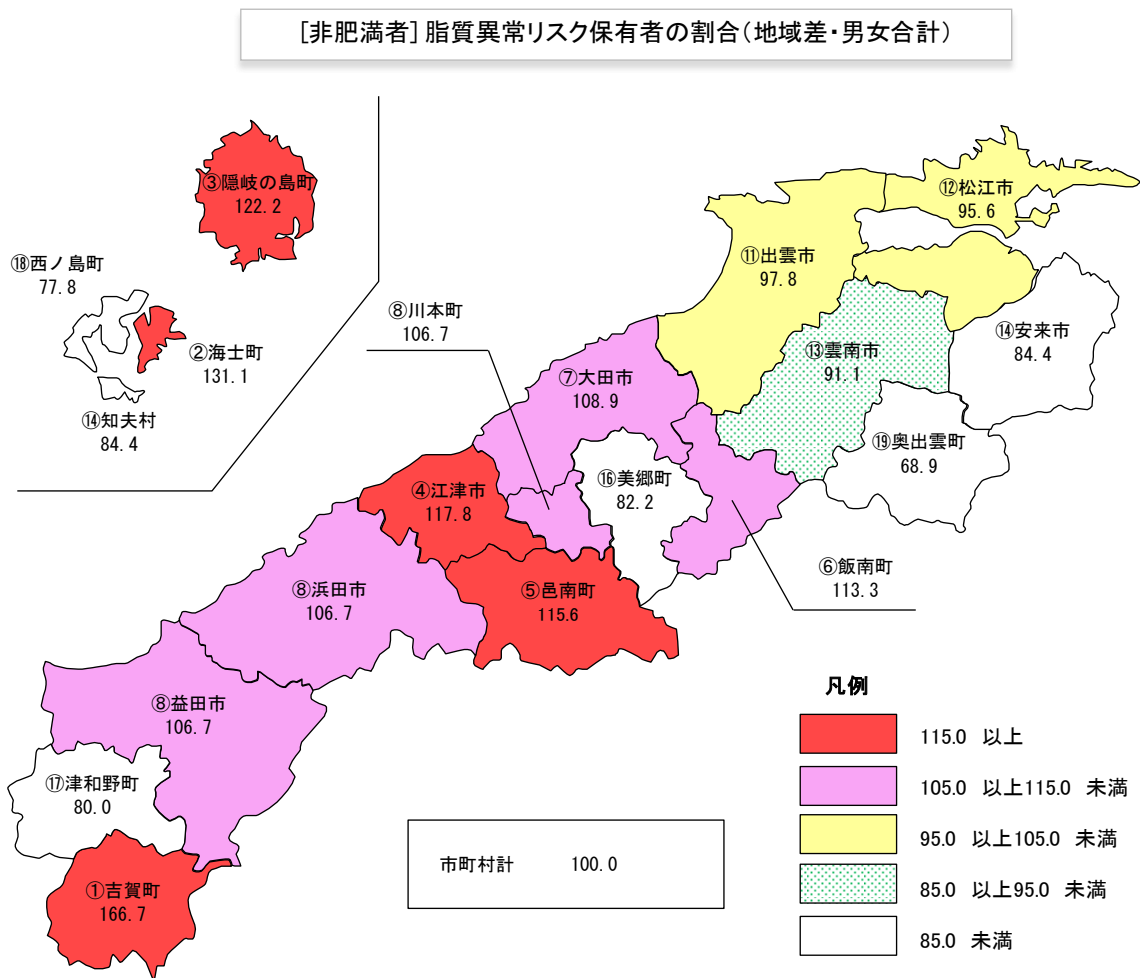
## イ 高血糖リスク保有者

非肥満者における高血糖リスク保有者の割合は、県中央部、隠岐圏域で高い状況にある。



## ウ 脂質異常リスク保有者

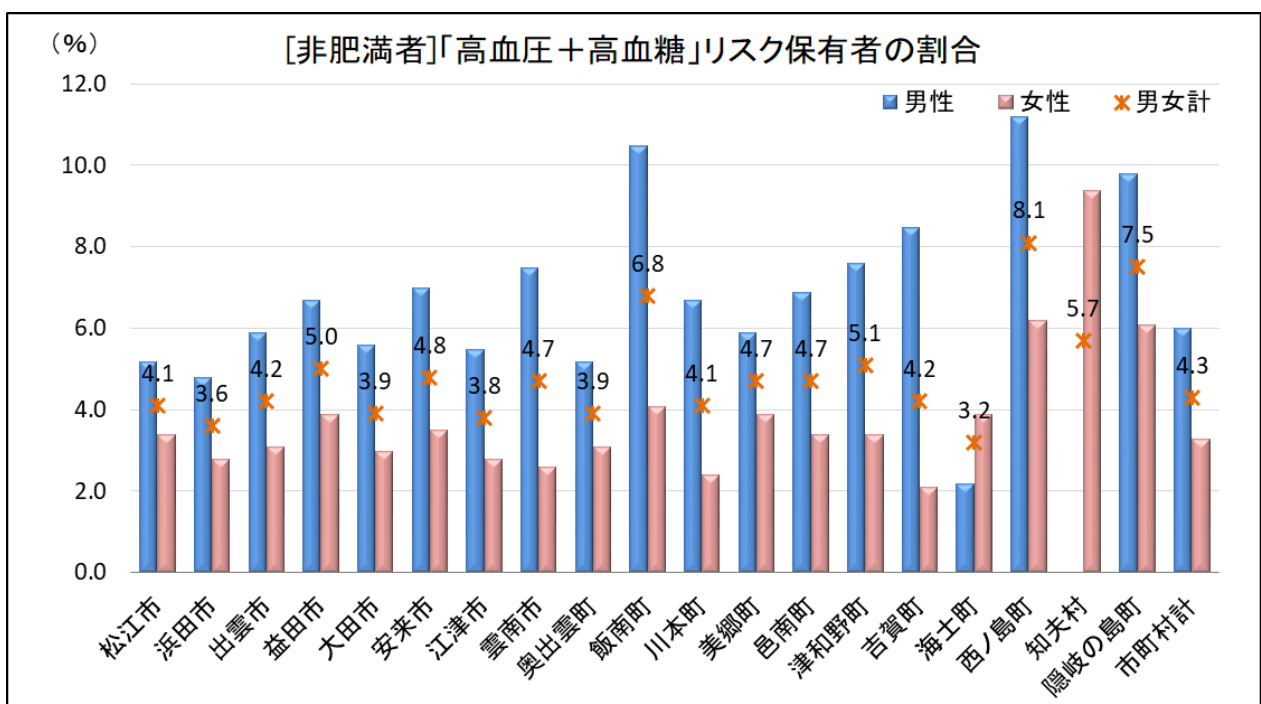
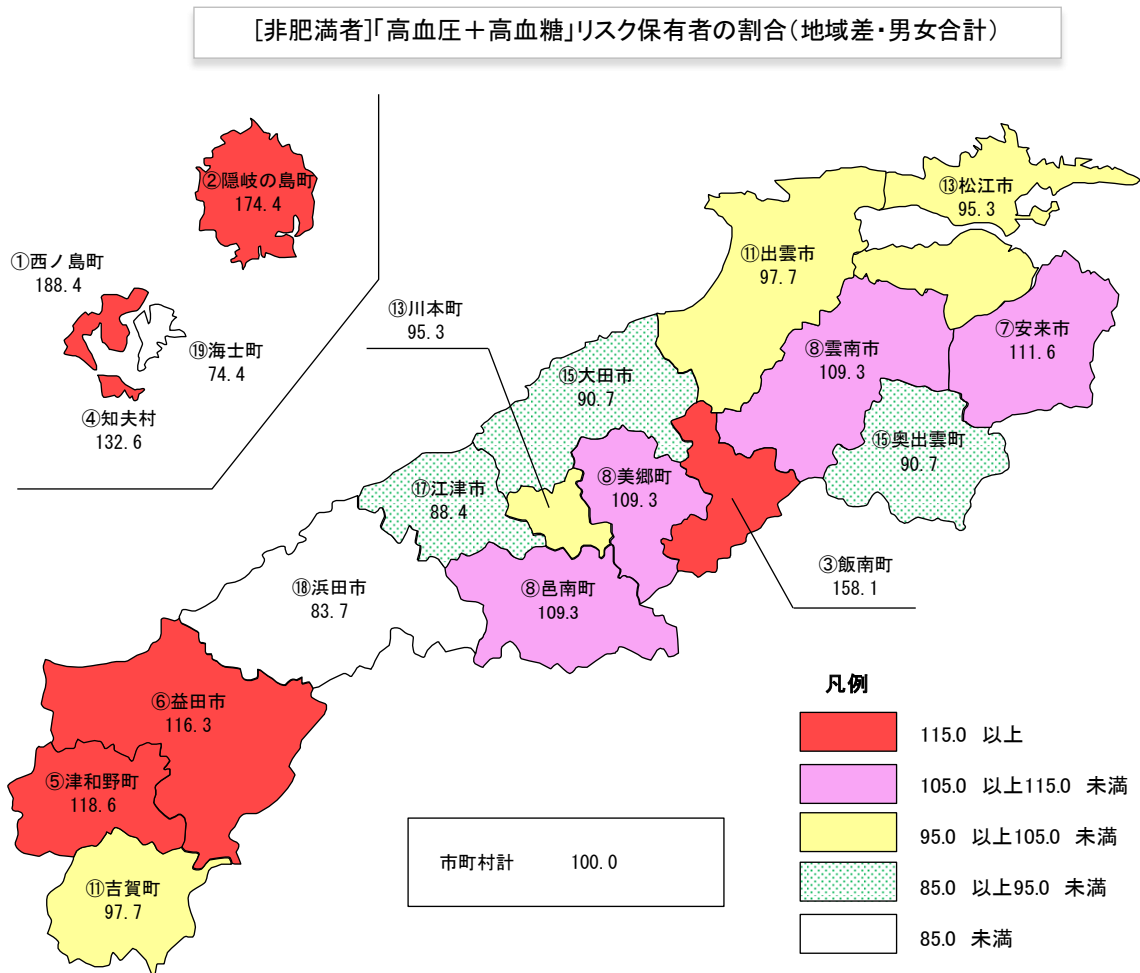
非肥満者における脂質異常リスク保有者の割合は、吉賀町が7.5%で最も高い。また、全ての市町村において男性の割合が高い。



## ② リスク2項目

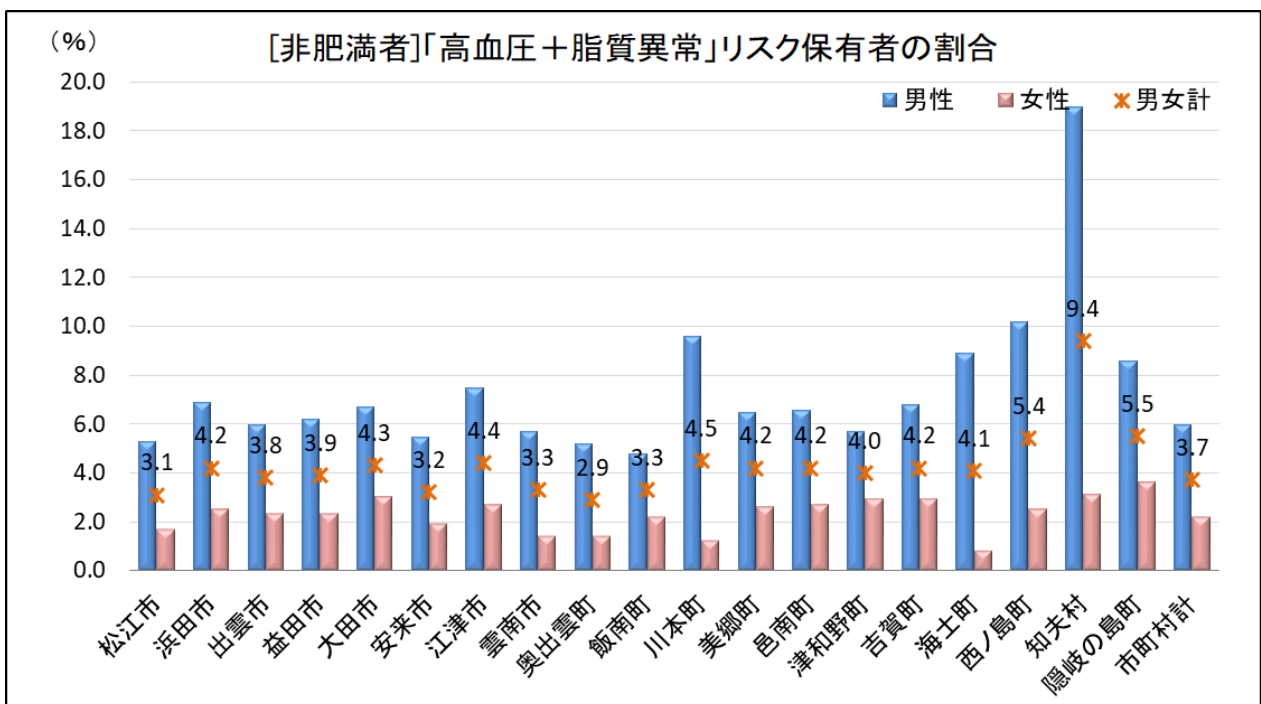
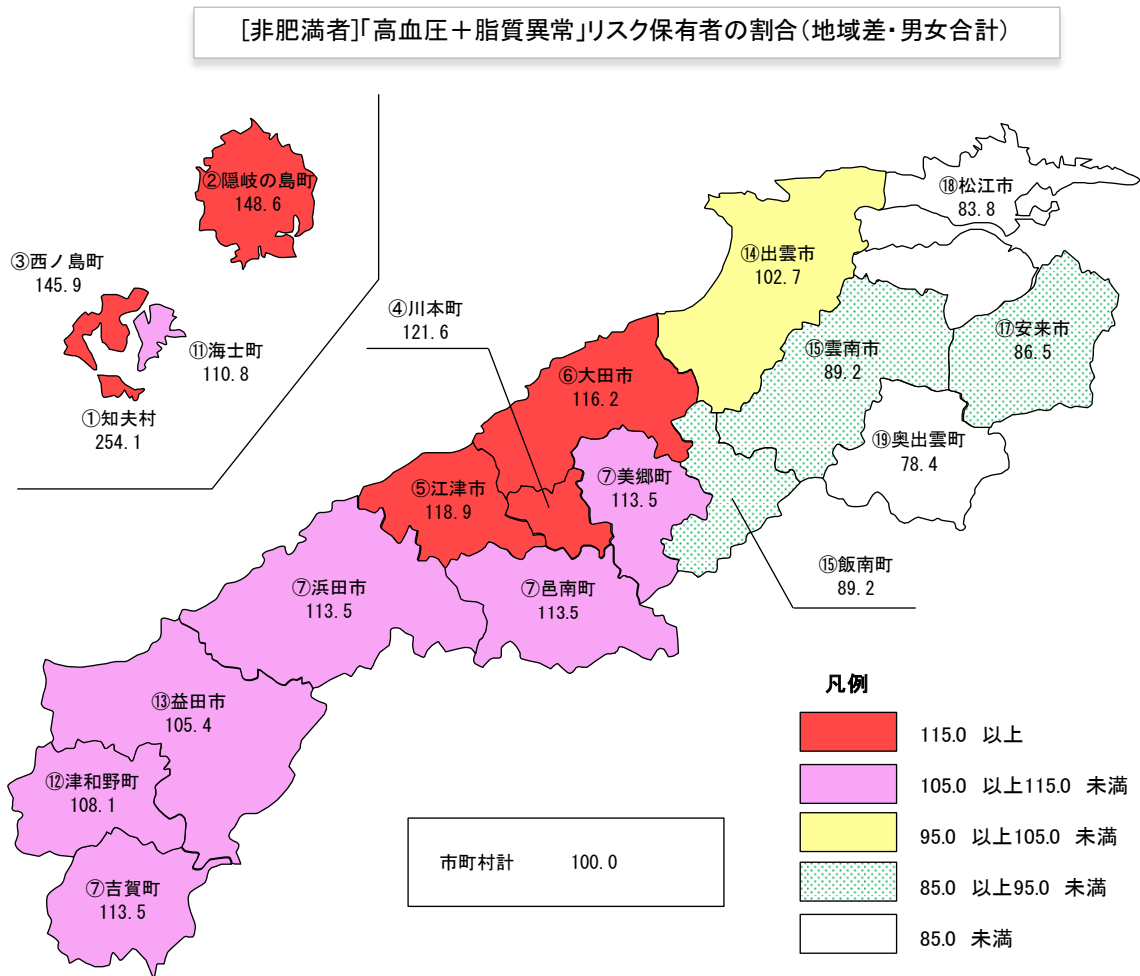
### ア 「高血圧+高血糖」リスク保有者

リスク保有者の割合は、西ノ島町が8.1%で最も高い。



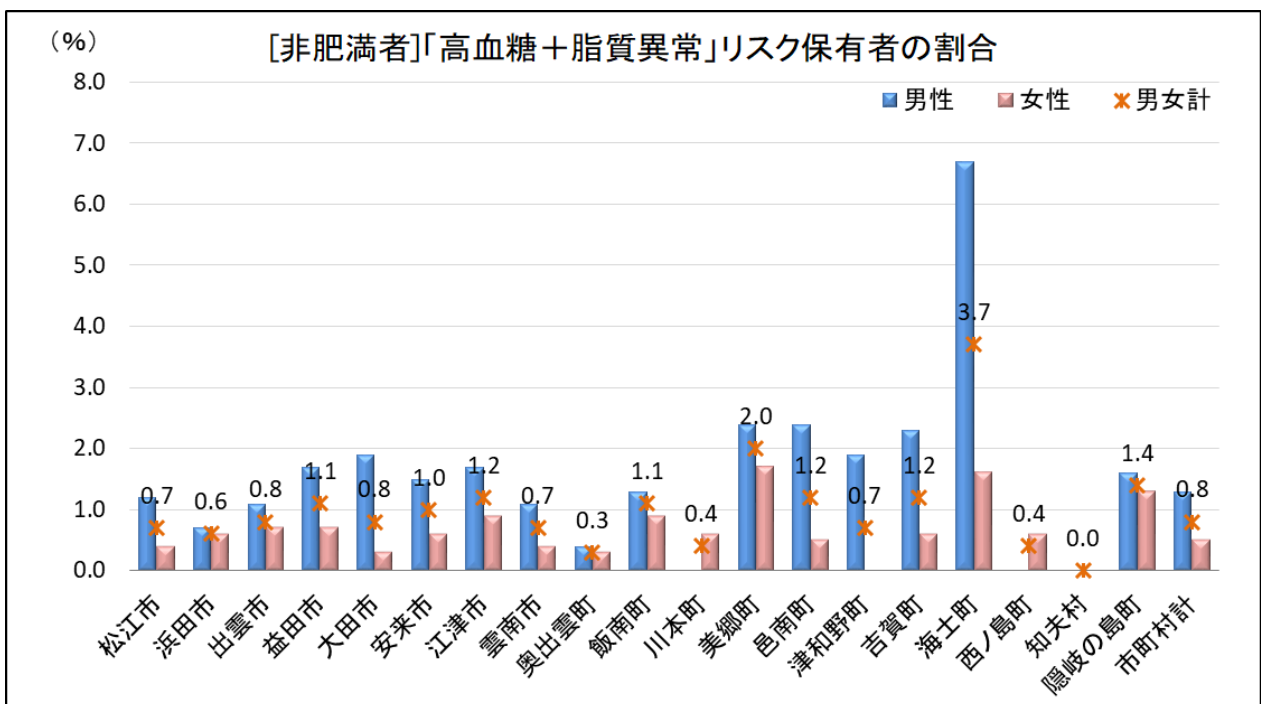
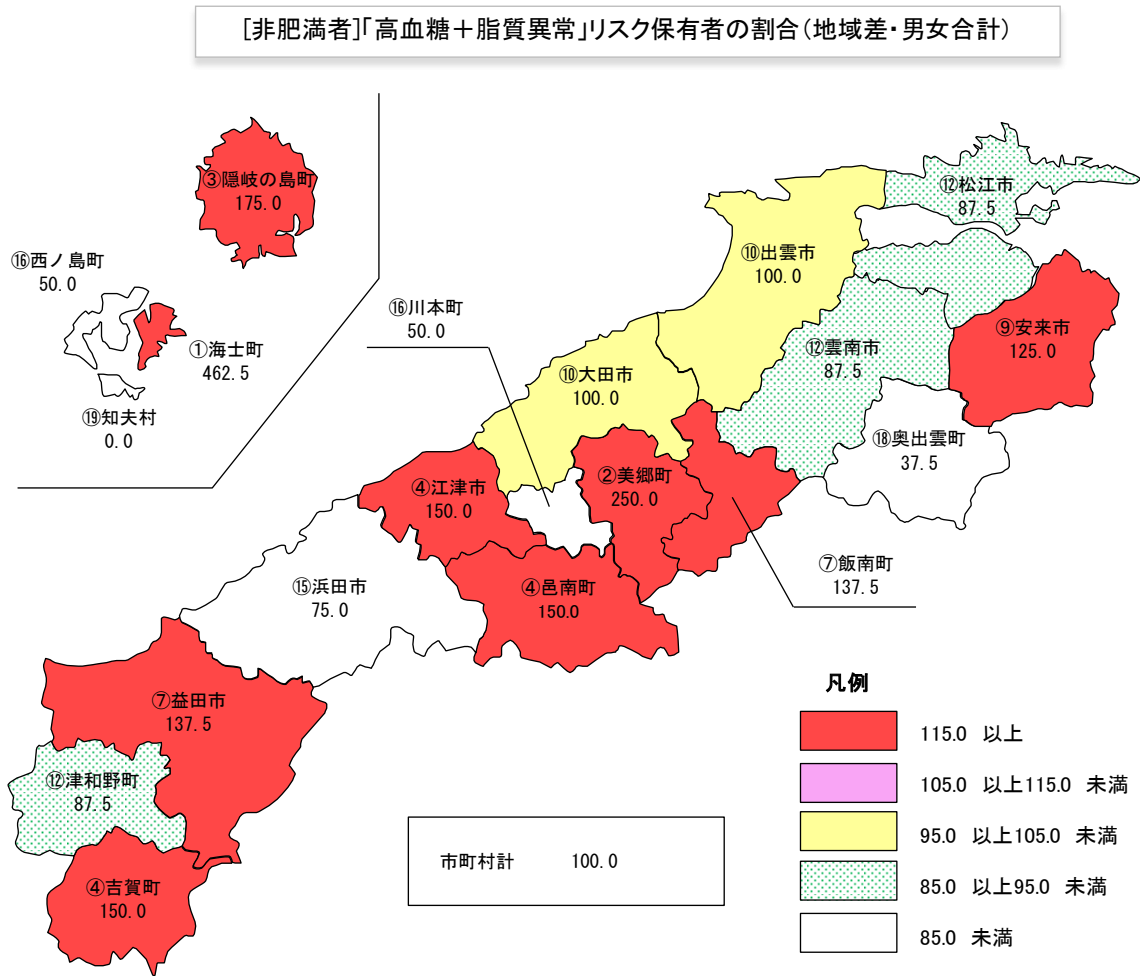
## イ 「高血圧＋脂質異常」リスク保有者

リスク保有者の割合は、知夫村が9.4%で最も高い。県中央部、隠岐圏域において特に高くなっている。男女別では、全ての市町村で男性が女性を大きく上回っている。



### ウ 「高血糖＋脂質異常」リスク保有者

リスク保有者の割合は、海士町が3.7%で最も高い。男女別では、男性の方が女性よりもリスク保有割合が高い傾向にある。



### ③ リスク3項目

#### 「高血圧＋高血糖＋脂質異常」リスク保有者

リスク保有者の割合は、津和野町が2.3%で最も高い。県中央部、県西部、隠岐圏域でリスク保有者が高い傾向にある。

[非肥満者]「高血圧＋高血糖＋脂質異常」リスク保有者の割合(地域差・男女計)

